CONTENTS

外部足場関係

アサガオ／仮囲い

室内足場

安全・便利機材

根切り／構台関係

パイプ／クランプ／パレット

鉄骨工事関係

支保工

関連資料

外部足場関係

次世代足場　Silent Power System

詳しくはこちらをご覧下さい

仮設工業会認定品　PAT.P　NETIS登録

次世代足場 SPS

枠組足場と同等以上の機能を有し、輸送、保管、組立・解体等に優位性を持つ足場システムです。
システムとして先行手すりを備え、抜け止め機構により大組・大払し施工が可能です。
高層の足場に対応し、ステージ、支保工にも対応します。
支柱強度：足場として 13kN。支保工として 30kN。

最高水準の作業性

緊結、解体は軽くたたくだけの2アクション。施工効率は40%アップ。
抜け止めロックに切り欠きを設け、再ロックされない構造。
大組、大払しが安心して施工できます。

耳障り音半減

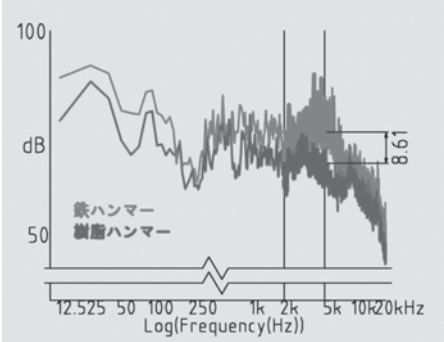
軽量な樹脂ハンマーで耳障りな金属音域が半減。
-8.61db（一般的に 10db 違うと、音量の感じ方は2倍違うといわれています）

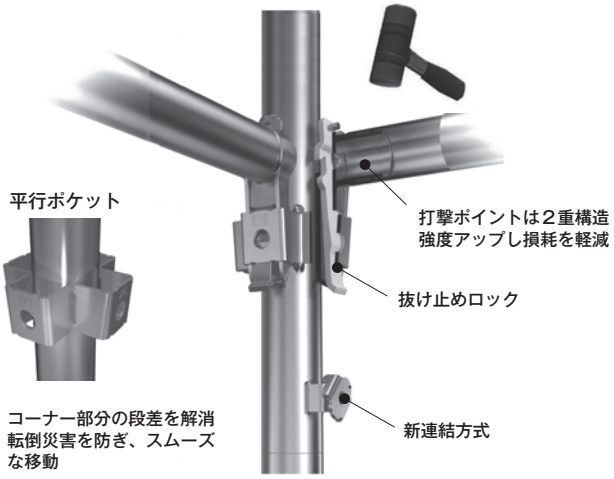
驚異の安定性

ポケットタイプの3面支持構造での緊結。
揺れに強く作業事故や倒壊の防止につながります。
高さ31m超も補強無しで対応。

新連結方式

目視でロック状態がわかる新連結方式。
ワンタッチロック解除。大組、大払しに対応します。



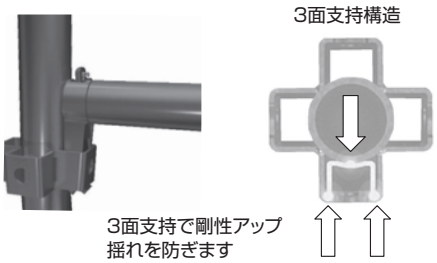


確実な抜け止めロック

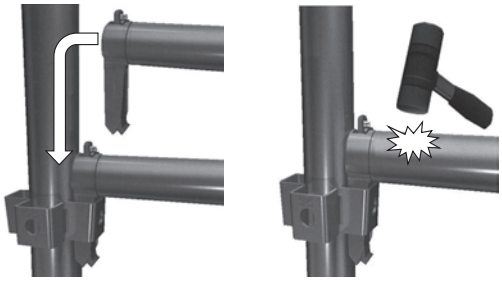
シンプルな構造で不具合の心配がありません。
確実にロックします。
ロック状態が簡単に目視でチェックできます。

〈クサビ解体のコツ〉

信頼性のクサビ性能



高い作業性

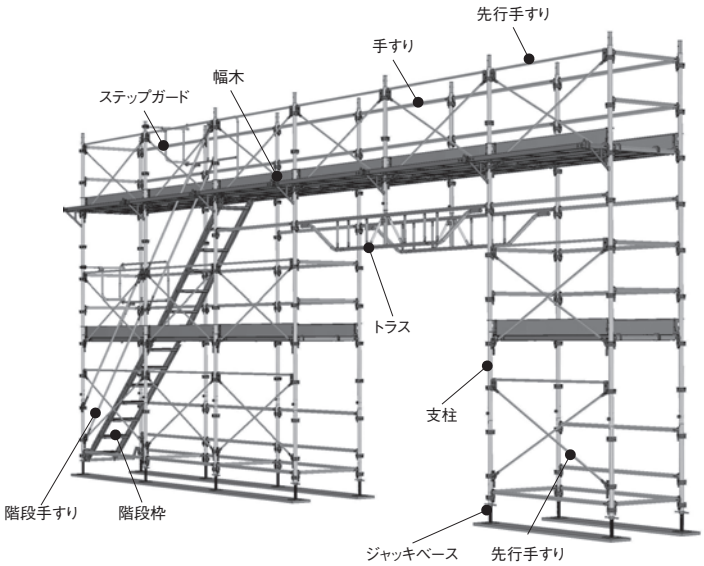


①差し込み
そのまま差し込むだけ!
クサビの介助は不要です。

②たたく
1回たたくだけ!
優れた緊結性能があります。

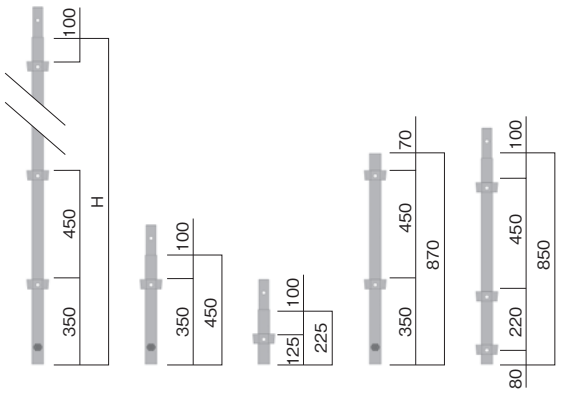
作業性、信頼性、静粛性の抜きんでたクサビシステムです。

使用部材



●支　柱

鋼管：STK500- φ 48.6 × 2.4

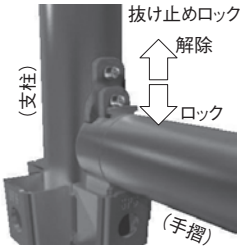


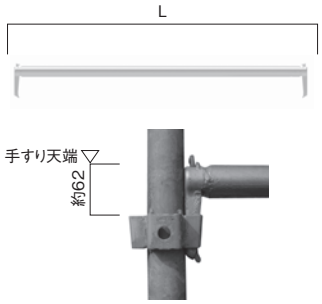
SPA-36 ～ 09　SPA-045　SPA-0225　SPA-09U　SPA-085N

部材名称	品　番	H（mm）	コマ数	重量（kg）
支　柱	SPA-36	3,600	8	13.6
	SPA-27	2,700	6	10.2
	SPA-18	1,800	4	6.9
	SPA-135	1,350	3	5.6
	SPA-09	900	2	3.7
	SPA-045	450	1	2.1
	SPA-0225	225	1	1.4
頭切り支柱	SPA-09U	870	2	3.7
根がらみ支柱	SPA-085N	850	3	3.8

●手すり

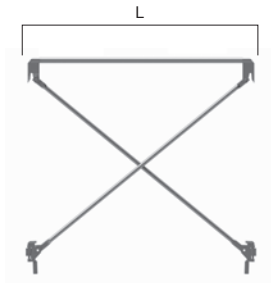
鋼管：STK400- φ 42.7 × 2.4

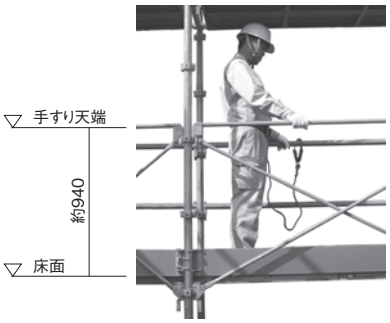




部材名称	品　番	L（mm）	重量（kg）
手すり	SPC-1829	1,829	4.7
	SPC-1524	1,524	4.0
	SPC-1219	1,219	3.3
	SPC-914	914	2.7
	SPC-610	610	2.0
	SPC-305	305	1.3

●先行手すり

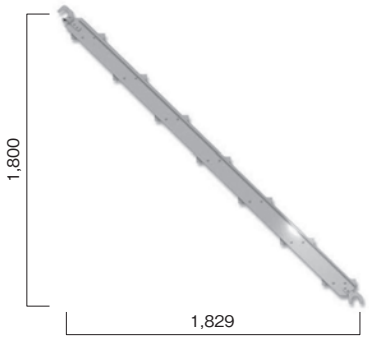




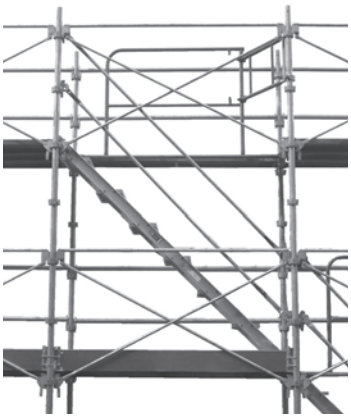
部材名称	品　番	L（mm）	重量（kg）
先行手すり	SPX-1829	1,829	7.7
	SPX-1524	1,524	6.8
	SPX-1219	1,219	6.0
	SPX-914	914	5.1
	SPX-610	610	4.4

●階段枠・階段手すり

アルミ階段枠 SPH-18…12.4kg

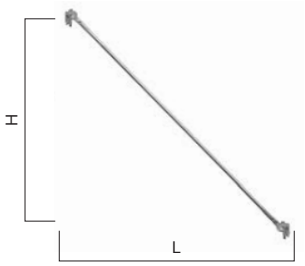


ステップガード SPH-18G…15.6kg



階段斜め手すりは
『プレス SPL-18N 』を2段使用する。

●ブレス

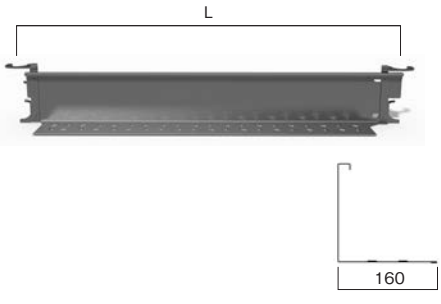


部材名称	品　番	L(mm)	H(mm)	重量(kg)
ブレス	SPL-18N	1,829	1,800	4.0
	SPL-15N	1,524	1,350	3.5
	SPL-12N	1,219	900	2.7
	SPL-09N	914	900	2.4

●兼用幅木

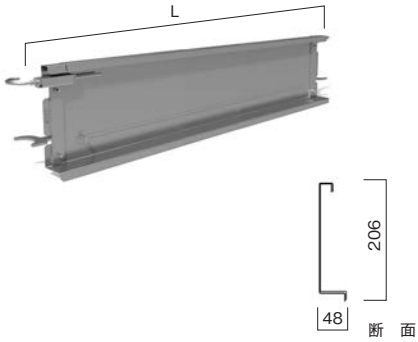
PAT,P
インチ、メーター兼用 φ 48.6、φ 42.7 兼用

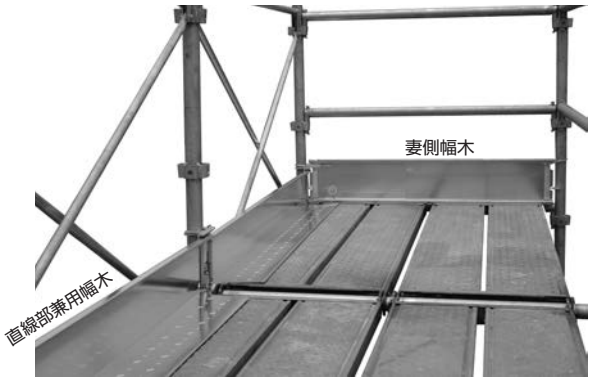
直線部用



部材名称	品　番	L(mm)	重量(kg)
直線部兼用幅木	TU-18K	1,800 ～ 1,829	5.8
	TU-15K	1,500 ～ 1,524	5.0
	TU-12K	1,200 ～ 1,219	4.1
	TU-09K	900 ～ 914	3.3
	TU-06K	600 ～ 610	2.4
妻　側兼用幅木	TU-0609K	600 ～ 914	3.4
	TU-1215K	1,200 ～ 1,524	5.6

妻側用

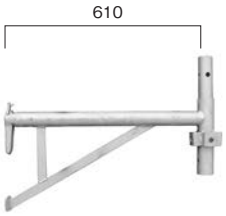




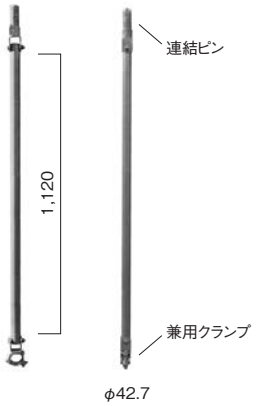
●ブラケット・方杖

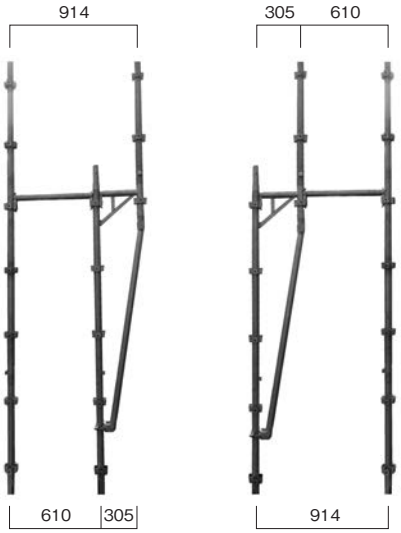
張出ブラケット SPB-305K…2.3kg

張出ブラケット SPB-610K…3.1kg



張出方杖 SPB-H…4.7kg

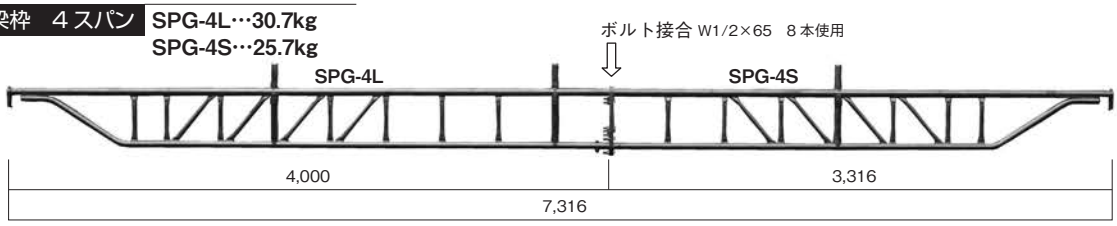




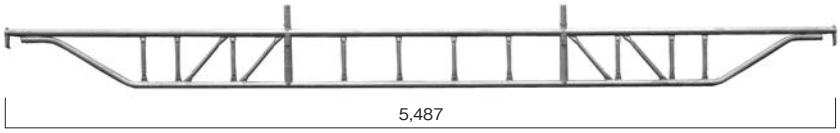
拡幅前幅 ≧ 拡幅後幅 × 60% であること

●梁 枠

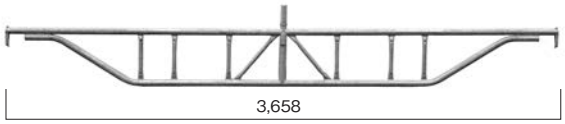
梁枠　４スパン　SPG-4L…30.7kg
SPG-4S…25.7kg



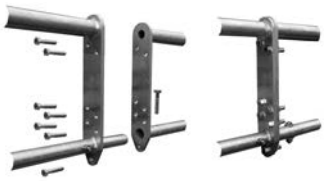
梁枠　３スパン　SPG-3…37.8kg



梁枠　２スパン　SPG-2…22.3kg

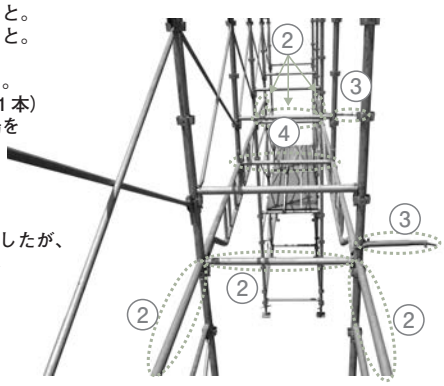


４スパン接合部

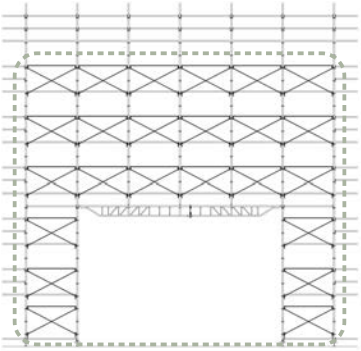


①開口高さは３層以下で使用すること。
②梁枠支持部の外方１スパンには、布材を設けること。
　また、梁枠支持部の梁間方向にも布材を設けること。
③梁枠支持部には、壁つなぎを設けること。
④２枚の梁枠間には、梁間方向に布材を設けること。
　（４スパン用３本、３スパン用２本、２スパン用１本）
⑤梁枠を支持する支柱から外方に１スパン以上足場を設けること。
⑥開口部を設ける場合、事前に強度計算を行い、足場の高さと安全性を確認すること。

＊ 梁枠は床面レベルより１コマ下に取付ける基準でしたが、床面レベルにも取付可となりました。その際には②の桁行方向の布材は不要です。



４スパンの場合



梁枠上及び両サイド１スパンは、梁枠上３層まで表裏に先行手すりを設置すること。

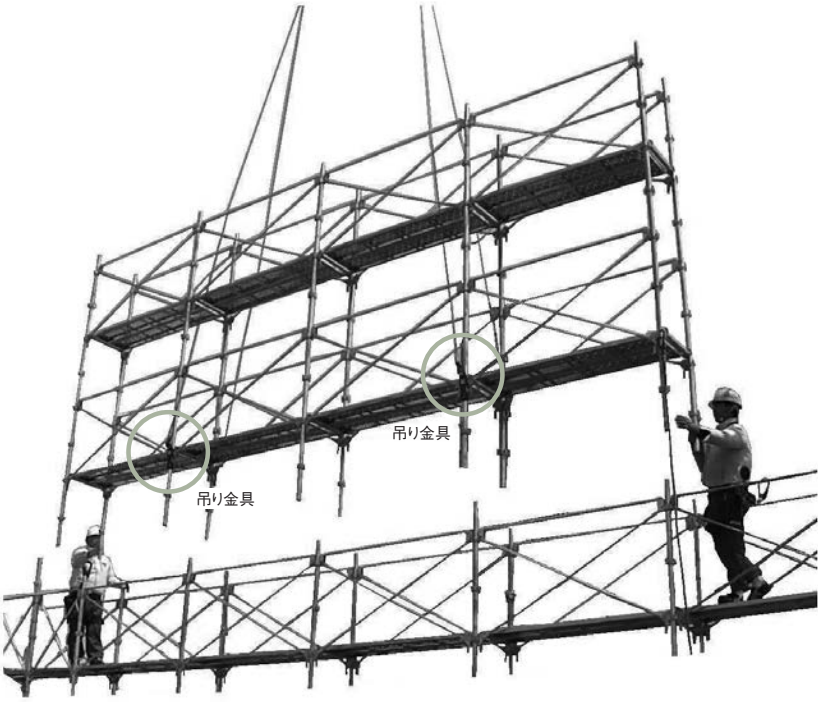
大組・大払

吊金具　SPHB-1.0T…1.24kg

許容荷重 200kg

４台セットで使用すること。

２層５スパン（1,219 幅）の足場を吊り上げ可能です。



許容荷重・使用基準

許容荷重

部材名	許容荷重	備　考
支柱　梁間方向 W1,219mmの場合	12.5 kN/本	
支柱　梁間方向 W914、610mmの場合	13.0 kN/本	
張出ブラケット　L=305mm	6.0 kN/本	中央部
張出ブラケット　L=610mm	4.5 kN/本	中央部
方　杖	3.4 kN/本	
先行手すり	3.0 kN/本	許容水平抵抗力
4スパン用梁枠	27.0 kN/本	
4スパン用梁枠上の支柱	9.0 kN/本	
3スパン用梁枠	18.0 kN/本	
3スパン用梁枠	9.0 kN/本	
2スパン用梁枠	11.4 kN/本	
2スパン用梁枠	11.4 kN/本	

積載荷重

①作業床の最大積載荷重は、次表に示した値以下とすること。

梁間方向の支柱間隔		1層1スパンの積載荷重	1スパンの積載荷重合計（同時2層）
400mm以上914mm未満		250 kg	500 kg
914mm以上	連続スパン載荷の場合	250 kg	500 kg
	1スパンおき載荷の場合	400 kg	800 kg

②最大積載荷重は、床付き布枠の許容積載荷重を超えないこと。
③梁枠で構成された開口部上方の足場の全積載荷重は 800kg 以下とすること。
④１スパンの間の最大の積載は同時２層までとする。
⑤足場には最大積載荷重を表示すること。

使用基準

（１）部材の一時的取外し
作業のためにやむを得ず一部の部材を一時的に取り外すときは、取り外した状態における足場の強度が著しく低下しないことを確認するとともに、当該作業が完了した後は、直ちに現状に復すること。

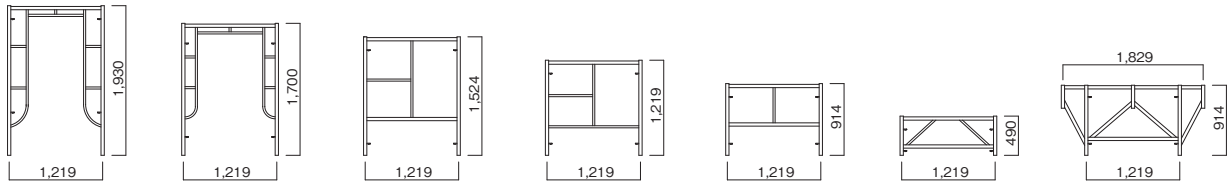
（２）くさび緊結式足場用先行手すり
くさび緊結式足場用先行手すりの使用は次によること。
①足場組立て及び解体時において、最上段に設置された先行手すりは、荷取り作業時においても取り外さない。
②足場の組立て又は解体作業が行われている足場最上層においては、先行手すりに安全帯を取付けて作業する。
③安全帯取付け設備として使用する場合は以下による。
　ａ．安全フックは、先行手すりに掛け、１本に１人の使用とする。
　ｂ．作業床から地面又は衝突のおそれのある機械設備等までの垂直距離が２層以上で使用する。

（３）最大積載荷重
足場には、見やすいところに最大積載荷重を表示すること。

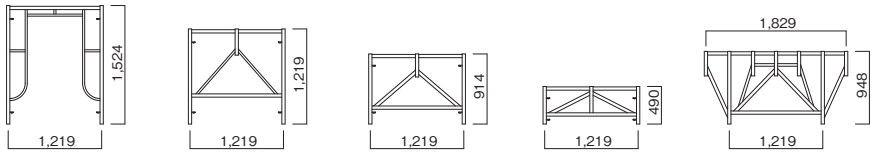
（４）点検
足場は、労働安全衛生規則第 567 条に従って、各々の立場で適正な時期・内容で点検を行うこと。

建枠一覧

【1200巾】

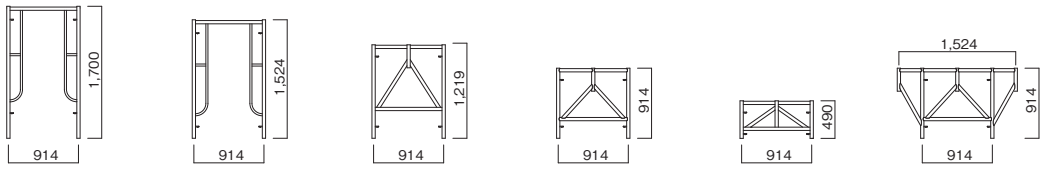


A-4064　A-4055BC　A-405L　A-404L　A-403L　A-417　BS-1890



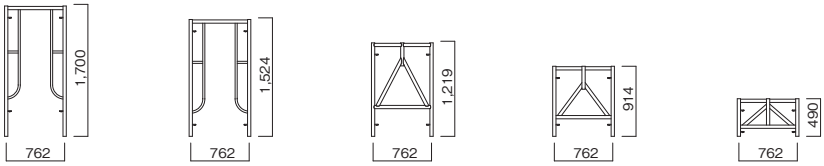
A-405　BS-1212　BS-1290　BS-417　BS-1890S

【900巾】



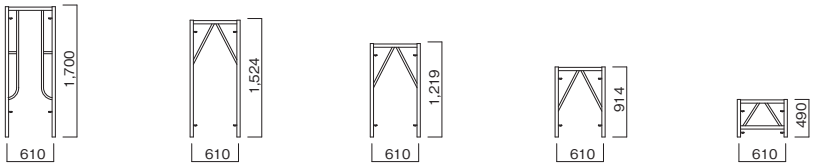
A-3055AC　A-305　BS-9112　BS-9190　BS-317　BS-1590

【760巾】



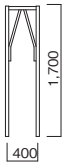
A-2655AC　A-205　BS-204　BS-203　BS-217

【600巾】



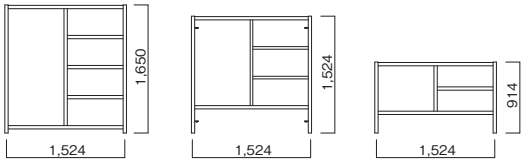
A-6155AC　A-6115　A-6112　A-6190　A-617

【400巾】



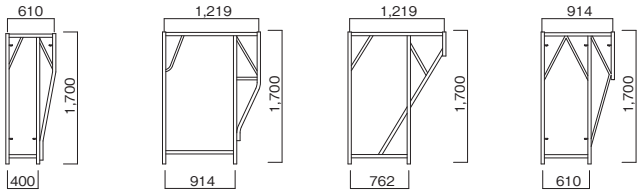
A-4017SC

【1500巾ローリングタワー用】



A-2A　A-2　A-4

【ブラケット枠（拡幅枠）】



A-4017　A-3017　A-2617　A-6117

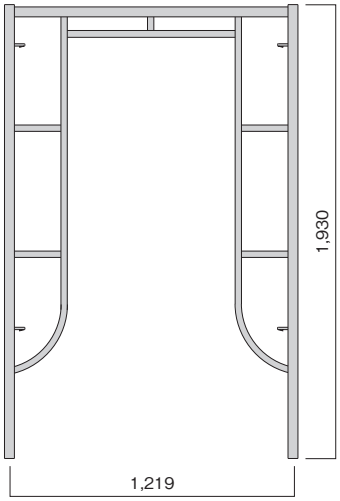
建枠各種

詳しくはこちらを
ご覧下さい

●1219巾

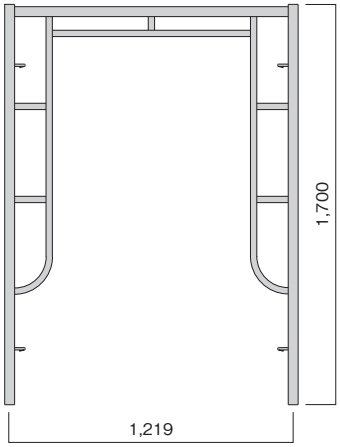
鳥居型建枠 A-4064

●許容重量…39.2kN
●製品重量…20.5kg



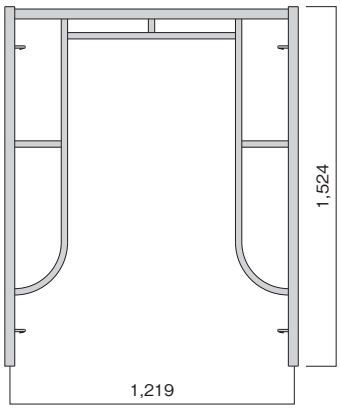
鳥居型建枠 A-4055BC

●許容重量…42.7kN
●製品重量…16.7kg



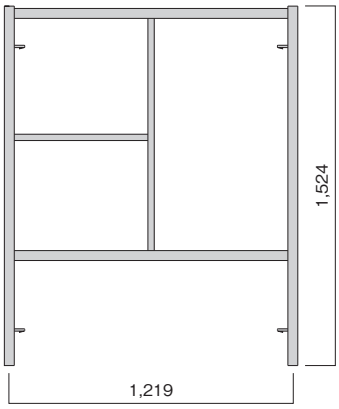
鳥居型建枠 A-405

●許容重量…49.0kN
●製品重量…15.6kg



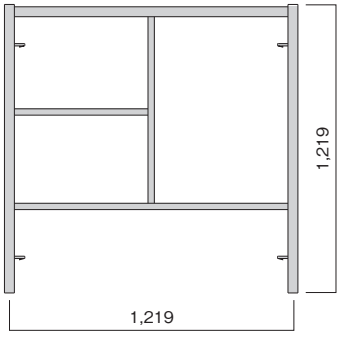
梯子型建枠 A-405L

●許容重量…49.0kN
●製品重量…15.8kg



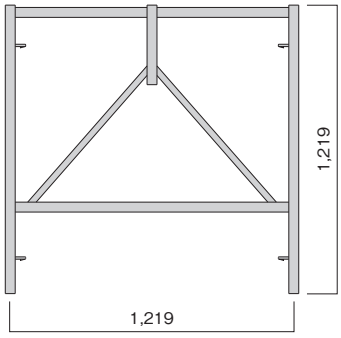
梯子型建枠 A-404L

●許容重量…49.0kN
●製品重量…14.0kg



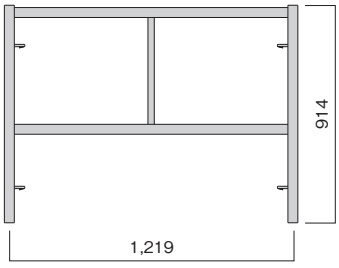
支保工ブラケット建枠 BS-1212

●許容重量…49.0kN
●製品重量…16.5kg



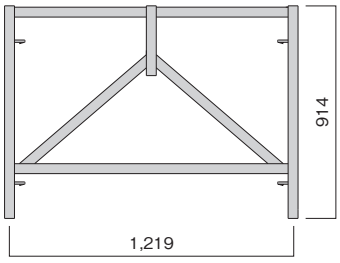
梯子型建枠 A-403L

●許容重量…49.0kN
●製品重量…11.0kg



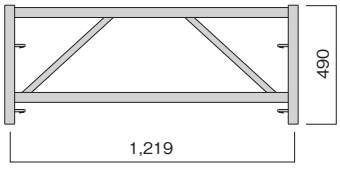
支保工ブラケット枠 BS-1290

●許容重量…49.0kN
●製品重量…14.2kg



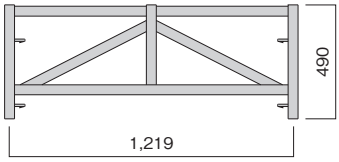
調整枠 A-417

●許容重量…49.0kN
●製品重量…9.1kg



支保工ブラケット建枠 BS-417

●許容重量…49.0kN
●製品重量…11.9kg

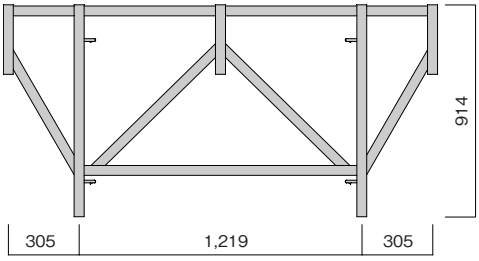


■筋違適合表

建枠高さ	スパン				
	1,829	1,524	1,219	914	610
1,930	A-14	A-11	A-13	A-012	A-12
1,700					
1,524					
1,219	A-19	A-18	A-012	A-19S	A-09
914	A-08	A-9	A-12	A-09	A-08S
490	A-16S	A-16	A-16A	A-16B	A-16C

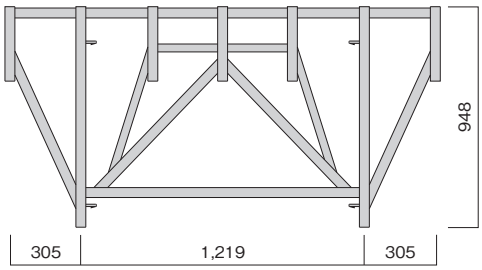
支保工ブラケット建枠 BS-1890

●許容重量…49.0kN
●製品重量…19.8kg



支保工ブラケット建枠 BS-1890S

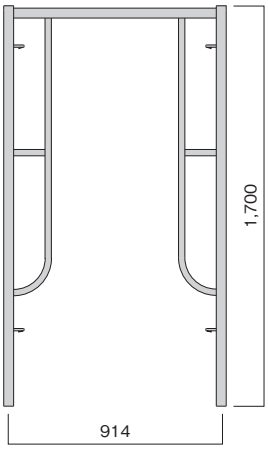
●許容重量…49.0kN
●製品重量…24.0kg



●914巾

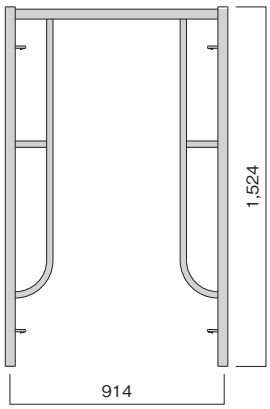
鳥居型建枠 A-3055AC

●許容重量…42.7kN
●製品重量…13.6kg



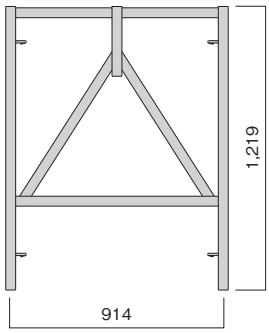
鳥居型建枠 A-305

●許容重量…49.0kN
●製品重量…13.0kg



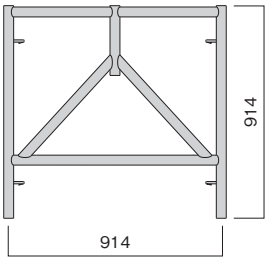
支保工ブラケット建枠 BS-9112

●許容重量…49.0kN
●製品重量…14.5kg



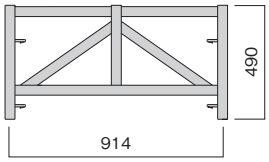
支保工ブラケット建枠 BS-9190

●許容重量…49.0kN
●製品重量…12.1kg



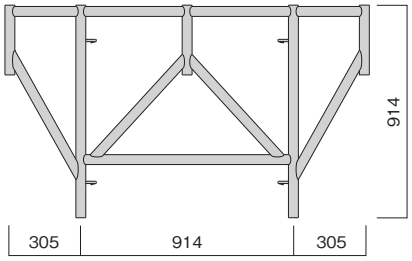
支保工ブラケット建枠 BS-317

●許容重量…49.0kN
●製品重量…8.5kg



支保工ブラケット建枠 BS-1590

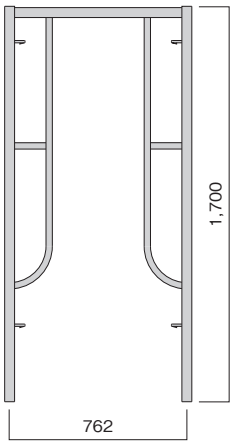
●許容重量…49.0kN
●製品重量…17.0kg



●762巾

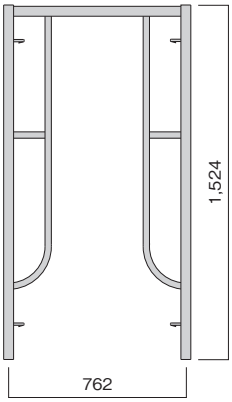
鳥居型建枠 A-2655AC

●許容重量…34.3kN
●製品重量…11.6kg



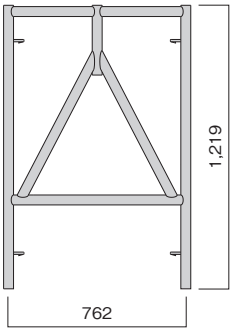
鳥居型建枠 A-205

●許容重量…34.3kN
●製品重量…10.8kg



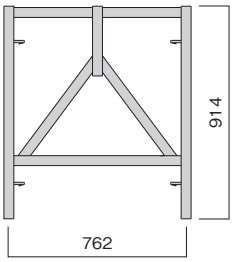
支保工ブラケット建枠 BS-204

●許容重量…34.3kN
●製品重量…12.1kg



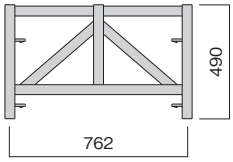
支保工ブラケット建枠 BS-203

●許容重量…34.3kN
●製品重量…10.1kg



支保工ブラケット建枠 BS-217

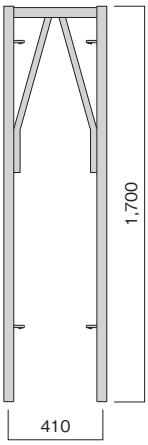
●許容重量…34.3kN
●製品重量…7.1kg



●400巾

簡易建枠 A-4017SC

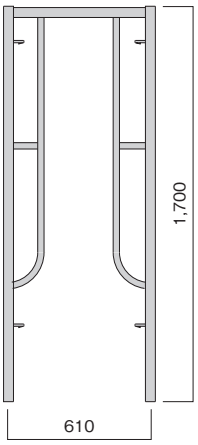
●許容重量…34.3kN
●製品重量…10.0kg



●610巾

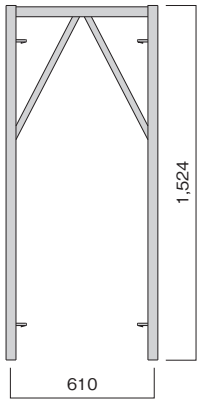
鳥居型建枠 A-6155AC

●許容重量…34.3kN
●製品重量…11.3kg



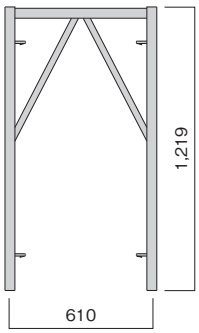
簡易建枠 A-6115

●許容重量…34.3kN
●製品重量…9.6kg



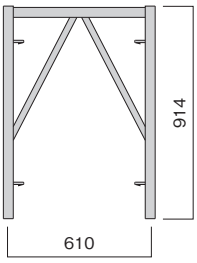
簡易建枠 A-6112

●許容重量…34.3kN
●製品重量…8.5kg



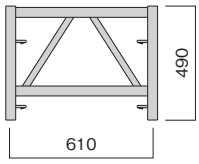
簡易建枠 A-6190

●許容重量…34.3kN
●製品重量…7.5kg



調整枠 A-617

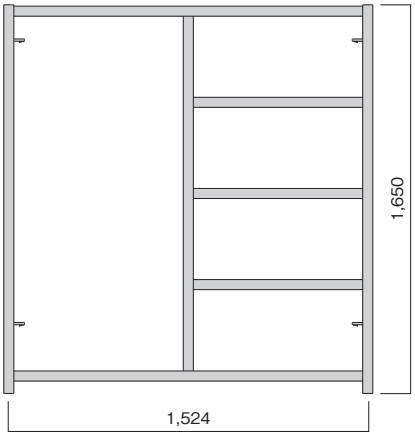
●許容重量…34.3kN
●製品重量…6.8kg



●1524巾（ローリングタワー用）

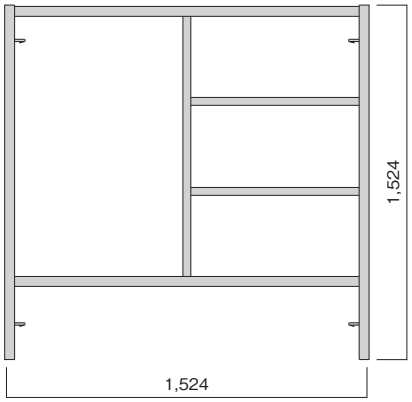
梯子型建枠 A-2A

●許容重量…23.0kN
●製品重量…20.0kg



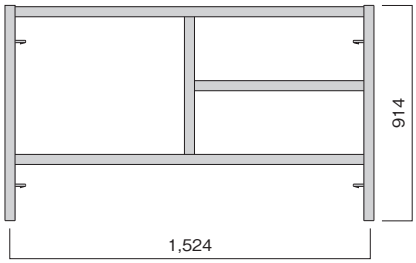
梯子型建枠 A-2

●許容重量…23.0kN
●製品重量…19.0kg



梯子型建枠 A-4

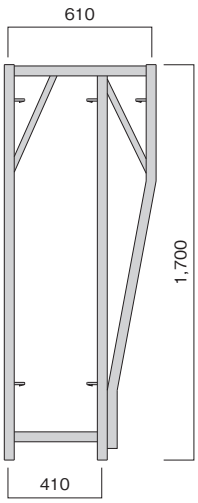
●許容重量…23.0kN
●製品重量…15.0kg



●ブラケット枠

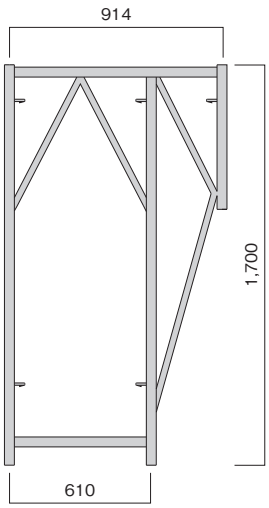
ブラケット枠 A-4017

●許容重量…29.3kN
●製品重量…16.1kg



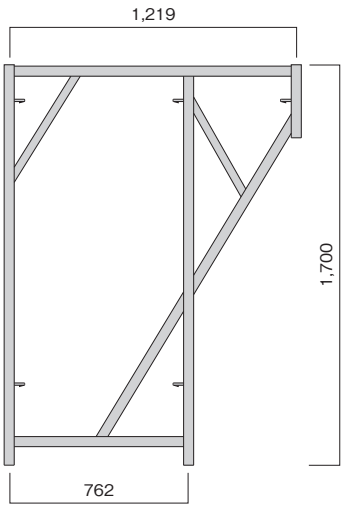
ブラケット枠 A-6117

●許容重量…29.3kN
●製品重量…17.0kg



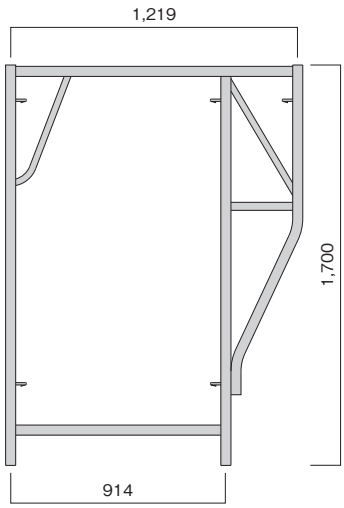
ブラケット枠 A-2617

●許容重量…29.3kN
●製品重量…19.0kg



ブラケット枠 A-3017

●許容重量…29.3kN
●製品重量…19.0kg

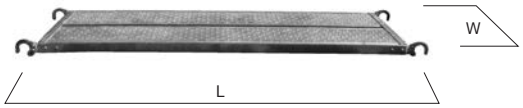


■筋違適合表

建枠高さ	スパン				
	1,829	1,524	1,219	914	610
1,930	A-14	A-11	A-13	A-012	A-12
1,700					
1,524					
1,219	A-19	A-18	A-012	A-19S	A-09
914	A-08	A-9	A-12	A-09	A-08S
490	A-16S	A-16	A-16A	A-16B	A-16C

鋼製布板／ガードステージ／開閉布板／コーナーステップ

●鋼製布板



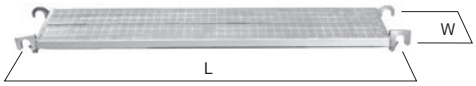
■インチサイズ

品　番	L(㎜)	W(㎜)	重量(kg)	許容荷重(kN)
BKN-6	1,829	500	15.6	2.45
BKN-5	1,524		13.5	
BKN-4	1,219		11.3	
BKN-3	914		9.1	
BKN-2	610		6.9	
BKN-8	1,829	400	15.0	1.47
BKN-624	1,829	240	8.5	1.18
BKN-524	1,524		7.4	
BKN-424	1,219		6.3	
BKN-324	914		5.2	
BKN-224	610		4.1	

■メーターサイズ

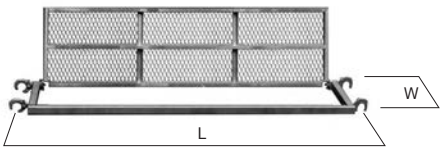
品　番	L(㎜)	W(㎜)	重量(kg)	許容荷重(kN)
BKN-18	1,800	500	16.0	2.45
BKN-15	1,500		13.5	
BKN-12	1,200		11.0	
BKN-09	900		9.0	
BKN-1824	1,800	240	8.5	1.18
BKN-1524	1,500		7.4	
BKN-1224	1,200		6.0	
BKN-0924	900		5.0	

●ガードステージ



品　番	L(㎜)	W(㎜)	重量(kg)
BKN-6S	1,829	500	16.8
BKN-8S		400	16.0
BKN-18S	1,800	500	16.8

●開閉布板

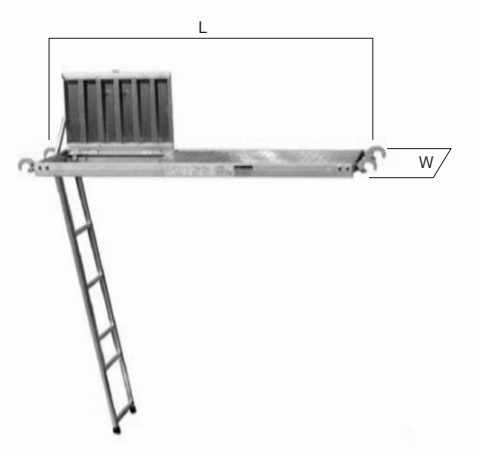


品　番	L(㎜)	W(㎜)	重量(kg)
BKN-6K	1,829	500	16.0

●コーナーステップ

品　番	L(㎜)	W(㎜)	重量(kg)
BKN-46	650	430	8.0
BKN-26		240	5.2

●タラップ付布板(アルミ)



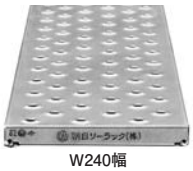
品　番	L(㎜)	W(㎜)	重量(kg)
HFPL-5018A	1,829･1,800	500	15.0
HFPL-15A	1,524		15.4
HFPL-12A	1,219		14.1
HFPL-09A	914		12.5

HFPL-15A、12A、09A に関して
タラップ部(HFPL-TA)は別管理になっております
重量はタラップを含めた数値です

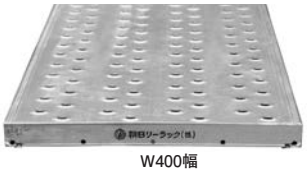
足場板／プランキージョイント

詳しくはこちらをご覧下さい

●アルセーフ（アルミ足場板）



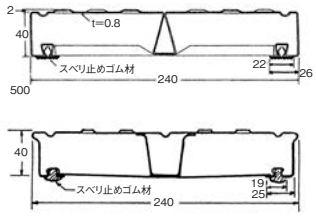
W240幅



W400幅

品番	寸法（mm）	許容荷重（kN）	たわみ（cm）	安全率	重量（kg）
FB-1224	29×240×1,200	2.35	―	―	3.0
FB-2024	29×240×2,000	1.18	2.3	3.0	5.1
FB-3024	29×240×3,000	1.18	2.3	3.0	7.6
FB-4024	29×240×4,000	1.18	2.3	3.0	10.1
FB-1240	33×402×1,200	2.35	―	―	4.8
FB-2040	33×402×2,000	2.16	1.8	2.5 以上	8.0
FB-3040	33×402×3,000	2.16	1.8	2.5 以上	12.0
FB-4040	33×402×4,000	2.16	1.8	2.5 以上	16.0

●鋼製足場板



表面処理：溶融亜鉛メッキ

品番	寸法（mm）	許容荷重（kN）	たわみ（cm）	安全率	重量（kg）
LPO-40	40×240×4,000	1.47	9（1.47kN 時）	2.5 以上	15.0
LPO-30	40×240×3,000				11.5
LPO-20	40×240×2,000				8.0
LPO-12	40×240×1,200				5.0

※支点間隔1,800mmの場合において

●プランキージョイント

（PAT）

プランキージョイント TK-251…1.02kg　TK-252…0.48kg　許容荷重：1.32kN（ジョイント部）

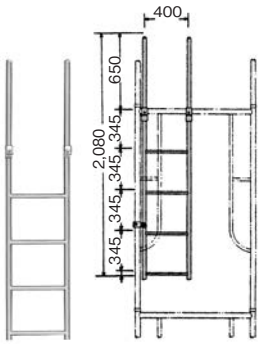
安全ゴムバンド TK-800W（販売）

鋼製、木製足場板の押えバンドとして最適です。

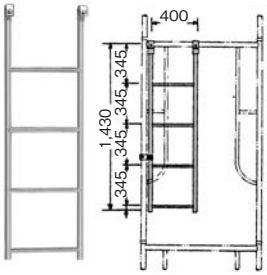
●タラップ

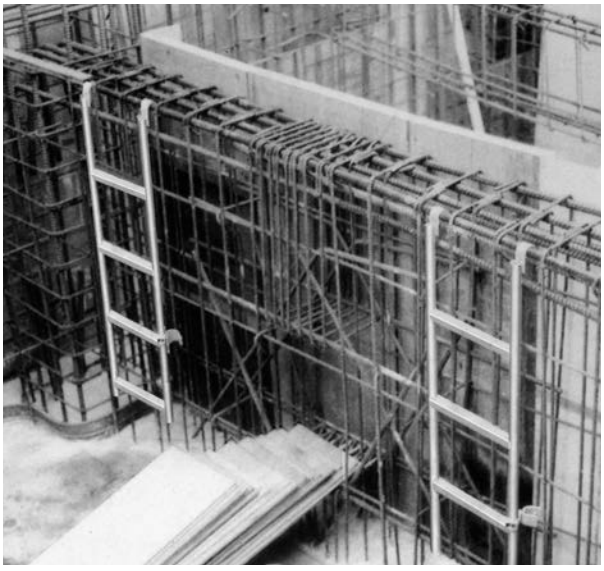
1）各サイズの枠組足場の登りタラップ（梯子）にご使用できます。
2）ローリングタワーの登りタラップにご使用できます。
3）地中梁、配筋組立工事の登りタラップにご使用できます。

タラップ TH-208 / TH-208K …13.0kg



タラップ TH-143 / TH-143K …11.0kg

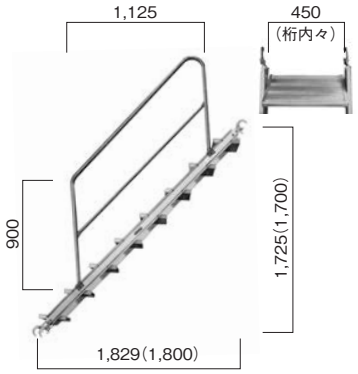




階段枠

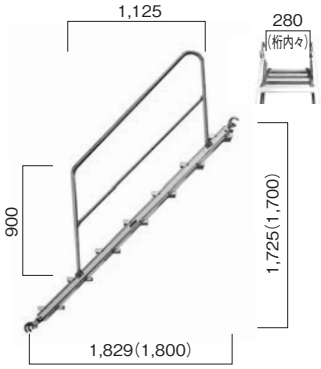
詳しくはこちらを
ご覧下さい

階　段 K-3055SA…13.6kg（アルミ）
手　摺 TS-1817T…6.7kg（鋼製）
AT-2…5.7kg



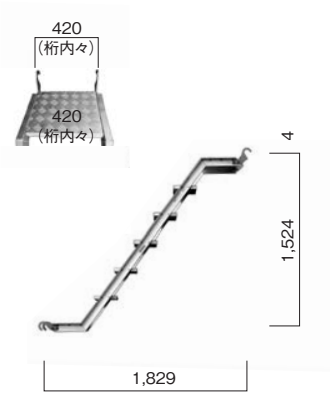
※メーター・インチサイズ兼用

階　段 K-6155SA…10.9kg（アルミ）
手　摺 TS-1817T…6.7kg（鋼製）
AT-2…5.7kg

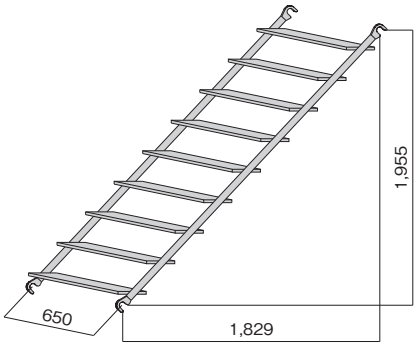


※メーター・インチサイズ兼用

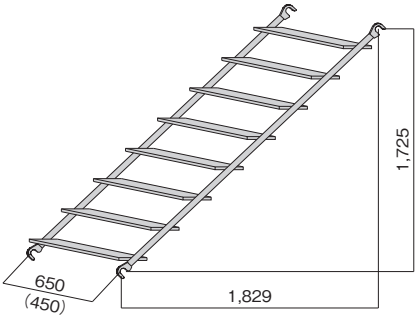
階　段 K-3615SA…14.0kg（アルミ）
K-3615S…23.0kg（鋼製）



階　段 K-4064S…39.9kg（鋼製）
手　摺 AT-2…5.7kg

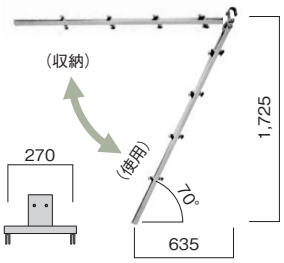


階　段 K-4055S…36.2kg（鋼製）
（K-3055S…29.3kg）（鋼製）
手　摺 AT-2…5.7kg

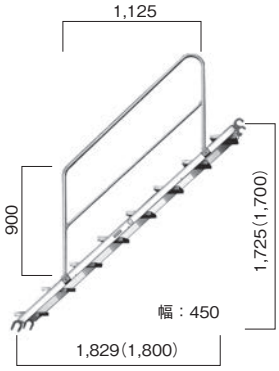


＊（　　）はK-3055Sのサイズ

（PAT.）
フォールディングステップ K-4017S…9.7kg

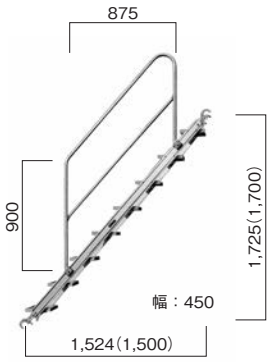


階　段 TS-1817K…14.2kg（アルミ）
手　摺 TS-1817T…6.7kg（鋼製）
AT-2…5.7kg



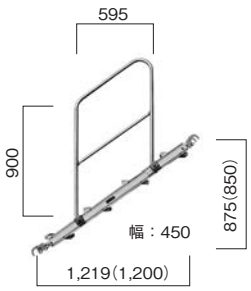
※メーター・インチサイズ兼用

（PAT.）
階　段 K-1517SA…13.5kg（アルミ）
TS-1517K…22.9kg（鋼製）
手　摺 TS-1517T…6.4kg（鋼製）



※メーター・インチサイズ兼用

階　段 TS-1285KA…8.9kg（アルミ）
TS-1285K…13.9kg（鋼製）
手　摺 TS-1285T…5.2kg（鋼製）

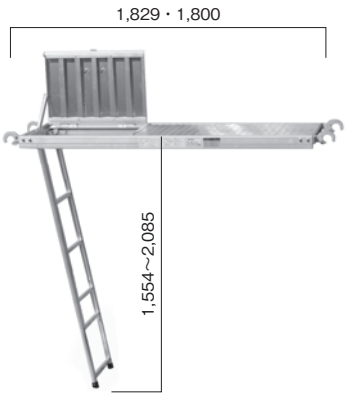


※メーター・インチサイズ兼用

タラップ付布板(アルミ)／ガードステージ／フォールディングステップ

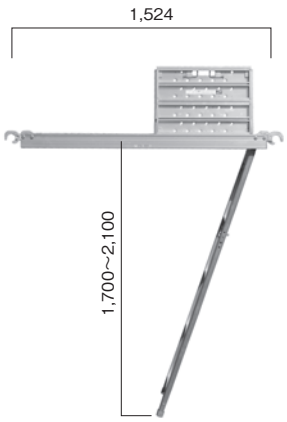
●タラップ付布板(アルミ)

HFPL-5018A…15.0kg
インチ・メーター兼用



タラップ取付方向：固定

HFPL-15A … 11.31kg(布板)
HFPL-TA … 4.09kg(タラップ)



HFPL-12A … 10.01kg(布板)
HFPL-TA … 4.09kg(タラップ)

HFPL-09A … 8.41kg(布板)
HFPL-TA … 4.09kg(タラップ)

インチサイズ専用　タラップ取付方向：4 方向

●ガードステージ

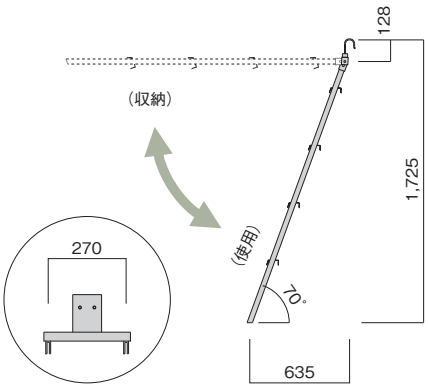
1）階段周りの落下防止と安全手摺枠に兼用となります。
2）幅 400 ～ 500 でインチサイズ（1,829）、メーターサイズ（1,800）をご指定下さい。
3）爪部の下に付いているボルトは確実に締めて下さい。

品番	長さ（mm）	幅（mm）	重量（kg）
BKN-8S	1,829	400	16.0
BKN-6S		500	16.8
BKN-18S	1,800		

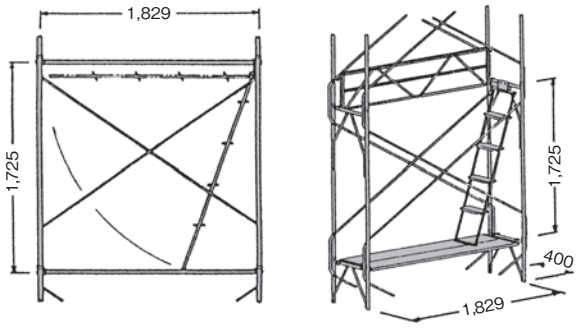
●フォールディングステップ

(PAT.)

フォールディングステップ　K-4017S…9.7kg



ガードステージ／フォールディングステップ



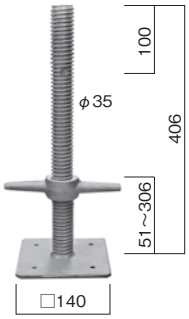
タラップ付布板（アルミ）

ジャッキ類

詳しくはこちらをご覧下さい

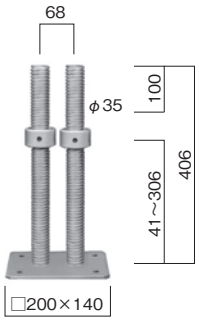
ジャッキベース A-752D…4.0kg

※ D ＝溶融亜鉛メッキ



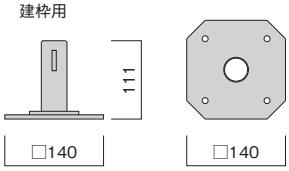
ダブルジャッキ A-752W…7.2kg

溶融亜鉛メッキ



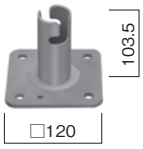
ベース A-15…1.1kg

建枠用

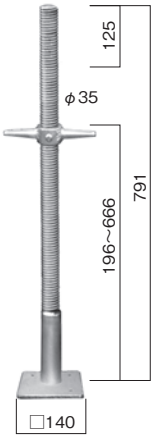


単管ベース TB-15D…0.75kg

溶融亜鉛メッキ

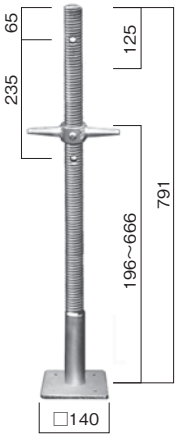


ロングジャッキベース RT-5S…6.3kg



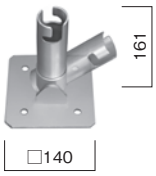
ロングジャッキベース RT-5…5.5kg

ローリングタワー用

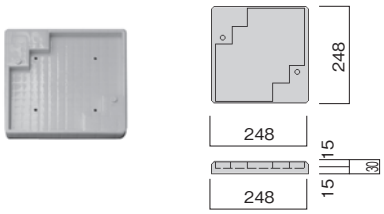


単管自在ベース P-15D…1.45kg

溶融亜鉛メッキ

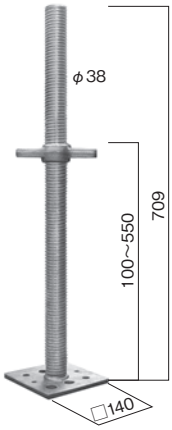


エコラクプレート PP-25K…0.44kg



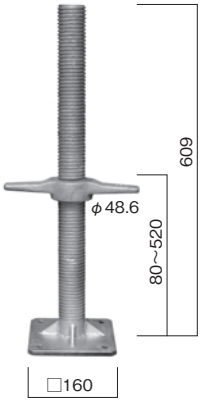
ベーススピンドル ST-70BD…5.0kg

ショアリングタワー用　溶融亜鉛メッキ



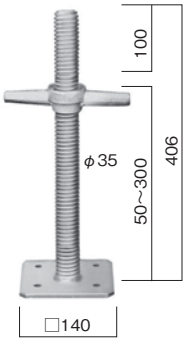
ライトジャッキ SR-600…6.5kg

100 角パイプ用　溶融亜鉛メッキ



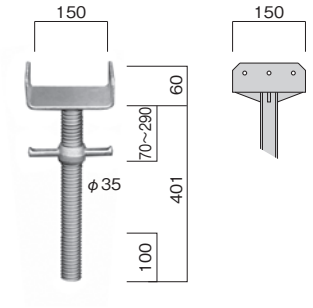
TS ジャッキ TS-752TD…4.0kg

溶融亜鉛メッキ

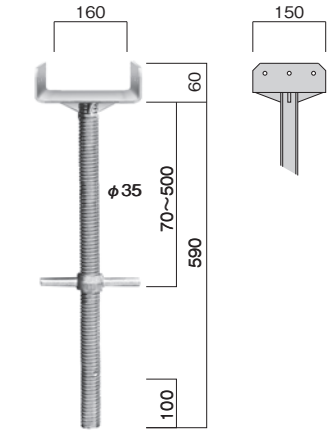


大引受ジャッキ A-752HTD…5.3kg

※ D ＝溶融亜鉛メッキ

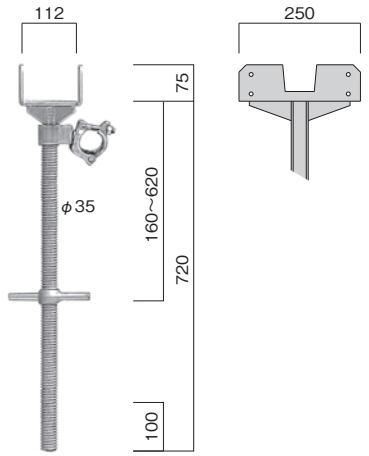


ロング大引受ジャッキ A-752HS…6.5kg



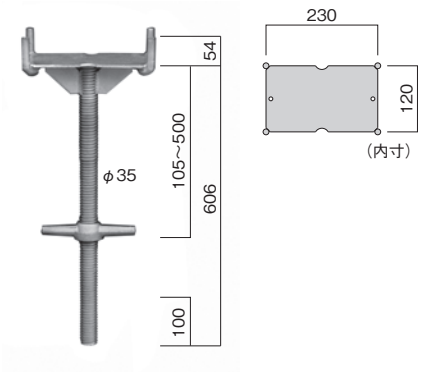
100角用大引受ジャッキ A-753HS…9.2kg

溶融亜鉛メッキ



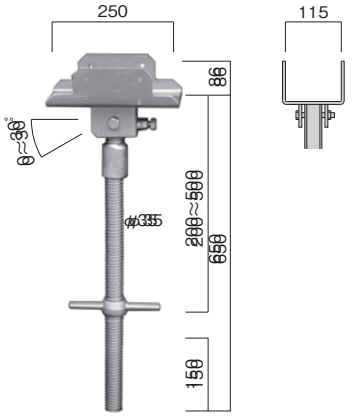
大引受ジャッキ TS-HJD…8.1kg

溶融亜鉛メッキ



自在大引受ジャッキ P-752HS…8.5kg

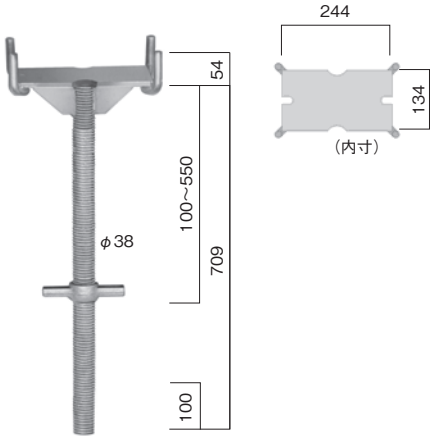
溶融亜鉛メッキ



ヘッドスピンドル ST-70HD…5.5kg

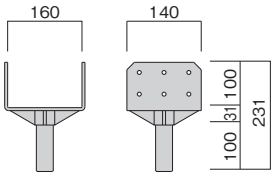
ショアリングタワー用

溶融亜鉛メッキ

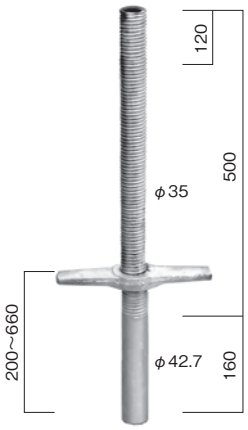


大引受 A-15HD…2.7kg

溶融亜鉛メッキ

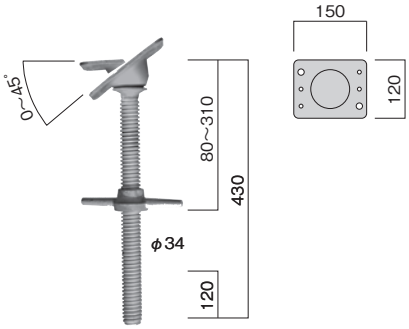


棒ジャッキ A-75T…5.0kg



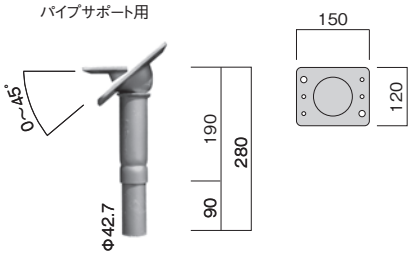
ピボットジャッキ A-14P…4.1kg

溶融亜鉛メッキ



ピボット A…1.68kg

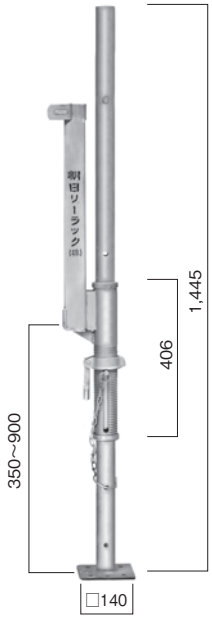
パイプサポート用



ジャッキサポート JS-9N…9.8kg

φ48.6、42.7 兼用
支保工での使用不可

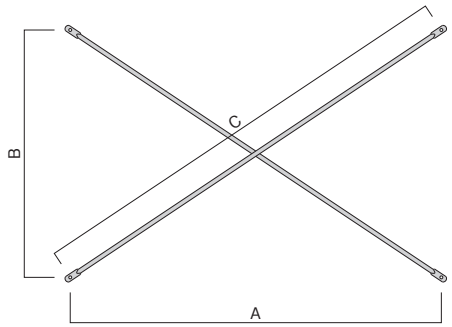
溶融亜鉛メッキ



筋違／ラックブレース／下さん／二段手摺

詳しくはこちらをご覧下さい

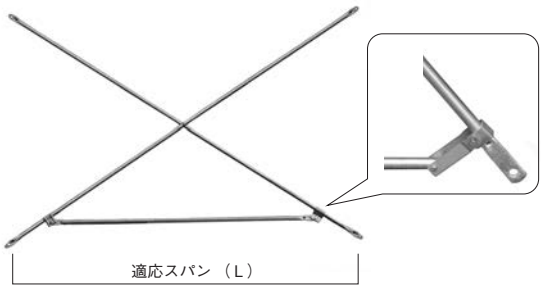
●筋違



建枠高さ	スパン				
	1,829	1,524	1,219	914	610
1,930	A-14	A-11	A-13	A-012	A-12
1,700					
1,524					
1,219	A-19	A-18	A-012	A-19S	A-09
914	A-08	A-9	A-12	A-09	A-08S
490	A-16S	A-16	A-16A	A-16B	A-16C

品番	A	B	C	重量（kg）
A-14	1,829	1,219	2,198	4.2
A-11	1,524		1,952	3.7
A-13	1,219		1,724	3.3
A-19	1,829	914	2,045	3.9
A-18	1,524		1,777	3.4
A-012	1,219		1,524	3.0
A-19S	914		1,293	2.5
A-08	1,829	610	1,928	3.7
A-9	1,524		1,642	3.1
A-12	1,219		1,363	2.7
A-09	914		1,099	2.1
A-08S	610		863	1.7
A-16S	1,829	280	1,850	3.6
A-16	1,524		1,549	3.0
A-16A	1,219		1,251	2.4
A-16B	914		956	1.9
A-16C	610		671	1.4

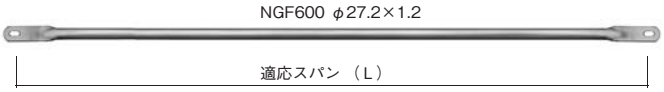
●ラックブレース



品番	適応スパン（㎜）	重量（kg）
A-14GN	1,829	5.9
A-11GN	1,524	5.3
A-13GN	1,219	4.6
A-012GN	914	3.9
A-12GN	610	3.5

●下さん

微細粒熱延鋼板を使用した薄肉パイプですので、
筋違、アームロックとの併用ができます。



品番	適応スパン（㎜）	重量（kg）
RU-18K	1,800 ～ 1,829	1.46
RU-15K	1,500 ～ 1,524	1.22
RU-12K	1,200 ～ 1,219	0.99
RU-09K	900 ～ 914	0.75
RU-06K	600 ～ 610	0.52

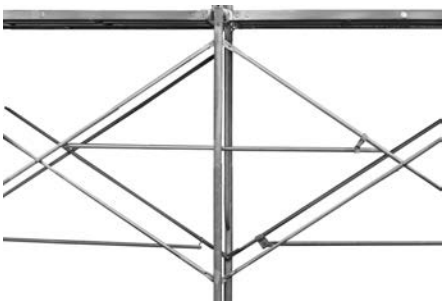
●二段手摺

ラックレール RR-18…2.1kg

1,829、1,800 スパン兼用タイプ

ラックレール調整用 RR-0615…2.2kg

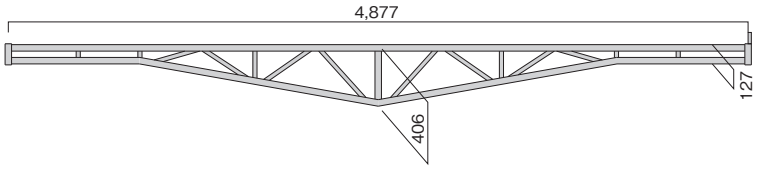
ラックレール端部用 RR-09T…1.4kg



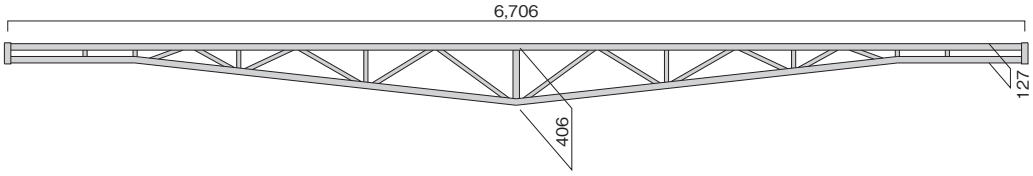
梁　枠

詳しくはこちらを
ご覧下さい

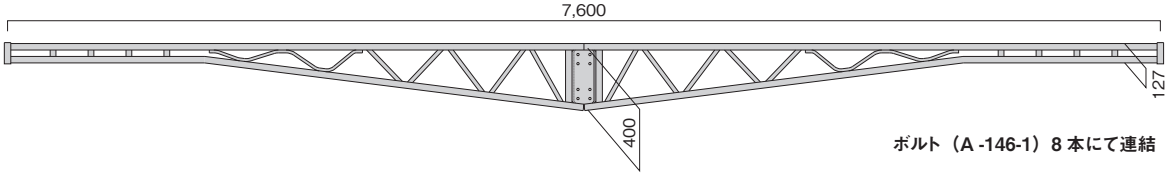
2スパン用 A -148…28.3kg



3スパン用 A -147…38.8kg

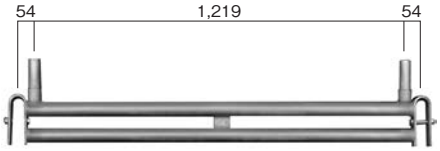


4スパン用 A -146…60.0kg

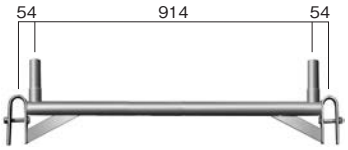


ボルト（A -146-1）8本にて連結

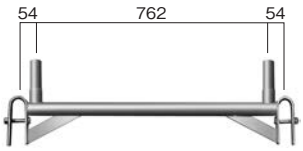
梁渡し A -150…8.8kg



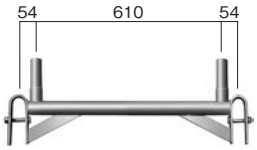
梁渡し A -152…5.4kg



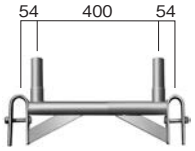
梁渡し A -151…5.1kg



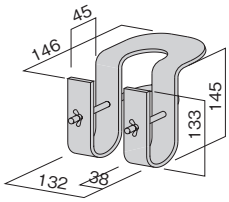
梁渡し A -153…4.9kg



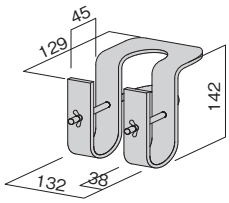
梁渡し A -154…4.0kg



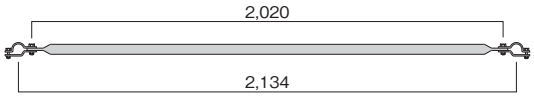
隅梁受 A -1453…2.8kg



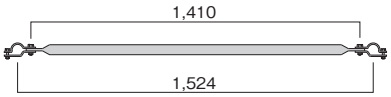
隅梁受 A -1453N…2.8kg（610・400幅枠用）



方　杖 A -1471…6.2kg（3・4スパン用）



方　杖 A -1475…4.8kg（2スパン用）



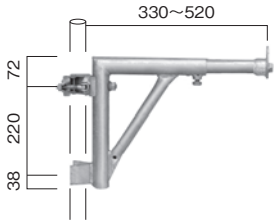
AB型伸縮ブラケット／跳ね上げブラケット

詳しくはこちらをご覧下さい

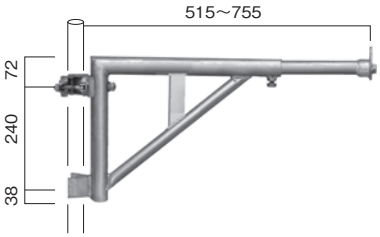
●AB型伸縮ブラケット

許容荷重：2.45kN

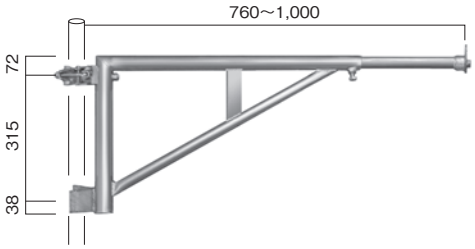
AB型伸縮ブラケット AB-300N…3.4kg



AB型伸縮ブラケット AB-500N…4.5kg



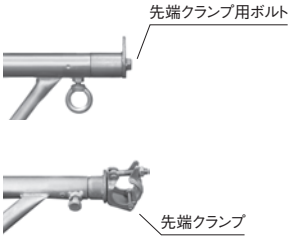
AB型伸縮ブラケット AB-750N…5.6kg



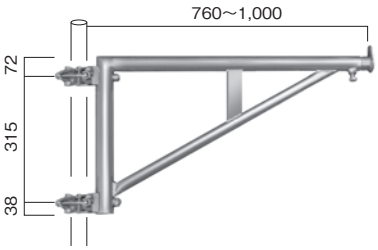
先端クランプ AB-CD…0.36kg
亜鉛溶融メッキ

注）取付クランプの締付けトルクは350kgcmです。
締めすぎますとクランプに異常が発生する可能性があります。

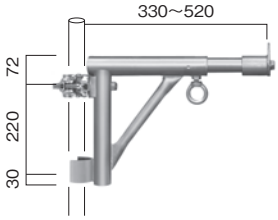
ボルトはブラケット本体に付属してます



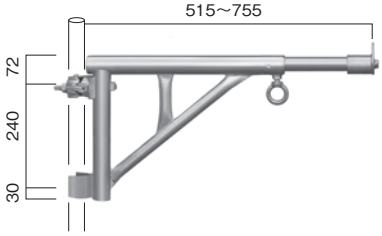
AB型伸縮ブラケット AB-750NW…6.3kg



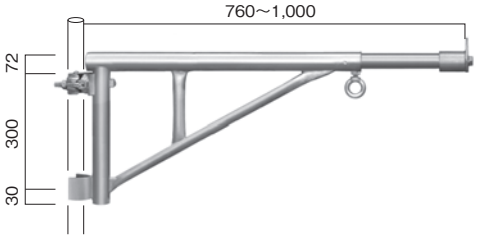
AB型伸縮ブラケット AB-300S…3.4kg



AB型伸縮ブラケット AB-500S…4.5kg

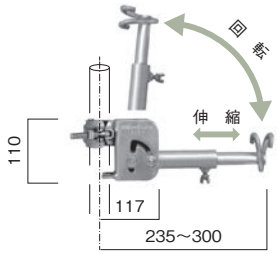


AB型伸縮ブラケット AB-750S…5.6kg

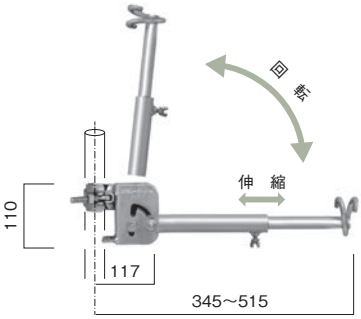


●跳ね上げブラケット

跳ね上げブラケット ABH-235…1.8kg



跳ね上げブラケット ABH-320…3.2kg

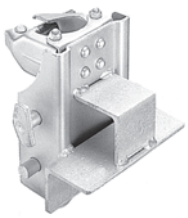


注）取付クランプの締付けトルクは 3.43kNcm です。
締めすぎますとクランプに異常が発生する可能性があります。
跳ね上げブラケットに足場板等を敷いて作業床、通路にすることは禁止いたします。

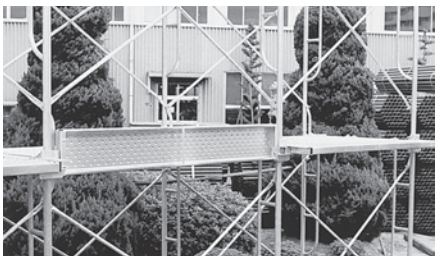
●クイックボード

中央集中荷重：0.98kN
等分布荷重：1.96kN

金　具 QB-K…1.9kg



ボード（スパン1,829mm用） QB-624…8.5kg

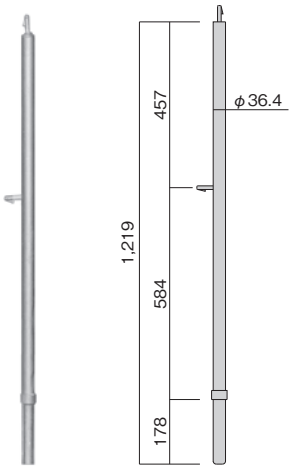


手摺柱／手摺／アームロック／手摺類

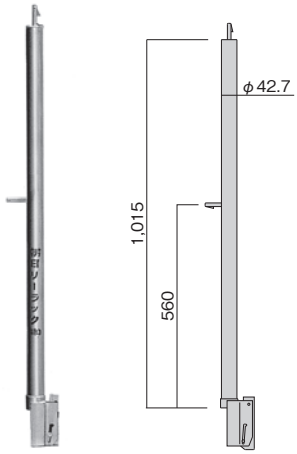
詳しくはこちらをご覧下さい

●手摺柱

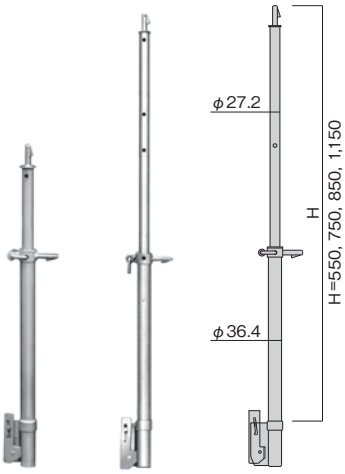
手摺柱 A-25…2.7kg
建枠の連結ピンを抜いて差し込みます
抜け止めにはアームロックを使用します



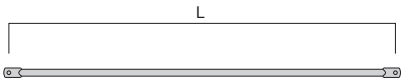
ロッキングポスト LP-1000…3.2kg
建枠の連結ピンに被せて設置します
コッターを打込むことにより固定します



伸縮手摺柱 RT-6…3.5kg（ローリング用）
建枠の連結ピンに被せて設置します
コッターを打込むことにより固定します

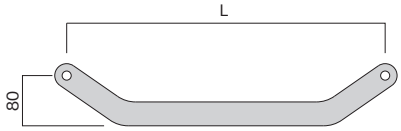


●手摺



品番	L（mm）	重量（kg）	色
A-26S	400	0.55	黄
A-28S	610	0.81	緑
A-30S	762	0.95	黄
A-27S	914	1.15	緑
A-29S	1,219	1.47	橙
A-32S	1,524	1.87	緑
A-31S	1,829	2.33	緑

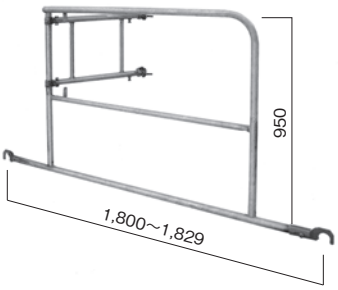
●アームロック



品番	L（mm）	重量（kg）	建枠梯子枠+梯子枠
A-125	331.5	0.34	梯子枠+梯子枠
A-123	419.0	0.37	A-4055B ＋ A-2617
A-127A	507.5	0.44	A-4055B ＋ A-3055A
A-126	739.0	0.62	A-3055A ＋ A-25
A-128	826.0	0.69	A-4055B ＋ A-25

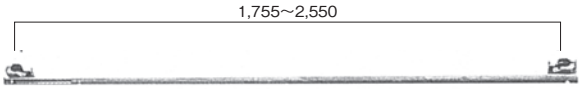
●ステップガード

ステップガード HRF-912…15.6kg
適応建枠巾：900 ～ 1,219



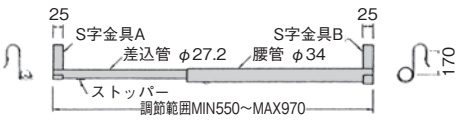
●階段用手摺

階段用手摺 AT-2…5.7kg

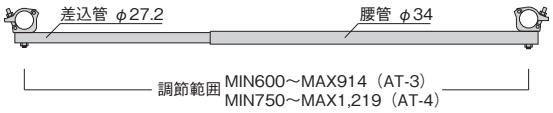


●コーナーガード

コーナーガード SGRF…2.1kg



コーナーガード AT-3…2.5kg　AT-4…2.9kg



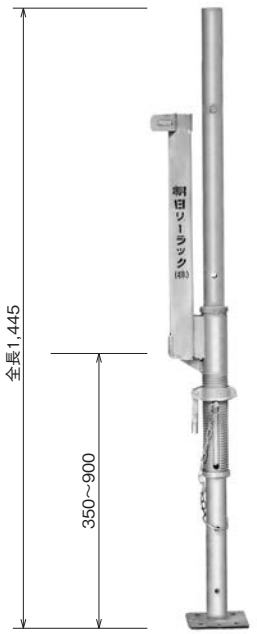
ジャッキサポート／連結ピン／建枠減幅金具

詳しくはこちらをご覧下さい

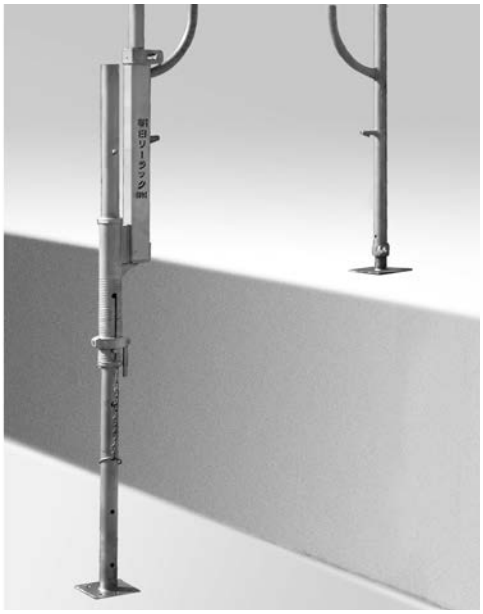
●ジャッキサポート

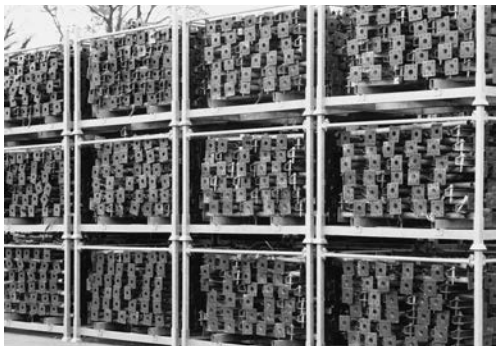
許容荷重：19.6kN

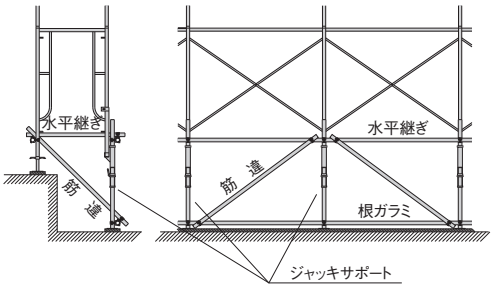
ジャッキサポート JS-9N…9.8kg



ジャッキベースで対応できない段差を解消します。
φ48.6、φ42.7 兼用



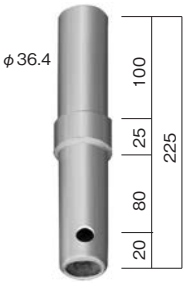




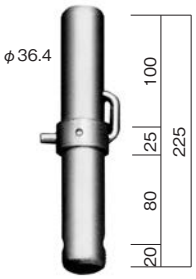
変位防止のため、根ガラミ、水平継ぎ、筋違を単管パイプとクランプで設けて下さい。
支保工での使用不可。

●連結ピン

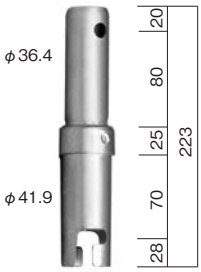
連結ピン A-20A…0.53kg



連結ピン CP-20…0.60kg



異径ジョイント A-48J42D…0.78kg

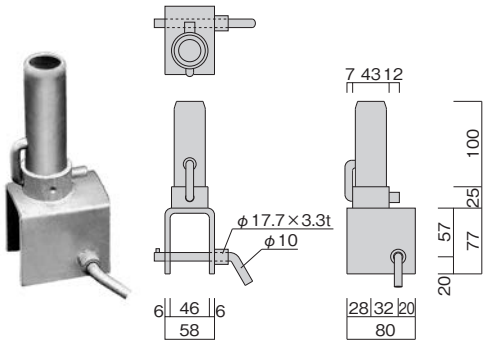


筋違止めクランプ A-112D…0.4kg

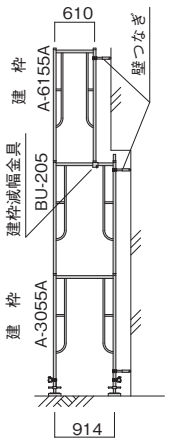
φ42.7、φ48.6 兼用クランプ

●建枠減幅金具

建枠減幅金具 BU-205CP…1.2kg（ピン付）



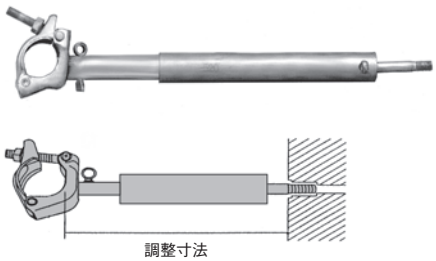
建枠減幅金具 BU-205…1.2kg



壁つなぎ

詳しくはこちらをご覧下さい

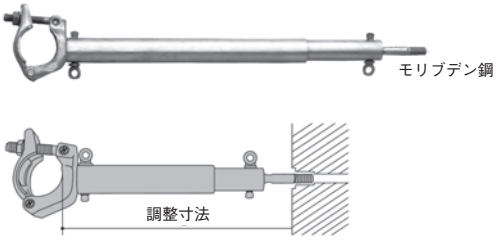
AMY タイプ（W1/2）



品　番	調整寸法（mm）	重量（kg）
AMY15-20	150～200	0.8
AMY19-25（NK19-25）	190～250	1.0
AMY24-34（NK24-34）	240～340	1.1
AMY33-52（NK33-52）	330～520	1.4
AMY50-72（NK50-72）	500～720	1.8
AMY70-92（NK70-92）	700～920	2.0
AMY90-112（NK90-112）	900～1,120	2.2

※溶融亜鉛メッキ仕様
※許容荷重 4.41kN・認定品

ASM タイプ（W1/2）



品　番	調整寸法（mm）	重量（kg）
ASM-1416	145～165	0.8
ASM-1619	160～195	0.9
ASM-1925	190～250	1.0
ASM-2434	240～340	1.1
ASM-3352	330～520	1.5
ASM-5072	500～720	2.1
ASM-7092	700～920	2.5
ASM-90112	900～1,120	2.9

※溶融亜鉛メッキ仕様・モリブデン鋼製の先端ボルトを採用
※許容荷重 4.41kN・認定品

●アンカー・インサート

打込み式アンカー　販売品（W1/2）

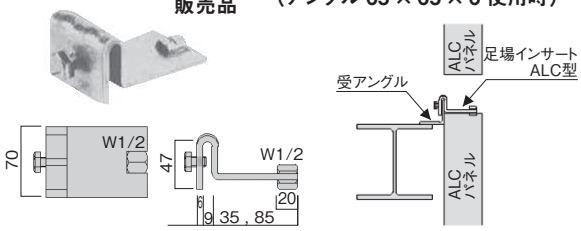
H-ANKAA-4

足場インサート C 型　販売品（W1/2）

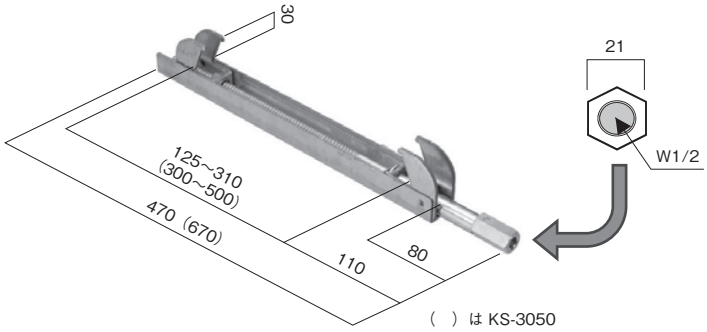
INSERT-4

足場インサート ALC 型　許容荷重 300kg

販売品　（アングル 65 × 65 × 6 使用時）



●壁つなぎ控え（鉄骨用）



品　番	適応つかみ幅（mm）	フランジ厚（mm）	重量（kg）	許容荷重（kg）
KS-1331	125～310	30	1.50	450
KS-3050	300～500	30	1.92	

引張試験

No.	最大荷重（kN）/本	備　考
1	18.0	中 断
2	18.0	中 断
3	18.0	中 断

圧縮試験

No.	最大荷重（kN）/本	備　考
1	13.0	壁つなぎボルト変形
2	14.3	壁つなぎボルト変形
3	13.5	壁つなぎボルト変形

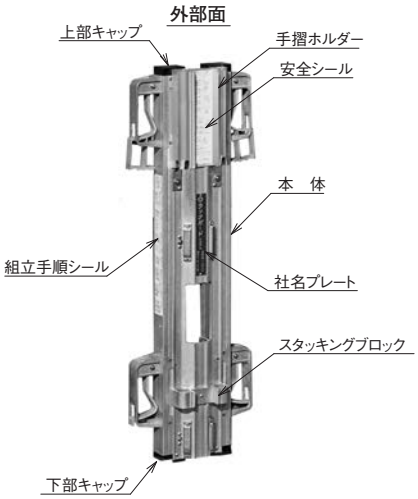
ラックガードシステム（スライド式アルミ先行手摺）（PAT.）

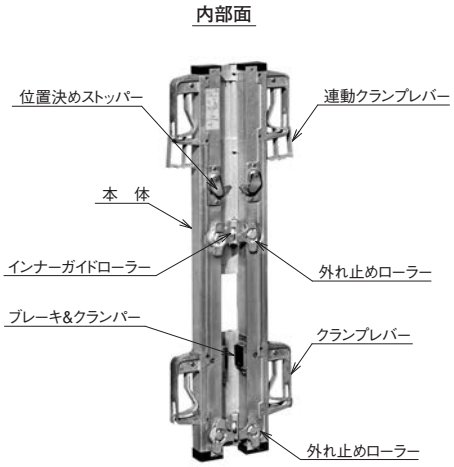
詳しくはこちらをご覧下さい

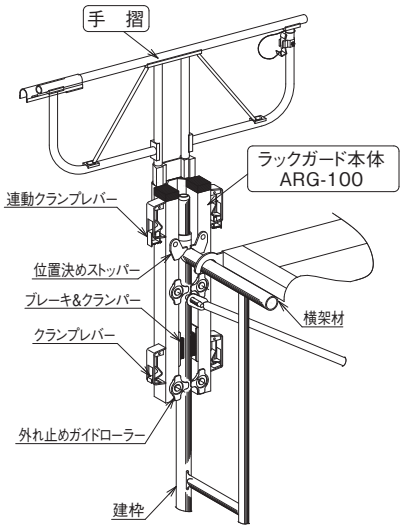
手摺先送り方式　　仮設工業会単品承認

1 層分のラックガード ARG-100 と手摺があれば、足場の組立・解体作業が安全に行なえ経済的です。
ラックガード ARG-100 の上下移動や固定は 1 人で簡単に行なえ、組立・解体に工具は不要です。
ラックガード ARG-100 の移動の際、もしも手を離しても瞬時にブレーキ装置が作動し落下することはありません。
外れ止めガイドローラーが常に建枠支柱を保持する構造の為、建枠横架材通過時にも脱落しません。
ラックガード ARG-100 は建枠支柱に沿って上下移動するため、建枠やピッチのズレにも全く関係なくスムーズに使用できます。
従来品では出来なかった建枠端部やコーナー部も手摺の組み合わせでカバーすることができます。

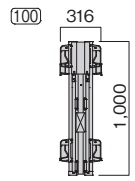
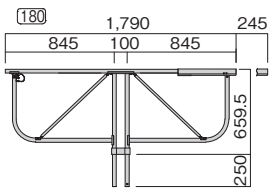
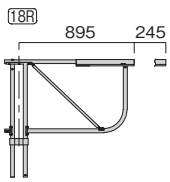
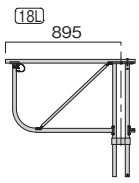
ラックガード本体　ARG -100

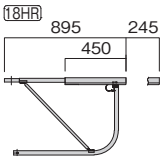
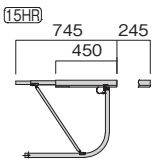
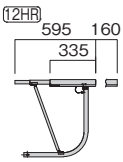
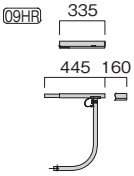
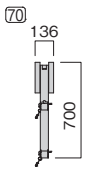
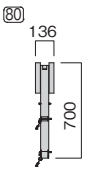






モジュールはインチサイズ、（）内はメーターサイズを示します。

ラックガード本体		標準手摺	支柱付役物手摺		役物連結支柱	妻側役物連結支柱	妻側補助継ぎ手
品　番	ARG-100	ARG-180	ARG-18R	ARG-18L	ARG-01	ARG-01C	ARG-01J
重　量	8.6kg	5.3kg	3.9kg	3.5kg	2.2kg	2.5kg	0.25kg
モジュール	ー	1,829（1,800）用	1,829（1,800）用	1,829（1,800）用	平行連結用	妻側コーナー用	妻側連結用
							

役物手摺					特殊支柱	
品　番	ARG-18HR	ARG-15HR	ARG-12HR	ARG-09HR	ARG-70	ARG-80
重　量	1.95kg	1.75kg	1.5kg	0.88kg+0.3kg	4.0kg	4.0kg
モジュール	1,829（1,800）用	1,524（1,500）用	1,219（1,200）用	914（900）用／610（600）用	直交端部建枠用	平行端部建枠用
						

（注）連結ピンの形状によっては使用できない場合があります。

先行手すり枠（据置型）　ライフガード

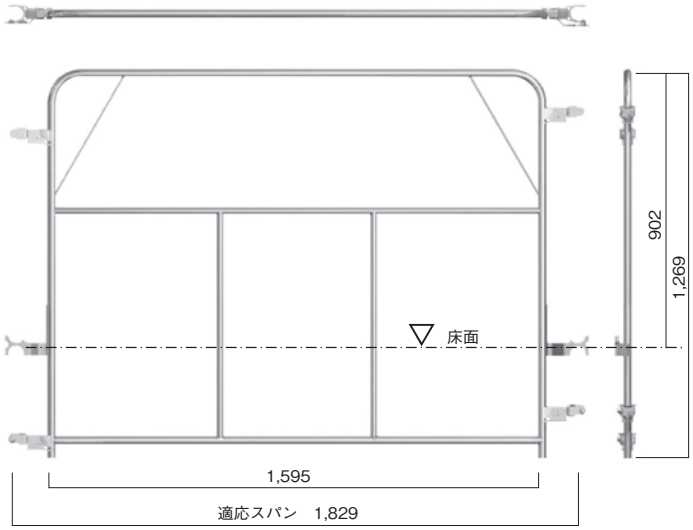
詳しくはこちらを
ご覧下さい

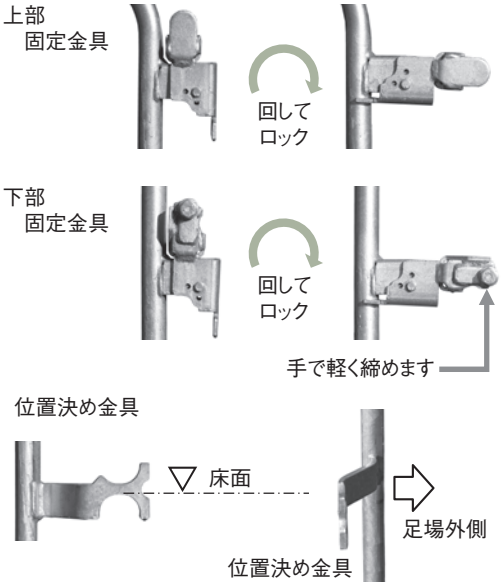
仮設工業会認定品
NETIS登録商品

独自の回転施工方式により、足場から乗り出しがなく安全な設置・解体作業を実現します。
ワンタッチ取付金具により、工具不要でスピーディーに作業できます。
鋼製なのに、簡単施工方式で、取付・撤去は簡単です。
鋼製だから、安全、安心、確実にサポート。万一の場合もしっかりガードします。

寸法・仕様

ライフガード　LG-1829…13.1 kg





組立手順

1

ライフガードを上下逆にした状態で、位置決め金具を横架材に掛けます。この時ライフガードの下部は、下層のライフガードの外になるようにします。

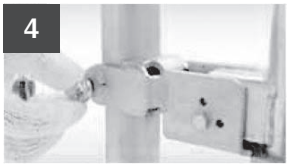
2

上下逆に仮置きしたライフガードの上下を持ち、手前に引きながらライフガードを反転させます。

3

下部金具を固定します。

4



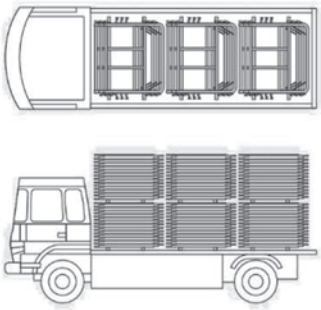
ボルトを手で軽く締めます。

5

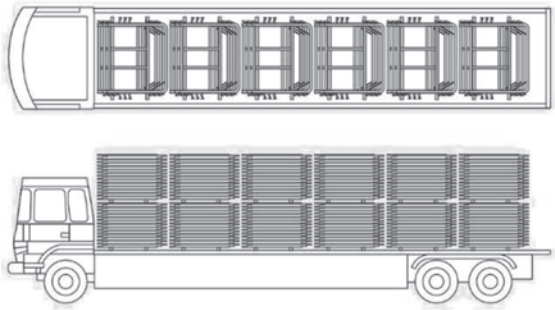
次の層の建枠が組みあがったら、上部金具を固定します。

梱包・運送

4ton 車…ユニック車：200 台　平車：240 台



10ton 車…ユニック車：400 台　平車：280 台



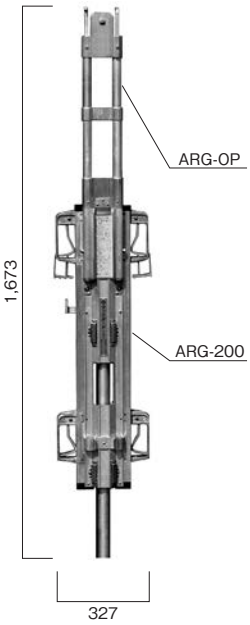
上記は一例です。実際の車輌の規格を確認してから積載して下さい。

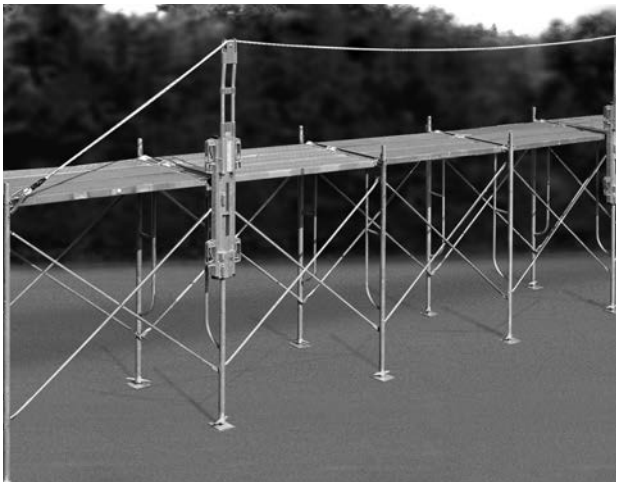
ラックガードシステム親綱支柱

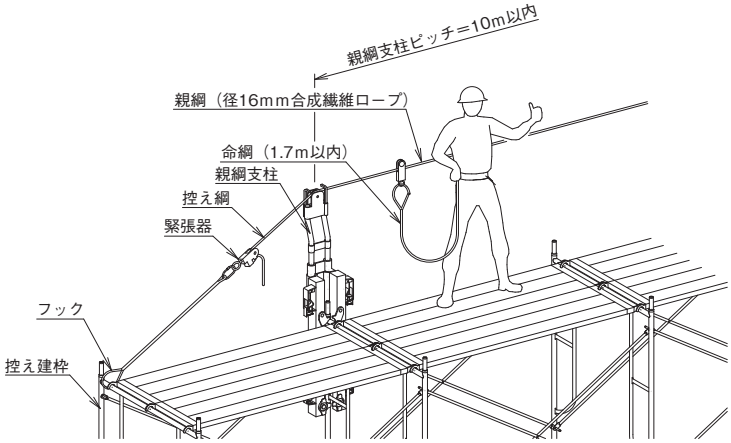
詳しくはこちらを
ご覧下さい

親綱支柱の上下移動はスライド式ですので、建枠から取り外すことなく１人で簡単に安全に行えます。
親綱支柱の移動の際、もし、手を離しても瞬時にブレーキ装置が作動し落下することはありません。
外れ止めガイドローラーが常に建枠支柱を保持する構造の為、建枠横架材通過時にも脱落しません。
親綱支柱は建枠支柱に沿って上下移動するため、建枠やピッチのズレにも全く関係なくスムーズに使用できます。

親綱支柱 ARG-200…8.8kg　ARG-OP…2.52kg　仮設工業会認定品







親綱緊張器 仮設工業会認定品

JK-F…1.1kg

JK-M…1.1kg

親　綱 仮設工業会認定品

品番	適応スパン（L）	重量（kg）	色
R16-6M	6m	1.5	緑
R16-8M	8m	1.8	赤
R16-10M	10m	2.1	灰
R16-12M	12m	2.4	青
R16-15M	15m	2.8	黒
R16-20M	20m	3.6	橙
R16-25M	25m	4.3	茶

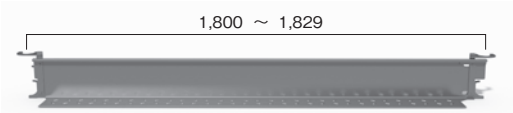
幅　木

詳しくはこちらを
ご覧下さい

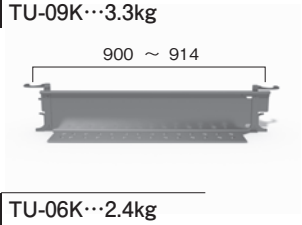
●兼用幅木

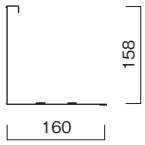
直線部用　インチ、メーター兼用　φ48.6、φ42.7　兼用

兼用幅木 TU-18K…5.8kg



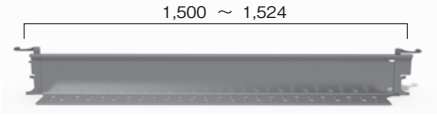
兼用幅木 TU-09K…3.3kg



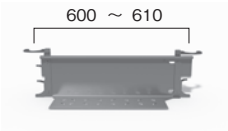


断　面

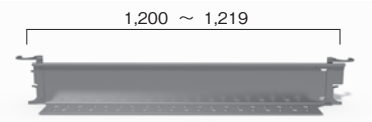
兼用幅木 TU-15K…5.0kg

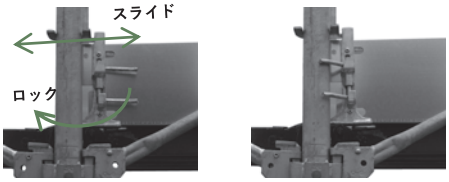


兼用幅木 TU-06K…2.4kg



兼用幅木 TU-12K…4.1kg



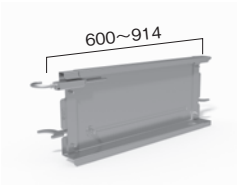


フックで支柱を挟み込み、外れ止めをロックする

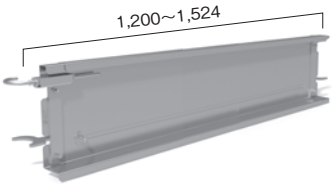
●妻側幅木

妻側用　インチ、メーター兼用　φ48.6、φ42.7　兼用

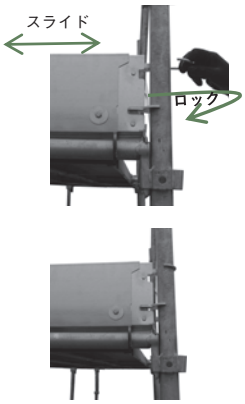
妻側幅木 TU-0609K…3.4kg



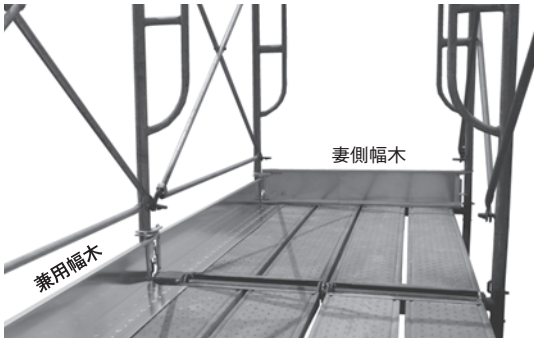
妻側幅木 TU-1215K…5.6kg



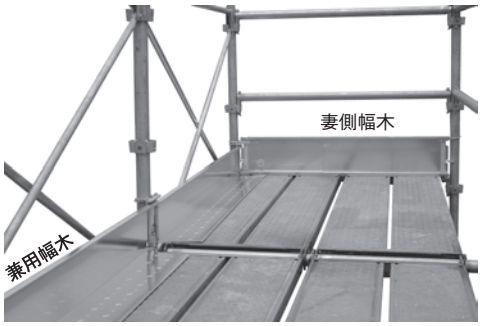
断　面



【建　枠】



【次世代足場】



認定番号 1905－05216－59

認定合格証

幅木（第2種）

ST2-120CPGS
（ST2-115OPGS　ST2-110PGS　ST2-105OPGS　ST2-100PGS
ST2-095OPGS　ST2-090PGS　ST2-085OPGS　ST2-080PGS
ST2-075OPGS　ST2-070PGS　ST2-065OPGS　ST2-060PGS
ST2-055OPGS　ST2-050PGS　ST2-045OPGS　ST2-040PGS
ST2-035OPGS）
ST2-185
（ST2-175S　ST2-17S　ST2-165S　ST2-16S
ST2-155S　ST2-15S　ST2-145S　ST2-14S
ST2-135S　ST2-13S　ST2-125S　ST2-12S
ST2-115S　ST2-11S　ST2-105S　ST2-10S
ST2-095S　ST2-09S　ST2-085S　ST2-08S
ST2-075S　ST2-07S　ST2-065S　ST2-06S
ST2-055S　ST2-05S　ST2-045S　ST2-04S
ST2-035S　ST2-03S　ST2-025S）
ST3-18K
（ST3-15K　ST3-12K　ST3-09K　ST3-06K）

上記の仮設機材は仮設機材認定規程第3条に基づく認定検査に合格したので
同規程第7条により本証を交付する
なお、認定の有効期間は認定日より1年とする

認定日　2019年 5月31日

信和株式会社 殿
（旧三和プレス工業所　第2工場）

一般社団法人 仮設工業会
会長　伊藤庄人

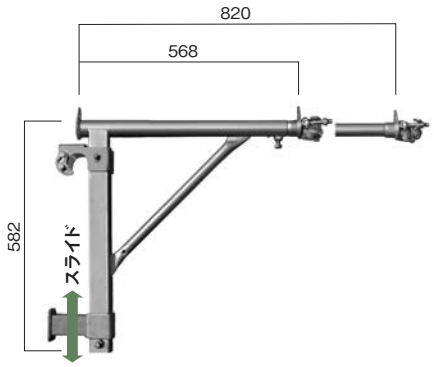
型枠ブラケット（PAT.P）

詳しくはこちらをご覧下さい

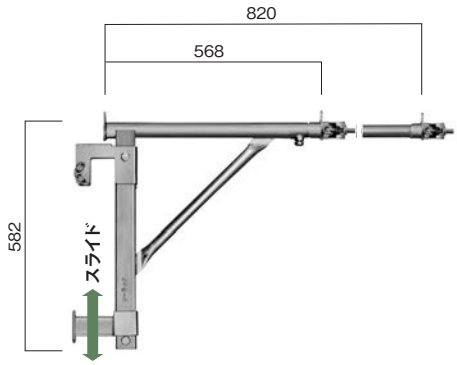
型枠の横バタに掛けて簡単にコンクリート打設足場が設置できます。
伸縮機能がありますので、足場板２枚敷き、３枚敷きの調整ができます。
スライドする当て材で自動的に水平になります。

許容荷重：2.45kN

型枠ブラケット KB-800…7.23 kg

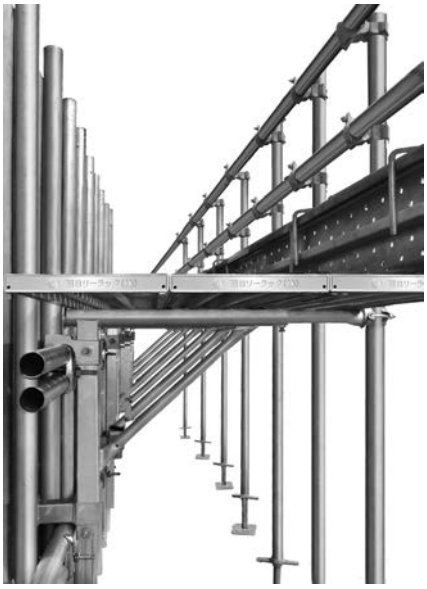


型枠ブラケット 60 角用 KB-800-60…8.20 kg



落下錠を確認して下さい

当て材はスライドさせ
横バタを避けて下さい

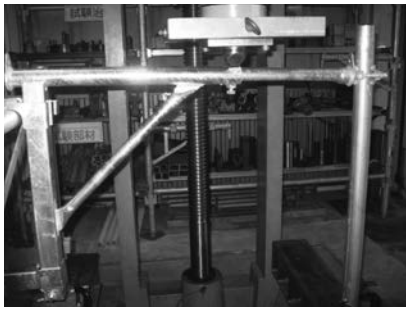


先端部は必ず支持して下さい
型枠を損傷します

■強度試験

供試体No.	1	2	3	平均
強　度（kN）	11.56	12.48	12.63	12.2
変位量（mm）	41.7	43.9	42.1	42.5

加圧前



破壊状況

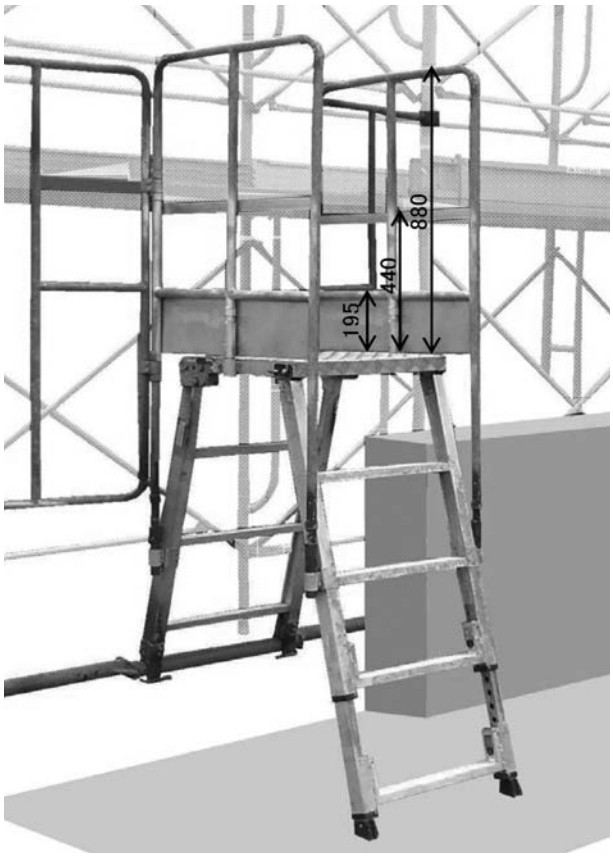
ベランダブリッジ（アルミ）

詳しくはこちらを
ご覧下さい

1）用途について
従来、枠組足場と躯体のベランダやバルコニー間等の乗り越しには、単管と自在ステップ等を使用し、現場合わせで通路を構成していました。ベランダブリッジはこれに代わり、組立解体が簡単で、安全性を重視した仮設通路です。

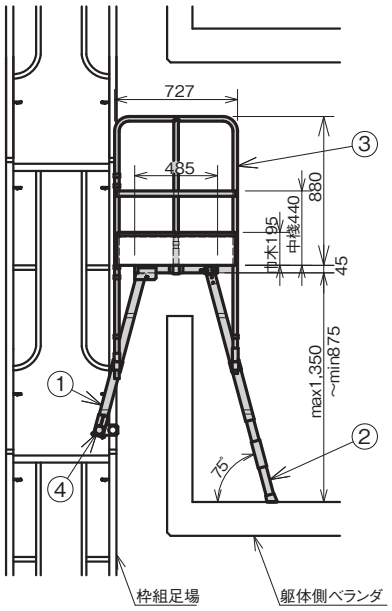
2）使用上について
①取り付けする枠組足場は、1,829と1,800のどちらのスパンにも使用することができます。
②足場側の床レベルにより、上下どちらからでも昇降することができます。
③本体両サイドの手摺が大きいので、昇降時の手がかりが手元近くにあり、安心して通行できます。
④足場側の手摺は上下スライド式ですから、使用位置に合わせて、作業者を安全にガードします。
⑤手摺壁の型枠組立て、解体の際も、盛り替えしないで使用することができます。

3）組立解体等について
①ベランダブリッジは、ラチェット1本で組立、解体できます。
②本体は、アルミ製で軽量なため、作業が楽に行えます。
③クランプ、ボルト、ピン以外は全体を溶融亜鉛メッキにしてありますので、耐久性に優れています。また、クランプ等の部品が破損した場合でも、交換が可能です。
④各部材ともバラの状態では、全てコンパクトに折り畳むことができますから、保管や運送効率の点でも優れています。

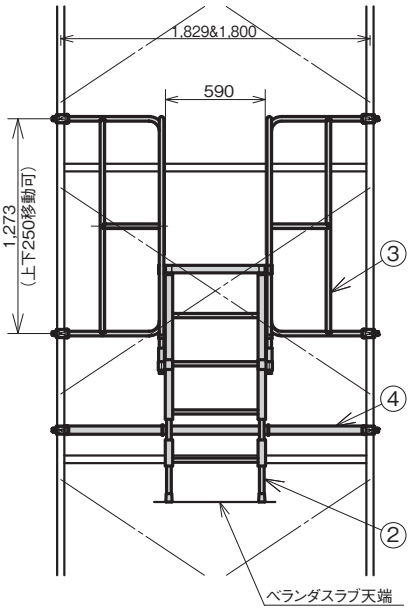


構成部材

▼側面図



▼正面図



①本体 A

②本体 B

③手摺枠

④根がらみ

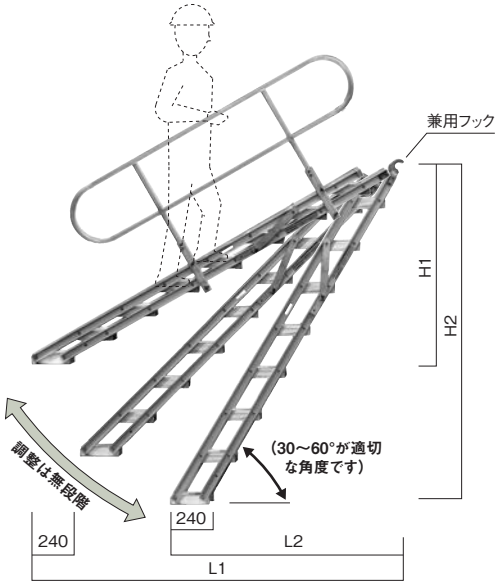
No	部材名称	品　番	数量／セット	重量（kg）	許容荷重（kN）
①	本体 A（足場側）	BLB-AA	1	8.8	1.47
②	本体 B（建物側）	BLB-BA	1	6.8	
③	手摺枠	BLB-HN	2	15.4	
④	根がらみ	BLB-L	1	6.8	

クイックステップ

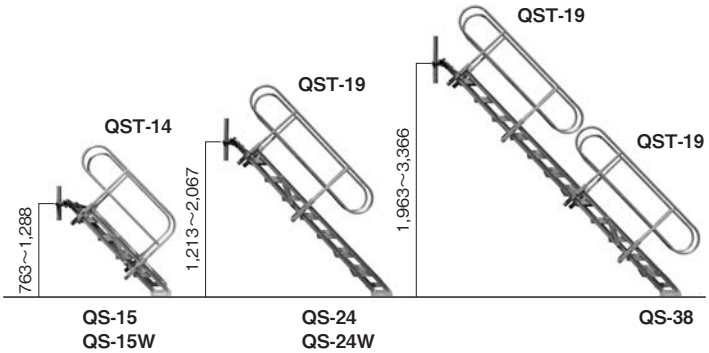
詳しくはこちらを
ご覧下さい

建物の躯体側から枠組足場上へ、または、大きな段差のある部分の昇降、地下工事中の地中梁を乗り越え移動等に使用します。
自動的に踏み板が水平状態になり簡単、迅速に階段を設置することができます。

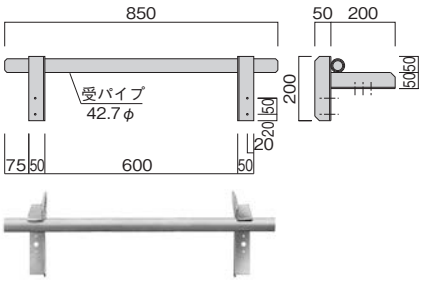
■クイックステップの角度による使用寸法



品番	30°		60°	
	L1	H1	L2	H2
QS-15	1,446	763	922	1,288
QS-15W				
QS-24	2,226	1,213	1,372	2,067
QS-24W				
QS-38	3,525	1,963	2,122	3,366
QST-14	QS-15 用手すり			
QST-19	QS-24、QS-38 用手すり			

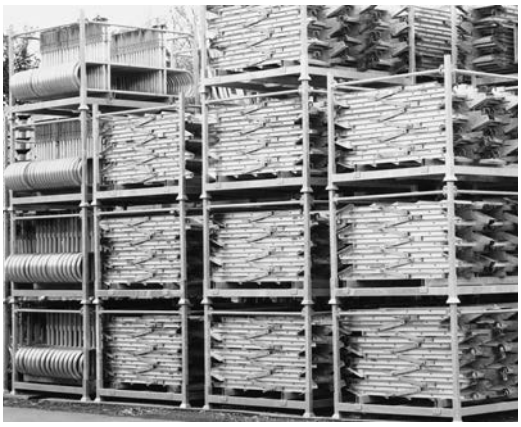


受金具 QS-K
表面処理：溶接亜鉛メッキ

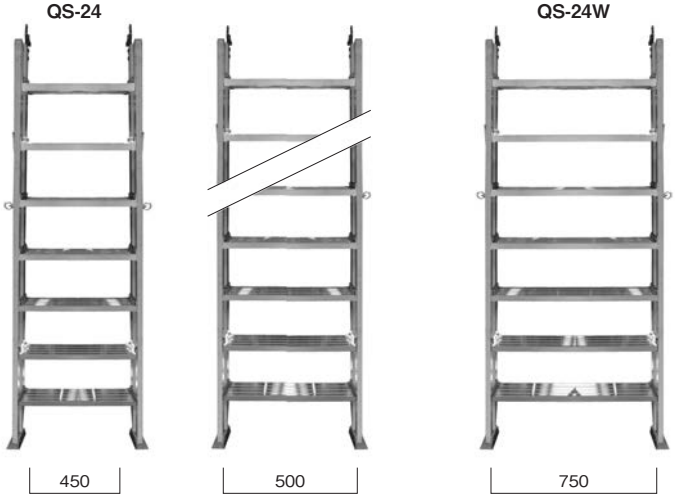


【兼用フック】

φ48.6、φ42.7兼用です。
単管、建枠に使用できます。



スタンダード		幅　広
QS-15 QS-24	QS-38	QS-15W QS-24W

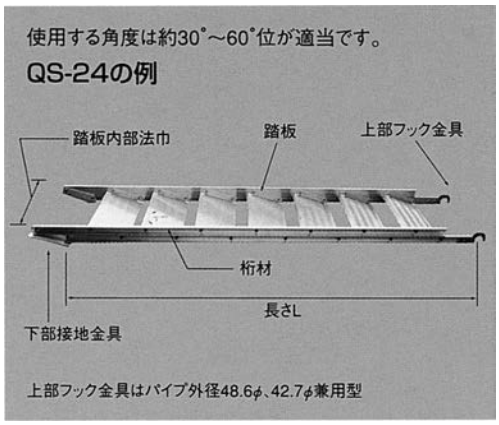


QS-24　　QS-24W

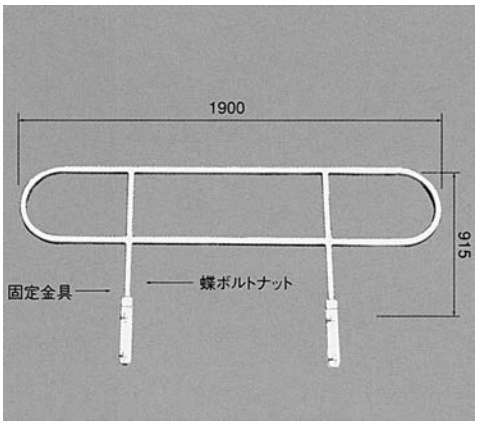
■規格・寸法・重量

部材名	商品記号	寸法（mm）	自重（kg）	許容荷重（kN）	備考
クイックステップ	QS-15	踏板内法巾 450　長さ 1,448	12.6	1.47	腰壁・段差高 H＝1.2m 以下　段数 4 段
	QS-24	踏板内法巾 450　長さ 2,348	19.0	1.47	腰壁・段差高 H＝2.0m 以下　段数 7 段
	QS-38	踏板内法巾 500　長さ 3,848	36.0	0.98	腰壁・段差高 H＝3.3m 以下　段数 12 段
クイックステップ（幅広）	QS-15W	踏板内法巾 750　長さ 1,448	16.8	1.47	腰壁・段差高 H＝1.2m 以下　段数 4 段
	QS-24W	踏板内法巾 750　長さ 2,348	26.2	1.47	腰壁・段差高 H＝2.0m 以下　段数 7 段
手摺	QST-14	高さ 915　長さ 1,400	3.6	—	QS-15 用でベランダ巾が狭い場合に使用
	QST-19	高さ 915　長さ 1,900	4.4	—	QS-15、QS-24、QS-38 に使用
受金具	QS-K	長さ 800　パイプφ 42.7 × 2.4	4.2	1.47	（すき間板が必要な時は、受金具 QSK と組み合わせる）

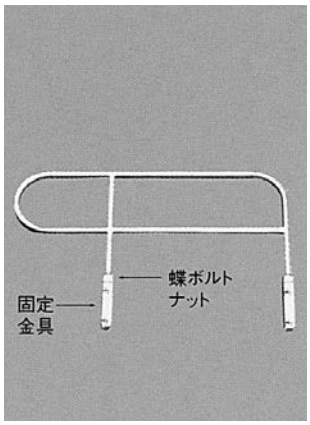
●クイックステップ本体



●手摺（QST-19）タイプ

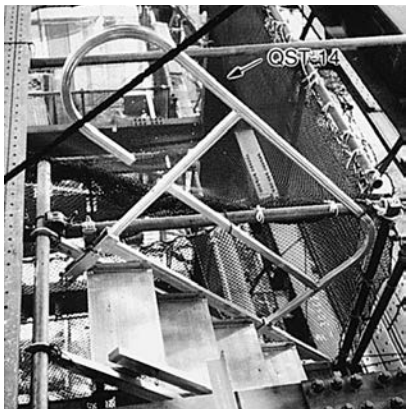


●手摺（QST-14）タイプ



設置例

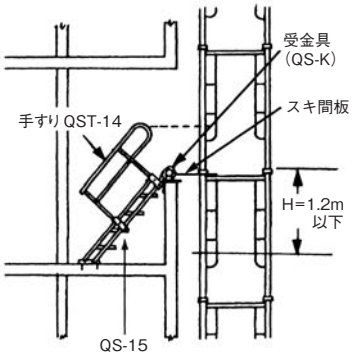
①設置角度は約 30 ～ 60 度位が適切な角度です。
②上部フック金具のロック、下部接地金具の正常な設置及び手すりの蝶ネジが確実にしめられているか確認して下さい。
③設置後桁材のスボミ防止用ネジをシノ等で締めて下さい。
④必要に応じ下部接地金具が動かないようコンクリート釘 4 本又はホールインアンカー 9mm φ 2 本で固定します。
⑤設置条件により受金具（QSK）を使用します。
⑥許容荷重以上の荷重を掛けないで下さい。
⑦各部品は取り替えが可能で、折り畳んだとき手をはさまないようになっているため安全です。



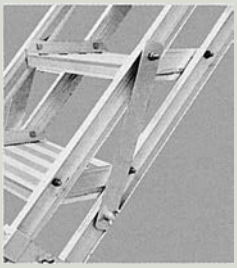
● QST-15 の設置

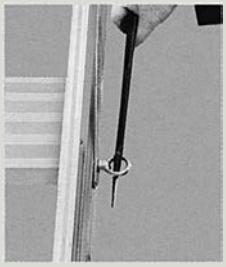
壁開口部、ベランダ腰壁より足場へ
（足場側面）

■QS-15の例図

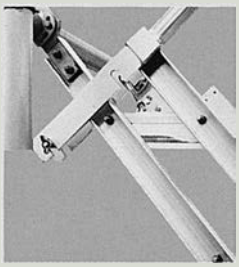


●スボミ防止金具
スボミ防止用ネジをシノ等で締めます。

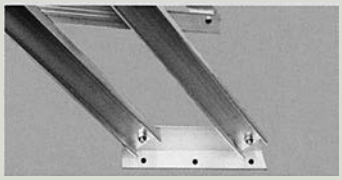




●手摺固定部
蝶ボルトナットを
締め込みます。



●下部接地金具
必要に応じてコンクリート釘 4 本
又はホールインアンカー 9mm
2 本で固定します。



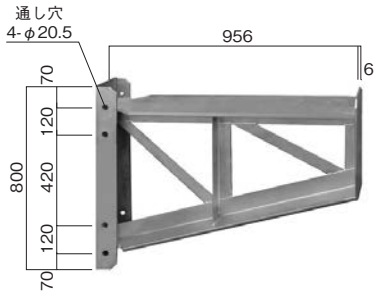
A型足場ブラケット

詳しくはこちらをご覧下さい

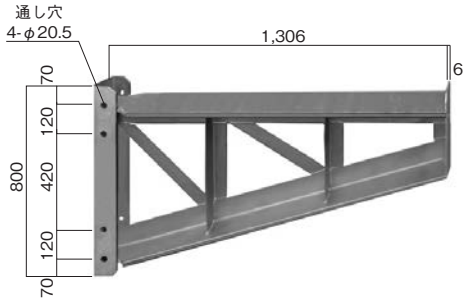
許容荷重:49kN（2点集中荷重）

安定した構造のために上弦材、下弦材にはＴ型鋼を採用しております。
ブラケット本体と躯体への取付部を分離することにより、組立が容易になっております。
埋込アンカーは６本が一体となったアンカープレートで設置が迅速にできます。
特殊サイズについてはご相談下さい。

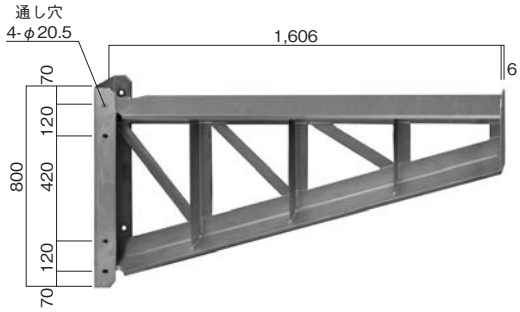
A 型足場ブラケット A-950…42.0kg



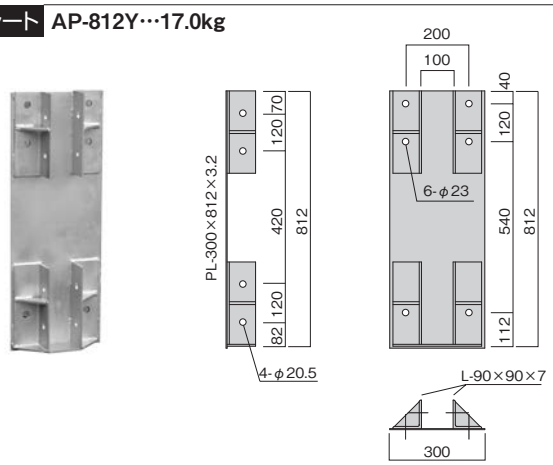
A 型足場ブラケット A-1300…53.0kg



A 型足場ブラケット A-1600…66.0kg

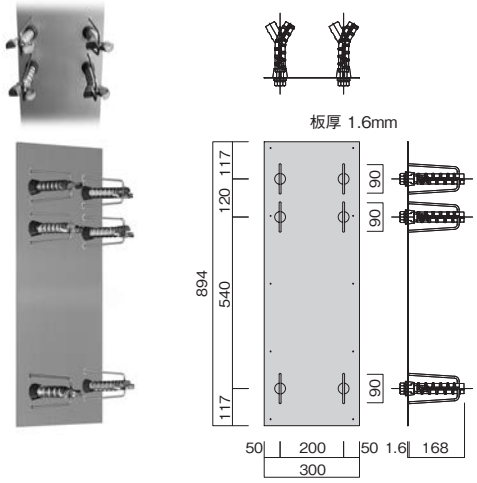


取付プレート AP-812Y…17.0kg



（PAT）

アンカープレート AP-830Y…10kg



ハイテンションボルト AP-02

強度区分 10.9　W3/4 × 150　1 本／ set

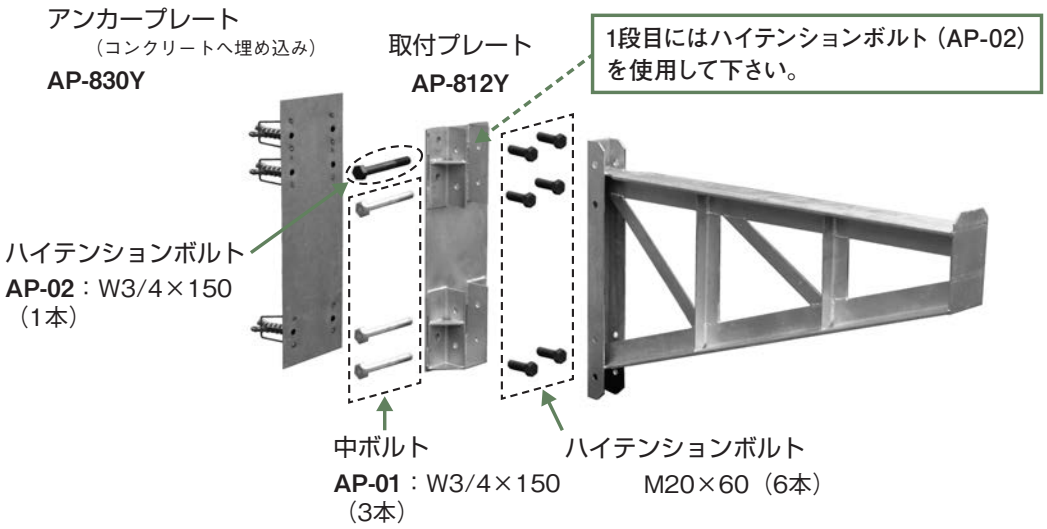
取付ボルト AP-01

強度区分 4.8　W3/4 × 150　3 本／ set

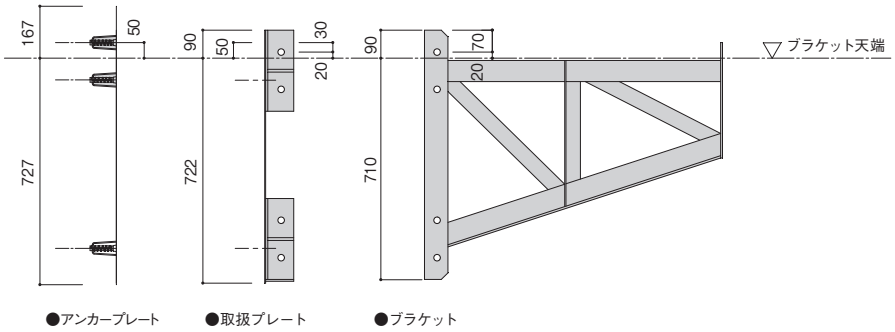
◆ アンカープレートを使用しない場合

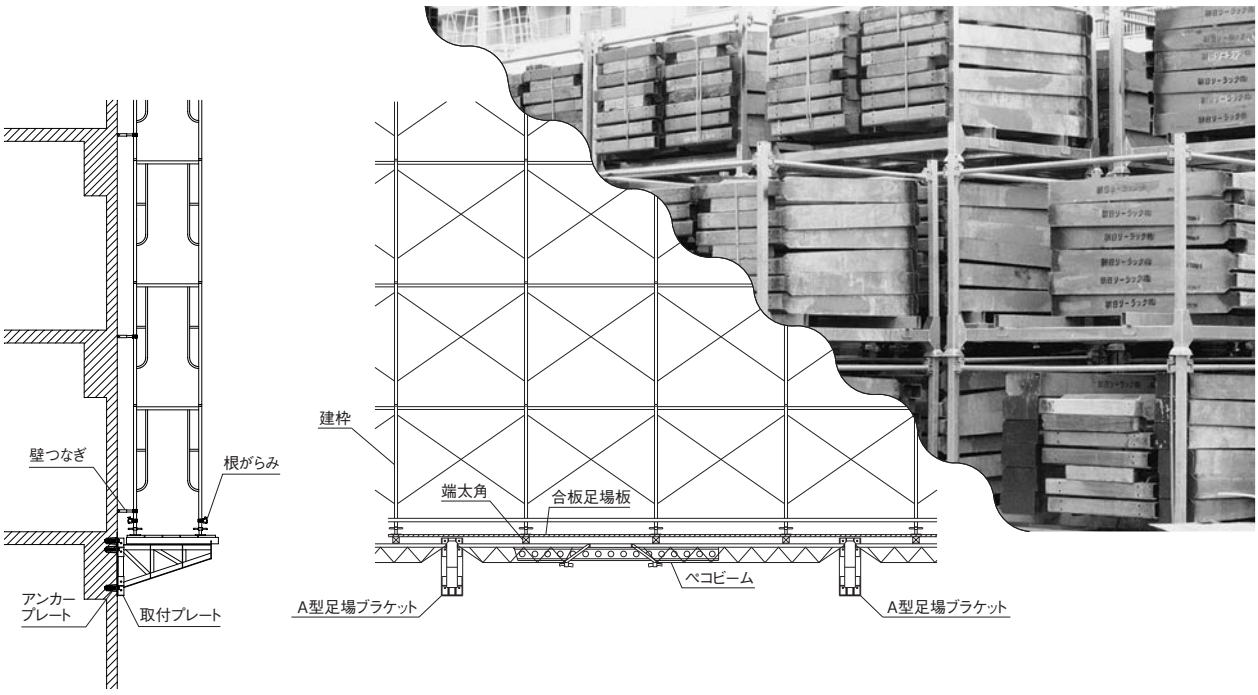
- ●改修工事においては、アンカープレートは使用できません。強度計算に基づいたケミカルアンカーを使用して下さい。
- ●新築工事においてアンカープレートを使用しない場合は、強度計算に基づいた埋め込みアンカーを使用して下さい。
- ●アンカープレートを使用しない場合は、アンカーの設置間隔に注意して下さい。

組立図


アンカープレート
（コンクリートへ埋め込み）
AP-830Y
取付プレート
AP-812Y
1段目にはハイテンションボルト（AP-02）を使用して下さい。
ハイテンションボルト
AP-02：W3/4×150
（1本）
中ボルト
AP-01：W3/4×150
（3本）
ハイテンションボルト
M20×60（6本）

位置詳細

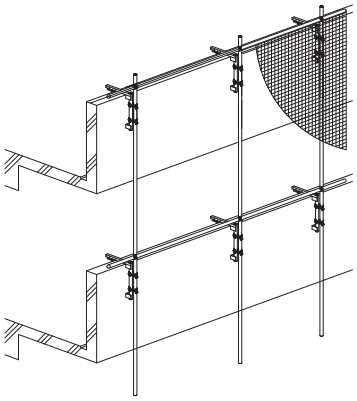

167
50
727
90
50
30
20
722
90
70
20
710
ブラケット天端
●アンカープレート
●取扱プレート
●ブラケット


壁つなぎ
根がらみ
アンカープレート
取付プレート
建枠
端太角
合板足場板
ペコビーム
A型足場ブラケット
A型足場ブラケット

バルコニーハンガー (PAT)

詳しくはこちらをご覧下さい

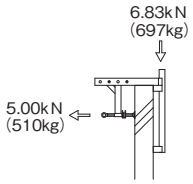
1）特殊ネジのため取りつけ、取り外しが簡単です。
2）1台2役
　・飛来落下防止
　・一側足場固定
3）壁厚方向の長さが2段階に調整できるので、幅広い壁厚のサイズに対応することが可能です。
4）建地にはφ48.6のパイプを使用していますので、クランプが取付可能です。
5）専用の手摺柱を取りつけて使用して頂くことができます。



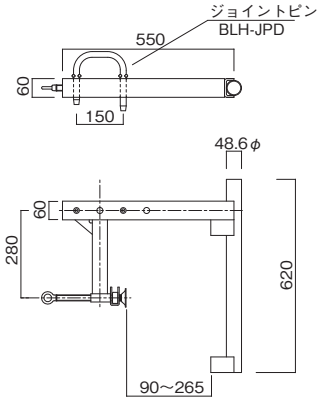
注意事項

1）許容荷重を超えて使用しないで下さい。
2）建地パイプ取付は上下２個クランプを使用し、しっかり締め付けて下さい。
3）飛来落下防止で使用する時は、上下・左右ともに２台以上のバルコニーハンガーを使用して下さい。

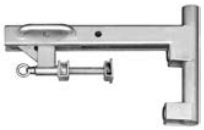
許容荷重

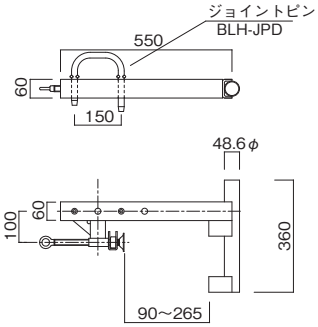


バルコニーハンガー BLH-280…8.8kg

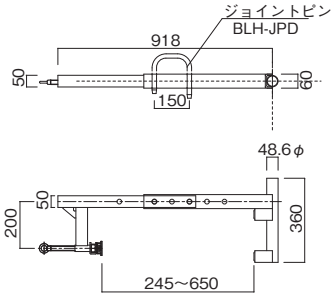


バルコニーハンガー BLH-100…7.8kg





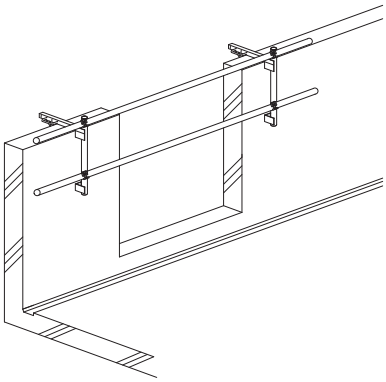
バルコニーハンガー BLH-20-60…9.6kg



スーパークランプ 許容強度：6.86kN

KM-48S…1.10kg（直交）

KF-48S…1.09kg（自在）



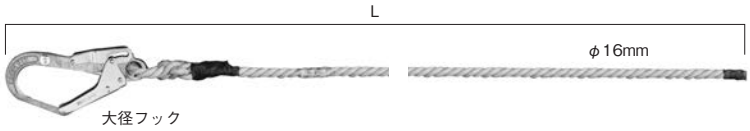
親綱／親綱緊張器／親綱支柱 (PAT.)

詳しくはこちらをご覧下さい

●親　綱

●綱　径：φ16mm
●材　質：ポリエステル
●規　格：（社）仮設工業会認定品

品番	長さ	重量（kg）	色分け
R16-6M	6 m	1.5	緑
R16-8M	8 m	1.8	赤
R16-10M	10 m	2.1	灰
R16-12M	12 m	2.4	青
R16-15M	15 m	2.8	黒
R16-20M	20 m	3.6	橙
R16-25M	25 m	4.3	茶



●緊張器

仮設工業会認定品

親綱緊張器 JK-M…1.1kg

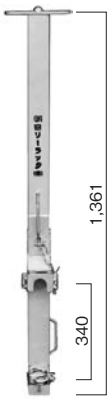
親綱緊張器 JK-F…1.1kg

供試体 No.		1	2	3	4	5
JK-M	荷重11.5kN時の異常の有無	無	無	無	無	無
	強　度［kN］	16.3	17.4	17.1	17.1	16.3
JK-F	荷重11.5kN時の異常の有無	無	無	無	無	無
	強　度［kN］	18.6	18.8	17.6	18.1	18.4
認定基準による値	異常の有無	緊張機能を維持すること（フック付きの場合は金具等に破断、又はその機能を失う程度に変形、損傷などがなく、かつ、外れ止め機能を維持すること）				
	強　度	14.0kN　以上				

●親綱支柱

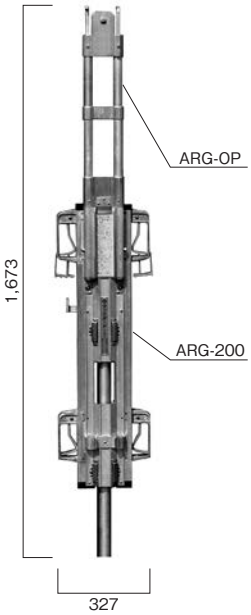
仮設工業会認定品

親綱支柱 SK-48D…8.5kg（φ42.7、φ48.6 兼用）



足場との脱着がワンタッチ式の構造です。設置、盛替え作業が迅速容易に行えます。仮設工業会「親綱支柱の構造等に関する技術基準」に規定された数値を満たしております。

親綱支柱 ARG-200…8.9kg　ARG-OP…2.5kg



建枠の建地をスライドして上下移動できますので、建枠から取外すことなく安全安全、迅速に盛替えができます。

荷受けフォーム

詳しくはこちらを
ご覧下さい

枠組用ユニット式荷受けステージです。
地上で組立て、クレーンで安全・スピーディに取付けられます。
足場上の手作業でも安全に組立・解体が可能です。
クレーンでそのまま盛り変え可能で、解体・再組立は不要です。
ユニット式による安定した強度があります。

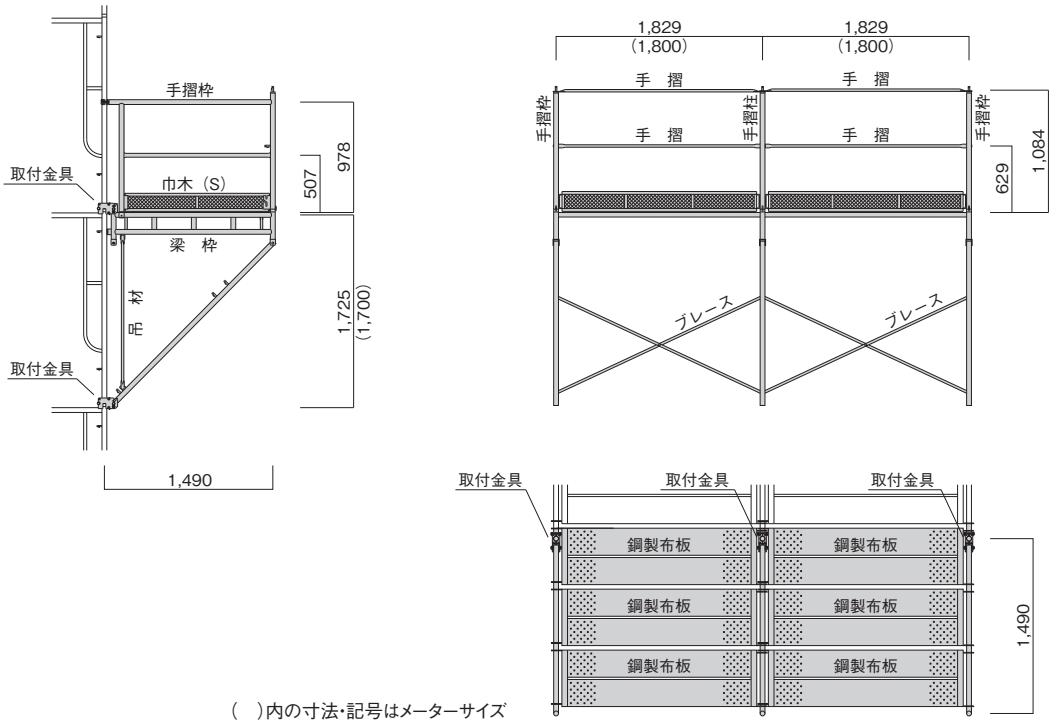
■許容積載荷重

枠組みの幅(mm)	2層以上10層以下	11層以上23層以下	24層以上26層以下
610・600	4.90kN/スパン	3.92kN/スパン	2.94kN/スパン

枠組みの幅(mm)	2層以上11層以下	12層以上20層以下	21層以上26層以下
914・900	7.35kN/スパン	5.88kN/スパン	4.90kN/スパン

枠組みの幅(mm)	2層以上13層以下	14層以上20層以下	21層以上26層以下
1,219・1,200	7.35kN/スパン	5.88kN/スパン	4.41kN/スパン

組立寸法

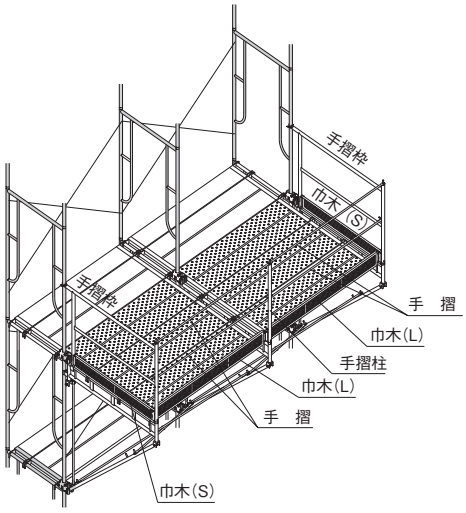


(　)内の寸法・記号はメーターサイズ

■セット部材数量(スパン別)

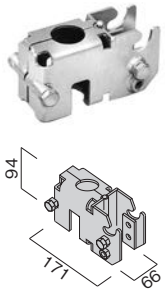
部材名称	品　番	1スパン	2スパン	3スパン
梁枠(斜材付)	NUA-01	2	3	4
手摺枠	NUA-02	2	2	2
取付金具	NUA-03	4	6	8
巾木(L)	NUA-04〔NUA-04M〕	1	2	3
巾木(S)	NUA-05	2	2	2
吊　材	NUA-06	2	3	4
手摺柱	NUA-07	0	1	2
鋼製布板	BKN-6〔BKN-18〕	3	6	9
ブレース	A-14	1	2	3
手　摺	A-31S〔A-18M〕	2	4	6
セット重量(kg)		131.0	215.0	299.1

〔　〕内の記号はメーターサイズ

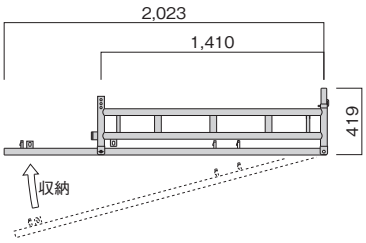


部材一覧

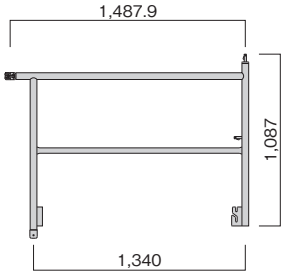
取付金具 NUA-03…1.6kg



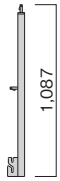
梁　枠 NUA-01…15.5kg（斜材付）



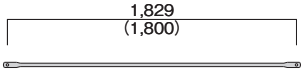
手摺枠 NUA-02…11.2kg



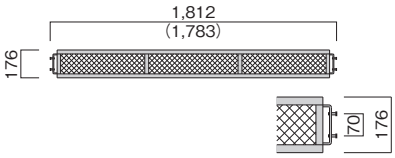
手摺柱 NUA-07…3.3kg



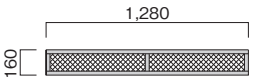
手　摺 A-31S…2.33kg（A-18M）



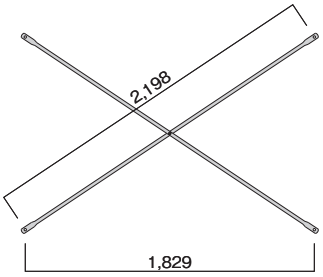
巾木(L) NUA-04…6.3kg（NUA-04M）



巾木(S) NUA-05…4.0kg

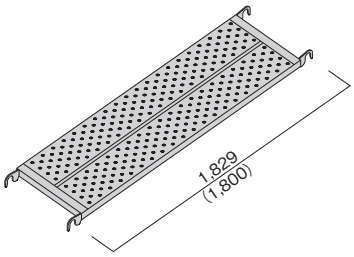


ブレース A-14…4.2kg



吊　材 NUA-06…1.2kg

鋼製布板 BKN-6…15.6kg（BKN-18）



注意事項

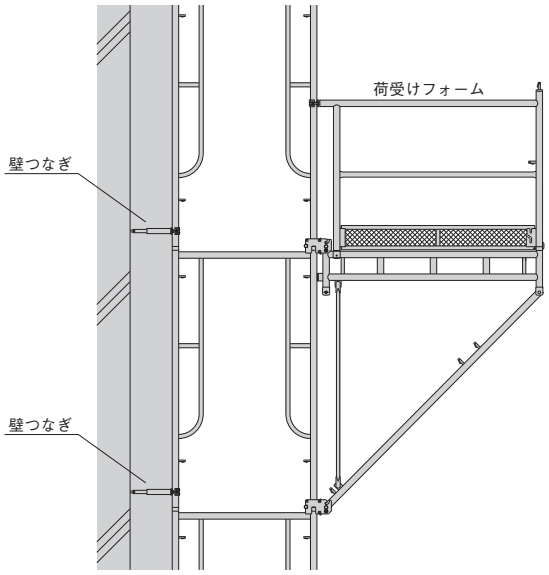
1）積載荷重の厳守
- 『荷受けフォーム』を取付ける枠組足場の高さ及び巾により許容荷重は前頁の表の値になります。
- 許容積載荷重以内でのご使用をお願いいたします。
- 許容積載荷重は表示板・安全看板等で明示して下さい。

2）墜落制止用器具の使用
- 次の作業を行う場合には、必ず墜落制止用器具を使用して作業を行ってください。
  足場上での組立・盛り替え・解体
  手摺枠・手摺の取付・撤去

3）壁つなぎの設置
- 壁つなぎは、荷受けフォーム設置面及び斜材設置面の当該スパン全てに取付けて下さい。
- 壁つなぎには、仮設工業会認定品を使用して下さい。
- 壁つなぎを設置する位置の躯体側強度は、十分な強度を有するものとします。

4）開口部の補強
- 荷受けフォームへの出入りのために、枠組の筋違を撤去するが、使用後には復旧して下さい。
- 荷受けフォームの撤去・盛り替え後は、完全に筋違を取付けて下さい。

5）その他の注意点
- 取付金具のボルトを完全に締め込むまでは、絶対に荷受けフォームの上には乗らないで下さい。
- 荷受けフォームに使用する鋼製布板・壁つなぎ・ブレースなどには仮設工業会認定品を使用して下さい。
- 梁枠と斜材の基部の建枠には壁つなぎを必ず取付けて下さい。
- 変形・へこみ・腐食の生じた部材は交換して下さい。
- 安全のため、地上での組立・解体（クレーンでの架設）を推奨します。



許容荷重

■基本部材の許容荷重

基本部材			許容荷重	使用条件等
建枠	標準枠	高さ1,800mm超す	39.2kN	●建わく 1 枚当たりの許容荷重 ●この許容荷重はジャッキベースの繰出し長さが 200mm 以下の場合 （下の表を参照）
		高さ1,800mm以下	42.63kN	
	簡易枠	高さ1,700mm以下	34.3kN	
	拡幅枠	〃	29.4kN	
ジャッキベース			21.3kN	●繰出し長さが建枠の許容荷重に影響する
床付き布枠		幅 500mm	2.45kN	
		幅 240mm	1.17kN	
階　段		（中央集中荷重）	2.45kN	● 1 台の階段に作業者 2 人まで乗れる荷重
		（踏み板の強度）	1.22kN	
梁　枠		2スパン	9.8kN	●梁枠上の全層の全積載荷重
		3スパン		
		4スパン		
壁つなぎ			4.41kN	
クランプ		直交	4.9kN	●引張力、圧縮力
		自在	3.43kN	
持送り枠			2.45kN	（AB 型伸縮ブラケット）

（社）仮設工業会編　『基本部材で構成する枠組足場の使用基準』より

■ジャッキの繰出し長さによる建枠の許容荷重

ジャッキの繰出し長さ（mm）	許容荷重（kN）
200 以下	42.63
200 を超え 250 以下	40.67
250 を超え 300 以下	38.71
300 を超え 350 以下	37.24

（注）高さ1,800mm以下の標準枠の場合
（社）仮設工業会編　『基本部材で構成する枠組足場の使用基準』より

■足場に載せる資材等の単位重量

材料名	単位重量
セメント	25kg/ 袋
モルタル	2.3t/m^3
コンクリート屑	1.8t/m^3

材料名	単位重量
タイル	表　示
石	2.7t/m^3
木材	1.8t/m^3

作業者1名当たり65kgとし、手工具等を携帯した場合は80kgとする。

アサガオ／仮囲い

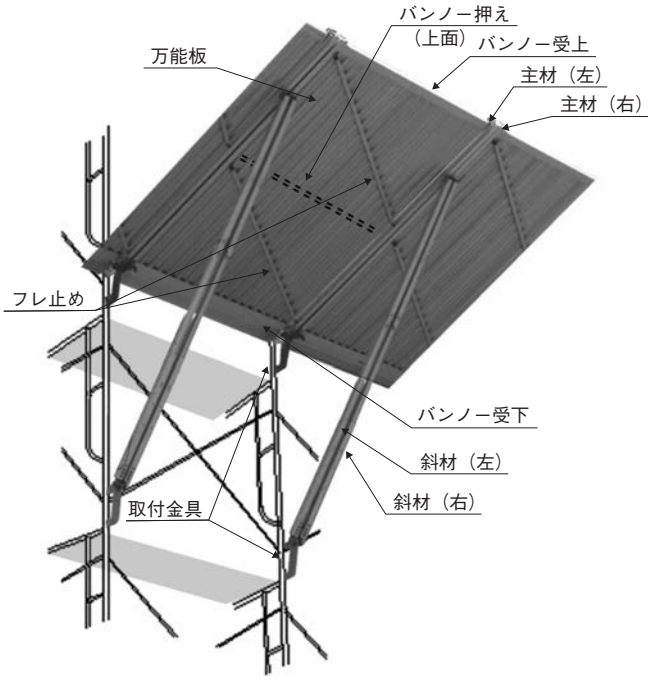
アルミアサガオ

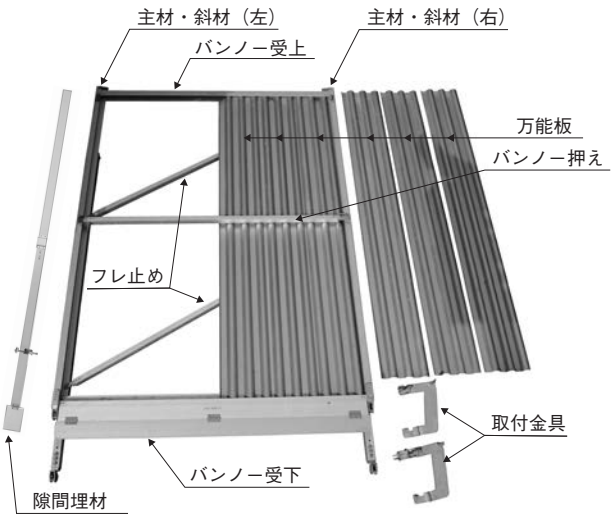
詳しくはこちらを
ご覧下さい

インチ、メーター兼用です。どのような足場にも対応します。
アルミ合金製です。軽量で安全簡単に取付ができます。万能板もアルミ合金製で表面はステンカラーの
アルマイト仕上げで美しい外観です。
専用の隙間埋材により隙間を最小限にする設計です。

直線部

組立構成図





構成部材

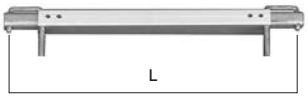
アサガオ主材・斜材

品番	重量(kg)
AA-2390R	11.0
AA-2390L	11.0

バンノー受け下

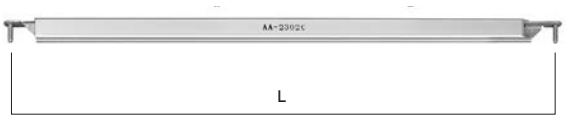
品番	L (mm)	重量 (kg)	適応スパン
AA-2306A	1,743	5.5	1.8～1.829
AA-2305A	1,443	4.5	1.5～1.524
AA-2304A	1,143	3.6	1.2～1.219
AA-2303A	843	2.6	0.9～0.914
AA-2302A	543	1.7	0.6～0.610
AA-2326A	705	2.1	0.762
AA-1491A	1,422	4.4	1.491
AA-1177A	1,111	3.5	1.177
AA-0857A	793	1.9	0.857
AA-2306AS	1,675	5.5	1.8入隅部
AA-2305AS	1,305	4.5	1.5入隅部
AA-2304AS	1,205	3.6	1.2入隅部

バンノー押え



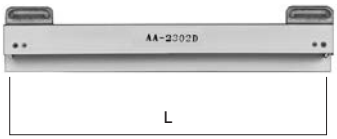
品番	L (mm)	重量 (kg)	適応スパン
AA-2306B	1,736	1.9	1.8～1.829
AA-2305B	1,436	1.6	1.5～1.524
AA-2304B	1,136	1.4	1.2～1.219
AA-2303B	836	1.1	0.9～0.914
AA-2302B	536	0.8	0.6～0.610
AA-2326B	598	1.0	0.762
AA-1491B	1,415	1.6	1.491
AA-1177B	1,104	1.4	1.177
AA-0857B	786	1.1	0.857
AA-2306BS	1,668	1.9	1.8入隅部
AA-2305BS	1,368	1.6	1.5入隅部
AA-2304BS	1,068	1.4	1.2入隅部

フレ止め



品番	L (mm)	重量 (kg)	適応スパン
AA-2306C	1,972	1.9	1.8～1.829
AA-2305C	1,724	1.7	1.5～1.524
AA-2304C	1,494	1.5	1.2～1.219
AA-2303C	1,293	1.3	0.9～0.914
AA-2302C	1,137	1.2	0.6～0.610
AA-2326C	1,215	1.2	0.762
AA-1491C	1,707	1.7	1.491
AA-1177C	1,471	1.4	1.177
AA-0857C	1,264	1.3	0.857
AA-2306CS	1,915	1.9	1.8入隅部
AA-2305CS	1,670	1.7	1.5入隅部
AA-2304CS	1,445	1.5	1.2入隅部

バンノー受け上

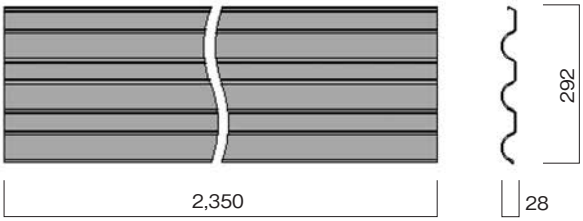


品番	L (mm)	重量 (kg)	適応スパン
AA-2306D	1,750	3.6	1.8～1.829
AA-2305D	1,450	3.1	1.5～1.524
AA-2304D	1,150	2.5	1.2～1.219
AA-2303D	850	2.0	0.9～0.914
AA-2302D	550	1.4	0.6～0.610
AA-2326D	712	1.7	0.762
AA-1491D	1,429	3.1	1.491
AA-1177D	1,118	2.4	1.177
AA-0857D	800	1.9	0.857
AA-2306DS	1,682	3.6	1.8入隅部
AA-2305DS	1,382	3.1	1.5入隅部
AA-2304DS	1,082	2.5	1.2入隅部

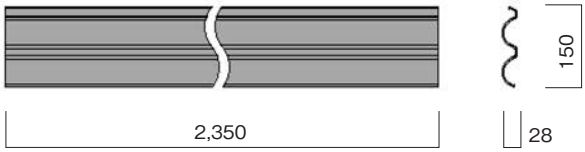
構成部材

アルミ万能板

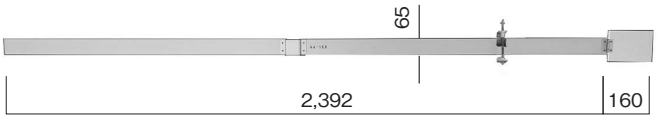
AA-623…5.7kg



AA-323…3.3kg

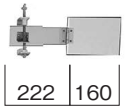


隙間埋材 AA-SKM…2.8kg



幅広隙間埋材 AA-SKMW…6.1kg クランプ抱きの部分に使用

根元隙間埋材 AA-SKMB…0.6kg メーター枠の根本に使用



ロープ治具 AA-RKG…2.6kg

取付金具

AA-TK…2.2kg

使用箇所：通常部

AA-TK-B…1.5kg

使用箇所：通常部
妻面
クランプ抱き部

AA-TKT…2.4kg

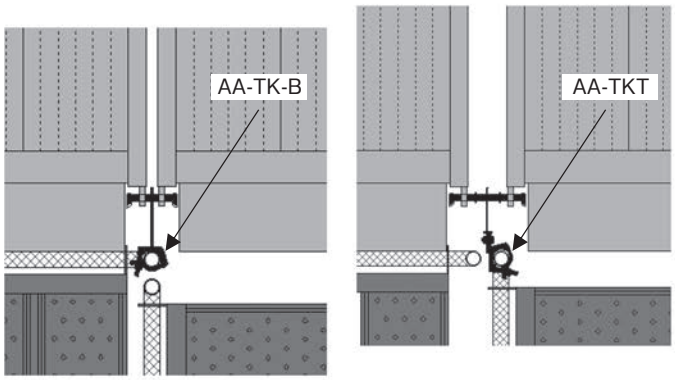
使用箇所：妻面
クランプ抱き部

AA-TK-S…1.5kg

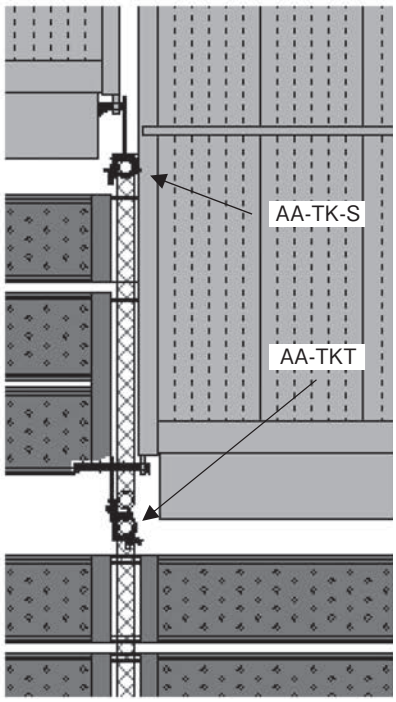
使用箇所：段差部

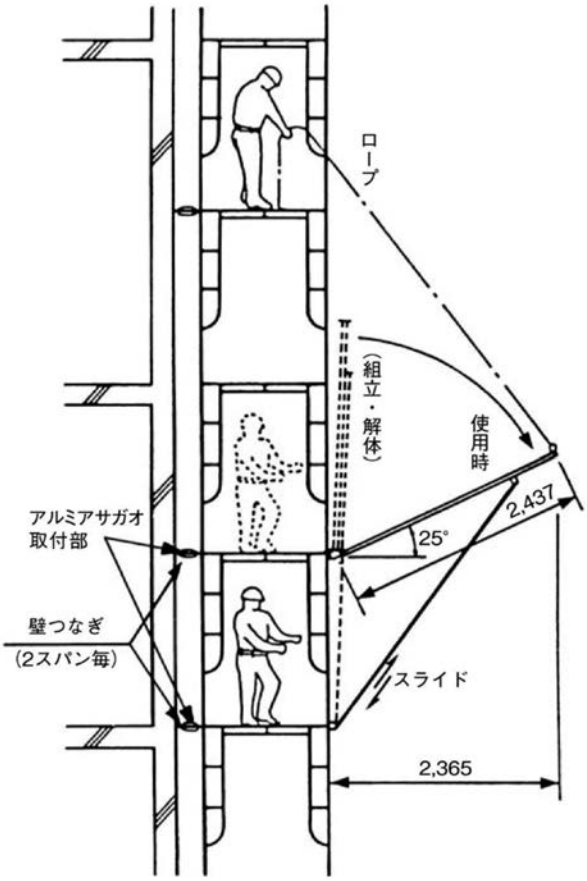
取付金具使用例

【クランプ抱き部】



【段差部】





■直線部部材数量（1スパン当り）

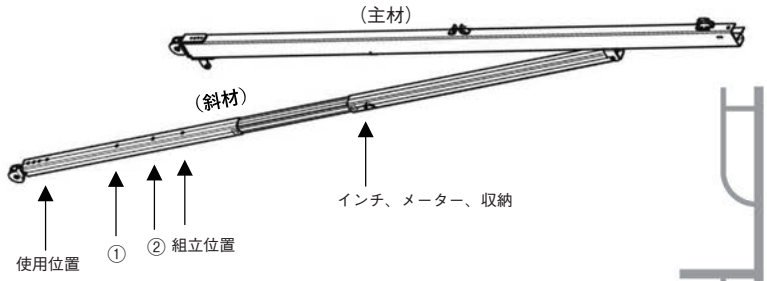
部材名称	品　番	数量	単位重量	重量（kg）
主材・斜材（左）	AA-2390L	1	11.0	11.0
主材・斜材（右）	AA-2390R	1	11.0	11.0
取付金具	AA-TK	2	2.2	4.4
隙間埋材	AA-SKM	1	2.8	2.8
万能板	AA-623	6	5.7	34.2
バンノー受け下	AA-2306A	1	5.5	5.5
バンノー押え	AA-2306B	1	1.9	1.9
フレ止め	AA-2306C	2	1.9	3.8
バンノー受け上	AA-2306D	1	3.6	3.6
			合計	78.2

注意事項

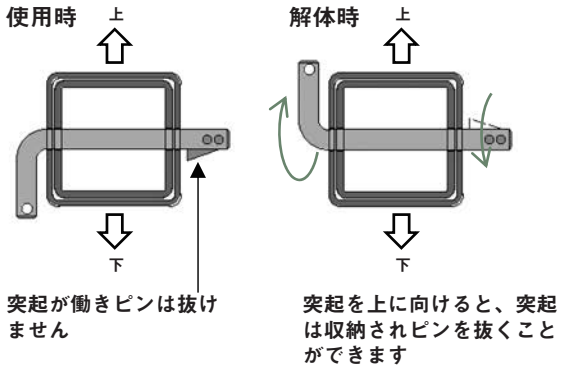
1）組立時には誘導員を配置し、組立範囲への立入禁止措置をして下さい。
2）アサガオを設置する足場にはアサガオ取付金具の取付位置に必ず２スパン毎に壁つなぎを設置して下さい。
3）アサガオの設置高さは、地上から 10m 以下に１段目を、２段目以降は 10m 以下に設置して下さい。
4）アサガオの上には乗らないで下さい。
5）強風時はアサガオを撤去するか、アサガオを起こして万能板を取り外し、主材フレームをロープで足場に固定して下さい。

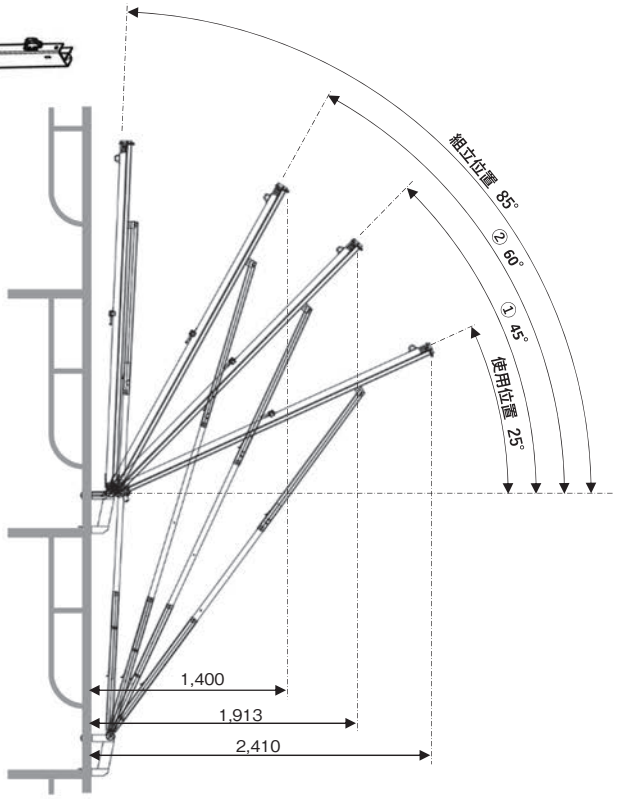
組立参考

■ピンの位置と設置角度



■ピンの扱い方

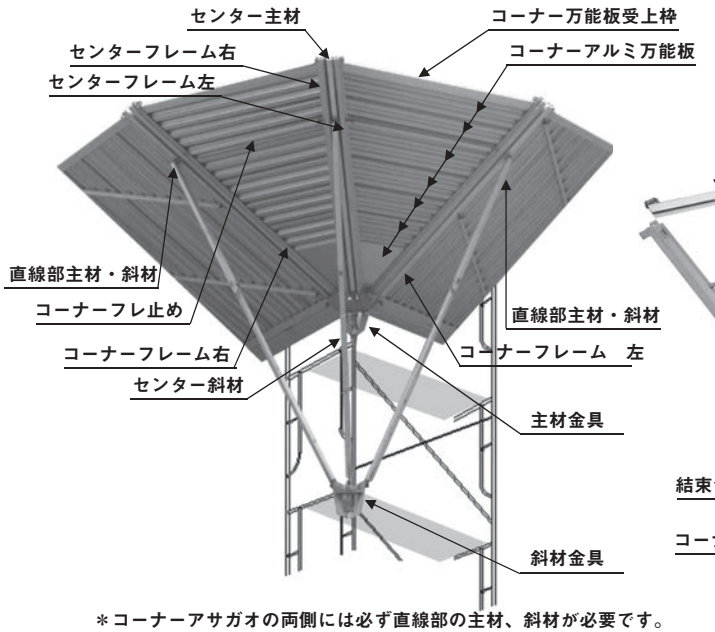




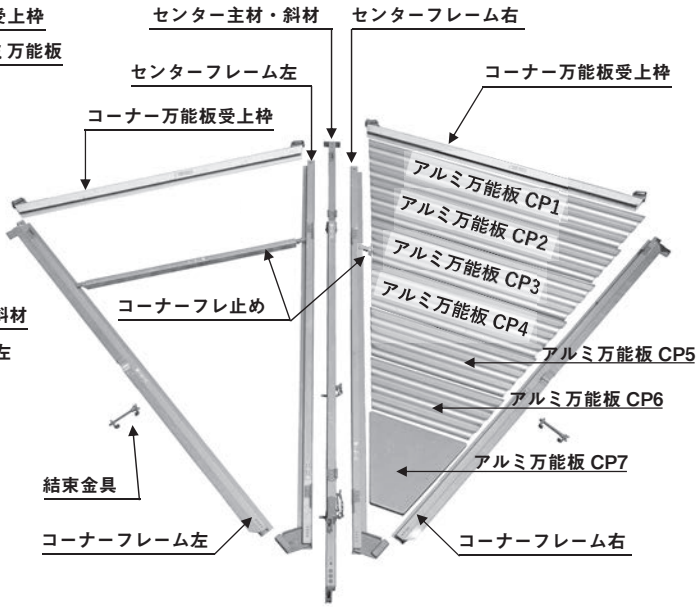
＊コーナーアサガオ使用の場合は［使用位置25°］で組立てて下さい。

コーナー部

組立構成図



＊コーナーアサガオの両側には必ず直線部の主材、斜材が必要です。



【見下げ写真】

構成部材

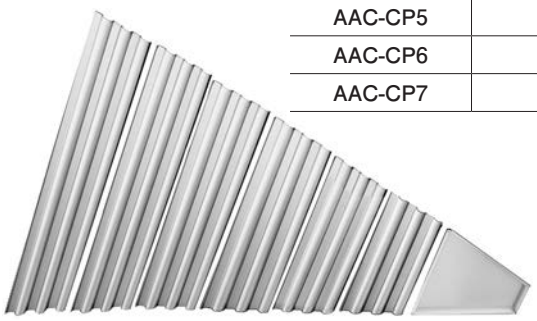
センター主材・斜材　AAC-2380…11.0kg

センターフレーム　右：AAC-23ER…6.1kg
左：AAC-23EL…6.1kg

コーナーフレーム　右：AAC-23FR…7.0kg
左：AAC-23FL…7.0kg

コーナーアルミ万能板

品　番	重量(kg)
AAC-CP1	4.0
AAC-CP2	3.6
AAC-CP3	3.1
AAC-CP4	2.6
AAC-CP5	2.1
AAC-CP6	1.6
AAC-CP7	1.5



コーナーフレ止め　AAC-23C…1.3kg

コーナー万能受上枠　AAC-23D…3.6kg

主材取付金具　AAC-TKU…8.0kg

斜材取付金具　AAC-TKS…5.2kg

結束金具　AAC-C…0.26kg

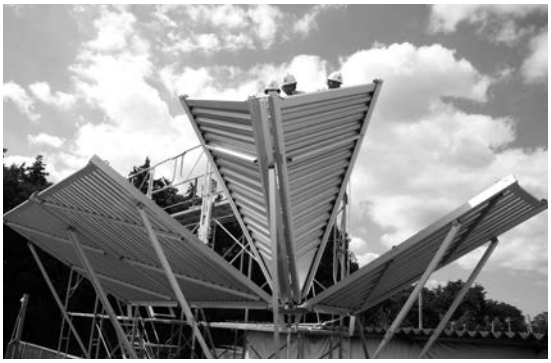
■コーナー部部材数量

部材名称	品　番	数量	単位重量	重量（kg）
センター主材・斜材	AAC-2380	1	11.0	11.0
センターフレーム　左	AAC-23EL	1	6.1	6.1
センターフレーム　右	AAC-23ER	1	6.1	6.1
コーナーフレーム　左	AAC-23FL	1	7.0	7.0
コーナーフレーム　右	AAC-23FR	1	7.0	7.0
コーナーフレ止め	AAC-23C	2	1.3	2.6
コーナー万能受上枠	AAC-23D	2	3.6	7.2
コーナーアルミ万能板	AAC-CP1	2	4.0	8.0
	AAC-CP2	2	3.6	7.2
	AAC-CP3	2	3.1	6.2
	AAC-CP4	2	2.6	5.2
	AAC-CP5	2	2.1	4.2
	AAC-CP6	2	1.6	3.2
	AAC-CP7	2	1.5	3.0
主材取付金具	AAC-TKU	1	8.0	8.0
斜材取付金具	AAC-TKS	1	5.2	5.2
結束金具	AAC-C	2	0.3	0.6
			合計	97.8

＊コーナーアサガオの両側には直線部の主材、斜材が必要です。

組立参考

＊コーナーアルミ万能板はラップさせず、突き合わせてセットして下さい。



＊コーナーアサガオの組立てにはロープを３本用意して下さい。
＊左右のコーナーフレームを閉じるように、センター主材を倒して下さい。センター主材が完全に倒れてから左右のコーナーフレームを開きます。

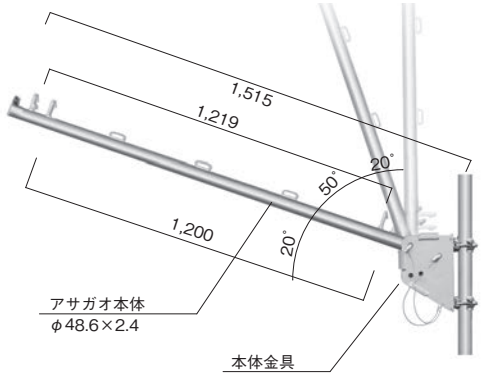
＊コーナーアサガオの両側は［結束金具 AAC-C］で直線部と固定して下さい。

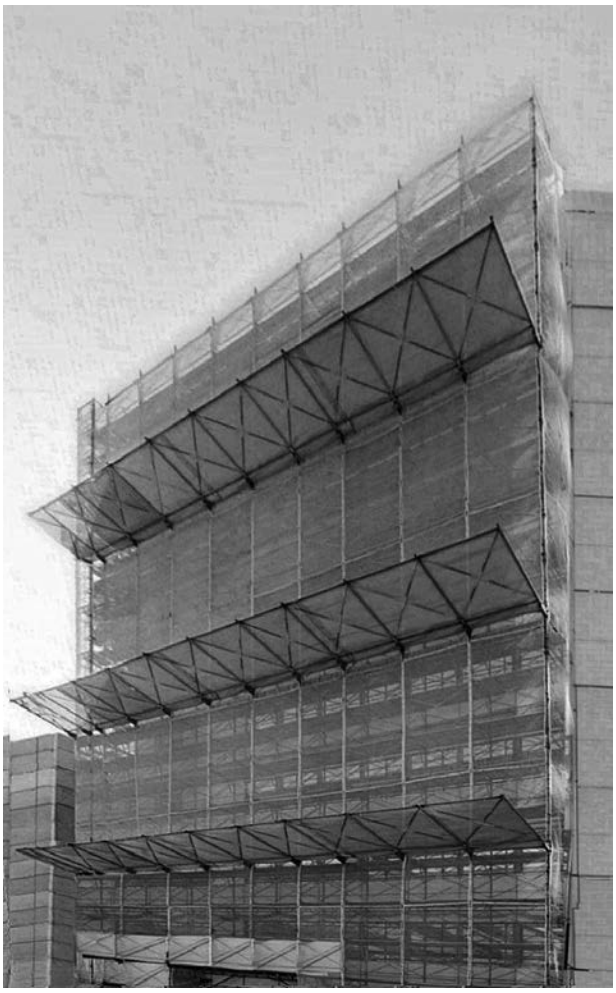
簡易アサガオ (PAT)

詳しくはこちらをご覧下さい

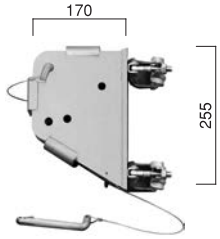
1）簡易朝顔は、仮囲いに取り付けたり、枠組足場の建枠からも簡単に取付けることができます。
2）鉄骨建方・枠組足場解体・外周の溶接作業時のボルトナット、クランプ、工具類、溶接棒その他小物類の落下防止に最適です。

形状図



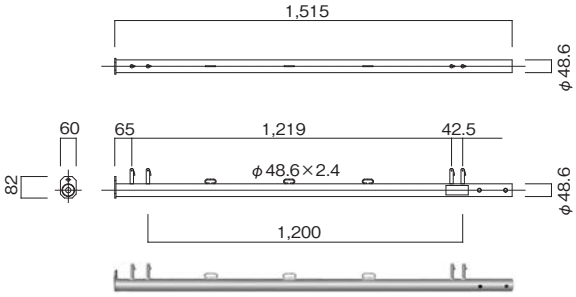


本体金具 KAS-K…5.0kg

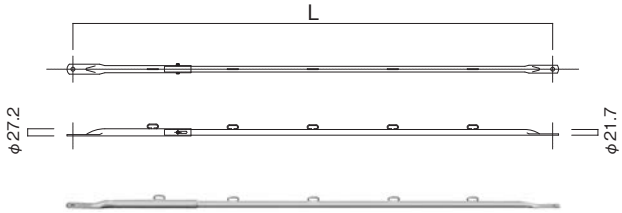


防音パネル用金具 KAS-BP…6.0kg

アサガオ本体 KAS-1515…4.5kg



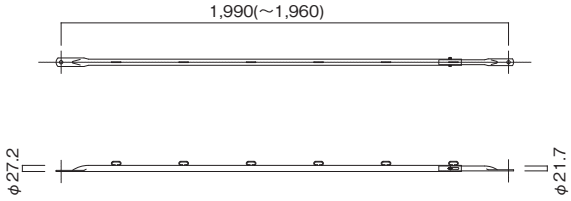
つなぎ材



品　番	調節範囲L（mm）	重量（kg）
KAS-18T	1,800～1,829	2.11
KAS-15T	1,491～1,524	1.83
KAS-12T	1,177～1,219	1.52
KAS-09T	857～914	1.21
KAS-06T	598～612	0.87

コーナー金具 KAS-CK…8.8kg

コーナーつなぎ KAS-20T…2.31kg

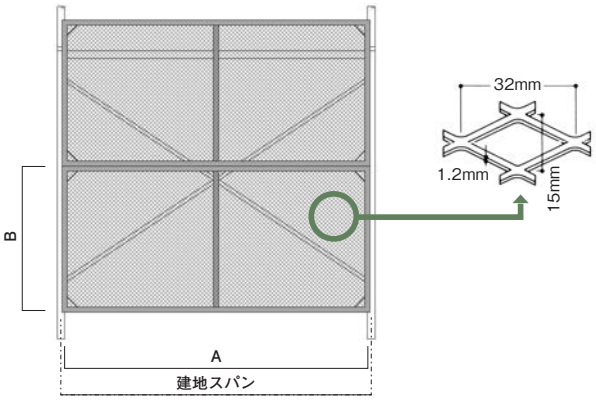


ビティ式養生枠／ネット／シート

詳しくはこちらを
ご覧下さい

●ビティ式養生枠

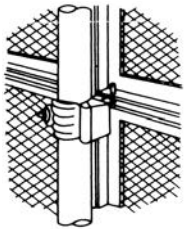
品　番	養生枠寸法(mm)		建　地	重量(kg)
	A	B	スパン(mm)	
OS-4055	1,814	860	1,829	9.2
OS-1524	1,510		1,524	8.9
OS-1219	1,205		1,219	7.6
OS-914	910		914	6.0



●養生枠用クランプ

養生枠兼用クランプ　OS-48D…0.45kg

養生枠兼用コーナークランプ　OS-48CD…0.5kg



●ネット／シート

品　名	品　番	寸法(W×L)(m)
ラッセルネット 仮設工業会認定品 網目／15mm目 網糸／2.4mm	LN0.5×6*	0.5×6
	LN1×6*	1×6
	LN2×6*	2×6
	LN3×6*	3×6
	LN4×6*	4×6
	LN4×7*	4×6
	LN5×5*	5×5
	LN5×10*	5×10
	LN6×6*	6×6
	LN7×7*	7×7
	LN7×10*	7×10
	LN8×8*	8×8
	LN10×10*	10×10
安全ネット 仮設工業会認定品 網目／100mm目 網糸／5.0mm	N3×6*	3×6
	N6×6*	6×6
	N8×8*	8×8
	N5×10*	5×10
	N10×10*	10×10
結束ロープ	JL-01(水平ネット用)	
	JL-02(垂直ネット用)	
	JL(メッシュシート用)	

品　名	品　番	寸法(W×L)(m)
垂直用ネット 仮設工業会認定品 網目／15mm目 網糸／2.0mm	KN1×10*	1×10
	KN6×10*	6×10
	KN7×10*	7×10
	KN1×12*	1×12
	KN3.6×12*	3.6×12
	KN4×12*	4×12
	KN6×12*	6×12
	KN6×6*	6×6
	KN7×7*	7×7
	KN4×14*	4×14
	KN7×14*	7×14
メッシュシート 仮設工業会認定品	MS0.3×5.1*	0.3×5.1
	MS0.6×5.1*	0.6×5.1
	MS0.9×5.1*	0.9×5.1
	MS1.2×5.1*	1.2×5.1
	MS1.5×5.1*	1.5×5.1
	MS1.8×5.1*	1.8×5.1
防音シート	BC1.8×3.4*	1.8×3.4 仮設工業会認定品
防炎養生シート	BS1.8×5.1*	1.8×5.1 仮設工業会認定品
飛散メッシュシート	HMS1.8×5.1*	1.8×5.1 仮設工業会認定品

防音パネル（アルミ）

詳しくはこちらを
ご覧下さい

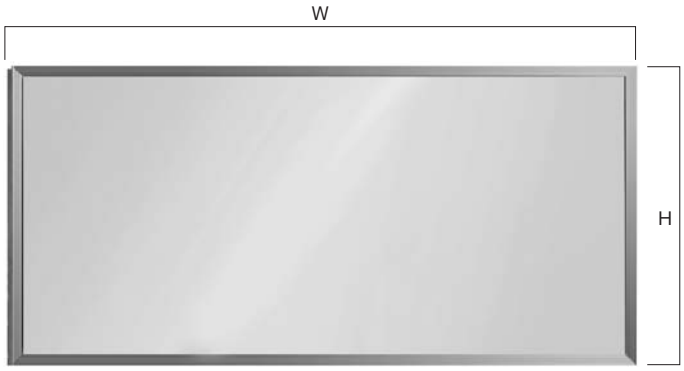
インチサイズ

新築工事における近隣対策に、また解体作業時の防音対策に最適です。
アルミコルゲート板使用により軽量で高所での組み立て、解体作業が安全に行えます。

標準パネル　ABP-6

コーナーパネル　ABP-C

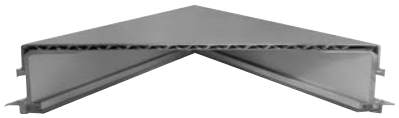
役物パネル　ABP-3



採光防音パネル ABP-6S

直線用クランプ
BP-42KD

コーナー用クランプ
BP-CK3



パネル断面

■規格・寸法・重量

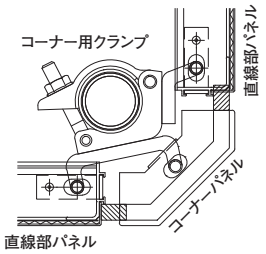
		品番	寸法（mm）			適用足場		重量
			t	W	H	スパン	高さ	(kg)
インチサイズ	標準パネル	ABP-6	45	1,821	848	1,829	1,725	11.5
	役物パネル	ABP-5	45	1,516	848	1,524	1,725	9.8
		ABP-4	45	1,213	848	1,219	1,725	8.0
		ABP-3	45	908	848	914	1,725	6.2
		ABP-2	45	604	848	610	1,725	4.5
	コーナーパネル	ABP-C	87	87	848	コーナー	1,725	0.77
	採光パネル	ABP-6S	45	1,821	848	1,819	1,725	10.1
クランプ		BP-42KD	Φ 48.6、42.7 兼用			直線部		0.6
		BP-CK3	Φ 48.6、42.7 兼用			コーナー部		0.8

＊防音パネル 2 段にて建枠 1 段分の高さになります。

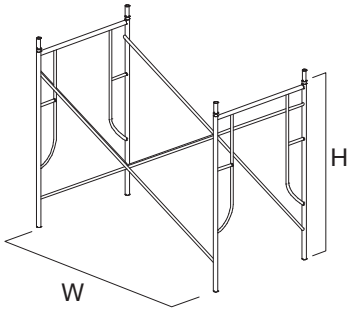
取付け手順

①パネルを所定の位置まで運び、下部金具のピンに防音パネルを取付けます。
②上部金具を取付けます。
③金具を締め付けます。
④取付け完了。

＊最上部の取付け金具のピンは、上から差し込んで下さい。
＊取付け金具（防音パネルクランプ）兼用クランプ（溶融亜鉛メッキ）ですので単管足場にも使用可能
爪はφ 10 を使用



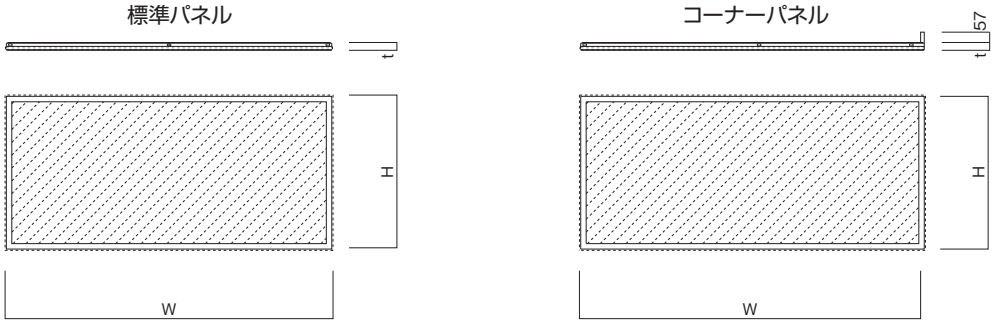
コーナー部



適用足場

メーターサイズ

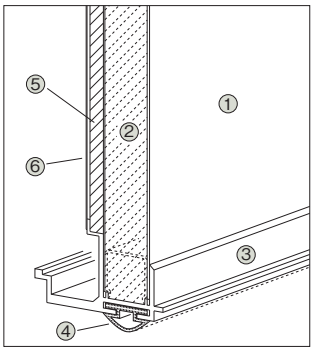
解体作業時の防音対策に、また、新築工事における近隣対策に最適です。
アルミ製ですので軽量で高所での組立て、解体作業が安全に行えます。
コーナー用パネルもありますので、使用すればコーナーがすっきりと仕上がります。
都会での工事現場のイメージを考え開発された製品で、美観重視型の防音パネルです。（日本塗料工業会 A45-92B）



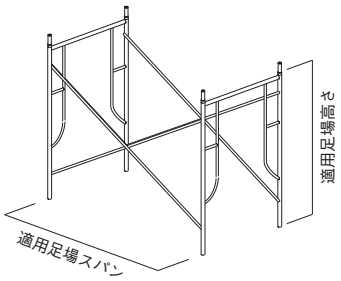
■規格・寸法・重量

		品　番	寸法（mm）			適用足場		重量（kg）
			t	W	H	スパン	高さ	
メーターサイズ	標準パネル	BP-18M	43	1,794	842	1,800	1,700	8.8
		BP-12M		1,194		1,200		6.2
		BP-09M		894		900		5.0
		BP-06M		594		600		3.6
	コーナーパネル	BP-18C	43	1,894	842	1,800	1,700	9.4
		BP-12C		1,294		1,200		7.3
		BP-09C		994		900		6.0
クランプ		BP-42KD	Φ 48.6、Φ 42.7 兼用			直線部		0.48
		BP-CKD				コーナー部		0.5

＊防音パネル２段にて建枠１段分の高さになります。
＊防音パネル用クランプは、風荷重を受けますので養生枠用クランプとは違います。
＊損傷を防ぐため、専用パレットで配送。



① 遮音板（色：アーバングリーン）
② 芯　材
③ 枠　材（アルミ）
④ ゴムパッキング
⑤ 吸音材（ソフラン）
⑥ 裏　板（パンチングメタル）

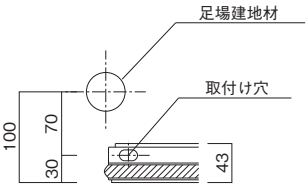


●取付け部品

直線部

取付金具 BP-42KD…0.48kg
（標準パネル用）

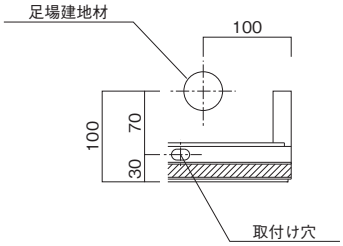
標準パネル用



コーナー部

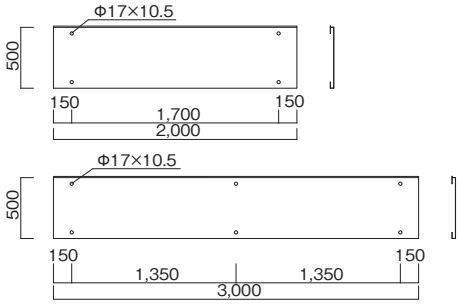
取付金具 BP-CKD…0.50kg
（コーナーパネル用）

コーナーパネル用



フラットパネル／安全鋼板／単管杭

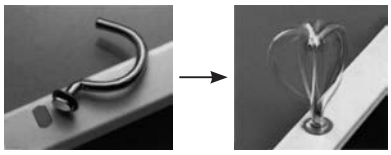
●フラットパネル



品　番	厚み(mm)	長さ(mm)	重量(kg)
VIC-2.0＊	1.2	2,000	12.4
VIC-3.0＊	1.2	3,000	18.6

クイックフック 販売品

品　番	重量(g)
VIC-F	70

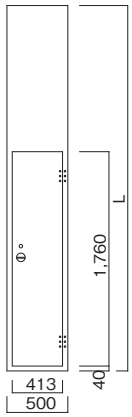


ドアパネル

品　番	長さ(mm)	重量(kg)
VIC-2.0D＊	2,000	19.0
VIC-3.0D＊	3,000	25.0

ドアパネル連結金具 販売品

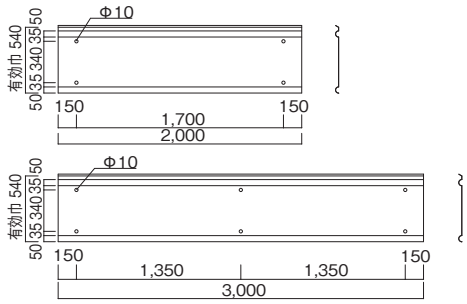
VIC-DR…140g



パンチングタイプ　クリアタイプ　スライドタイプ　自在コーナー

各種特殊タイプにつきましては、お問い合わせ下さい。

●安全鋼板



品　番	幅(mm)	厚み(mm)	長さ(mm)	重量(kg)
SB-540-2＊	540	1.2	2,000	11.7
SB-540＊	540	1.2	3,000	17.6

フックボルト BB-01 販売品

φ9

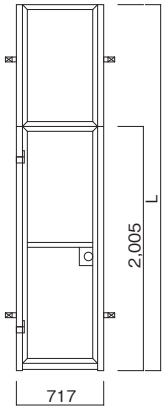
STドアパネル

(1) グレー

品　番	長さ(mm)	重量(kg)
ST-D2G＊	2,000	60
ST-D3G＊	3,000	76

(2) ホワイト

品　番	長さ(mm)	重量(kg)
ST-D2W＊	2,000	60
ST-D3W＊	3,000	76



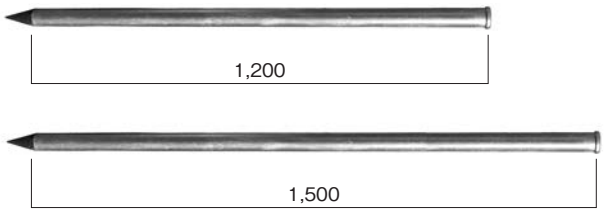
パンチングタイプ

クリアタイプ

各種特殊タイプにつきましては、お問い合わせ下さい。

●単管杭

販売品



品　番	長さ(mm)	重量(kg)
KUI-1.2	1,200	3.53
KUI-1.5	1,500	4.35

上記サイズに限らず、ご要望のサイズを製作いたします。

頭部詳細

先端部詳細

室内足場

脚　立

詳しくはこちらを
ご覧下さい

●アルミ脚立（プロ用）

脚　立 LS-9A…5.7kg（アルミ）

脚　立 LS-12A…8.0kg（アルミ）

脚　立 LS-18A…11.2kg（アルミ）

脚　立 LS-27A…18.6kg（アルミ）

■仕様

最大使用荷重 1.57kN

品　番	天板寸法（mm）		天板高さ（m）	重量（kg）
	正面幅	奥　行		
LS- 9A	312	163	0.90	5.7
LS-12A	312	163	1.20	8.0
LS-18A	312	163	1.80	11.2
LS-27A	302	150	2.72	18.6

※リーラック機材オリジナル仕様です。

●安全ストッパー

安全ストッパー S-1 型 ASP-1（傾斜凹凸調整用）販売品
ASP-1=70 ～ 470（調整値）

※アルミ脚立には使えません。
踏板付脚立用です。

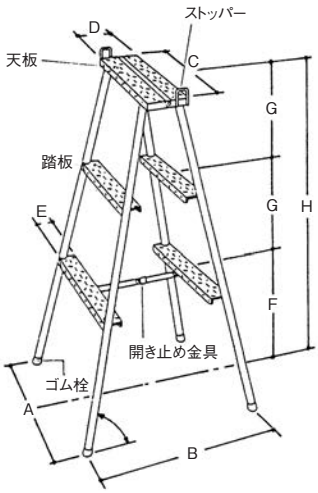
●踏板付脚立

■型式・寸法（mm）

鋼製、溶融亜鉛メッキ

品　番	LS-9	LS-13, LS-13S	LS-18, LS-18S
重量（kg）	7.9	11.7	15.2
H	900	1,330	1,735
A	600	700	700
B	606	852	1,085
C	500	500	500
D	150	150	150
E	60	60	60
F	500	517	517
G	400	406	406

許容荷重（kN）　天 板 3.92　踏 板 1.96



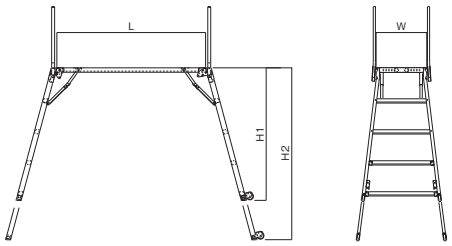
シルバーペガサス（アルミ）（PAT）

詳しくはこちらを
ご覧下さい

■標準仕様

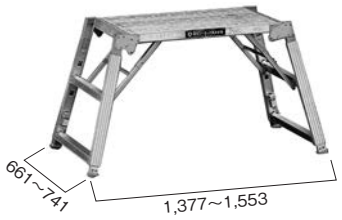
品　番	サイズ（mm）					重量（kg）
	L	W	H1	H2	伸縮幅	
PE-500MS	800	500	720	1,050	330	13.0
PE-500M	1,500	500	720	1,050	330	15.0
PE-500L	1,500	500	1,200	1,600	400	20.0
PE-500LL	1,500	500	1,350	1,750	400	21.0

※リーラック機材オリジナル仕様です。

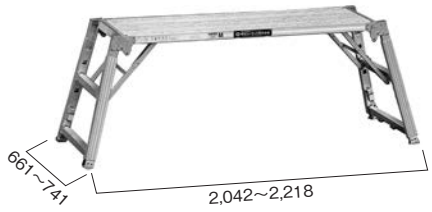


許容荷重：1.47kN

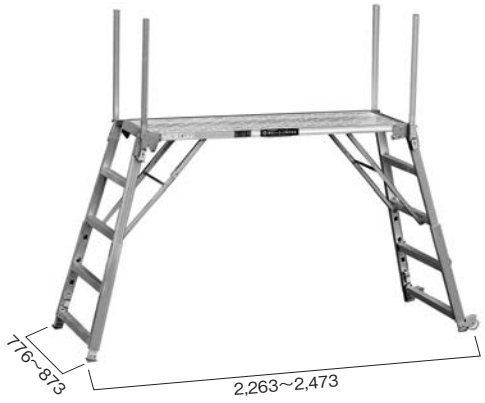
シルバーペガサス PE-500MS…13.0kg（アルミ）



シルバーペガサス PE-500M…15.0kg（アルミ）

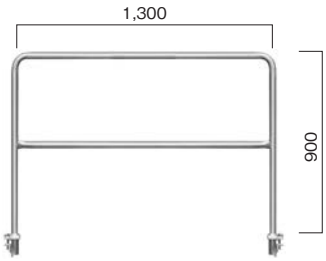


シルバーペガサス PE-500L…20.0kg（アルミ）

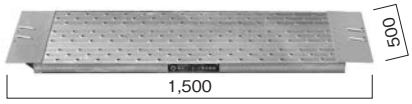


シルバーペガサス PE-500LL…21.0kg（アルミ）

補助手摺 PE-135T…6.8kg



タテ、ヨコブリッジ PE-156B…10.0kg
L1,500 × W500

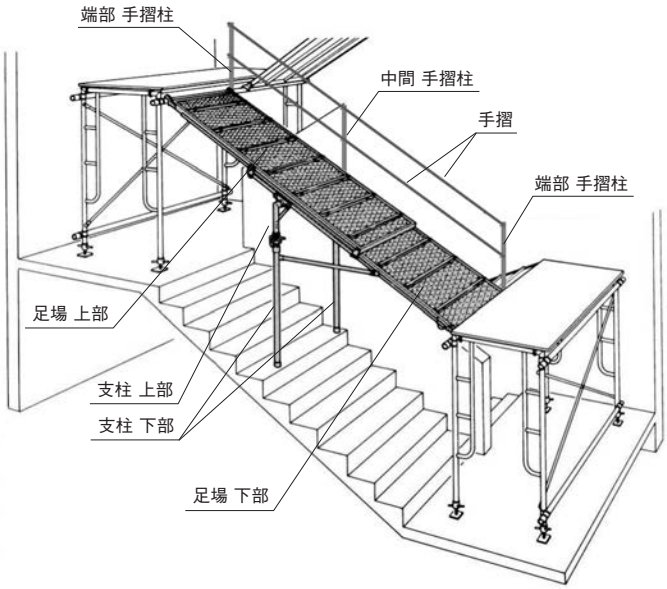


階段足場（アルミ）

詳しくはこちらを
ご覧下さい

不便な階段部の内装工事も楽に行えます。
軽量でコンパクトな組立式足場です。

許容荷重：1.96kN

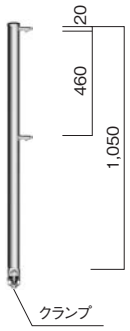


■1セット当りの数量

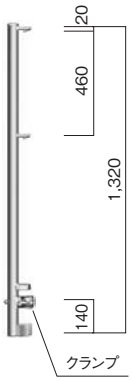
品　番	部材名称	数量	重量（kg）
ASK-750U	足場上部	1	14.5kg/台
ASK-750D	足場下部	1	14.5kg/台
ASK-880UH	支柱上部	1	3.6kg/台
ASK-142D	支柱下部	2	8.8kg/台
ASK-P1	端部手摺柱	2	2.8kg/台
ASK-P2	中間手摺柱	1	4.2kg/台
ASK-H1	手摺	2	7.3kg/台

＊調節高　1,730 ～ 2,550　＊手摺は片側設置の数量です。

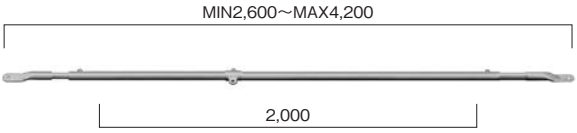
手摺柱 ASK-P1…2.8kg



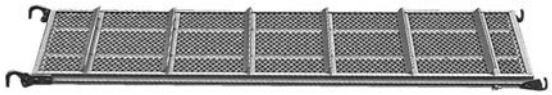
手摺柱 ASK-P2…4.0kg



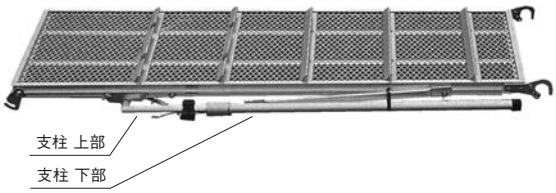
伸縮手摺 ASK-H1…7.3kg



足場 上部 ASK-750U…14.5kg



足場 下部 ASK-750D…14.5kg



支柱は足場下部から取り外すことが可能です

支柱 上部 ASK-880UH…3.8kg

支柱 下部 ASK-142D…4.4kg

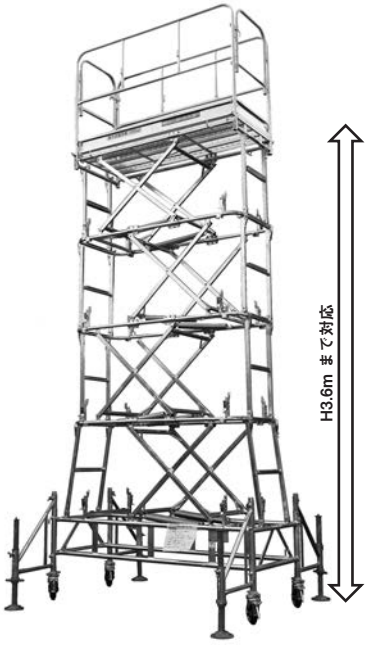
ラックステージ

詳しくはこちらを
ご覧下さい

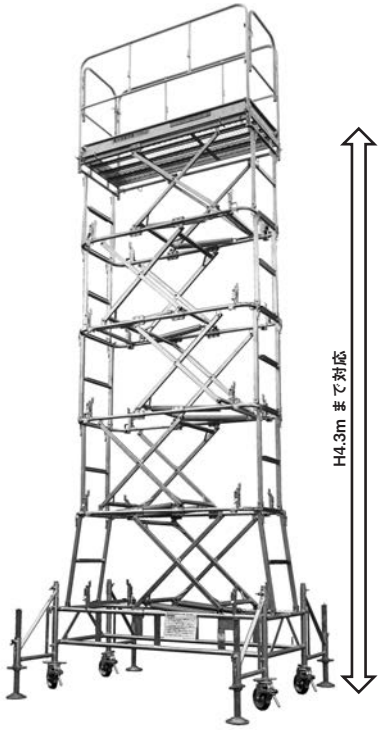
伸縮はバネバランスにより軽く行えます。
収納作業を安全に行えるように指挟みを防止する金具が装備されています。
アウトリガーにより横荷重による6°の転倒余裕角度が保たれますので、高所での作業も安全に行えます。
5段階、6段階の高さ調整ができ、様々な作業環境に対応します。

最大積載荷重	135 kg
昇降装置	手動式（バネバランス式）
表面処理	溶融亜鉛メッキ
移動車輪	材質：ゴム　直径：φ150mm キャスター方式、ストッパー付

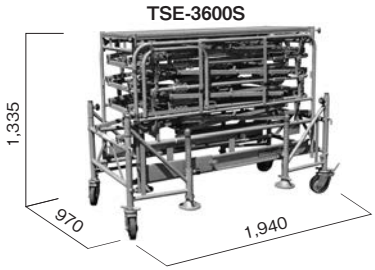
ラックステージ 3.6　TSE-3600S…240.0kg



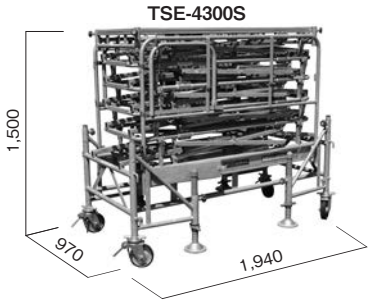
ラックステージ 4.3　TSE-4300S…260.0kg



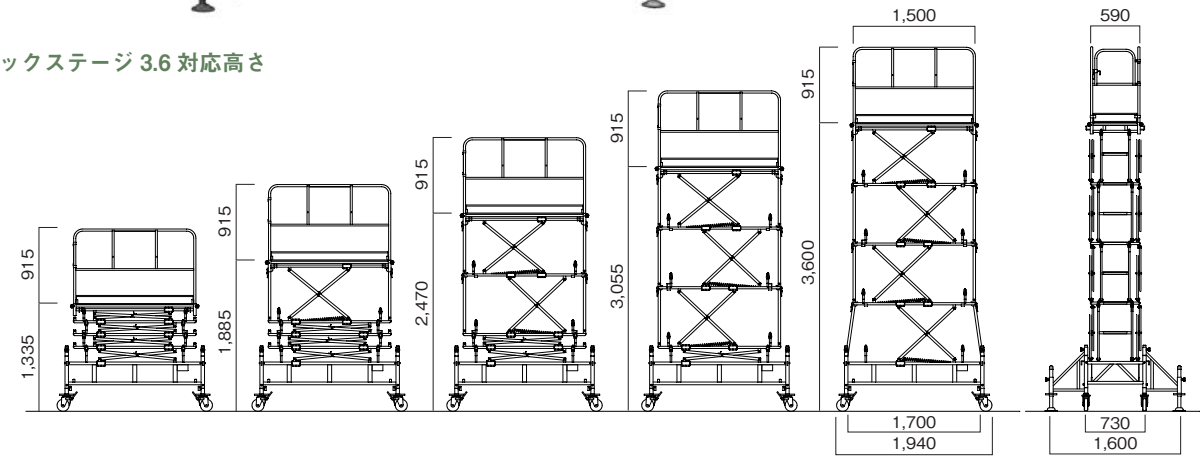
TSE-3600S



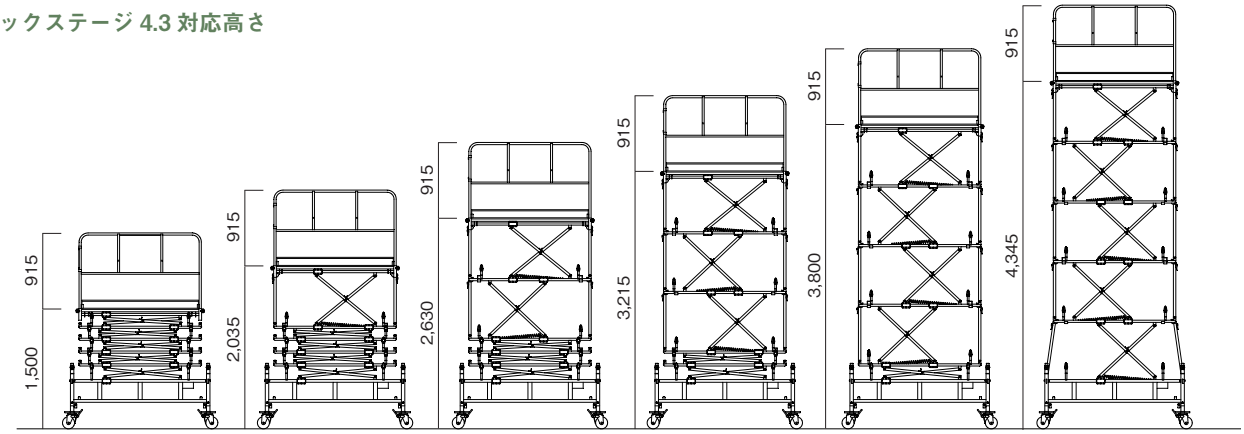
TSE-4300S



■ラックステージ 3.6 対応高さ

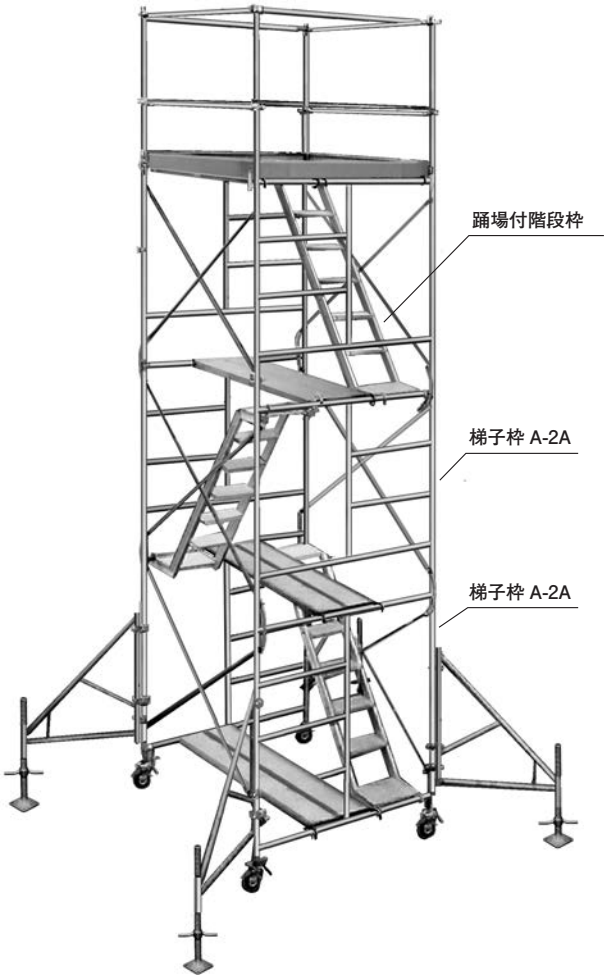


■ラックステージ 4.3 対応高さ



内階段式ローリングタワー

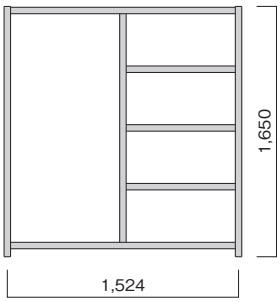
詳しくはこちらを
ご覧下さい



■部材構成

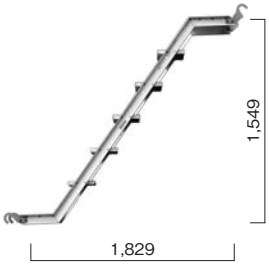
部材名称	品　番	数　量						
		1段	2段	3段	4段	5段	6段	7段
梯子型建枠	A-2A	2	2	2	2	2	2	2
梯子型建枠	A-2	−	2	4	6	8	10	12
連結ピン	A-20A	−	4	8	12	16	20	24
アームロック	A-125	−	4	8	12	16	20	24
筋　違	A-14	2	4	6	8	10	12	14
手摺柱	RT-6	4	4	4	4	4	4	4
手　摺	A-31S	4	4	4	4	4	4	4
手　摺	A-32S	2	2	2	2	2	2	2
手　摺	RT-4	2	2	2	2	2	2	2
手　摺	AT-2	1	2	3	4	5	6	7
踊場付階段枠	K-3615SA	1	2	3	4	5	6	7
開閉布板	BKN-6K	1	1	1	1	1	1	1
鋼製布板	BKN-6	3	4	5	6	7	8	9
巾　木	RT-1	2	2	2	2	2	2	2
巾　木	RT-2	2	2	2	2	2	2	2
ジャッキ付キャスター	A-725J	4	4	4	4	4	4	4
控　枠	RT-3	−	−	4	4	4	4	4
ロングジャッキベース	RT-5	−	−	4	4	4	4	4

梯子型建枠 A-2A…20.0kg

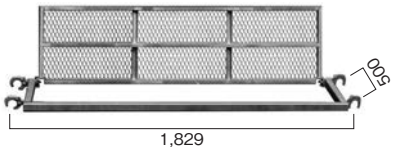


踊場付階段枠 K-3615S…23.0kg 幅 400

踊場付階段枠 K-3615SA…14.0kg 幅 420
（アルミ）

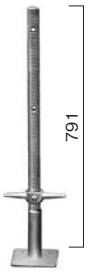


開閉布板 BKN-6K…18.0kg

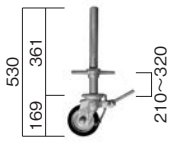


連結ピン A-20A…0.53kg

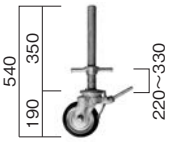
ジャッキベース RT-5…5.5kg



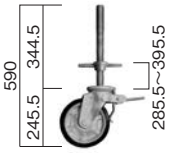
ジャッキ付キャスター
A-725J…5.7kg
許容荷重 1.76kN



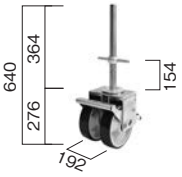
ジャッキ付キャスター
A-726J…5.7kg
許容荷重 1.96kN



ジャッキ付キャスター
A-728J…7.4kg
許容荷重 2.45kN

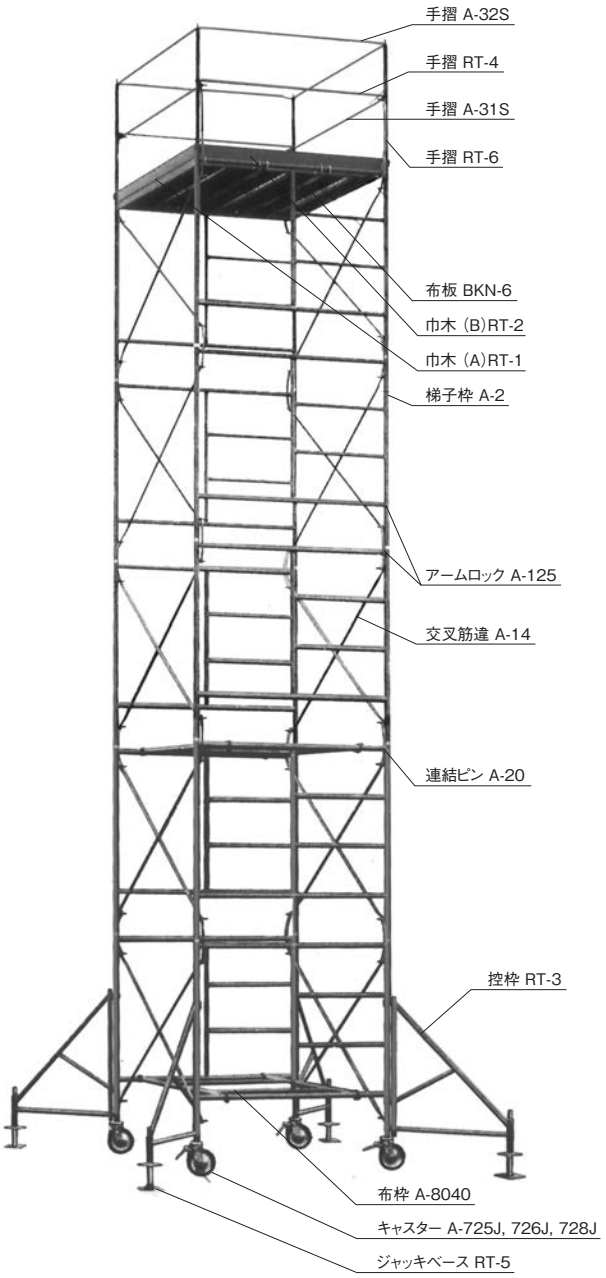


ダブルキャスター
A-728WJ…11.5kg
許容荷重 5.89kN



ビティ式ローリングタワー

詳しくはこちらを
ご覧下さい

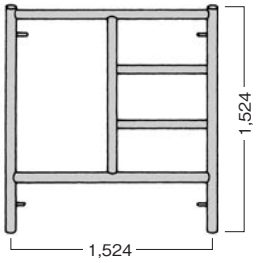


■部材構成

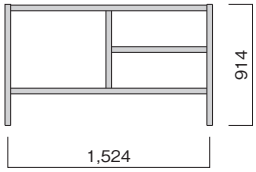
部材名称	品　番	数　量						
		1段	2段	3段	4段	5段	6段	7段
梯子型建枠	A-2	2	4	6	8	10	12	14
筋　違	A-14	2	4	6	8	10	12	14
連結ピン	A-20A	−	4	8	12	16	20	24
アームロック	A-125	−	4	8	12	16	20	24
手摺柱	RT-6	4	4	4	4	4	4	4
手摺（1829）	A-31S	4	4	4	4	4	4	4
手摺（1524）	A-32S	2	2	2	2	2	2	2
手摺（1524）	RT-4	2	2	2	2	2	2	2
鋼製布板	BKN-6	3	3	3	3	3	3	3
布　枠	A-8040	1	1	1	2	2	2	2
巾　木（1829）	RT-1	2	2	2	2	2	2	2
巾　木（1524）	RT-2	2	2	2	2	2	2	2
キャスター	A-728J,A-726J,A-725J	4	4	4	4	4	4	4
控　枠	RT-3	−	−	−	−	4	4	4
ロングジャッキベース	RT-5	−	−	−	−	4	4	4

※ 0.5 段を加える場合　A-2 の代わりに A-4
A-14 の代わりに A-08 を使用して下さい。

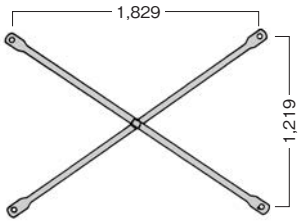
梯子型建枠 A-2…19.0kg



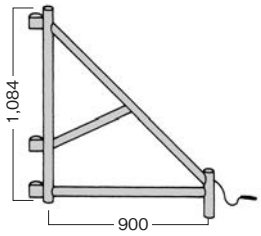
梯子型建枠 A-4…15.0kg



交叉筋違 A-14（A-08）…4.2kg（3.7kg）

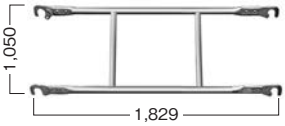


控　枠 RT-3…9.9kg



鋼製布板 BKN-6…15.6kg

布　枠 A-8040…13.2kg

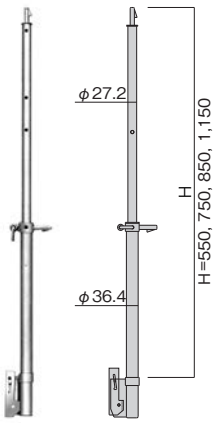


手　摺 RT-4…1.5kg

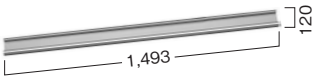
手　摺 A-32S…1.87kg

手　摺 A-31S…2.33kg

（PAT-P）
伸縮手摺柱 RT-6…3.5kg

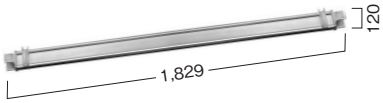


巾　木 RT-2…3.5kg



アームロック A-125…0.34kg

巾　木 RT-1…5.0kg



詳しくはこちらを
ご覧下さい

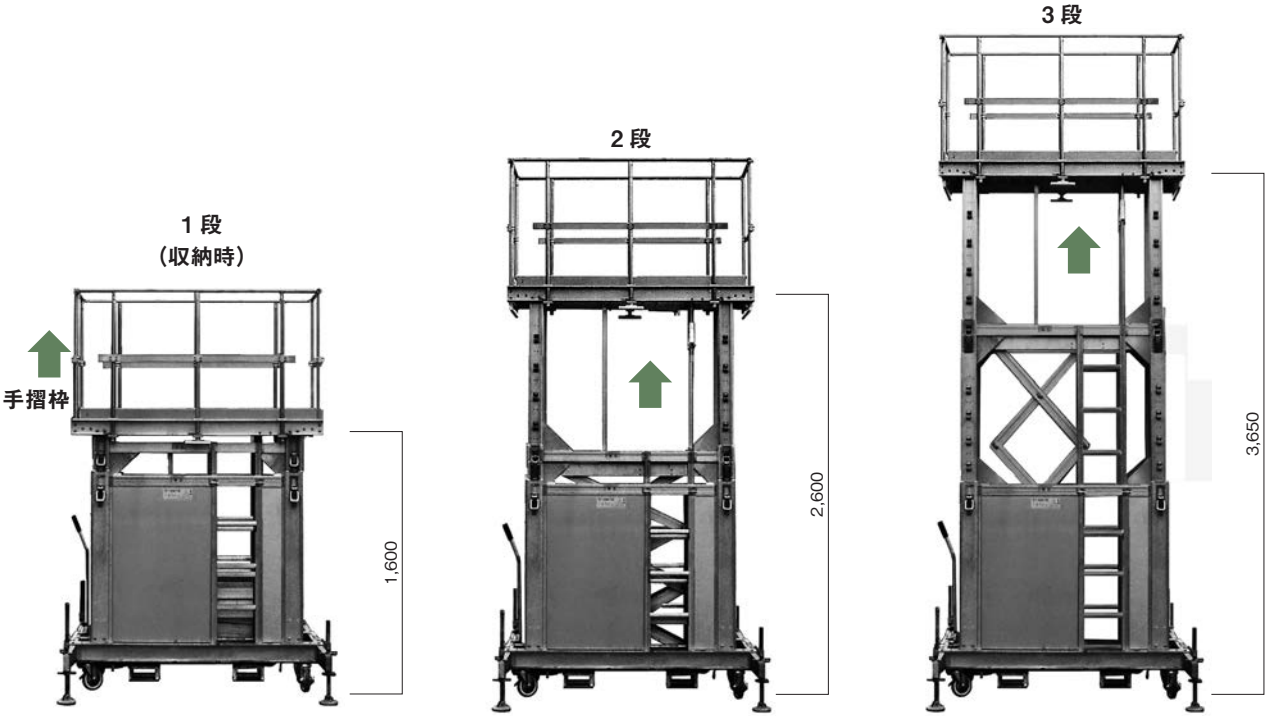
より安全第一　アルミ製高所作業台
（昇降オイルジャッキ式）

1. 軽量であること。
2. 人力作動による昇降機能であること。
3. 人力搬送可能であること。
4. エレベーターでの搬送可のこと。
5. 高さ調節可能なこと。
6. 手摺、アウトリガーの収納可能なこと。
7. 高さ設定後の作業者の昇降可能なこと。
8. 作業床面の揺れの無いこと。
9. 安全に操作できること。
10. メンテ作業の容易なこと。

■基本仕様

全体寸法（mm）（長さ×幅×高さ）		1,700 × 700 × 1,905
最大作業床高さ（mm）		3,650
最低作業床高さ（mm）		1,780
固定作業床高さ（mm）	低所設定	1,780, 1,970, 2,170, 2,370, 2,570, 2,770
	高所設定	2,950, 3,125, 3,300, 3,475, 3,650
アウトリガー張出し幅（mm）		1,700
作業床寸法（mm）		500 × 1,600
最大積載荷（kg）		145
自重（kg）		350

使用段階図



手摺枠は内蔵されています。

安全・便利機材

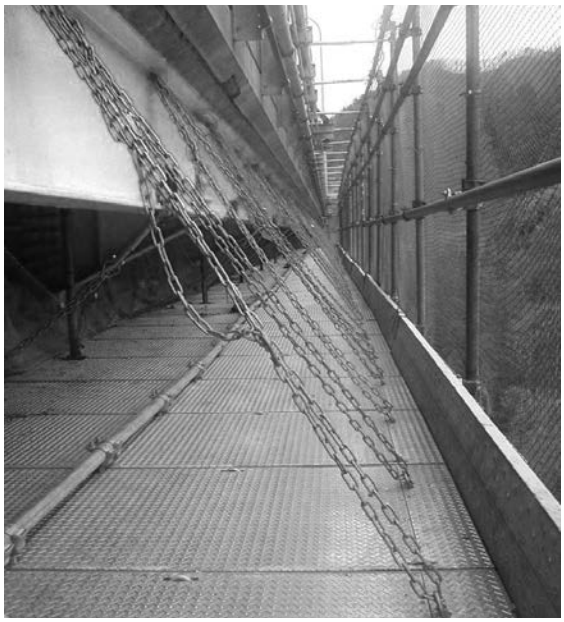
カラマンチェーン

詳しくはこちらを
ご覧下さい

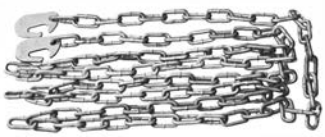
●つり鎖（カラマンチェーン）

0.65kg／m

品　番	長さ(m)	重　量	カラーブッシュ取付
KSC-2.0	2.0	1.4	青
KSC-3.0	3.0	2.1	黄
KSC-4.0	4.0	2.8	緑
KSC-5.0	5.0	3.5	赤



呼び径	6.0 mm
内　長	37.0 mm
内　巾	10.5 mm
メッキ	溶融亜鉛メッキ
リンク	SWM-B
フック	SS400相当



吊チェーンは全数 7.85kN の引張強度試験を行います。

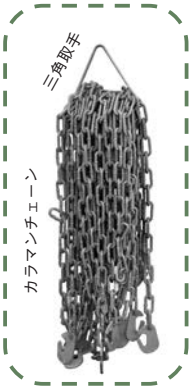
■強度試験

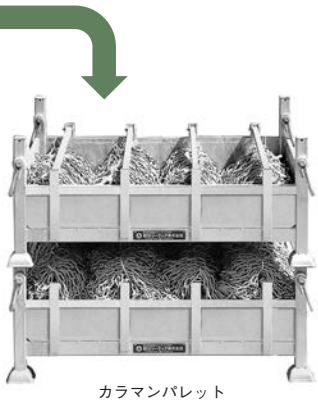
供試体　No.	1	2	3	4	5	平均値
強　度（kN）	24.6	25.6	24.2	23.9	23.9	24.4
厚生労働省規格	15.7 kN 以上					

■強度基準

耐力試験基準		7.84 kN
破壊荷重		17.6 kN
使用安全荷重	1本吊り	2.35 kN
	ループ吊り	4.21 kN

■パレット保管





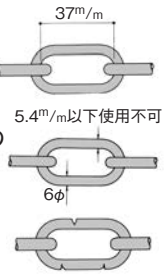
カラマンパレット

	三角取手収納数	1パレット収納数	重量(kg)
KSC-2.0	10	400	605
KSC-3.0	7	280	617
KSC-4.0	5	200	605
KSC-5.0	4	160	613

つり鎖(カラマンチェーン)の使用限度〈労働安全衛生規則より〉

1)使用強度
第562条(最大積載荷重)
つり鎖安全率5以上のため　24.4kN/5≒4.88kN

2)使用不能品の範囲
第574条(つり足場より)
①チェーンの伸び(内径)
5%以上の伸びは不良品。
形状　37mm×1.05=38.85mm以上のもの
②リング直径(丸鋼)
10%以上の減少は不良品。
6φmm×0.9=5.4mm以下のもの



③その他
材料に亀裂及び変形・腐食・著しい損傷のあるものは不良品。

＊当社では上記項目の不良品は出荷しておりません。
＊安全衛生規則第562条2項、第574条2項、3項を参照下さい。

保管状況

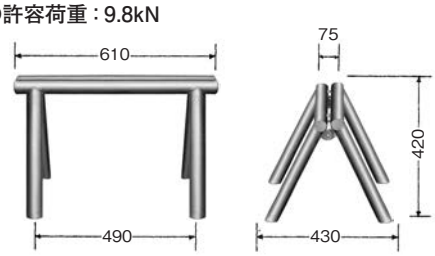
道板受台／LBマット

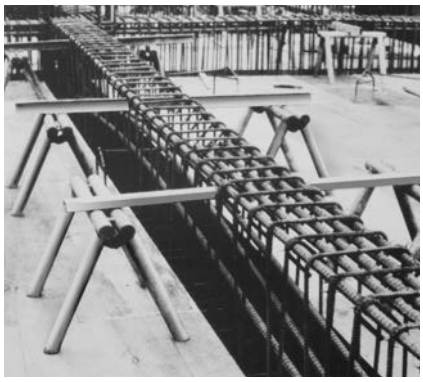
詳しくはこちらをご覧下さい

●道板受台

道板受台 T-600…9.5kg
溶融亜鉛メッキ

●寸法　W610 × D430 × H420
●許容荷重：9.8kN





足場板などと組合わせて運搬車の通路や、50角鋼管、60角鋼管と合わせて梁鉄筋の組立て架台等として便利に使用できます。
折り畳み式ですので収納は場所をとりません。

●スラブ筋用歩行マット

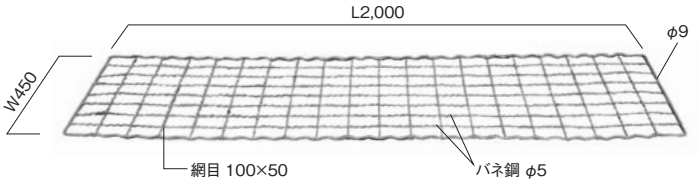
軽量でコンパクトです。
配筋保護が簡単です。配筋の押し曲げ、結束線切断の防止ができます。
マット上からコンクリート打設及びバイブレーターの使用が可能です。
網目状のため滑りにくいので安全です。

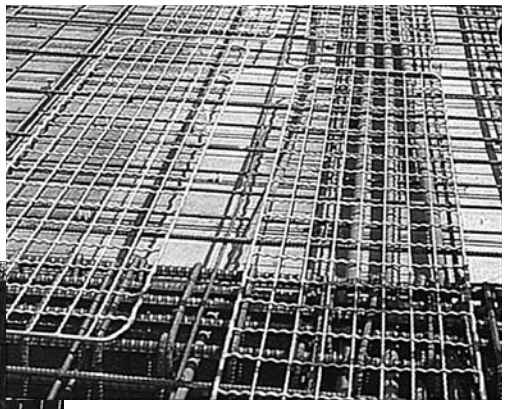
スラブ筋用歩行マット LB-2000…6.0kg

配筋上の通路設置が簡単になります。

注意事項

1）配筋上の通路以外は使用しないで下さい。特に開口部では絶対に使用しないで下さい。
2）コンクリート打設時に埋殺しに注意して下さい。





アルミ台車

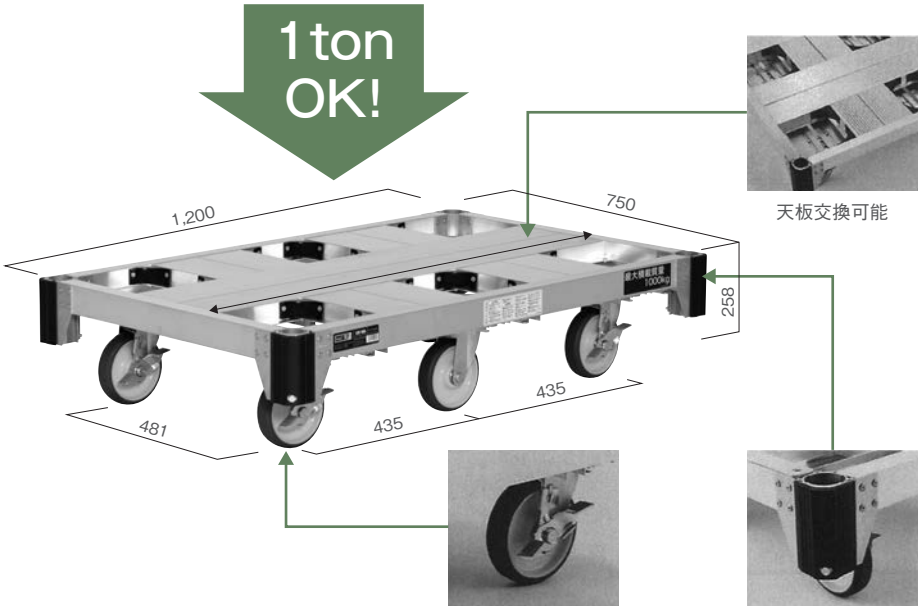
詳しくはこちらを
ご覧下さい

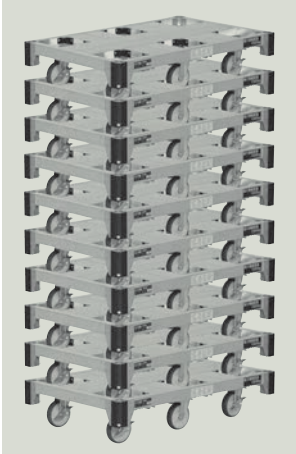
アルミ合金製で軽量、取り扱い容易です。
積み重ねて収納可能です。
大型キャスター（φ150、ウレタン製）を使用してます。
専用金具で連結可能。多くの荷物を運搬できます。
四隅には単管パイプを差し込め、保護パッドを装備しています。

単管パイプを差し込めます

アルミ6輪台車 D6-1275A…25.7 kg

最大積載　1.0 ton





10 段まで積み重ね可能

連結金具 D6-J

単管パイプを差した
状態でも連結できます

連結金具

ハンドガード D6-HG130

単管パイプに差し込み使用します
壁などに手を挟むのを防止します

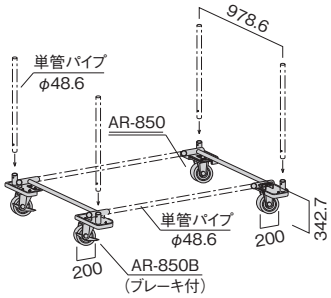
注意事項

最大積載荷重（1.0ton／台）以内で必ずご使用下さい。
台車を停止させる際は、必ず四隅の車輪のブレーキを全て固定（On）して下さい。
段差を通過する際にはスロープを設置して下さい。キャスター破損の原因になります。
スロープ・傾斜地でのご使用は十分注意して下さい。
ジョイント金具をご使用の際、スロープ・傾斜地でのご使用は
十分注意して下さい。金具が外れる事があります。
人を乗せないで下さい。

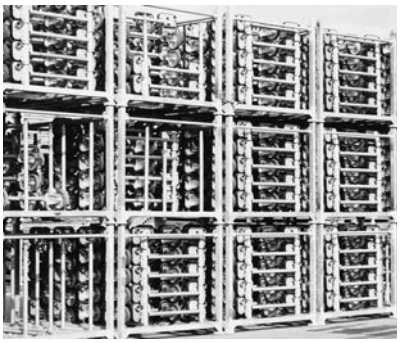
ラック台車 (PAT)

詳しくはこちらを
ご覧下さい

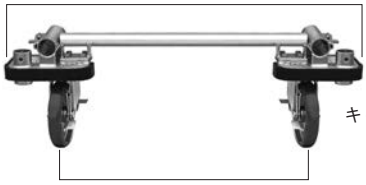
1）建設作業場内の資材運搬、用途が広く小運搬に最適です。
2）クサビ方式で簡単に組立解体ができ、収納・保管場所をとりません。
3）お手持ちの単管パイプ（φ48.6）を使用することにより、長さは自由に調節できます。
4）鋼製布板を簡単に取付けが可能です。
5）キャスターが8吋ですので走行が楽に行えます。



積載荷重：9.8kN



ラック台車 車輪固定
AR-850…19.8kg
車輪自在、ブレーキ付
AR-850B…22.4kg
●許容荷重：500kg/台

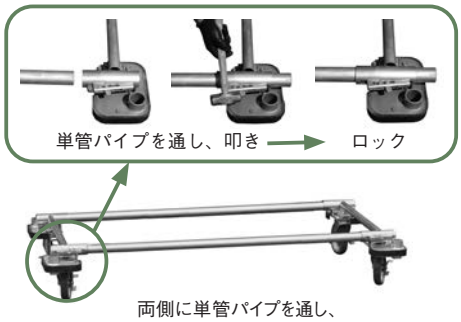


キャスター：
ウレタンφ200mm

■一連セット重量表

部材名称	品　番	数　量	重量（kg）
架台フレーム （車輪が固定されています）	AR-850	1台	19.8
架台フレーム（ブレーキ付） （車輪が自在に動きます）	AR-850B	1台	22.4
鋼製布板 （インチサイズ）	BKN-6 BKN-624	1枚	15.6 8.5
鋼製布板 （メーターサイズ）	BKN-18 BKN-1824	1枚	16.0 8.5
単管パイプ	STK-2.0	2本	5.46

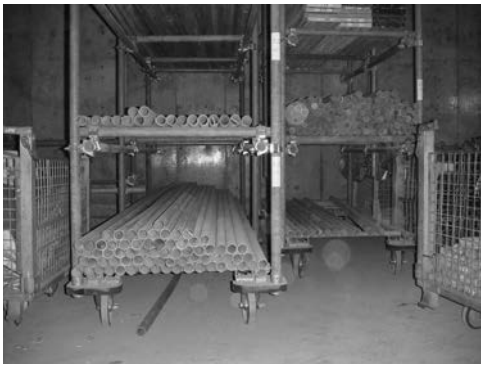
セット重量（インチ）77.2kg



両側に単管パイプを通し、
クサビを叩くだけで完成


四隅に単管パイプを立て、
手摺柱にできます


鋼製布板をかけることが
できます



トラック昇降台（アルミ製）

詳しくはこちらを
ご覧下さい

アルミ合金製で軽量。取り扱い、移動も楽です。
昇降角度60°で安全に昇り降りができます。
踏板、天板は滑り止め加工で安全に使用できます。
折り畳み式ですので、運搬も簡単です。背面の車輪で移動が楽に行えます。
踊場手摺を3面に取付ける事により、壁面、天井の作業にも使用できます。

タイプⅠ

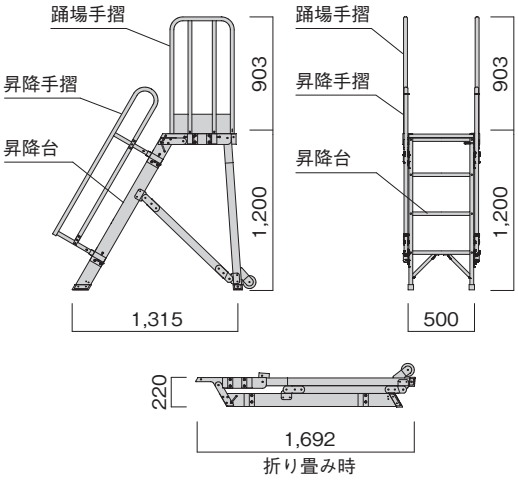
部材名称	品　番	数　量	許容荷重	重　量
昇降台	TL-1200P	1	120 kg	24.4 kg
昇降手摺	TL-H1P	2		
踊場手摺	TL-H2P	2		

昇降台 TL-1200P…15.8kg

昇降手摺 TL-H1P…1.9kg

踊場手摺 TL-H2P…2.4kg

組立図

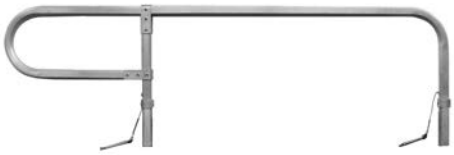


タイプⅡ

部材名称	品　番	数　量	許容荷重	重　量
昇降台	TL-1200	1	120 kg	26.9 kg
昇降手摺	TL-H1	2		
踊場手摺	TL-H2	2		

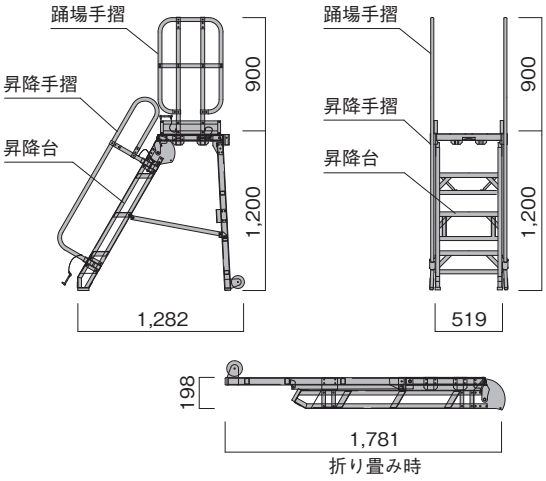
昇降台 TL-1200…18.3kg

昇降手摺 TL-H1…1.6kg



踊場手摺 TL-H2…2.7kg

組立図



ダンプ昇降台（アルミ製）

詳しくはこちらを
ご覧下さい

アルミ合金製で軽量。取り扱い、移動も楽です。
昇降角度60°で安全に昇り降りができます。
踏板、天板は滑り止め加工で安全に使用できます。
折り畳み式ですので、運搬も簡単です。背面の車輪で移動が楽に行えます。
踊場手摺を3面に取付ける事により、壁面、天井の作業にも使用できます。

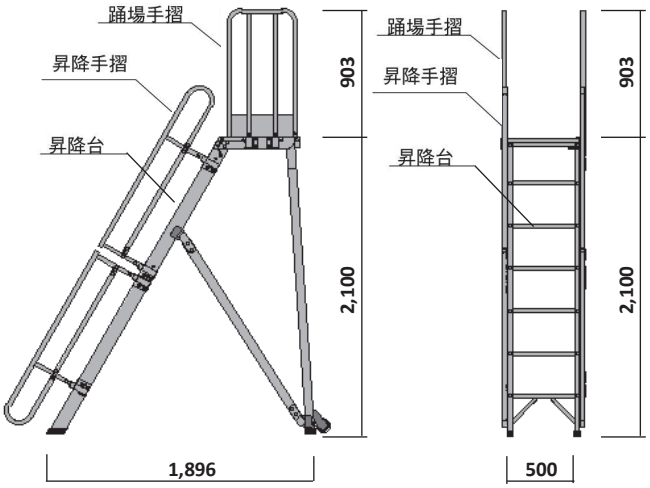
部材名称	品　番	数　量	許容荷重	重　量
昇降台	TL-2100P	1	120 kg	37.4 kg
昇降手摺	TL-H1P	4		
踊場手摺	TL-H2P	2		

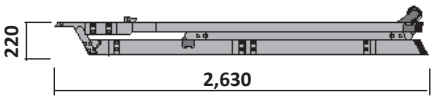
昇降台 TL-2100P…25.0kg

昇降手摺 TL-H1P…1.9kg

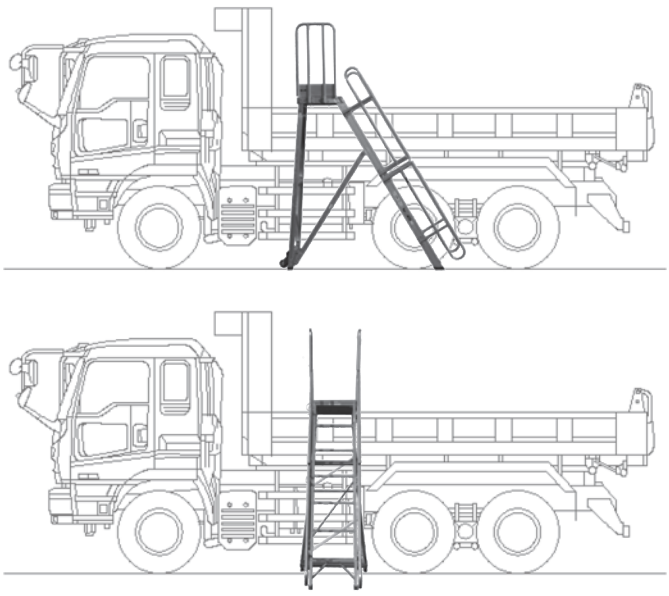
踊場手摺 TL-H2P …2.4kg

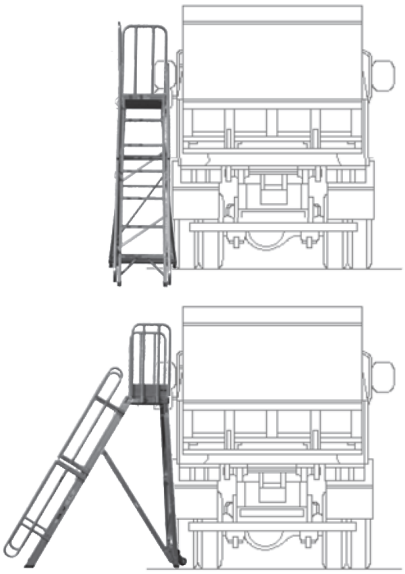
組立図





折り畳み時





A型バリエース

詳しくはこちらを
ご覧下さい

この製品は工事現場の周辺に設置される、バリケードに使用する折たたみ式脚で、従来のバリケードのイメージと全く異なる、斬新なアイディアを取り入れた製品です。

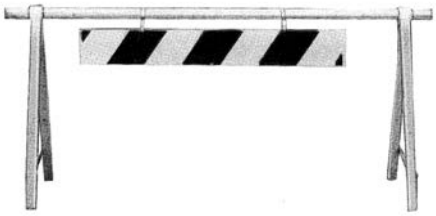
1）工具等を使用せず、工事現場で容易に且迅速に組立・解体ができます。
2）連結パイプは工事現場に手持ちの足場パイプ（又はバタパイプ）を利用できるから、経済的です。
3）連結パイプは長短いずれも使用でき、又連続して一体的に組立てる事ができるから、風圧や衝撃により転倒することが少なく安全です。
4）折たたみ式になっているので運搬・保管の際、嵩張らず経費の節約ができます。
5）ゴム栓を取付ける事により、脚立及び道坂受け台にも御使用になれます。
6）点滅灯取付金具・その他の部材を取付ければ、応用範囲が広く便利です。

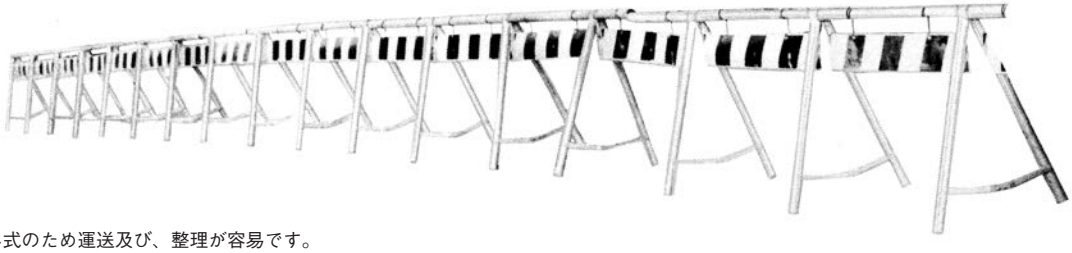
構　造

2本の脚パイプ（STK41，42.7φ）の上端を半円弧状にプレスし、脚パイプ相互を蝶番及び開き止にて連結し、脚パイプの下方を左右に開き、開き止を押し下げることにより、脚パイプの上端部が、連結パイプを緊結固定する構造になっています。

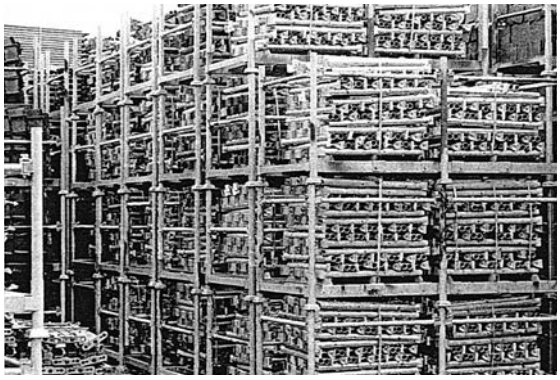
使用例

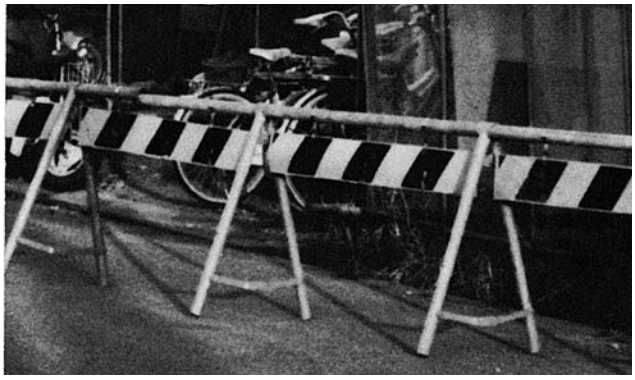
バリエース　BA-800…4.6kg





折たたみ式のため運送及び、整理が容易です。

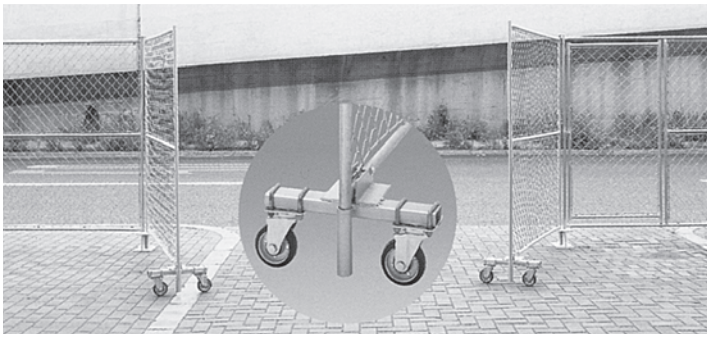




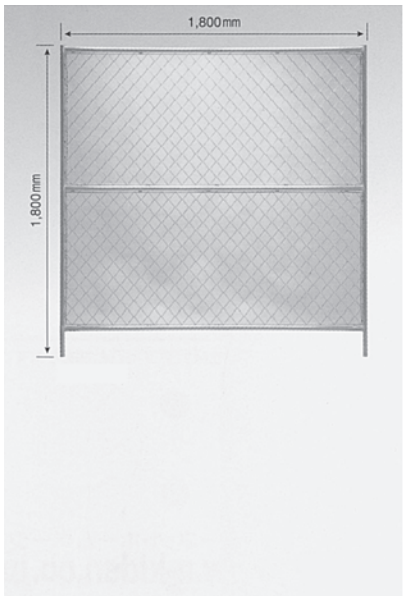
フェンスバリケード

詳しくはこちらを
ご覧下さい

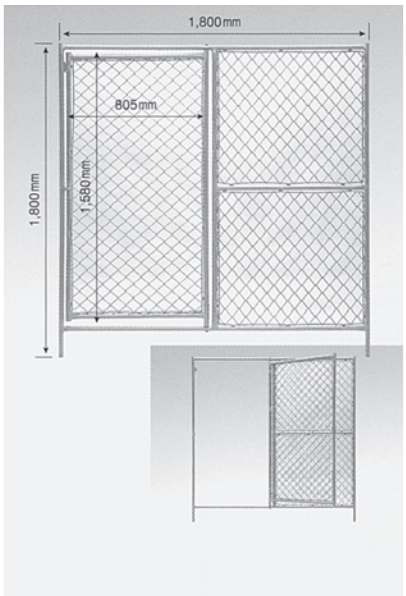
ガルバリウム鋼管を使用し、抜群の耐久性を発揮します。



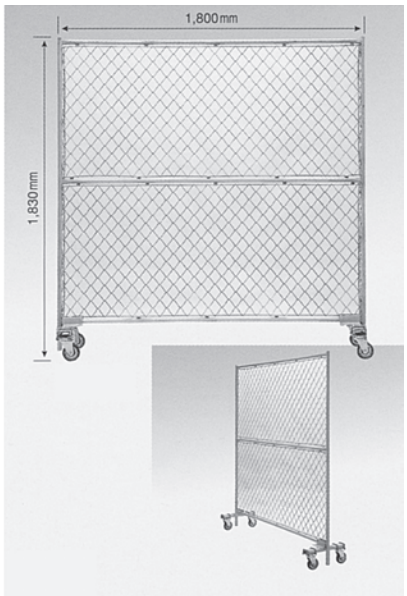
フェンスバリケード FA-1818…15.0kg



フェンスバリケード FA-1818D…19.0kg
（くぐり戸付き）



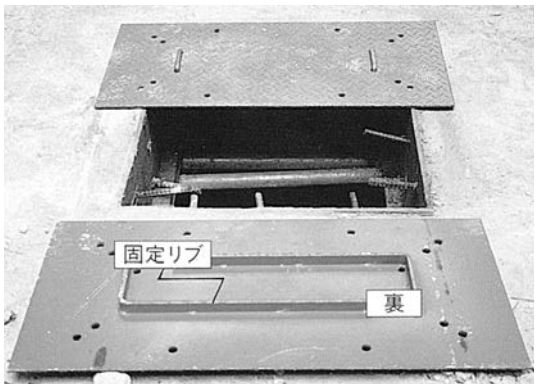
フェンスバリケード FA-1818C…22.0kg
（キャスター付き）

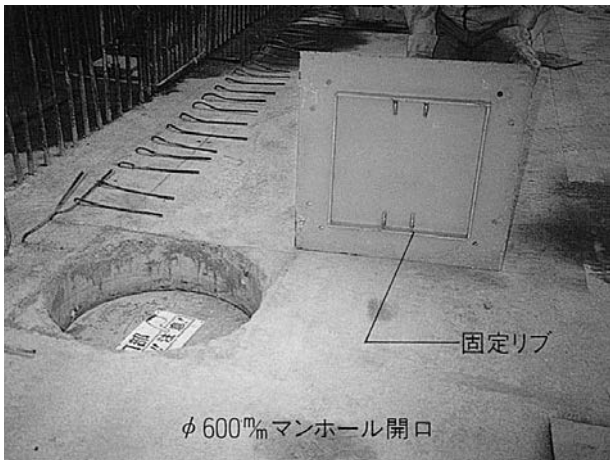


シート FA-1809S　販売品

開口部養生鋼板

1）スラブ面との段差が少ないです。
2）多種の開口部に対応できます。（型枠出し、杭跡、マンホール、設備用他）
3）連結使用ができるので長穴に対応できます。（同型種）
4）木材のように腐敗することがなく、長時間の使用に耐えられます。

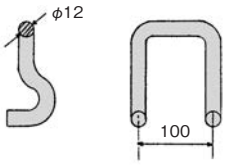


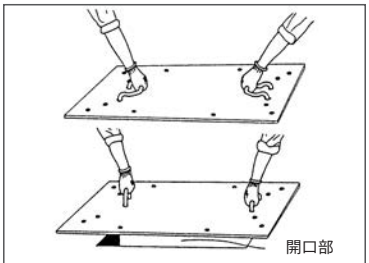


使用方法

1）規格養生鋼板に合わせ、開口型枠を組みます。
2）コンクリート打設後、開口部実寸法を確認します。
3）①養生鋼板の表に取付けてある固定リブストッパーをズレ止として利用する開口の場合は、そのまま設置します。
　②ボルトナットをズレ止として利用する開口の場合は、ボルトナットを養生鋼板に取付け後設置します。
4）連結にて使用する場合は、ジョイント金具を連結孔にセットします。

●ハンドル金具





※安全のため取扱いには十分ご注意下さい。

取扱手順

①ハンドル金具を養生鋼板の中心部方向に倒し込み、ハンドル挿入孔に金具先端部を入れ込みます。
②挿入したハンドル金具を一旦落し込むような状態で、掘り部分を引き上げ使用します。
※注意：反対方向での挿入は、裏面の固定リブに先端部が当たり、完全な挿入状態を保つことができません。正しい方向でご使用下さい。

●ジョイント金具（ハンドル金具と同型）

連結セットの場合に使用しますが、組合せた各養生鋼板のジョイント挿入孔に落ち込み使用します。
安全のため、連結使用の場合には必ずジョイント金具を取付けご使用下さい。

●ボルトナット

養生鋼板にもうけた四隅の孔にボルトナットをセットし、ズレ止とする場合に使用します。
〔当社取り扱い品〕…M16 × 45L（亜鉛メッキ品）

■開口部養生鋼板サイズ表

型式	板寸法（mm）	板厚（mm）	重量（kg）	許容荷重（kg）	固定リブ（mm）	ズレ止めボルトナット	
						内側穴	外側穴
65N型	650×650	6	23	500	340×340	480×480	−
		9	33	1,200			
6575型	650×750	6	26	400	330×490	480×580	−
		9	38	1,000			
75MH型	750×750	6	30	450	490×490	580×580	−
		9	43	1,000			
3975型	390×750	9	24	600	140×490	140×580	−
4595型	450×950	6	22	400	150×590	250×700	310×760
		9	32	1,000			
6595型	650×950	6	32	500	290×590	400×700	480×760
		9	46	1,000			
5511N型	550×1,100	6	32	300	240×790	330×880	380×930
		9	46	900			
5511C型	550×1,100	9	46	900	220×770	330×880	390×930
4011型	400×1,100	9	35	500	140×770	140×880	140×930
41125型	410×1,250	9	42	900	150×970	150×1,080	−
41135型	410×1,350	9	44	800	170×990	170×1,090	170×1,190
46135型	460×1,350	9	48	800	170×990	170×1,090	170×1,190
円形開口対応用							
4595MH型	450×950	9	32	1,000			
5511MH型	550×1,100	9	46	900			

*許容荷重は静荷重の数値です

リブ高さ：32mm
ズレ止めボルトナット　M16×47
ズレ止めボルトの板下寸法　6mm 板：29mm
9mm 板：26mm

■開口寸法別対応例

	開口寸法	対応養生鋼板			ズレ止め寸法		使用金具	
		型式	枚数	設置寸法	固定リブ	ボルト使用	ジョイント金具	ボルトナット
正方形開口	□350	65N型	1	650×650	340×340			
	□400	65N型	1	650×650	340×340			
	□500	75MH型	1	750×750	490×490			
	□550	75MH型	1	750×750	490×490			
	□600	75MH型	1	750×750		580×580		4
	□650	4595型	2	900×950	590×600		2	
	□700	4595型	2	900×950	590×600		2	
	□750	4595型	2	900×950		内700×700	2	8
	□780	4595型	2	900×950		内760×760	2	8
	□800	5511N型	2	1,100×1,100	790×790		2	
	□850	5511N型	2	1,100×1,100	790×790		2	
	□900	5511N型	2	1,100×1,100		内880×880	2	8
	□950	5511N型	2	1,100×1,100		930×930	2	8
	□1,000	41125型	3	1,230×1,250	970×970		4	
	□1,050	41135型	3	1,230×1,350	990×990		4	
	□1,100	46135型	3	1,380×1,350		内1,090×1,090	4	8
円形開口	φ600	6575型	1	650×750	591×591			
	φ650	75MH型	1	750×750	640×640			
	φ750	4595MH型	2	900×950	720×720		2	
	φ900	5595MH型	2	1,100×1,100	880×880		2	
側溝（長穴）	幅160〜170	4595型		幅450	幅150		−	
	幅180〜220	46135型		幅460	幅170		−	
	幅250〜290	5511N型		幅550	幅240		−	
	幅300〜400	4595型		幅650	幅290		−	
	幅350〜470	65N型		幅650	幅340		可能	
	幅500〜590	75MH型		幅750	幅490		可能	

配筋架台

詳しくはこちらを
ご覧下さい

スラブ型枠上での作業ができますので、組立精度、作業効率が向上します。
左右に段差のある場合には、ベースを外してジャッキベース等をご使用ください。
外周の梁筋の作業では、片側を足場から支持して使用できます。

許容荷重：0.5ton タイプ　500kg
　　1.0ton タイプ　1,000kg

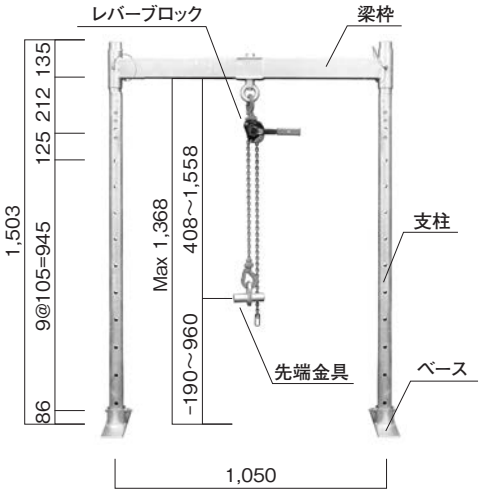
1500 タイプ

機　種		0.5 ton	1.0 ton
名　称	品番	数量	数量
梁　枠	H-01N	1	1
支　柱　H1500	H-02N	2	2
ベース	H-05N	2	2
レバーブロック	LB-0.5T	1	
	LB-1.0T		1
先端金具	H-06N	1	1

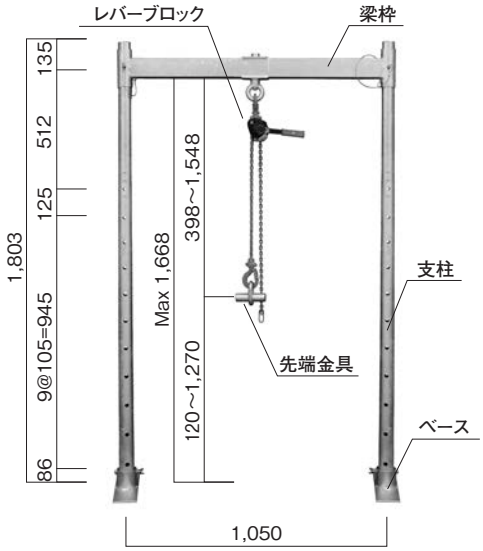
1800 タイプ

機　種		0.5 ton	1.0 ton
名　称	品番	数量	数量
梁　枠	H-01N	1	1
支　柱　H1800	H-02NH	2	2
ベース	H-05N	2	2
レバーブロック	LB-0.5T	1	
	LB-1.0T		1
先端金具	H-06N	1	1

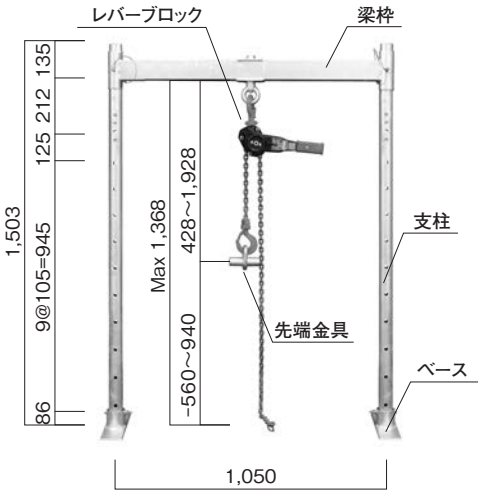
0.5ton タイプ



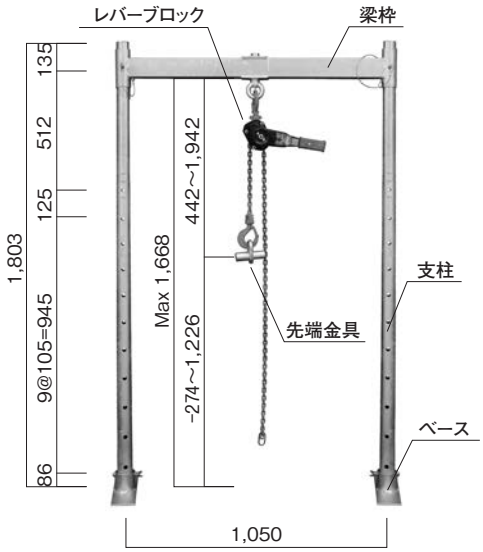
0.5ton タイプ



1.0ton タイプ



1.0ton タイプ

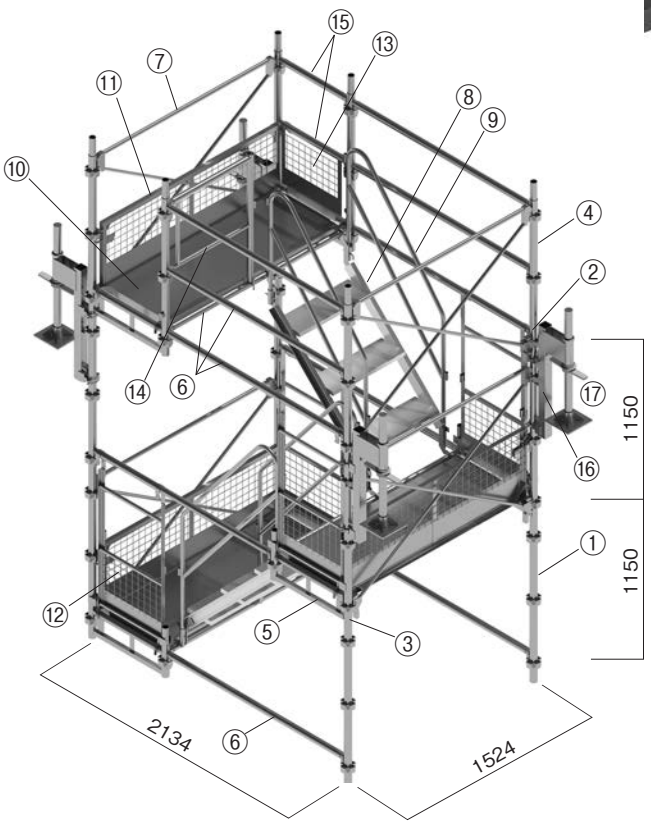


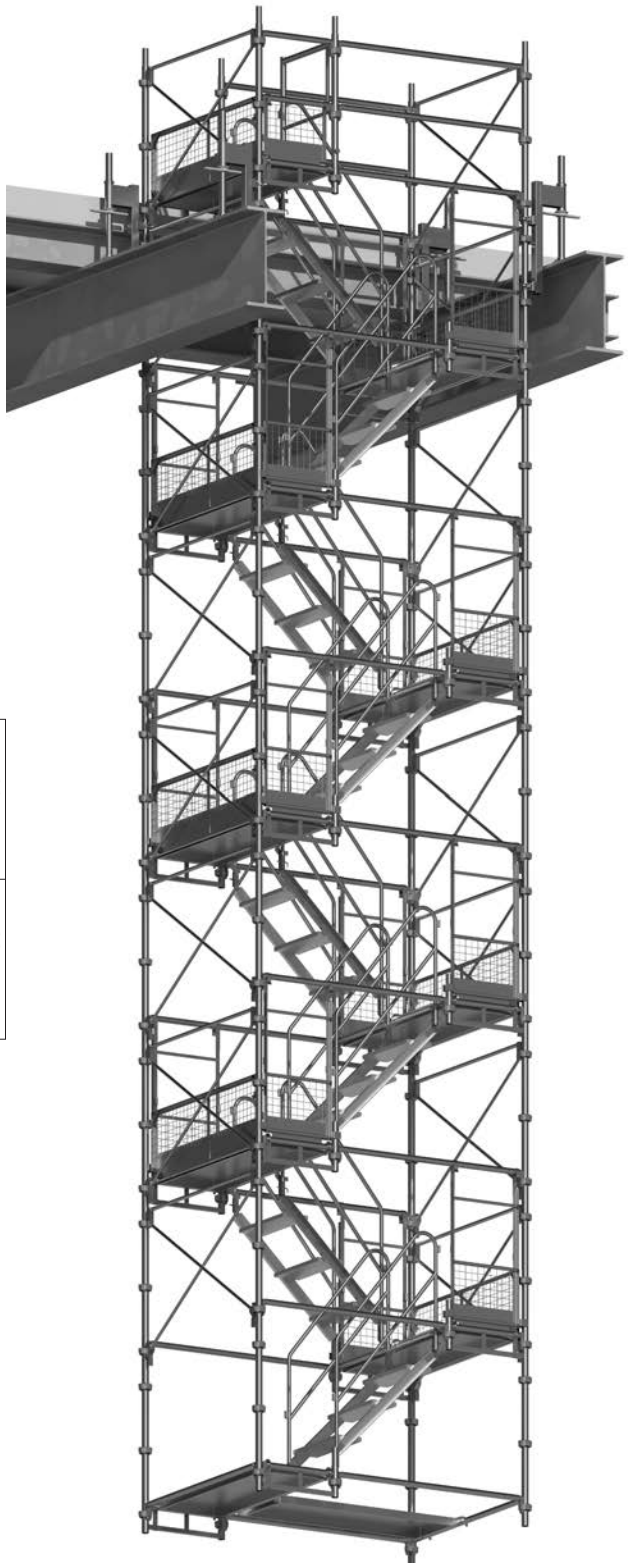
根切り／構台関係

ラックラダー (PAT)

詳しくはこちらを
ご覧下さい

クサビ緊結方式の部材で組立てる吊階段です。
外れ止め機能の付いたクサビですので、振動等で抜け落ちることがありません。
クサビ方式ですので簡単、迅速に組立ができます。
専用の先行手すりを使用していますので、安全に組立解体ができます。
1.5m 巾での折り返しで、高さも 2 m以上ありますので、快適に昇降できます。
支持金具は強力ジャッキを使用しており、自在な高さに固定することができます。
支柱の接続には貫通のダブルピンを使用し、安全性を高めております。
自立させての昇降設備としての使用も可能です。



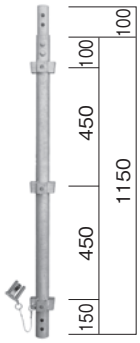


地組には各支柱下にジャッキベースを使用して下さい。

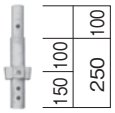
番号	部材名称	品番
1	支柱	SPA-115W
2	連結支柱	SPA-025W
3	ダブルピン	
4	手すり支柱	SPA-09U
5	ラダーブラケット	SPB-610L
6	手すり	SPC-1524
7	先行手すり	LL-1524X
8	アルミ階段枠	LL-0911SA
9	階段手すり	LL-0911T
10	鋼製布板	BKN-5
11	踊場ネット A	LL-15N
12	踊場ネット B	LL-06N
13	踊場ネット C	LL-06TN
14	開口手すり	LL-07T
	手すり金具	LL-U1
15	手すり	SPC-610
16	支持金具	LL-JH
17	調節ジャッキ	LL-J
	ロックマン	H1

構成部材

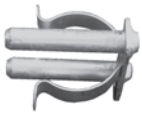
支　柱 SPA-115W …4.9kg



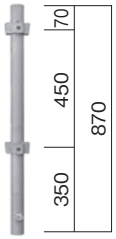
連結支柱 SPA-025W …1.5kg



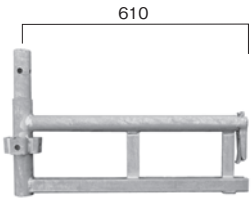
【ダブルピン】



手すり柱 SPA-09U …3.7kg

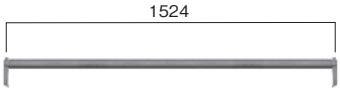


ラダーブラケット SPB-610L …5.3kg

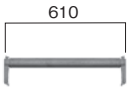


手すり

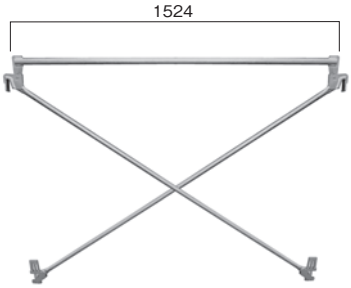
SPC-1524…4.0kg



SPC-610…2.0kg

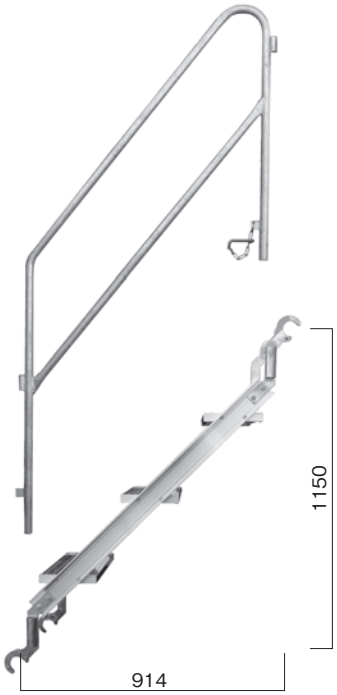


先行手すり LL-1524X…6.8kg

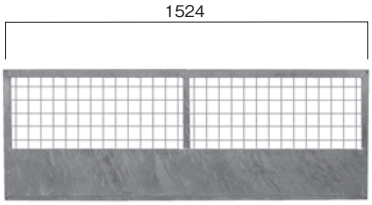


階段枠・階段手すり

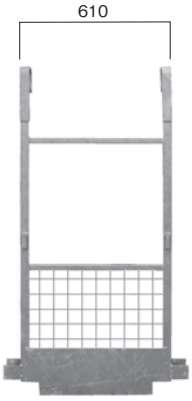
階段枠　LL-0911SA…9.3kg
階段手すり　LL-KT　…9.3kg



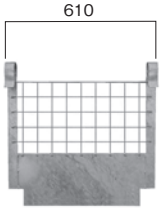
踊場ネットA LL-15N…12.1kg



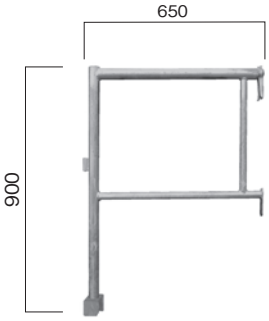
踊場ネットB LL-06N…7.0kg



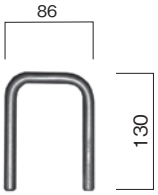
踊場ネットC LL-06TN…2.9kg



開口手すり LL-07T…5.8kg



手すり金具 LL-U1…0.3kg



支持金具 A+ 調節ジャッキ

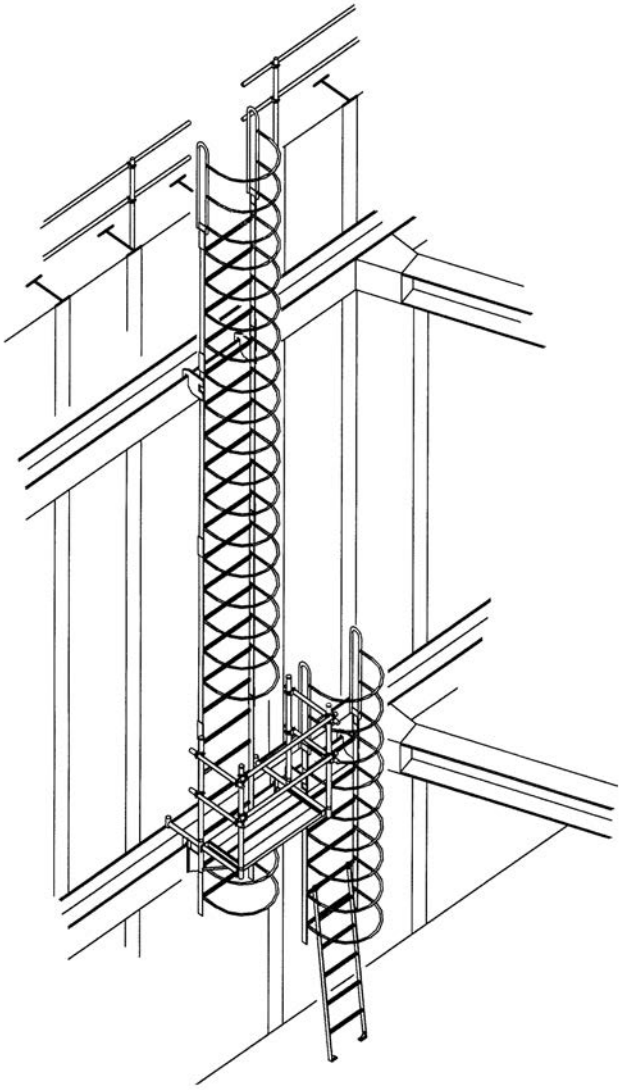
LL-JH…6.6kg
LL-J…10.2kg

支持金具 B LL-H…7.5kg

ラックステップ（背枠付タラップ）

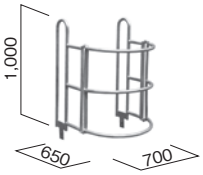
詳しくはこちらを
ご覧下さい

1）根切り底、切梁各段への昇降に。
2）竪抗の昇降タラップに。
3）転落防止用の背枠付きですので、万一、昇降中に手が滑っても安全です。
4）2種類のタラップの組み合わせにより、自在に長さを決められます。調節用のタラップもありますので降りぎわも安全です。
5）背枠は簡単に折りたためますので、保管に場所をとりません。
6）踊り場用の部材もありますので、安全な昇降設備を作れます。
7）切梁通路、腹起し通路と併用することにより、安全な点検通路ができます。
8）当社の扱う安全ブロック（垂直親綱）との併用で完全な転落防止ができます。

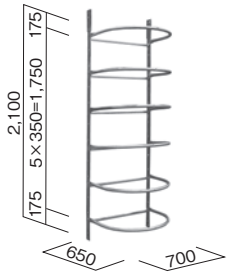


●ラックステップ部材

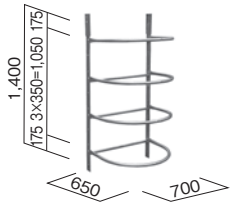
上部手摺枠 LS-1007…14.0kg（LS-07R含）



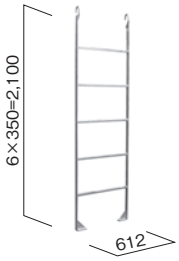
タラップ LS-2.1…29.5kg（LS-07R含）



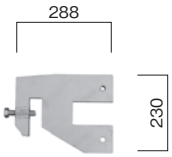
タラップ LS-1.4…20.0kg（LS-07R含）



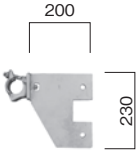
調節タラップ LS-2.1F…11.8kg



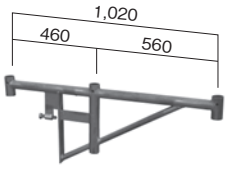
フックプレート LS-F…5.2kg



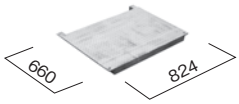
クランププレート LS-C…5.2kg



踊場ブラケット LS-BR…6.5kg

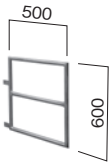


踊　場 LS-0706…19.8kg

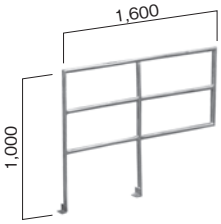


方　杖 LS-06…0.63kg

手摺枠（A） LS-1205…3.2kg



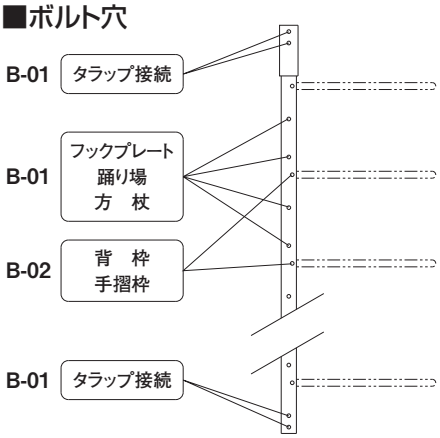
手摺枠（B） LS-1212…9.0kg



背当枠 LS-07R…2.0kg

接続ボルト（販売） B-01…W1/2×38
B-02…M8×25

■ボルト穴



■ラックステップ組み合せ長さ表（mm）

		LS-1.4 使用台数				
		0	1	2	3	4
LS-2.1 使用台数	0	0	1,400	2,800	4,200	5,600
	1	2,100	3,500	4,900	6,300	7,700
	2	4,200	5,600	7,000	8,400	9,800
	3	6,300	7,700	9,100	10,500	11,900
	4	8,400	9,800	11,200	12,600	14,000
	5	10,500	11,900	13,300	14,700	16,100
	6	12,600	14,000	15,400	16,800	18,200

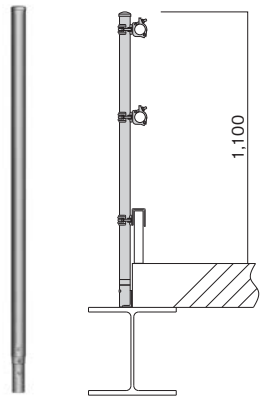
構台用手摺柱

詳しくはこちらを
ご覧下さい

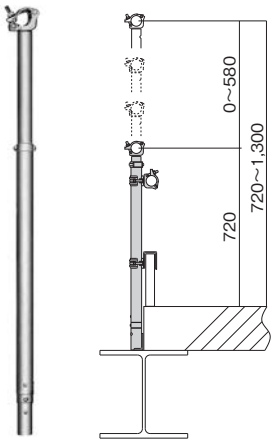
●連結ピン付き

(PAT)

手摺柱(固定式) LST-40P…4.2kg



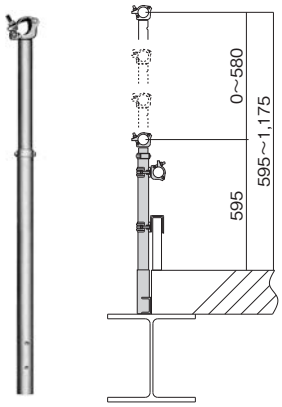
手摺柱(伸縮式) AZ-1500…5.0kg



●連結ピン無し

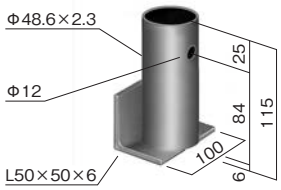
(PAT)

手摺柱(伸縮式) AZ-1500N…4.5kg



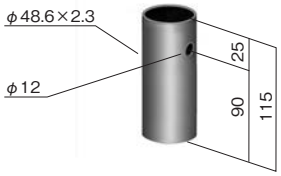
●サヤ管 φ48.6×2.3

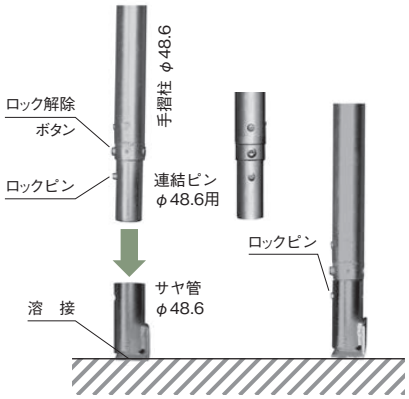
サヤ管 AZ-1…1.0kg(補強付き)



サヤ管 AZ-2…0.27kg(補強無し)
※受注製作品です

全周溶接して下さい

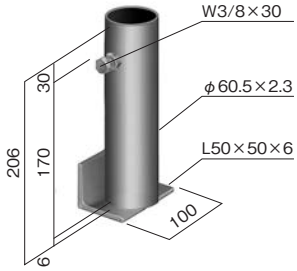




ロック解除ボタンを押し
サヤ管に差し込む

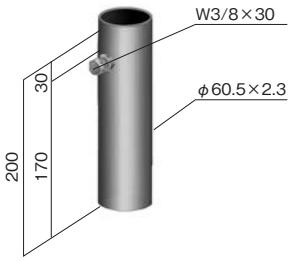
●サヤ管 φ60.5×2.3

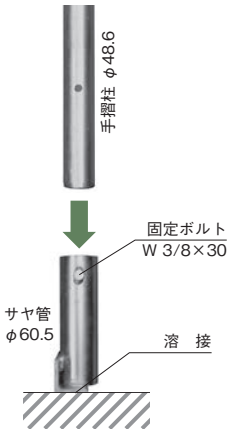
サヤ管 FA-3N…1.2kg(補強付き)



サヤ管 FA-4N…0.6kg(補強無し)
※受注製作品です

全周溶接して下さい

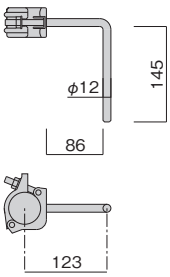


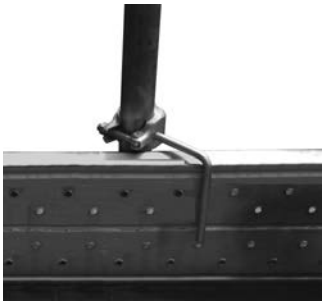


サヤ管に差し込み
抜け止めボルトを取付る

●幅木クランプ

幅木クランプ AZ-3…0.8kg
(兼用)



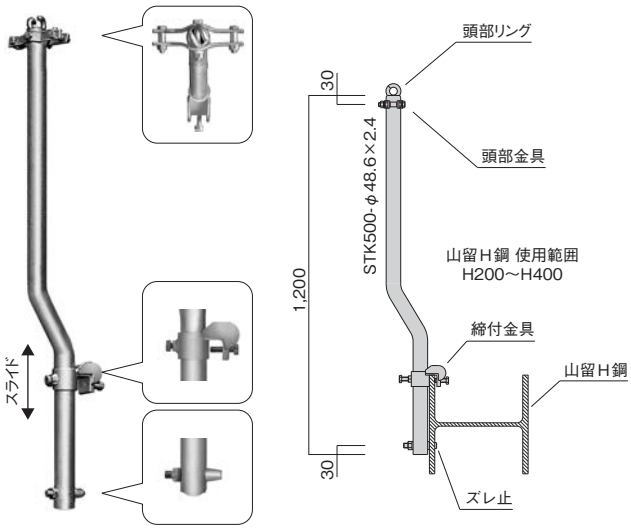


腹起し用支柱

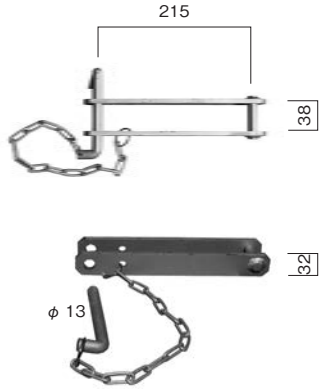
詳しくはこちらを
ご覧下さい

腹起し部の山留鋼材に使用する手摺柱、親綱支柱です。

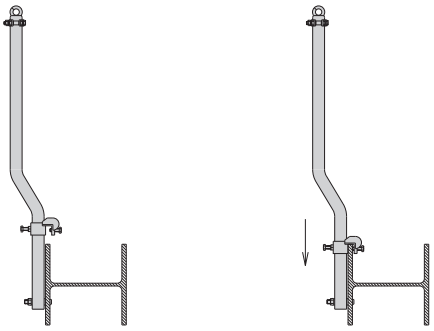
腹起し用支柱 AZ-1200…5.2kg



控え金具 AZ-12…0.94kg



使用手順

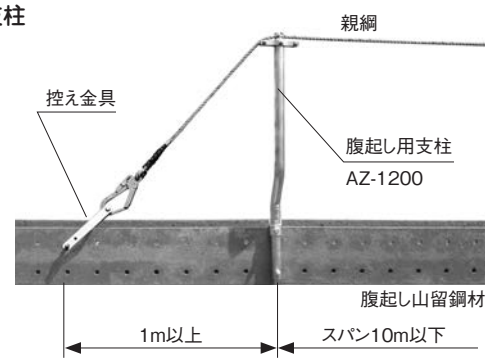


①山留H鋼の穴に、
ズレ止ボルトを差し込む。

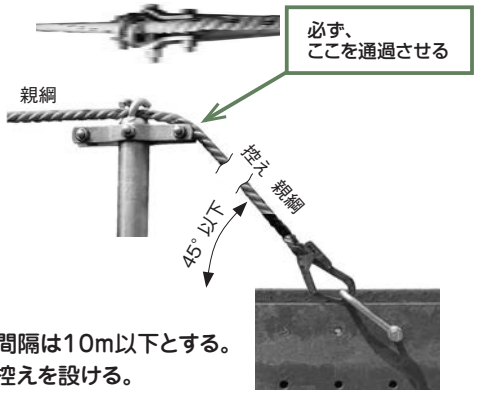
②締付金具で固定する。

使用例

●親綱支柱

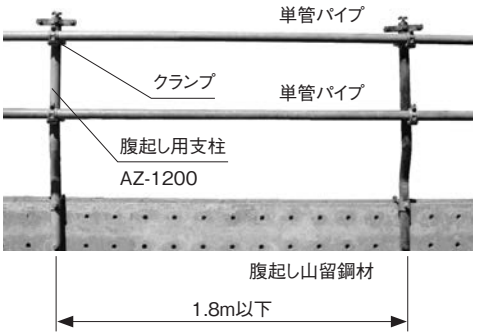


親綱を設置する際の注意点



●支柱間隔は10m以下とする。
●必ず控えを設ける。
●控えの角度は45°以下にする。
●控えは衝撃に耐える堅固な物に設置する。
●一度落下阻止した支柱の再使用は厳禁。

●手摺柱



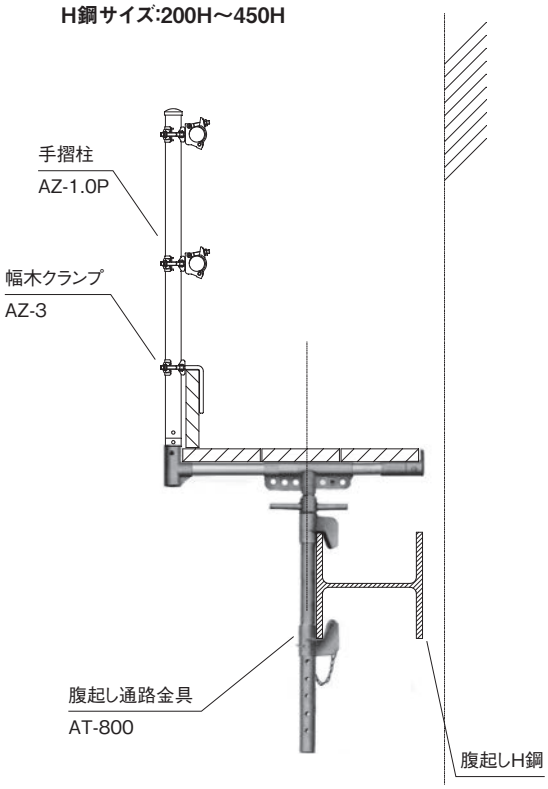
腹起し通路／切梁通路

詳しくはこちらを
ご覧下さい

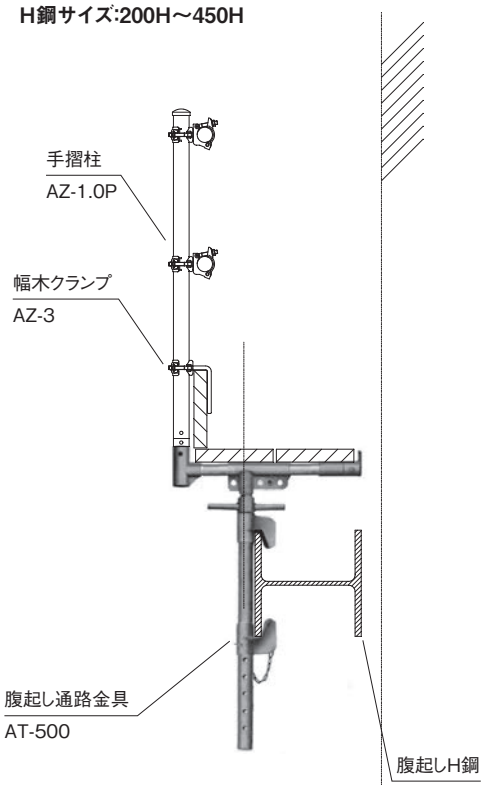
●腹起し通路

腹起しH鋼に安全通路を設ける金具です。山留鋼材の穴に関係なく取付けできます。
足場板2枚敷き、3枚敷きの2タイプがあります。

腹起し通路 AT-800…8.7kg（3枚敷）
H鋼サイズ:200H～450H



腹起し通路 AT-500…7.8kg（2枚敷）
H鋼サイズ:200H～450H

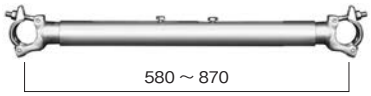


●切梁通路

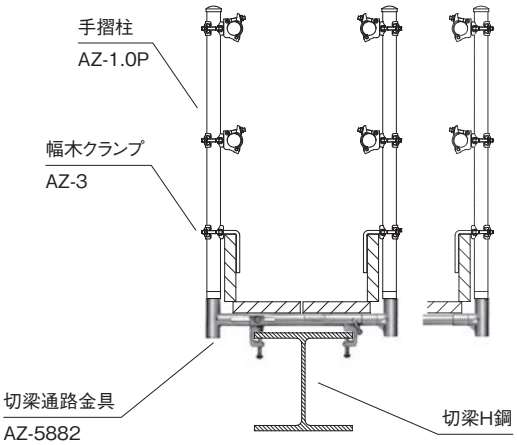
切梁H鋼に安全通路を設ける金具です。山留鋼材の穴に関係なく取付けできます。足場板2枚敷き、3枚敷きの兼用タイプです。

切梁通路 AZ-5882…4.5kg（2、3枚敷兼用）
H鋼サイズ:300H～400H

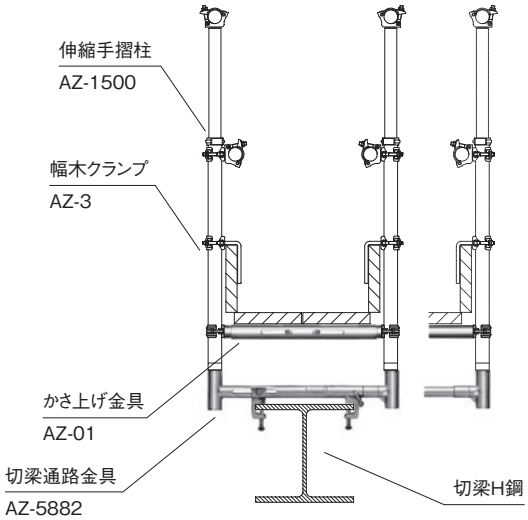
かさ上げ金具 AZ-01…3.20kg



■通常使用



■かさ上げ金具使用

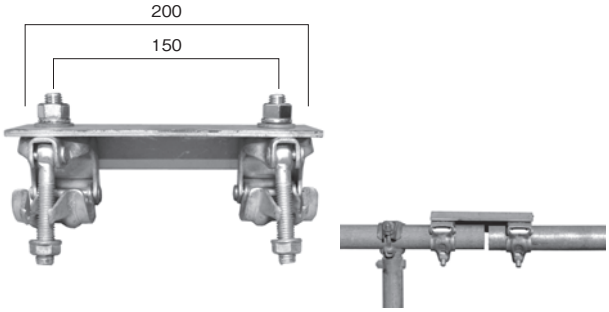


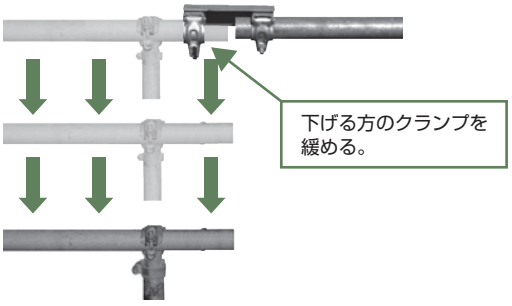
手すり連結クランプ／幅木ジョイント

●手すり連結クランプ

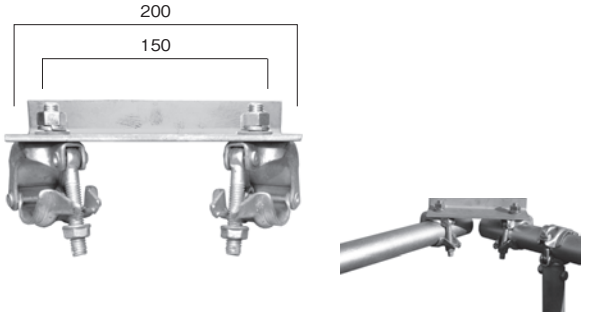
構台部の手すりパイプを連結する金具です。
ジョイント部の間で手すりが区切れ、上下する事が容易にできます。

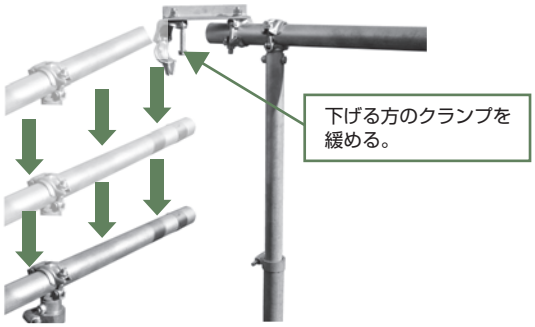
手すり連結クランプ R-K…1.49kg





手すり連結クランプ コーナー用 R-KC…1.45kg

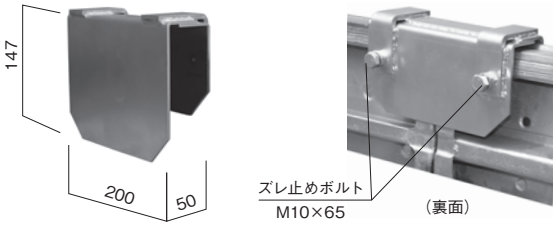




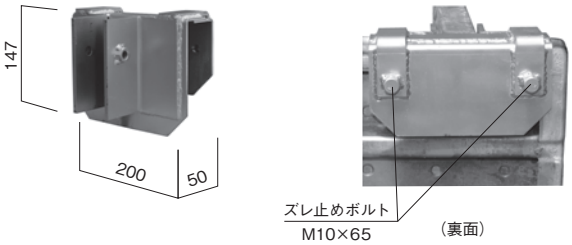
●幅木ジョイント

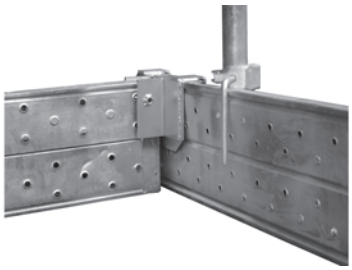
構台部の鋼製足場板による幅木を連結する金具です。

幅木ジョイント H-50J…1.82kg



幅木ジョイント コーナー用 H-50JC…2.50kg





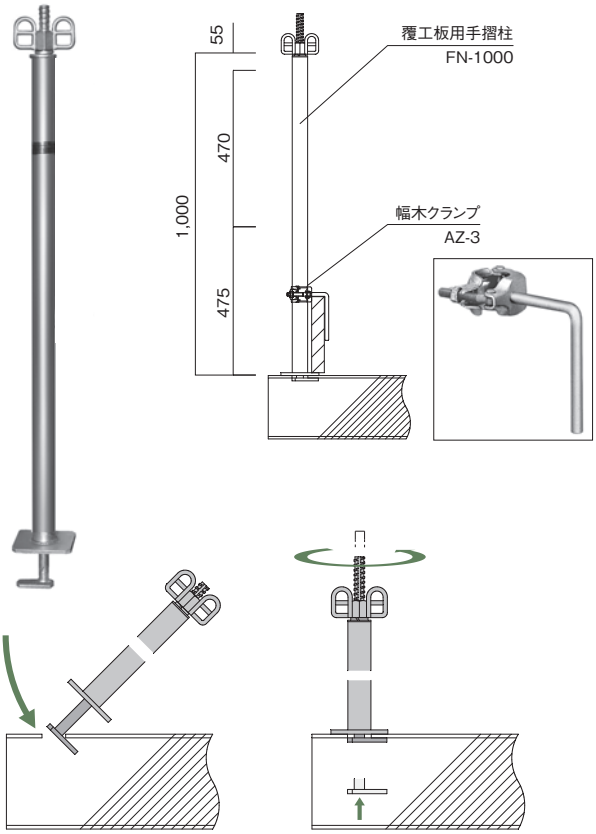
覆工板用手摺柱

詳しくはこちらを
ご覧下さい

覆工板の穴を利用した手摺柱です。
特殊ネジを使用しているので、設置、撤去が手早くできます。

●スタンダード

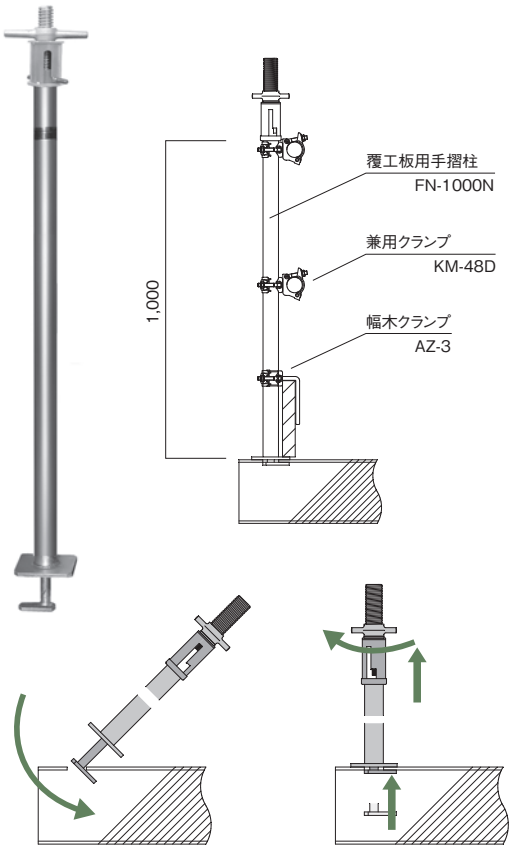
手摺柱 FN-1000…6.8kg
（対応穴径：φ 45 ～ 70）



手摺柱を斜めにし、吊り穴へ下部の金具を入れ込む

上部のハンドルを回し、下部の金具を締め上げる

手摺柱 FN-1000N…7.5kg（PAT.P）
（対応穴径：φ 45 ～ 70）

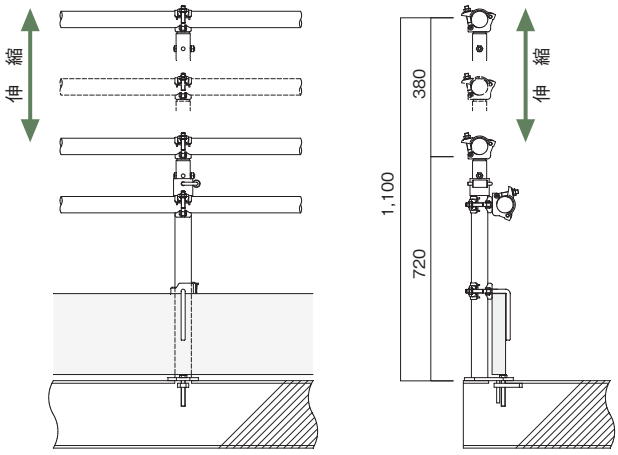


手摺柱を斜めにし、吊り穴へ下部の金具を入れ込む

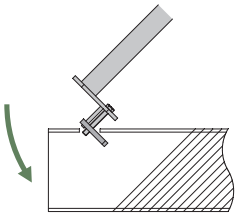
上部のキャップを持ち上げ回転。ハンドルを回し締め上げる

●伸縮タイプ

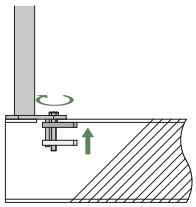
伸縮手摺柱 FN-0711…5.2kg
（対応穴径：φ 45 ～ 70）



覆工板の穴へ下部の金具を斜めに入れ込む

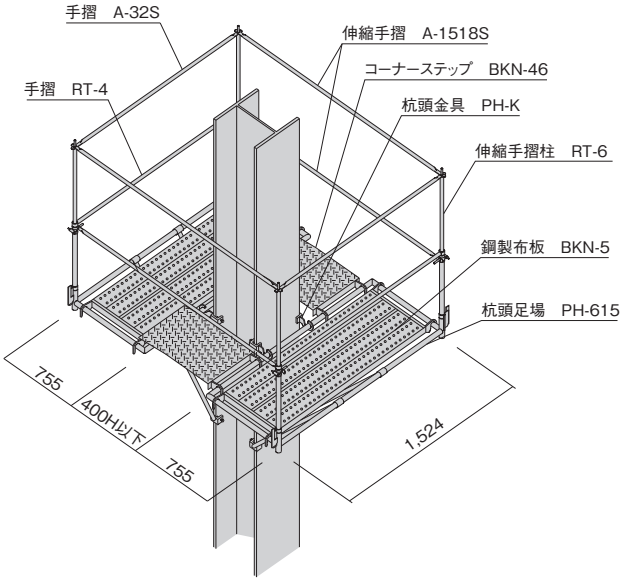


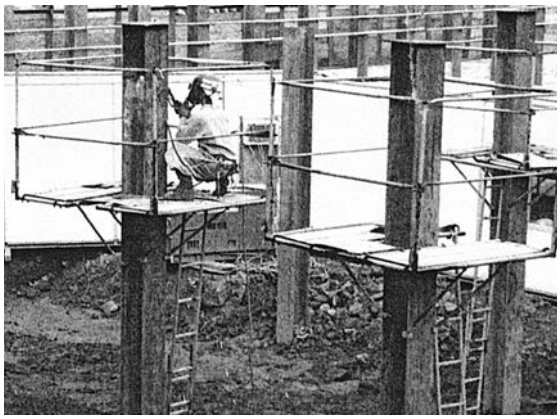
ボルトをスパナで回し下部の金具を締め上げる

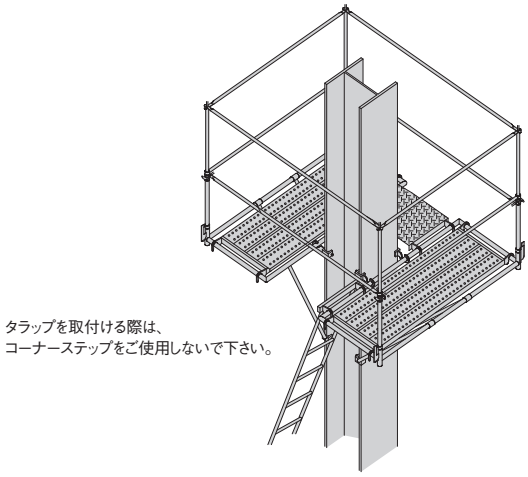


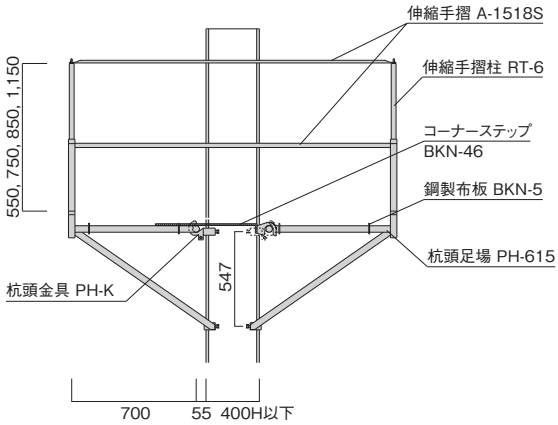
構台裏足場

構台杭の天端調整、構台の組立用足場です。部材ごとに組立、解体ができるので足場のわるい所でも安全に作業できます。





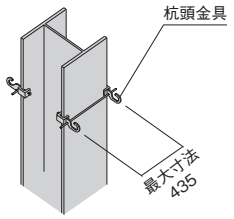




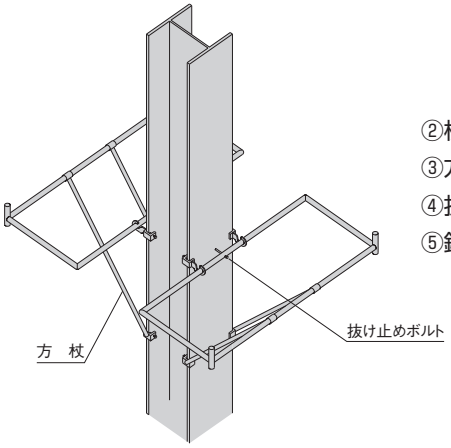
■1セット数量表

品　名	品　番	数量	1台重量(kg)
杭頭足場	PH-615	2	15.0
杭頭金具	PH-K	2	2.0
コーナーステップ	BKN-46	2	8.0
鋼製布板	BKN-5	2	13.1
伸縮手摺柱	RT-6	4	3.5
伸縮手摺	A-1518S	4	3.4
手摺	A-32S	2	1.87
手摺	RT-4	2	1.5

組立手順

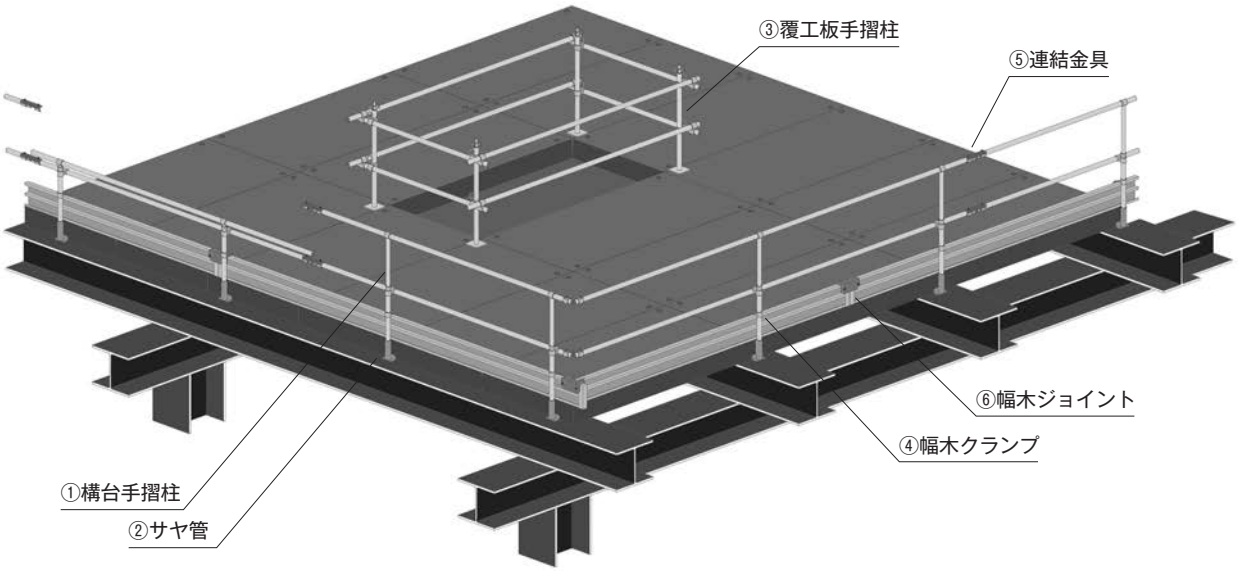


①杭頭金具を取付ける
（鉄骨バイスのボルトを締め付ける）



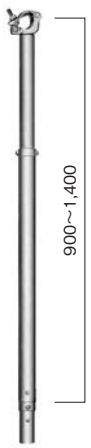
②杭頭足場を杭頭金具に引っ掛ける
③方杖をセットする
④抜け止めボルトを締め込む
⑤鋼製布板、手摺等を組立てる

構台関係機材

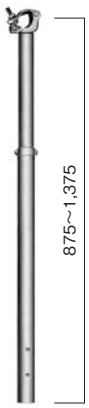


①構台手摺柱 (PAT)

AZ-1500
(伸縮式)

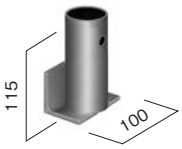


AZ-1500N
(伸縮式)

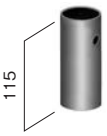


②サヤ管

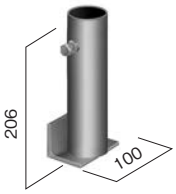
AZ-1 (φ48.6)



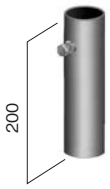
AZ-2 (φ48.6)



FA-3N (φ60.5)

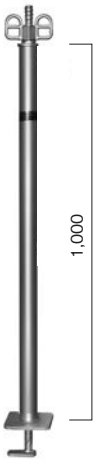


FA-4N (φ60.5)

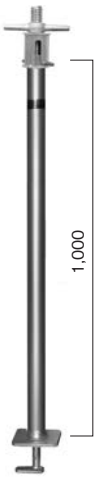


③覆工板手摺 (PAT)

FN-1000



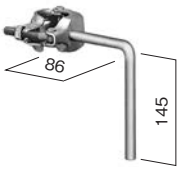
FN-1000N



FN-0711
(伸縮式)

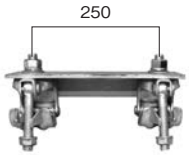
④幅木クランプ

AZ-3 兼用クランプ



⑤連結金具

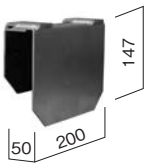
R-K (直線部)



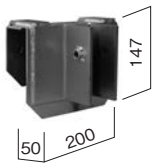
R-KC (コーナー部)

⑥幅木ジョイント

H-50J (直線部)



H-50JC (コーナー部)



パイプ／クランプ／パレット

※クランプ使用上の注意

1 クランプを締める場合は、締めすぎのないように所定のトルクでお願いします。無理に締めすぎるとボルトが破損する結果になります。標準締付トルクは、3.43kN・cm ～ 4.41kN・cm です。

2 直交クランプに片荷重をかけた場合、ねじりのモーメントが働き大変危険です。必ず自在クランプで控えを取ってください。

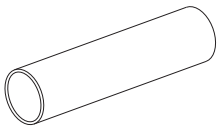
3 クランプボルトに油をさすとナットが締まりすぎて破損の原因となります。

4 クランプを外す時にハンマーの使用はやめてください。また投げたり落としたりしないでください。変形して破損や締付強度不足の原因になり危険です。

単管パイプ／足場パイプ／角パイプ(50角)

●単管パイプ

(バタパイプ)



材　質	STK500
形　状	φ48.6×2.4
断面積	A=3.483cm^2
断面係数	Z=3.83cm^3
断面２次モーメント	I=9.32cm^4
断面２次半径	i=1.64cm
弾性係数	E=2.06×10^{7}N/cm^2
単位重量	γ=2.73kg/m
許容曲応力度	fb=23.52kN/cm^2
許容せん断応力度	fs=12.74kN/cm^2

※溶融亜鉛鍍金仕上
※ STK400　許容曲応力度　fb=15.6kN/cm^2
許容せん断応力度　fs=9.05kN/cm^2

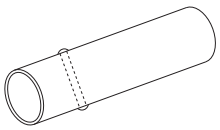
■種類(寸法)　STK-○○

長さ（L）	0.5	0.6	0.9	1.0	1.2	1.5	1.8	2.0	2.5
重量（kg）	1.37	1.64	2.46	2.73	3.28	4.10	4.91	5.46	6.83

長さ（L）	2.7	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.5	6.0	7.0
重量（kg）	7.37	8.19	9.56	10.92	12.29	13.65	15.02	16.38	19.11

●足場パイプ

(ピン付パイプ)



単管エンドキャップ
T-CAP 販売品

クランプカバー
K-COVER 販売品

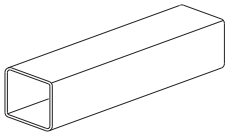
材　質	STK500
形　状	φ48.6×2.4
断面積	A=3.483cm^2
断面係数	Z=3.83cm^3
断面２次モーメント	I=9.32cm^4
断面２次半径	i=1.64cm
弾性係数	E=2.06×10^{7}N/cm^2
単位重量	γ=2.73kg/m
許容曲応力度	fb=23.52kN/cm^2
許容せん断応力度	fs=12.74kN/cm^2

※溶融亜鉛鍍金仕上
※ STK400　許容曲応力度　fb=15.6kN/cm^2
許容せん断応力度　fs=9.05kN/cm^2

■種類(寸法)　STK-○○P

長さ（L）	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.5
重量（kg）	5.46	6.83	8.19	9.56	10.92	12.29	13.65	15.02

●50角パイプ



・50 角丸直交クランプ
KM-50D…0.9kg

・50 角丸自在クランプ
KF-50D…0.9kg

材　質	STKR490
形　状	50×50×2.4
断面積	A=4.42cm^2
断面係数	Z=6.56cm^3
断面２次モーメント	I=16.4cm^4
断面２次半径	i=1.93cm
弾性係数	E=2.06×10^{7}N/cm^2
単位重量	γ=3.47kg/m
許容曲応力度	fb=21.6kN/cm^2
許容せん断応力度	fs=12.5kN/cm^2

※溶融亜鉛鍍金仕上
※ STKR400　許容曲応力度　fb=15.6kN/cm^2
許容せん断応力度　fs=9.05kN/cm^2

■種類(寸法)　50K-○○

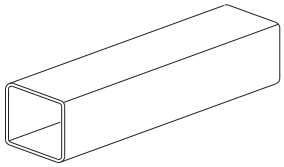
長さ（L）	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0
重量（kg）	3.59	5.39	7.18	8.98	10.77

長さ（L）	3.5	4.0	4.5	5.0	5.5
重量（kg）	12.57	14.36	16.16	17.95	19.75

長さ（L）	6.0	7.0	8.0
重量（kg）	21.54	25.13	28.72

角パイプ（60角、100角）／アルミ角管

●60角パイプ



材　質	STKR400
形　状	60×60×2.3
断面積	A=5.172cm^2
断面係数	Z=9.44cm^3
断面２次モーメント	I=28.3cm^4
断面２次半径	i=2.34cm
弾性係数	E=2.06×10^{7}N/cm^2
単位重量	γ=4.06kg/m
許容曲応力度	fb=15.6kN/cm^2
許容せん断応力度	fs=8. 82kN/cm^2

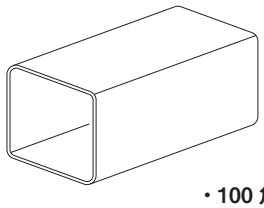
※溶融亜鉛鍍金仕上

■種類（寸法）　60K-○○

長さ（L）	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0
重量（kg）	4.06	6.09	8.12	10.15	12.18	14.21	16.24	18.27	20.30

長さ（L）	5.5	6.0	7.0	8.0	9.0	10.0
重量（kg）	22.33	24.36	28.42	32.48	36.54	40.60

●100角パイプ



材　質	STKR400
形　状	100×100×3.2
断面積	A=12.13cm^2
断面係数	Z=37.50cm^3
断面２次モーメント	I=187.0cm^4
断面２次半径	i=3.93cm
弾性係数	E=2.06×10^{7}N/cm^2
単位重量	γ=9.52kg/m
許容曲応力度	fb=15.6kN/cm^2
許容せん断応力度	fs=9.05kN/cm^2

※溶融亜鉛鍍金仕上

・100 角丸直交クランプ
KM-100…1.5kg

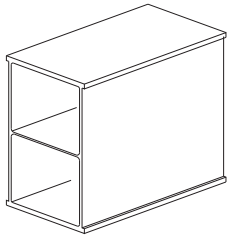
・100 角丸自在クランプ
KF-100…1.4kg

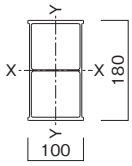
■種類（寸法）　100K-○○

長さ（L）	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.5
重量（kg）	9.52	14.28	19.04	23.80	28.56	33.32	38.08	42.84	47.60	52.36

長さ（L）	6.0	7.0	8.0
重量（kg）	57.12	66.64	76.16

●アルミ角パイプ





材　質	A6N01S-T5（JISH4100）
形　状	180×100×5.8
断面積	A=24.41cm^2
断面係数	Zx=126.6cm^3
断面２次モーメント	Ix=1,140cm^4
弾性係数	E=7×10^{6}N/cm^2
単位重量	γ=6.591kg/m
許容曲応力度	fb=13.7kN/cm^2
許容せん断応力度	fs=7.84kN/cm^2

※アルミ製

■種類（寸法）　18×10K-○○

長さ（L）	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	6.0	7.0
重量（kg）	6.59	9.89	13.18	16.48	19.77	23.07	26.36	29.66	32.96	39.55	46.14

クランプ／角丸クランプ／角角クランプ／三連クランプ／ジョイント

※D=溶融亜鉛メッキ

●直交クランプ

品　番		サイズ1	サイズ2	重量(kg)
兼用	KM-48D	φ48.6, φ42.7		0.74

●角丸直交クランプ

品　番		サイズ1	サイズ2	重量(kg)
60角	KM-60D	φ48.6	□60	0.90
50角	KM-50D		□50	

●角角直交クランプ

品　番		サイズ1	サイズ2	重量(kg)
60角	KK-60D	□60		1.00
50角	KK-50D	□50		

●三連クランプ

品　番		サイズ	重量(kg)
直交	TS-30	φ48.6+φ48.6+φ48.6	1.10
自在	TS-30FF	φ48.6+φ48.6+φ48.6	1.10

●ジョイント

品　番		サイズ1	サイズ2	重量(kg)
同径	TT-18D	φ48.6		0.60
異径	A-48J42D	φ48.6	φ42.7	0.78

●自在クランプ

品　番		サイズ1	サイズ2	重量(kg)
兼用	KF-48D	φ48.6, φ42.7		0.74

●角丸自在クランプ

品　番		サイズ1	サイズ2	重量(kg)
60角	KF-60D	φ48.6	□60	0.90
50角	KF-50D		□50	

●角角自在クランプ

品　番		サイズ1	サイズ2	重量(kg)
60角	KC-60D	□60		1.00
50角	KC-50D	□50		

●スーパークランプ

品　番		サイズ1	サイズ2	重量(kg)
直交	KM-48S	φ48.6		1.10
自在	KF-48S			1.09

溶融亜鉛メッキ

●筋違止めクランプ

品　番	サイズ	重量(kg)
A-112D	φ48.6, 42.7	0.4

●単管ベース

品　番	重量(kg)
TB-15D	0.75
P-15D	1.45

TB-15D

P-15D

鉄骨関係クランプ／ネガラミクランプ

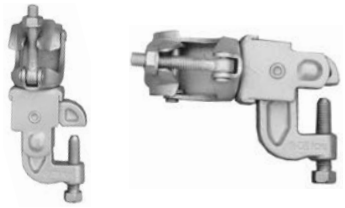
詳しくはこちらを
ご覧下さい

● H クランプ

品　番		サイズ1	サイズ2	重量(kg)
固定	AHM-37	tmax=37	φ48.6･φ42.7	1.08
	AHM-50	tmax=48		1.30
	AHM-65	tmax=65		1.30

溶融亜鉛メッキ

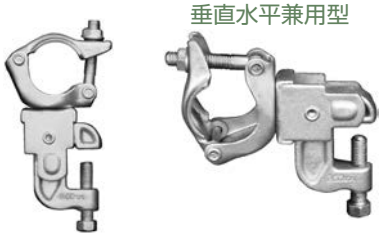
垂直水平兼用型



品　番		サイズ1	サイズ2	重量(kg)
自在	AHF-37	tmax=37	φ48.6･φ42.7	1.08
	AHF-50	tmax=48		1.30
	AHF-65	tmax=65		1.30

溶融亜鉛メッキ

垂直水平兼用型



● H クランプ 100

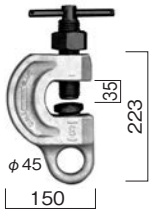
品　番	サイズ1	サイズ2	重量(kg)
CK-M100Z	tmax=100	φ48.6･φ42.7	1.90

販売品

水平･垂直、直交･自在兼用

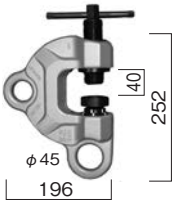
●吊金具

吊金具
HST-SB3N…9.0kg



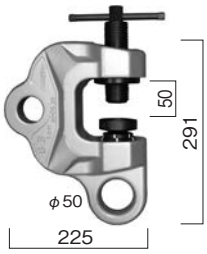
使用荷重：3.0 ton

吊金具
HST-SDC3S…7.0kg



使用荷重：3.2 ton

吊金具
HST-SDC6S…16.0kg

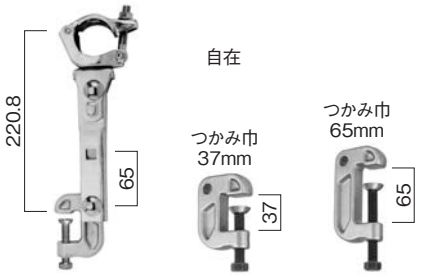


使用荷重：6.3 ton

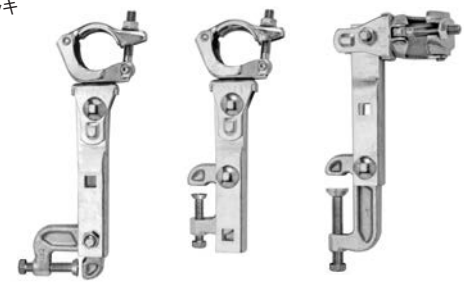
●キャッチロング

品　番	サイズ1	サイズ2	重量(kg)
AHF-37L	tmax=37	φ48.6･φ42.7	1.56
AHF-65L	tmax=65	φ48.6･φ42.7	1.86

溶融亜鉛メッキ



キャッチ本体部分は三通りの形状に組立て可能。
H鋼とクランプ間のスパン調整が簡単にできます。

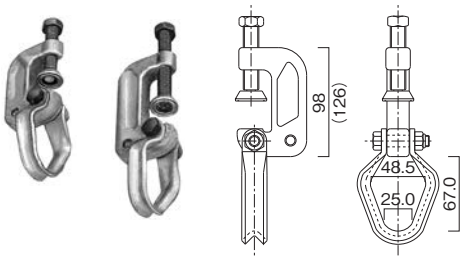


角ボルトは必ずキャッチ本体の角穴の部分から差し込んでください。

●チェーンハンガー

品　番	サイズ	重量(kg)
AHC-37	tmax=37	0.60
AHC-65	tmax=65	0.82

溶融亜鉛メッキ



●ネガラミクランプ

品　番		サイズ1	サイズ2	重量(kg)
直交	KM-605D	φ60.5	φ48.6	0.86
自在	KF-605D			0.87

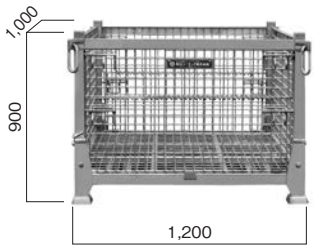
溶融亜鉛メッキ

詳しくはこちらを
ご覧下さい

●キャリエース

吊キャリエース HP-1210N…93kg

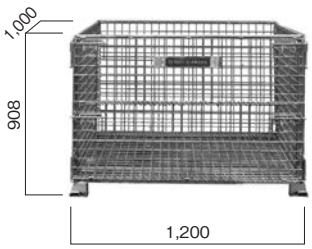
キャスター無し
●寸　　法　W 1,200×D 1,000×H 900
●積載重量　19.6kN
●収納数　KM-48D…900個
　　CU-1148M、CU-8248M…350個




吊部

吊キャリエース HP-1210…82kg

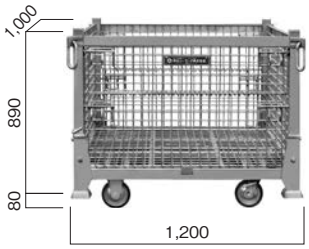
キャスター無し
●寸　　法　W 1,200×D 1,000×H 908
●積載重量　9.81kN




吊部

吊キャリエース HP-1210C…105kg

キャスター付き　φ150（ウレタン製）
●寸　　法　W 1,200×D 1,000×H 970
●積載重量　7.84kN　　（890）



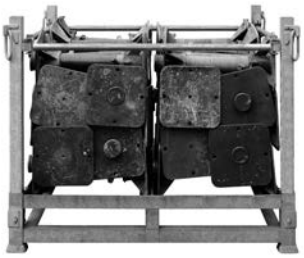

吊部

●パレット

PAT

四角支柱ジャッキ吊パレット

●寸　　法　W 1,260×D 1,260×H 1,135
●SSJ-58　40台収納

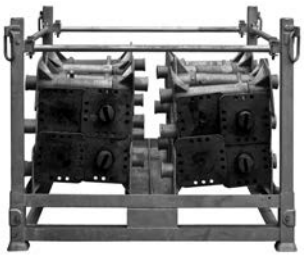



吊部

PAT

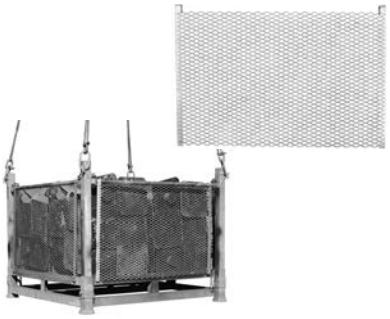
軽量四角支柱ジャッキ吊パレット

●寸　　法　W 1,260×D 1,260×H 1,135
●SSJL-55　40台収納




吊部

SSJ 用囲い網 SSJ-P5…4.8kg



PAT

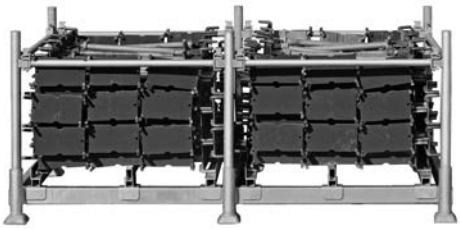
ジャッキベースパレット

●寸　　法　W 1,793×D 810×H 890
●A-752D、TS-752TD…300本
　RT-5S　…200本
　A-752W　…192本
　ST-70BD…192本

PAT

大引き受ジャッキパレット

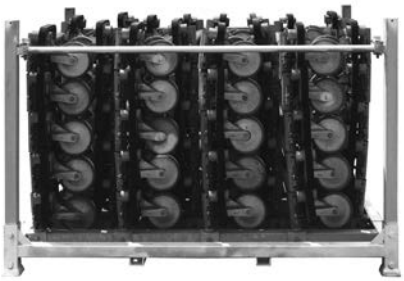
●寸　　法　W 2,133×D 980×H 720
●A-752HTD…200本
　A-752HS　…200本
　TS-HJD　…180本
　ST-70HD　…156本



PAT

ラック台車パレット

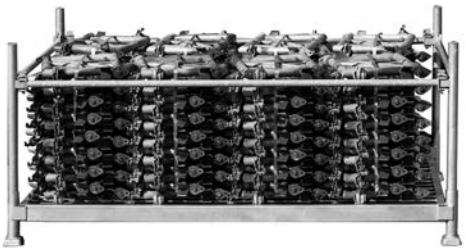
●寸　　法　W 1,940×D 1,440×H 1,280
●AR-850、AR-850B 共に20台収納



PAT

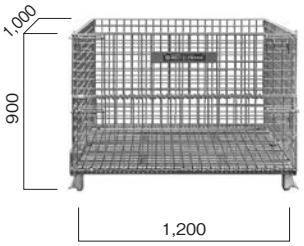
AB 型伸縮ブラケットパレット

●寸　　法　W 2,100×D 1,500×H 940
●AB-300N…240本
　AB-500N…180本
　AB-750N…120本



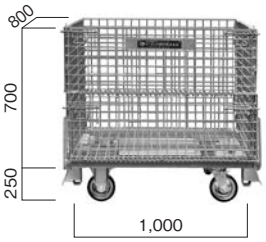
キャリエース　KA-L…75.5kg

キャスター無し
●寸　　法　W 1,200×D 1,000×H 900
●積載重量　19.6kN



キャリエース　KA-C…55.5kg

キャスター付き　φ150（ウレタン製）
●寸　　法　W 1,000×D 800×H 950
●積載重量　7.35kN



カラマン吊パレット

●寸　　法　W 1,190×D 850×H 545
●足場チェーン収納パレット

●2m…400本
3m…280本
4m…200本
5m…160本

吊部

PAT

SPS 先行手すり吊パレット

●寸　　法　W 1,860×D 1,500×H 1,380
●SPX-1829　200台収納

吊部

PAT

兼用幅木吊パレット

●寸　　法　W 1,860×D 1,500×H 1,380
●TU-18K　200台収納

吊部

PAT

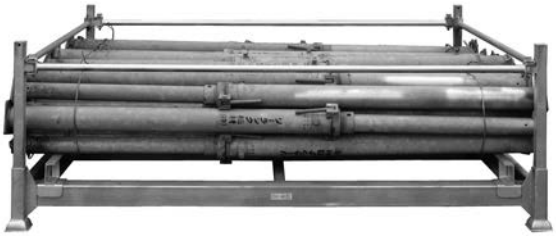
パイプサポートパレット

●寸　　法　W 2,490×D 1,900×H 880
●AM-10M…240本　AM-12M…300本　AM-20…300本

PAT

強力サポートパレット

●寸　　法　W 2,490×D 1,900×H 880
●CH-12, 18…60本
CH-24, 32…40本
CH-40, 50, 60…30本

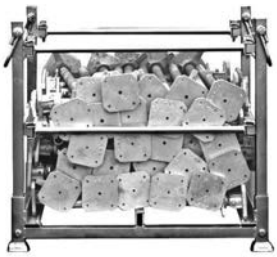


●パレット

PAT

アルマジャッキ吊パレット

●寸　　法　W 1,122×D 998×H 1,085
●AL-787J　100本収納
●BP …100本
HD …180本
19D…60本
24D…46本

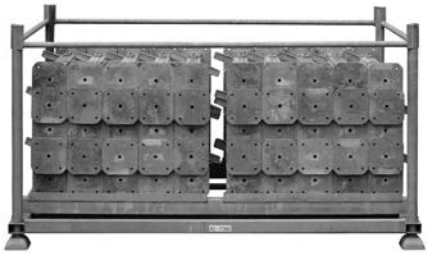


吊部

PAT

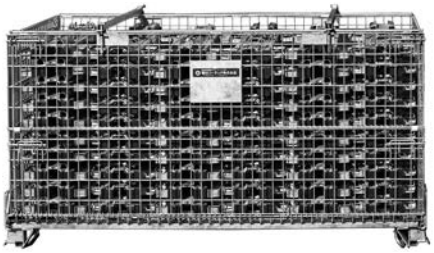
免震サポートパレット

●寸　　法　W 1,800×D 1,020×H 1,170
●72本収納



ラックガードシステム吊パレット

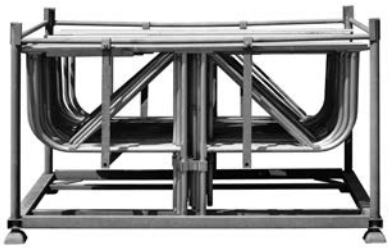
●寸　　法　W 2,040×D 1,080×H 1,058
●ARG-100…60台
ARG-200…60台
ARG-180…28台

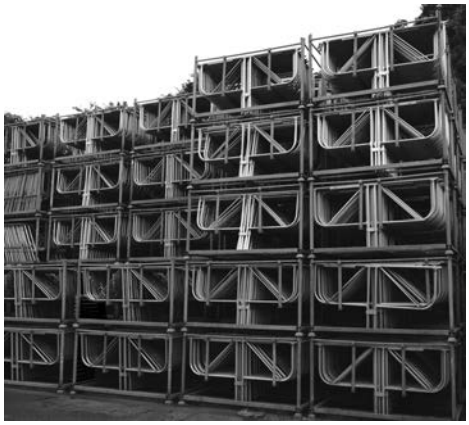


吊部

ラックガード手摺パレット

●寸　　法　W 1,850×D 1,110×H 1,126
●ARG-180…28台

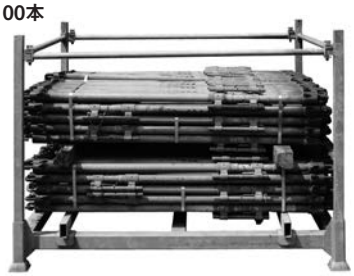




PAT

PC サポートパレット

●寸　　法　W 1,798×D 1,562×H 1,310
●A-1100, 1670…200本
A-2200…150本
A-2720…100本
A-3050…100本



PAT

ラックステージパレット

●寸　　法　W 1,997×D 1,900×H 1,742
●2台収納

●パレット

PAT

道板受台パレット

●寸　　法　W 1,798×D 1,562×H 1,680
●T-600　100台収納

吊部

PAT

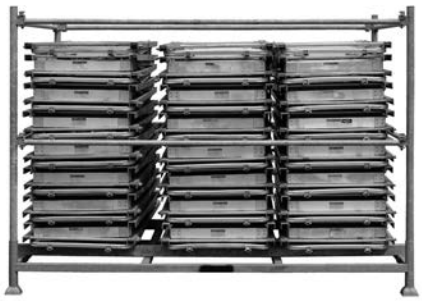
型枠ブラケットパレット

●寸　　法　W 2,160×D 1,439×H 1,133
●120台収納

PAT

スカイハンガーパレット

●寸　　法　W 2,600×D 1,795×H 1,883
●AS-750B …45台
AS-1050B…28台
AS-1300B…13台



PAT

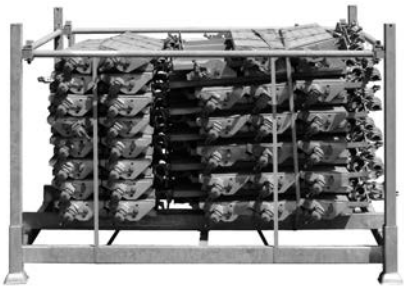
スカイステージパレット

●寸　　法　W 1,500×D 2,100×H 2,550
●AS-1860, 1860H…21台

PAT

ラックパレット

●寸　　法　W 1,798×D 1,562×H 1,230
●汎用タイプ



ライトパレット

●寸　　法　W 1,818×D 1,541×H 1,280
●軽量機材用汎用タイプ

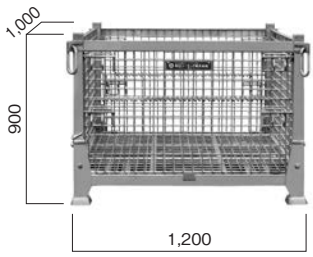
■吊キャリエース　収納可能数

機　　材		収納可能数	単位重量(kg)	重量(kg)	備　　考
兼用クランプ	KM-48D / KF-48D	1,000	0.74	740	1 袋 / 30 個　300 以上はパレット推奨
角丸クランプ	KM-60D 他	800	0.90	720	1 袋 / 20 個　200 以上はパレット推奨
角角クランプ	KK-60D 他	800	1.00	800	1 袋 / 20 個　200 以上はパレット推奨
サポートクランプ	KM-605D 他	800	0.76	608	1 袋 / 20 個　200 以上はパレット推奨
直線ジョイント	TT-18D	1,000	0.60	600	1 袋 / 30 個　300 以上はパレット推奨
強力サポ　上柱クランプ	CU-8248M / F	500	1.30	650	1 袋 / 20 個　200 以上はパレット推奨
強力サポ　下柱クランプ	CU-1148M / F	350	1.60	560	1 袋 / 15 個　150 以上はパレット推奨
アルマクランプ	KM-88D / KF-88D	600	1.00	600	1 袋 / 20 個　200 以上はパレット推奨
梯子ホルダー	TB-H	42	4.80	202	10 以上はパレット推奨
スカイステージ回転金具	ASC-21R/L	48	6.80	326	積合せによってはバラ積推奨、要相談
ジャッキベース	A-752D	200	4.00	800	100 以上はパレット推奨
ロングジャッキベース	RT-5S	150	6.30	945	50 以上はパレット推奨
大引受けジャッキ	A-752HTD	120	5.30	636	50 以上はパレット推奨
ロング大引受けジャッキ	A-752HS	100	6.50	650	50 以上はパレット推奨
TS 大引受けジャッキ	TS-HJD	80	8.10	648	30 以上はパレット推奨
ベーススピンドル	ST-70BD	150	5.00	750	50 以上はパレット推奨
ヘッドスピンドル	ST-70HD	80	5.50	440	30 以上はパレット推奨
PC壁金具	PC-200	80	8.50	680	30 以上はパレット推奨
	PC-220	80	8.00	640	30 以上はパレット推奨
	PC-300	50	9.00	450	20 以上はパレット推奨
	PC-350	40	9.50	380	20 以上はパレット推奨
インサート金具	PC-120	400	1.50	600	1 袋 / 20 個　200 以上はパレット推奨
	PC-120NT	400	1.65	660	1 袋 / 20 個　200 以上はパレット推奨
	PC-120NT24	400	1.65	660	1 袋 / 20 個　200 以上はパレット推奨
四角支柱 H300	SSL-30	40	12.50	500	20 以上はパレット推奨
強力サポート大引受け	CH-200H	64	5.31	223	
TS カラー材	TS-HCS2	500	1.20	600	100 以上はパレット推奨
TS ロングカラー材	TS-HCL	300	2.10	630	100 以上はパレット推奨
TS ポケット金具	TS-P2	200	3.40	680	100 以上はパレット推奨
道板受台	T-600	20	9.50	190	1 結束 / 10

木製パレットはクレーン作業で非常に危険です。吊キャリエースの使用をお願い致します。

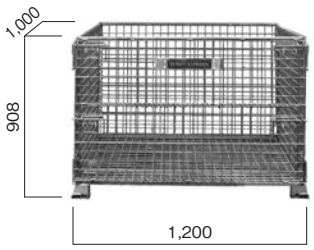
吊キャリエース　HP-1210N…93kg

キャスター無し
●寸　　法　W 1,200×D 1,000×H 900
●積載重量　19.6kN



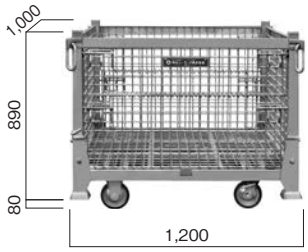
吊キャリエース　HP-1210…82kg

キャスター無し
●寸　　法　W 1,200×D 1,000×H 908
●積載重量　9.81kN



吊キャリエース　HP-1210C…105kg

キャスター付き　φ150（ウレタン製）
●寸　　法　W 1,200×D 1,000×H 970
●積載重量　7.84kN　　(890)



鉄骨工事関係

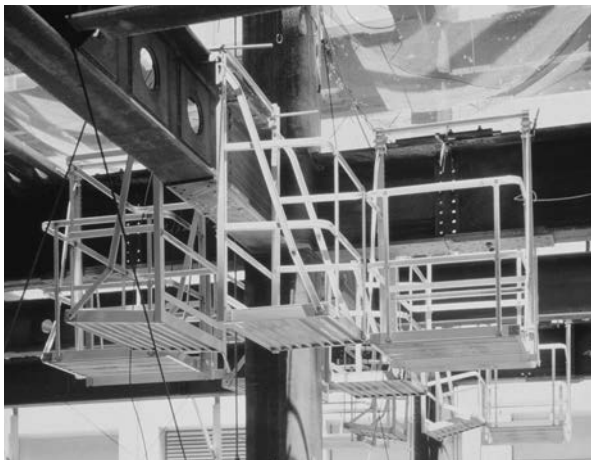
アルミスカイハンガー (PAT)

詳しくはこちらをご覧下さい

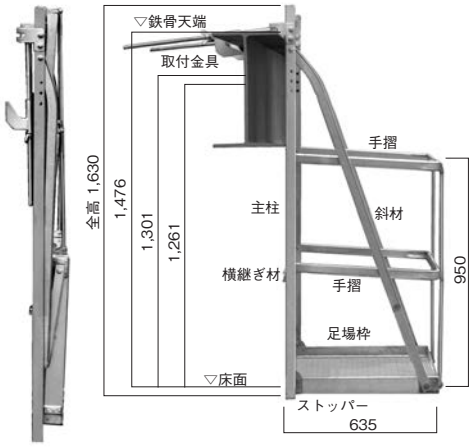
1）斜材にシンプルな折畳み機構を設けていますので、簡単に開閉ができ、H鋼に確実に取付ける事ができるため、作業の効率はグンと上がります。

2）強度は十分、安全な構造です。
労働省安全研究所における強度試験の結果、積載荷重1.96kNに対し、12.7kNの荷重に耐えることが立証され、安全率は5倍以上であることが確認されました。また、斜材の先端部にはストッパーおよびピンによる二重ストッパーを設け、安全には十分な配慮をしております。

3）いつまでも錆びず、美しい外観。
住宅サッシと同じアルマイト（陽極酸化皮膜）を施していますので、表面は疵がつきにくく、錆びず、いつまでも美しい外観を保ちます。



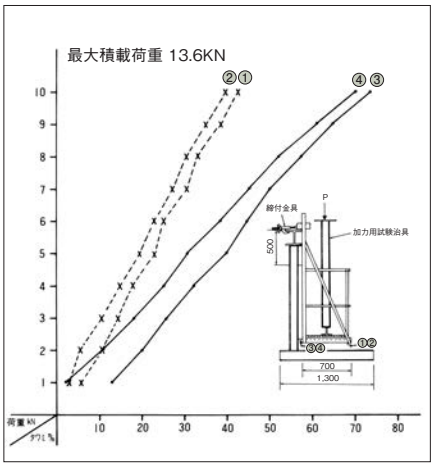
●積載荷重：1.96kN



※取付金具および横継ぎ材の高さは、3段階調節が可能です。

●幅木付きタイプ

■スカイハンガーの強度試験表



労働省産業安全研究所におけるテスト結果（昭和57年7月30日）

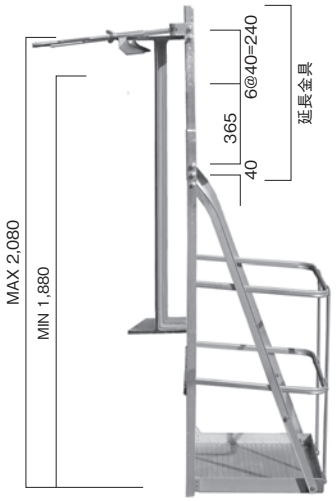
■機種一覧

特殊サイズの製作も承ります。

品番	サイズ W×L×H（mm）	床位置（mm）	重量（kg）	幅木高（mm）	積載荷重（kN）
AS-750B	635× 750×1,630	鉄骨天端～床 1,476（標準）、1,301、1,261 延長金具使用時 2,080（標準）、2,040、2,000、1,960、1,920、1,880	17.9	50	1.96
AS-1050B	635×1,050×1,630		20.8		
AS-1300B	635×1,300×1,630		22.6		
AS-750BH	635× 750×1,630		18.7	100	
AS-1050BH	635×1,050×1,630		21.8		
AS-1300BH	635×1,300×1,630		23.7		

●オプション部材

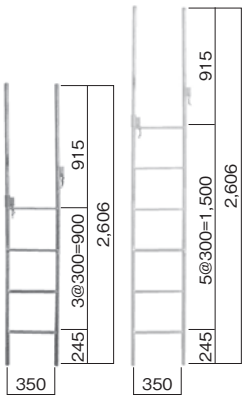
延長金具 AS-0.5H-1…6.5kg
AS-750B・1050B・1300B 対応



延長金具使用時、組立・解体費用は別途請求させて頂きます。
AS-1300B にはアタッチメント AS-0.5H-3 も必要となります。

(PAT)

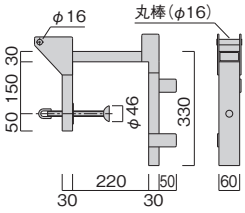
昇降タラップ AS-26T…9.0kg L=2,660
AS-20T…7.1kg L=2,060



AS-20T　AS-26T

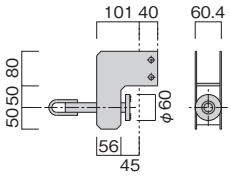
(折り畳み状況)

壁用金具 AS-W1810…3.9kg
AS-W2515…4.1kg



(AS-W1810：有効巾 90～190)
(AS-W2515：有効巾 150～250)

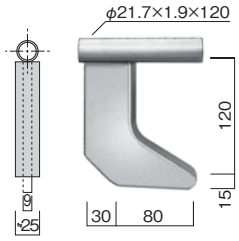
腹起し用金具 AS-H35F…1.9kg

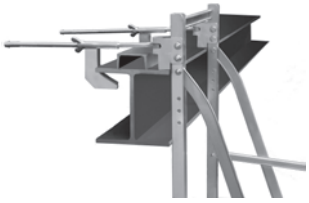


適用フランジ厚：35mm以下

組立・解体費用は別途請求させて頂きます。

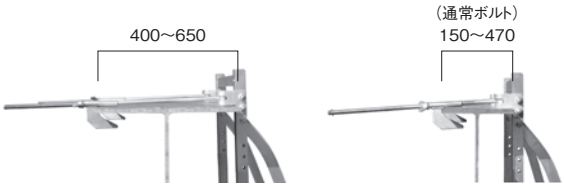
特殊フック AS-70F…2.4kg





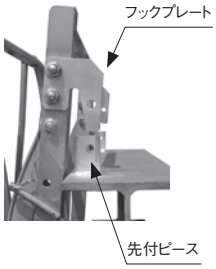
適用フランジ厚：50 ～ 100mm
組立・解体費用は別途請求させて頂きます。

ロングボルト AS-05L…1.11kg



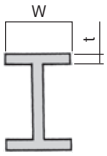
＊ネジは締付速度の速い二条ネジを採用しています。

フックプレート AS-FP…0.39kg



組立・解体費用は別途請求させて頂きます。

適応サイズ



梁　幅　W：
- 通常ボルト　150 ～ 470mm
- ロングボルト　400 ～ 650mm

フランジ厚 t：
- 通常フック　7 ～ 50mm
- 特殊フック　50 ～ 100mm

パイハンガー

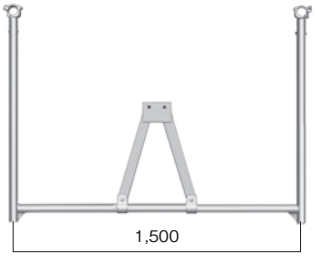
詳しくはこちらを
ご覧下さい

●パイハンガー

1）鉄骨鉄筋構造物（SRC）のボルト締め、鉄筋工事、安全通路用に開発された製品で、従来から使用されている吊り足場に代わるものです。
2）鋼製布板、鋼製足場板などを利用できます。
3）組立てが地上で行えますので安全です。
4）部材が少なく軽量ですので取り扱いが容易です。

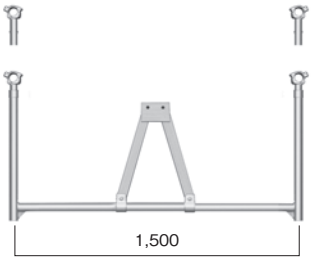
許容積載荷重　片側1.96kN
（両側3.92kN）

パイハンガー
SH -1015 L…15.5kg

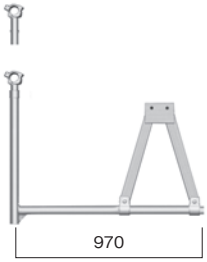


片ハンガー
SH -1015 LS…10.8kg

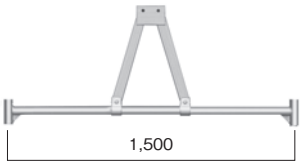
伸縮手摺ハンガー
SH -1015 Z…15.5kg



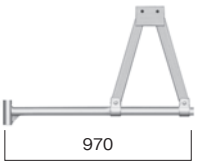
伸縮手摺片ハンガー
SH -1015 ZS…10.8kg



水平ハンガー
SH -1015 LT…9.5kg

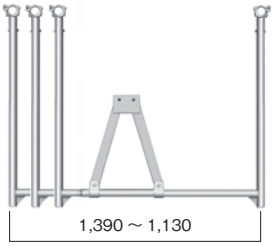


水平片ハンガー
SH -1015 LST…7.8kg

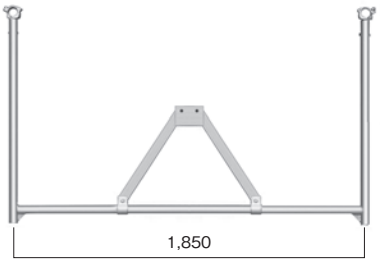


水平ハンガー用手摺柱
SH - P 1…3.5kg

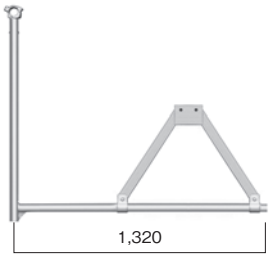
スライドパイハンガー
SH -2046Z…17.2kg



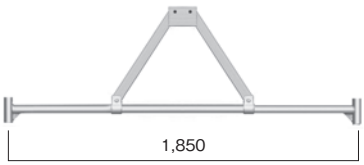
パイハンガー（巾広）
SH -1018 L…17.0kg



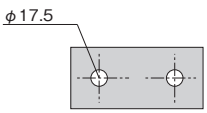
片ハンガー（巾広）
SH -1018 LS…12.3kg



水平ハンガー（巾広）
SH -1018 LT…11.0kg



取付ピース
SH -02…0.5kg

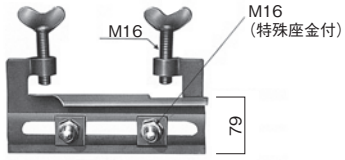


140×65×t6

ボルト SH-01HT　M16×45
強度区分 10.9

ボルト SH-03　M12×45
強度区分　4.8

取付金具

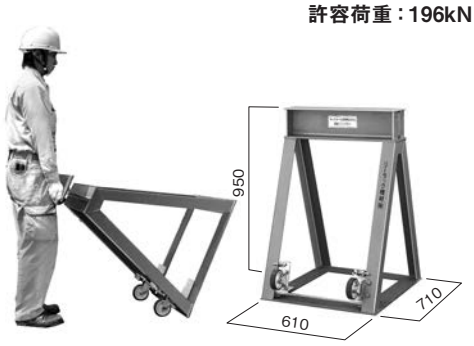


品　番	使用範囲		重量（kg）
	フランジ巾（mm）	フランジ厚（mm）	
SH-200	100 ～ 190	17 以下	2.0
SH-300	150 ～ 290	22 以下	2.5
SH-500	250 ～ 490	42 以下	4.0

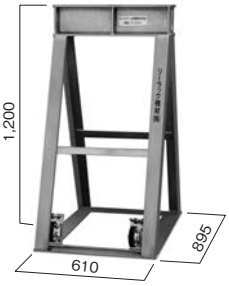
パイハンガー架台／鋼製スカイハンガー

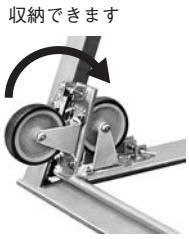
●パイハンガー架台

パイハンガー架台 SHT-900C…56.0kg
許容荷重：196kN



パイハンガー架台 SHT -1200C…67.0kg　許容荷重：196kN

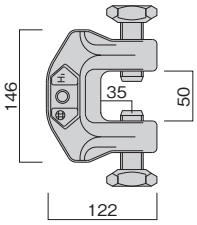




※御返却時はキャスターを収納して下さい。

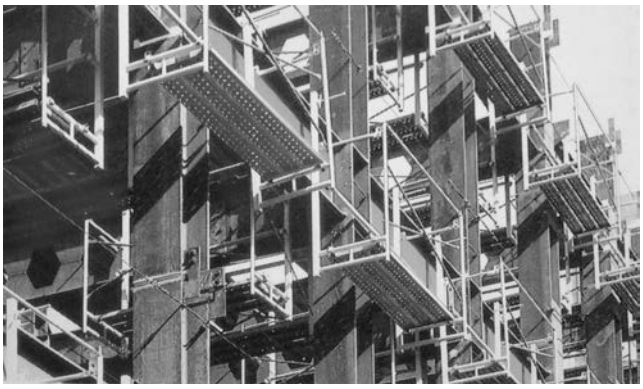
シャコ万力 SC-75…1.1kg

ロックマン H1…2.8kg

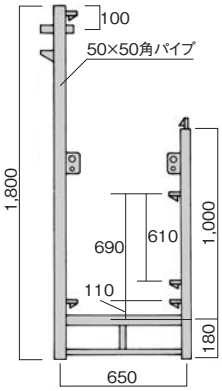


●鋼製スカイハンガー

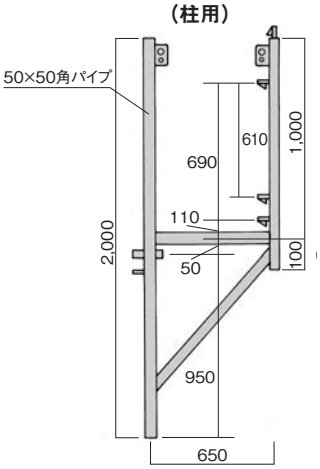
1）鉄骨構造物のボルト締め、溶接作業用にまた、安全通路用としても利用でき得るように開発された製品です。
2）局部的作業として使用されることが多く、地上で組立て、クレーンで吊り上げ取付けます。
3）通常一層分のジョイント部に設置し、順次上層階へ転用します。



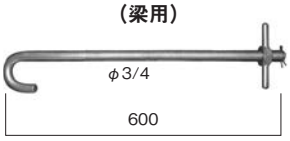
ブラケット SH-1865…11.4kg
（梁用）



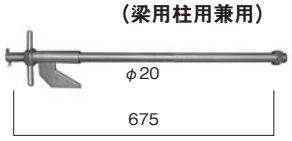
ブラケット SH-2065…12.6kg
（柱用）



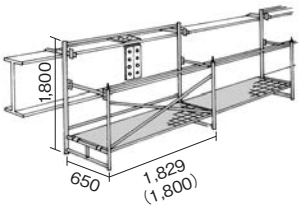
締付金具 SH-60…1.6kg
（梁用）



締付金具 SH-65…2.7kg
（梁用柱用兼用）

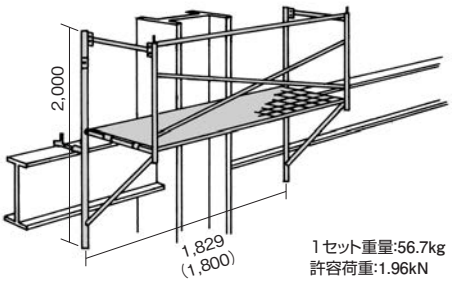


●梁用



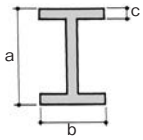
1セット重量:53.3kg
許容荷重:1.96kN

●柱用



1セット重量:56.7kg
許容荷重:1.96kN

■取付範囲　(mm)

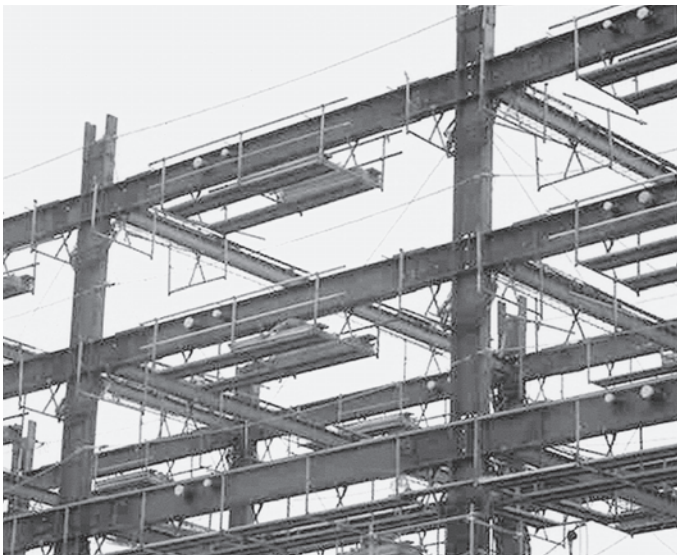


a	b	c
300 ∫ 900	150 ∫ 400	40以下

クロスハンガー／スライドクロスハンガー

詳しくはこちらをご覧下さい

1）取付金具、溶接ピース不用のため部品の紛失がなく、溶接とその割出しの手間が省け経済的です。
2）取付方法が簡単であり、地上に取付け後、鉄筋の建方を行いますので安全です。
3）クリップ及び、つかみ金具のボルト締めで揺れがなく安全です。
4）それぞれのクロスハンガーは鋼板布枠及び手すり用足場パイプにて連結されますので安定性抜群です。
5）鉄骨梁が異なっても同一製品で使用でき、その上転用ができて経済的です。
6）クリップの先端には脱落防止用の金具がついています。



注意事項

スパン長1,800mm以下にて使用して下さい。

使用方法

①サスペンダーを交差させ、鉄骨梁のフランジにつかみ金具をかける。（図２参照）
②フランジ幅に合ったサスペンダーの穴にクリップを通しロックする。（図１参照）
③割りつけの位置で、つかみ金具の４箇所のボルトを締める。ボルトは締めすぎないようにご注意下さい。（図２参照）

●適合フランジ
1）フランジの厚さ…MAX32mm
2）フランジの幅…125、150、175、200、250、300（± 0.5）

●許容積載荷重（中央集中荷重）
1 スパンについて片側 1.96kN・両側 3.92kN

図1

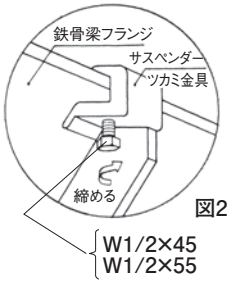
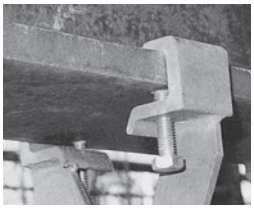
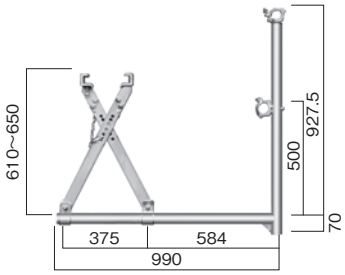


図2

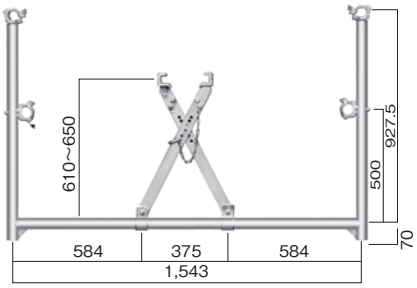
●サスペンダー



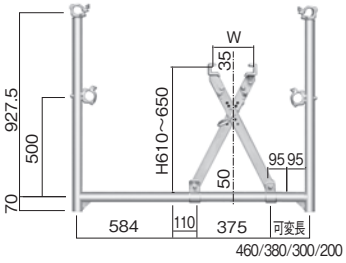
クロスハンガー AX-300H…11.5kg（片ハンガー）



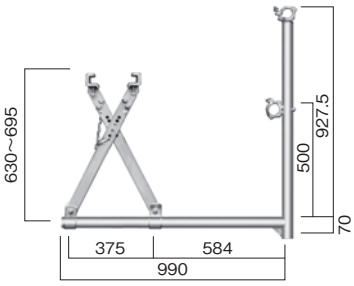
クロスハンガー AX-300…18.2kg



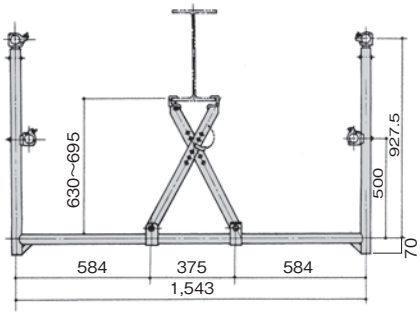
スライドクロスハンガー AX-300S…20.2kg



クロスハンガー AX-500H…12.0kg（片ハンガー）

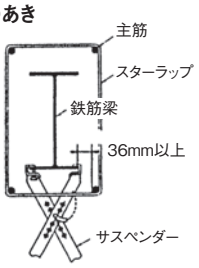


クロスハンガー AX-500…19.7kg



●鉄骨梁と端部主筋とのあき

クロスハンガーの解体を容易にするため36mm以上が必要です。



■適合フランジ寸法

	厚(mm)	幅(mm)
AX-300(H)	32以下	125,150,175,200,250,300
AX-500(H)	42以下	300,350,400,450,500

※クリップの穴合せはシノにて行って下さい。

連層吊り足場 (PAT.P)

詳しくはこちらを
ご覧下さい

1）全段ユニット折りたたみ式のため、現場での組立てが簡単でクレーンにて迅速に組立・転用・解体ができます。
2）連層吊り足場の中間を躯体側よりブラケットにて支持することにより、上部2段は自立足場として仕様可能です。
3）折畳み式ハッチ開口。（小さくまとまり、邪魔にならない。）
開口寸法は440mm×1,140mmで通り易い。
4）伸縮収納式吊り梯子
各段床下部に可能角度ステップ付き梯子が収納されており、使用時以外は収納し作業スペースを有効に使用できます。
5）柱ロック機構
吊り柱は、折れ防止ロックオピンによりロックされます。
6）落下防止ブレース機構
前後面固定ブレースの他、側面×ブレースと前後平行ブレースを取付け。
尚ブレースは、グラビティーロックピンにより着脱容易です。
7）折畳みは全ロックを解除し、吊り降ろしますと自然に折畳みができます。
8）折畳み収納は、スタッキングピンと連結金具により、完全に固定されます。
（折畳んだ状態での吊り下げも可能。）

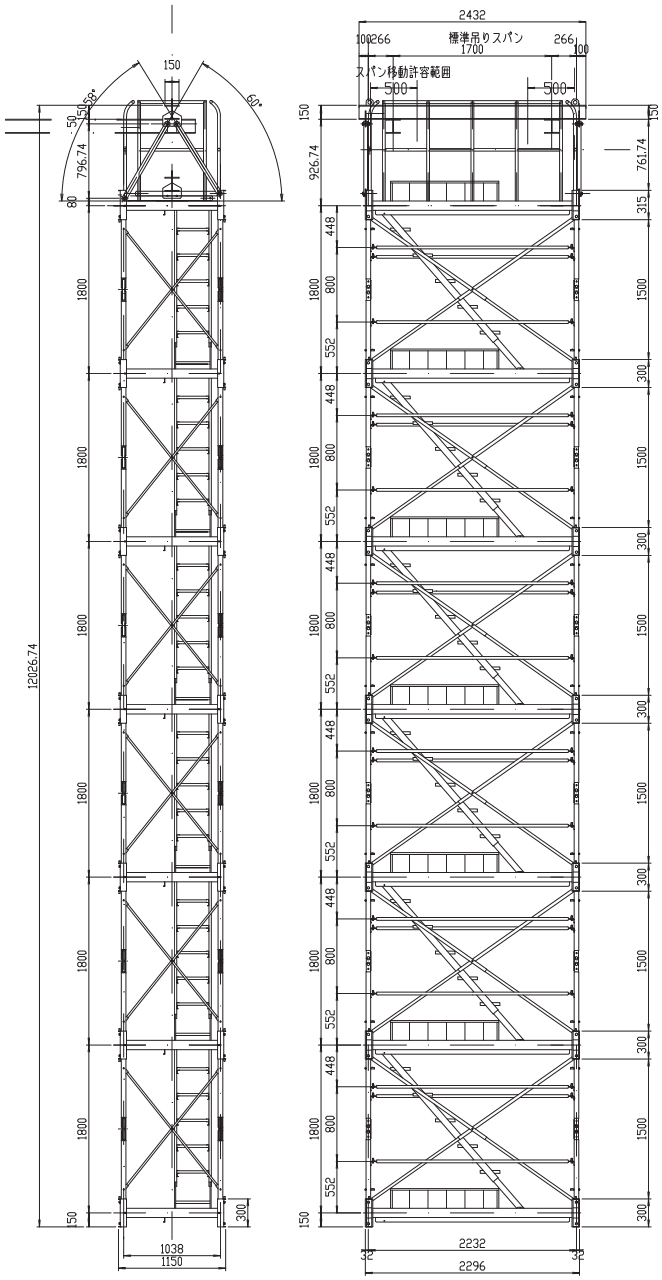
仕　様

●材　　質　アルミ合金製
●積載荷重　最大積載荷重　3.43kN/段
　　最大積載荷重　10.3kN/組
●寸　　法

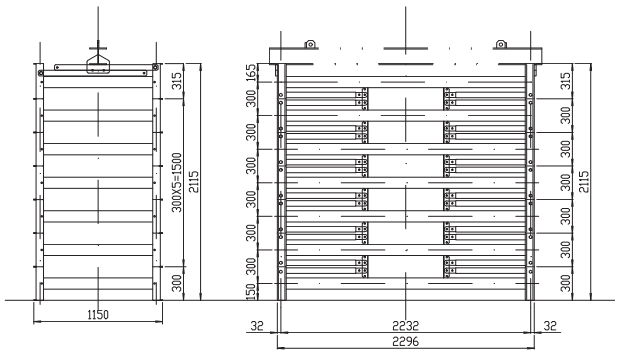
	巾	高さ	奥行
外　寸	2,296	1,800/段	1,150
有効寸法	2,182	1,696.5mm	886

（468梯子使用時）

●重　　量　標準層　84.7kg
　　上段層　153.8 kg（吊り金具、手摺を含む）
●連 層 数　6層
※積載荷重を制限する事により層数を増やす事ができます。
●伸縮収納階段付
（階段不要時は収納し、床全面作業スペースとできる。）
●落下防止用ステー四方取付け
●全段折りたたみ（6段用折畳み高さ2,255）



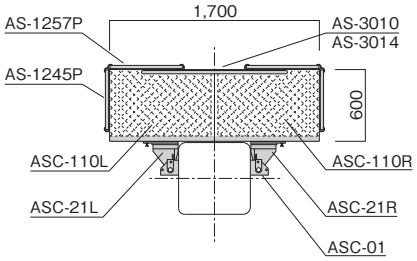
折りたたみ状態図

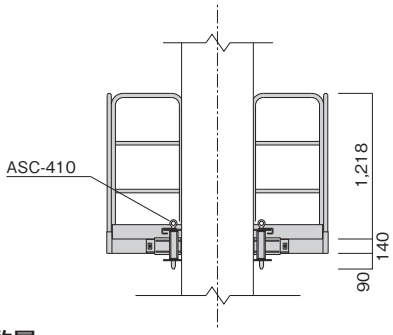


アルミスカイステージ（柱接続用）

詳しくはこちらを
ご覧下さい

一般型 CST-PG…57.0kg　　許容荷重:1.96kN（片側）

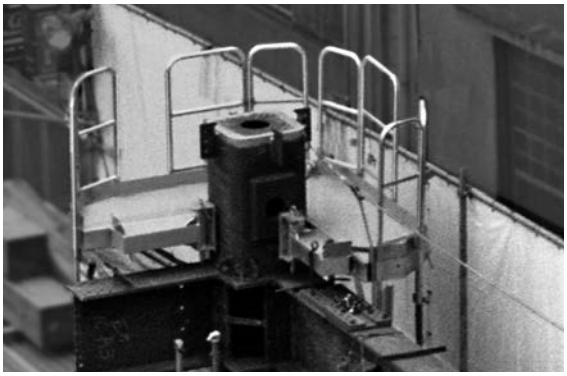


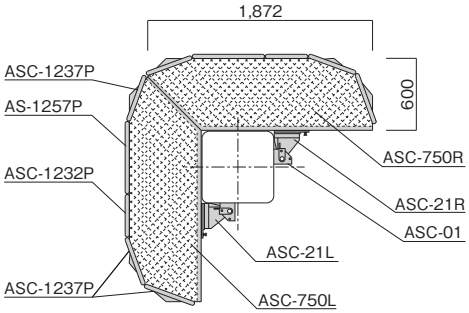


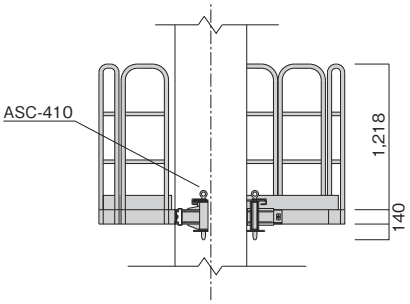
■1セット数量

品　番	部　材　名　称	数量	備　考
ASC-110R	張出しステージ 右	1	
ASC-110L	張出しステージ 左	1	
ASC-21R	回転金具 右	1	
ASC-21L	回転金具 左	1	
ASC-410	回転ピン	2	
AS-1257P	ステージ手摺	2	H＝1,200
AS-1245P	ステージ手摺	2	H＝1,200
AS-3010	渡し手摺	1	
ASC-01	先付ピース	4	（販売）

コーナー型 CST-PC…75.0kg　　許容荷重:1.96kN（片側）



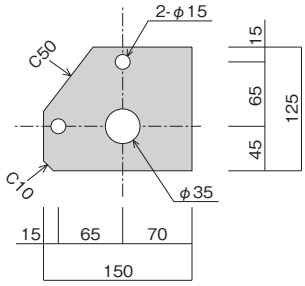


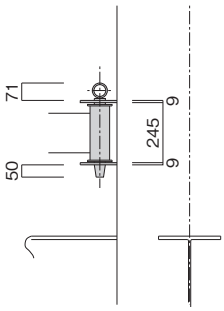


■1セット数量

品　番	部　材　名　称	数量	備　考
ASC-750R	コーナースカイステージ 右	1	
ASC-750L	コーナースカイステージ 左	1	
ASC-21R	回転金具 右	1	
ASC-21L	回転金具 左	1	
ASC-410	回転ピン	2	
AS-1257P	ステージ手摺	2	H＝1,200
ASC-1237P	ステージ手摺	6	H＝1,200
ASC-1232P	ステージ手摺	2	H＝1,200
ASC-01	先付ピース	4	（販売）

先付ピース ASC-01…1.10kg





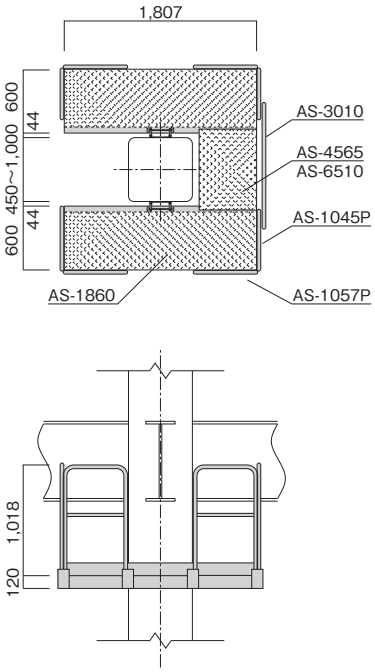
＊先付ピースは鉄骨工場にて
溶接願います

1）回転方式にて、建物内部での組立解体が可能です。
2）床材はスライド式なので、渡し板は不要です。
　強固な作業床が設けられますので、安全に溶接作業ができます。
3）使用可能コラム寸法は□450～□1,000です。

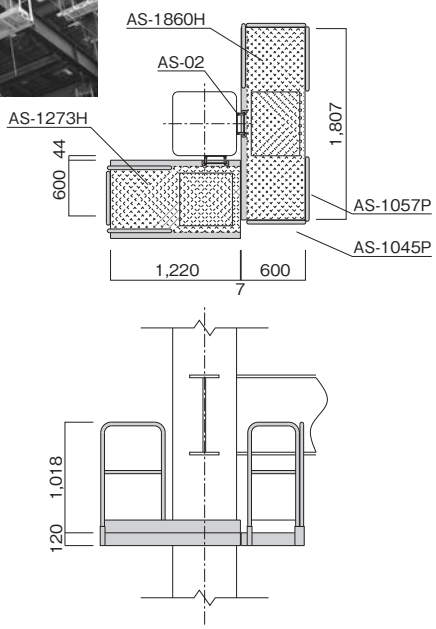
アルミスカイステージ（梁接続用）

詳しくはこちらを
ご覧下さい

一般型 CST-BG…86.0kg　　許容荷重:1.96kN（片側）



コーナー型 CST-BC…70.0kg　　許容荷重:1.96kN（片側）



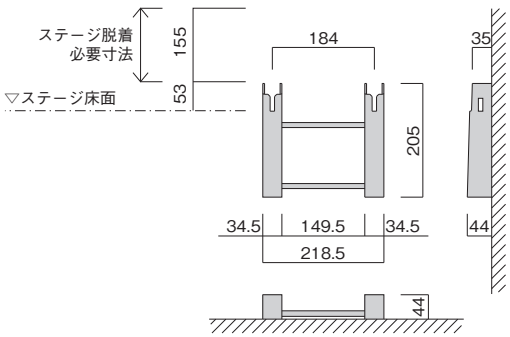
■1セット数量

品　番	部　材　名　称	数量	備　考
AS-1860	スカイステージ	2	
AS-4565	ステージ渡し板	1	コラム径 600 以下
AS-6510	ステージ渡し板	1	コラム径 650 以上
AS-1057P	ステージ手摺	4	H＝1,000
AS-1045P	ステージ手摺	4	H＝1,000
AS-3010	渡し手摺（□ 650 以下）	1	外周のみ
AS-3014	渡し手摺（□ 600 ～□ 1,000）	1	外周のみ
AS-02	先付金具	2	（販売）
（ボルト）	M8 × 25（B,N,W,W）	2	

■1セット数量

品　番	部　材　名　称	数量	備　考
AS-1860H	ハッチ式スカイステージ	1	
AS-1273H	ハッチ式ステージ	1	
AS-1057P	ステージ手摺	5	H＝1,000
AS-1045P	ステージ手摺	3	H＝1,000
AS-02	先付金具	2	（販売）

先付ピース AS-02…1.2kg



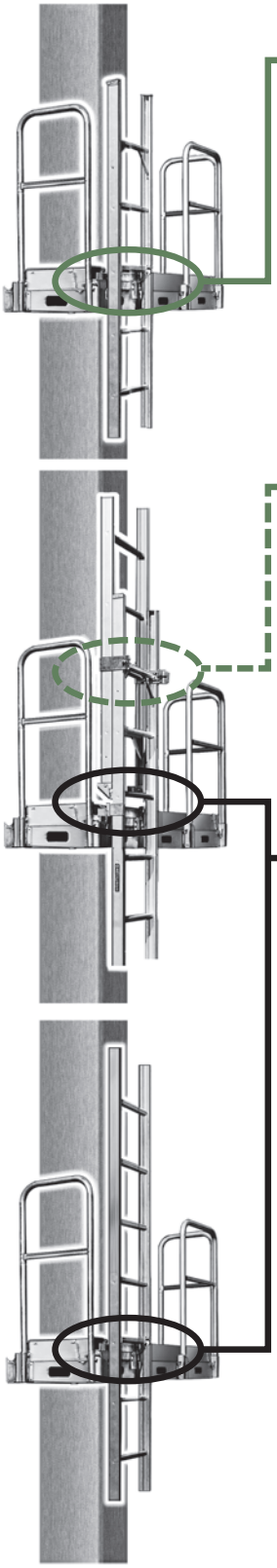
＊先付ピースは鉄骨工場にて溶接願います

1）クサビ方式にて、ワンタッチで組立解体ができます。
2）手摺は落し込む事が可能で、鉄骨組立の妨げになりません。
3）コーナー型は床にハッチを設けており、安全に昇降ができます。

アルミスカイステージ用　ハシゴ金具

詳しくはこちらを
ご覧下さい

アルミスカイステージの昇降に軽量なアルミ梯子を使用するための金具です。
取り付けは手摺受けに差し込むだけです。
アルミスカイステージの正面、両側面に取付可能です。



上部 取付部

接続部

中間・下部・取付部

単管パイプへの取付も可能

ハシゴ取付金具（上） AST-300U…3.1kg

ハシゴ取付金具（下） AST-300S…3.1kg

ハシゴ接続金具 ANT-JK…0.58kg

PAT.

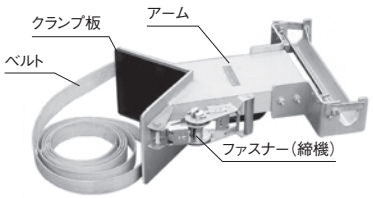
フレ止め金具 ANT-FK…1.2kg

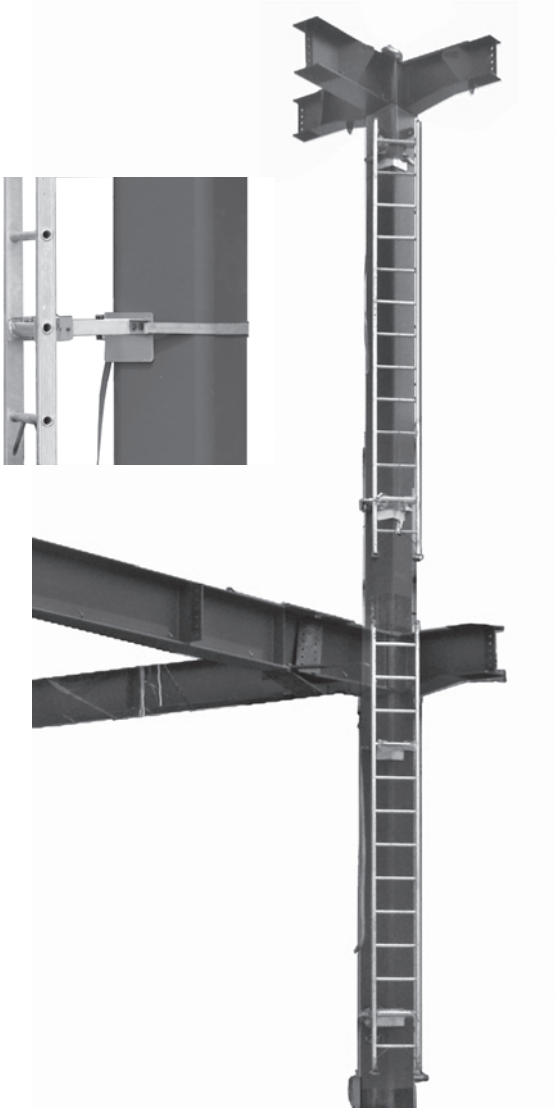
梯子ホルダー（アルミ）

詳しくはこちらを
ご覧下さい

鉄骨柱にアルミ梯子･鉄骨タラップを取付けるための金具です。
鉄骨柱への取付けは付属のベルトで行い、ピースの溶接は不要です。
アルミ梯子（ANT-3.0･ANT-4.0･ANT-5.0･ANT-6.0･TB-35S･TB-45S）、鉄骨タラップ（TT-1.4･TT-2.1）専用です。
他のアルミ梯子等は使用しないで下さい。

梯子ホルダー TB-H…4.8kg





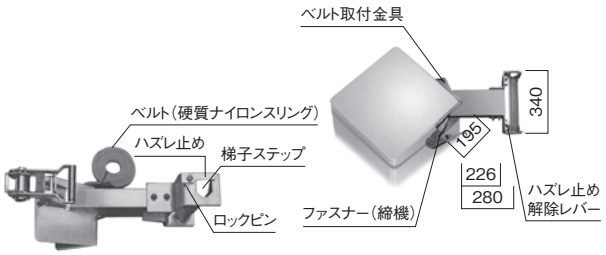
■梯子ホルダー適用鉄骨柱

	コラム	H鋼
		
巾（mm）	750 以下	250 以上
高さ（mm）	750 以下	250 以上
外周（mm）	3,000 以下	3,000 以下

*適用以外の鉄骨柱に使用しないで下さい。
*オプションのベルトをつけることにより、1m のコラム柱に対応できます。
*鉄骨タラップと梯子ホルダーを接続する時に使用する金具です。

取付方法

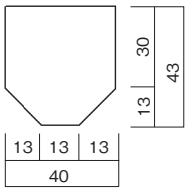
①梯子に梯子ホルダーを設置します。
・梯子の端部から２ステップ目に取付けて下さい。
・梯子ステップに、梯子ホルダーを引っ掛け、ハズレ止め金具をロックします。
②鉄骨柱に設置します。
・鉄骨柱の角部に乗せ、ベルトがねじれたり、もつれたりしないように巻き付けて下さい。
・ベルトはファスナーの巻取ドラムに通して下さい。
・ファスナーを動かすと、ベルトが巻き取れます。



①ファスナー（締機・オール SUS 採用）
②ベルト（硬質ナイロンスリング）

■使用可能な梯子寸法

●ステップ（踏桟）の断面形状
この大きさに収まる形状



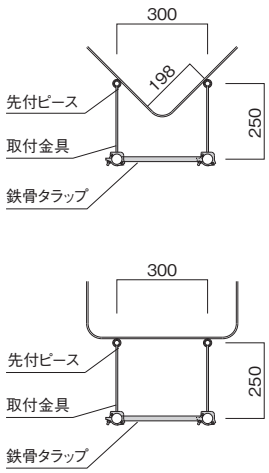
●支柱（縦桟）の内々寸法

鉄骨タラップ（コーナー部）

■組み合せ長さ表

		TT-1.4					
	本数	0	1	2	3	4	5
TT-2.1	0	0	1,400	2,800	4,200	5,600	7,000
	1	2,100	3,500	4,900	6,300	7,700	9,100
	2	4,200	5,600	7,000	8,400	9,800	11,200
	3	6,300	7,700	9,100	10,500	11,900	13,300
	4	8,400	9,800	11,200	12,600	14,000	15,400
	5	10,500	11,900	13,300	14,700	16,100	17,500
	6	12,600	14,000	15,400	16,800	18,200	19,600
	7	14,700	16,100	17,500	18,900	20,300	21,700

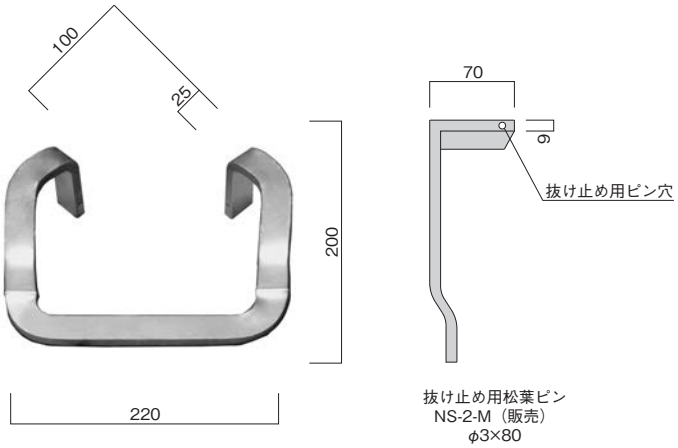
先付ピース取付け位置



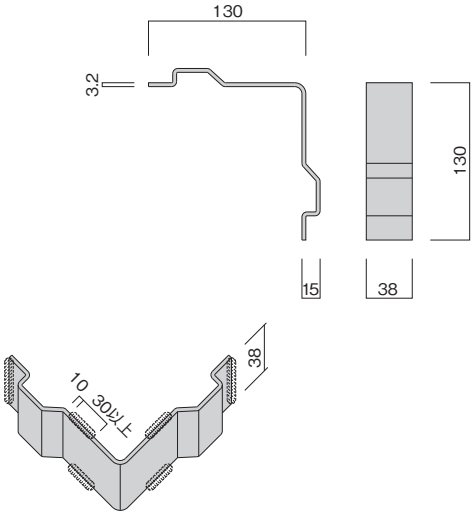
●コーナー部タラップ

コラム柱のコーナー部に取付ける、鉄骨建て方用タラップです

のぼるくんコーナー用本体 NS-2

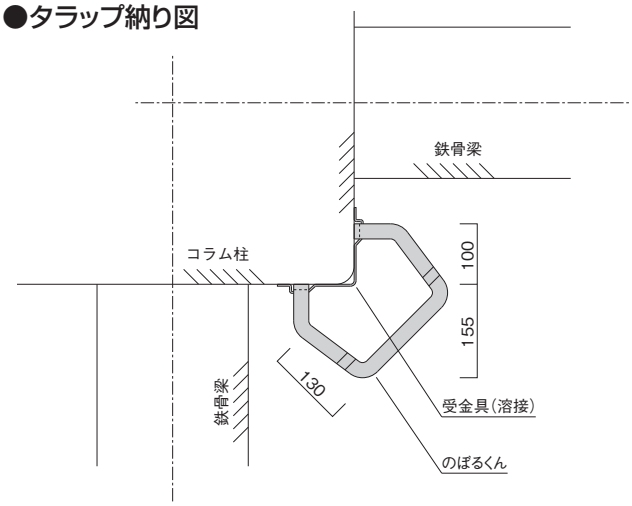


のぼるくんコーナー用受金具 NS-2-P（販売）



※曲げ部より 10mm はなし、30mm 以上溶接して下さい。

●タラップ納り図



注意事項

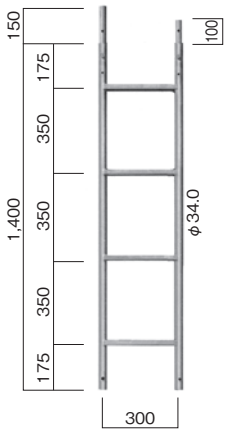
1）昇降用タラップ以外の使用は禁止します。
2）受金具に取付後、抜け止めピンを確実に取付けた上でご使用下さい。
3）破損の原因になりますので、本体に強い衝撃を加えないで下さい。
4）タラップ上での作業は避けて下さい。

鉄骨タラップ

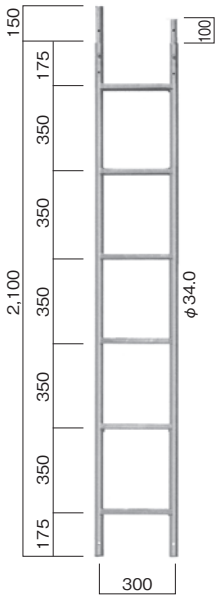
詳しくはこちらを
ご覧下さい

ボルト接続で任意の長さのタラップがつくれます。

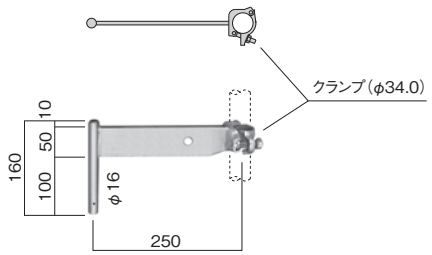
鉄骨タラップ TT-1.4…7.0kg



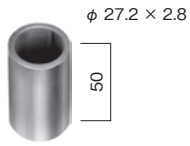
鉄骨タラップ TT-2.1…10.0kg



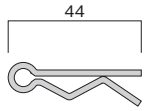
取付金具 TT-B250…1.0kg



先付ピース TT-P



松葉ピン TT-B250-01

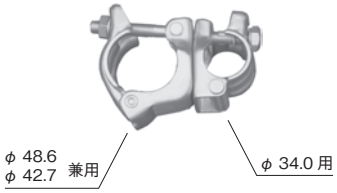


※取付金具の抜け止めに使用します。

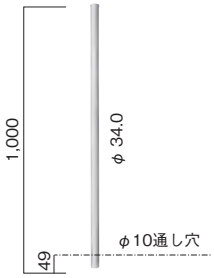
タラップ接続ボルト M8×45

タラップ用上部フック TT-F…0.7kg（φ48.6、φ42.7兼用）

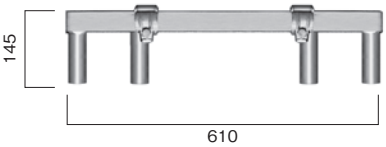
鉄骨タラップクランプ TT-C1…0.65kg（自在）



手掛り棒 TT-1.0P…1.8 kg

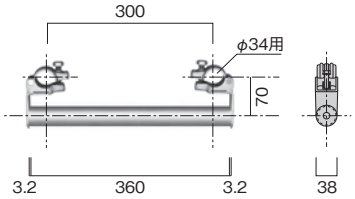


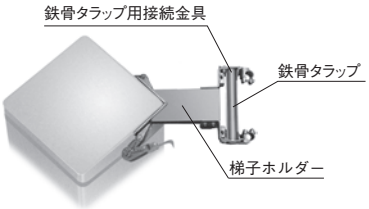
ステージ用梯子取付金具 AST-300…2.2kg



※ステージ手摺の位置に取付可能です。

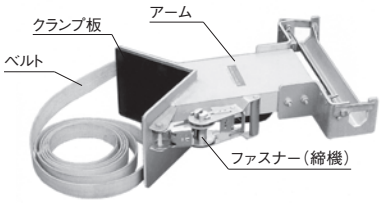
接続金具 TT-H…1.4kg





＊鉄骨タラップと梯子ホルダーを接続する時に使用する金具です。

梯子ホルダー TB-H…4.8kg



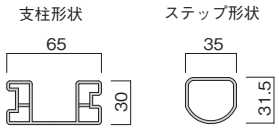
アルミ梯子／スライド梯子

●1連梯子

ANT-3.0, ANT-4.0, ANT-5.0, ANT-6.0

1）鋼製部品は溶融亜鉛メッキ仕上げ。
2）ステンレス性のボルト・ナット。
3）最大使用荷重980N。
4）梯子ホルダー（TB-H）に取付可能。

●正面ステップ有効幅…370mm
●ステップ間隔…345mm

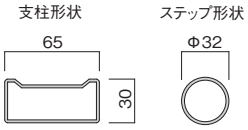


ハシゴ接続金具
ANT-JK…0.58kg

TB-35S, TB-45S

1）支柱を中空構造にしたため耐ネジレ性強度が飛躍的に向上。
2）接地性にすぐれた新形状の大型専用脚端具。
3）大型上部端具の装備で壁面にピッタリとフィット。
4）梯子ホルダー（TB-H）に取付可能。

●正面ステップ有効幅…380mm
●ステップ間隔…330mm



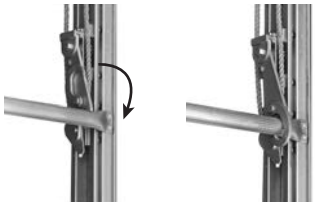
●2連スライド梯子

ANT-7.0, ANT-9.0

1）鋼製部品は溶融亜鉛メッキ仕上げ。
2）ステンレス性のボルト・ナット。
3）上梯子の抜けを防ぐ自動ロック装置付き。
4）内蔵式スライド方式。
5）梯子ホルダー（TB-H）に取付可能。

●ステップ有効幅…上梯子 370mm
下梯子 391mm
●ステップ間隔…350mm

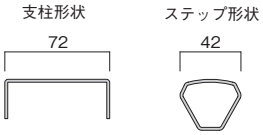
※上から引き上げる時、梯子ホルダーに取付けて使用する場合は「抜け止めフック」をロックして下さい。



JX-70D, JX-90D

1）上はしごの抜け止め自動ロック機構でよりスムーズな固定化を確保。
2）鋼製の懸垂式ロック金具とナイロン製のレバーにより、高い耐久性と軽やかな伸縮を実現。
3）持ちやすい楕円取手採用で伸縮がより簡単。
4）ロープがたるまないエンドレス構造。

●正面ステップ有効幅…上梯子 332mm
下梯子 348mm
●ステップ間隔…330mm



※梯子ホルダーには使用不可

■アルミ梯子性能表

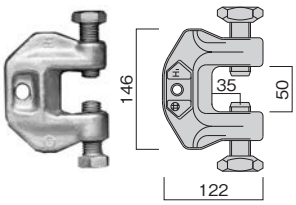
品　名	品　番	全長（m）	重量（kg）	最大使用荷重（N）
1連梯子	ANT-3.0	3.15	8.0	980
	ANT-4.0	4.15	10.4	
	ANT-5.0	5.15	12.7	
	ANT-6.0	6.15	15.5	
	TB-35S	3.48	7.6	
	TB-45S	4.47	9.4	

品　名	品　番	全長（m）	縮長（m）	重量（kg）	最大使用荷重（N）
2連伸縮梯子	ANT-7.0	7.34	4.20	18.8	1,176
	ANT-9.0	9.44	5.24	23.0	980
	JX-70D	7.05	4.22	17.6	1,176
	JX-90D	9.03	5.21	22.1	980

ロックマン／鉄骨クランプ／ネットハンガー／ネットクランプ／チェーンハンガー

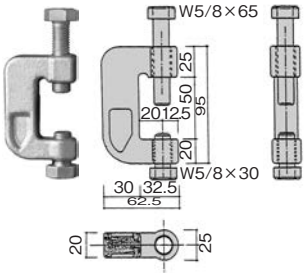
●ロックマン

ロックマン H1…2.9kg



小型ロックマン H2…0.8kg

溶融亜鉛メッキ



●ネットハンガー

ネットハンガー NH-50…0.9kg

溶融亜鉛メッキ

●ネットクランプ

ネットクランプ NC-42K…0.48kg

●鉄骨クランプ

Hクランプ

AHM-50 …1.2kg（直交）　AHM-65…1.3kg（直交）
AHF-50 …1.2kg（自在）　AHF-65 …1.3kg（自在）
AHM-37 …1.1kg（直交）
AHF-37 …1.1kg（自在）

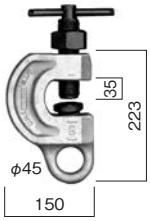
溶融亜鉛メッキ

溶融亜鉛メッキ

（　）内はAHM-50、AHF-50の寸法
従来のタイプ直交2種・自在2種が新型の
タイプ直交1種・自在1種でOK。

吊金具

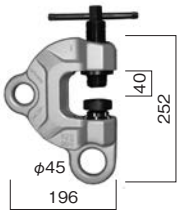
HST-SB3N…9.0kg



使用荷重：3.0ton

吊金具

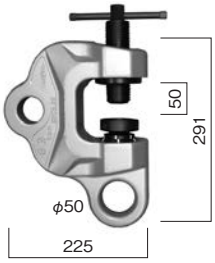
HST-SDC3S…7.0kg



使用荷重：3.2ton

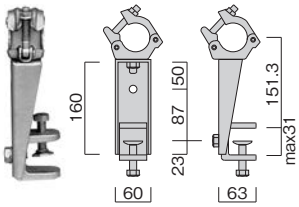
吊金具

HST-SDC6S…16.0kg



使用荷重：6.3ton

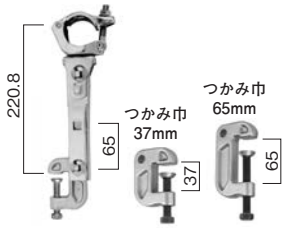
自在足場金物 NKM-3U…1.8kg

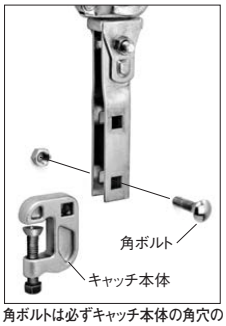


キャッチクランプ AHF-37L…1.56kg（自在）
AHF-65L…1.86kg（自在）

キャッチ本体部分は三通りの形状に組立て可能。
H鋼とクランプ間のスパン調整が簡単にできます。

溶融亜鉛メッキ



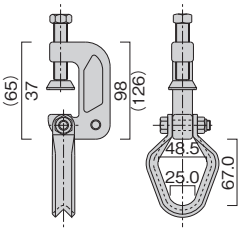


角ボルトは必ずキャッチ本体の角穴の
部分から差し込んで下さい。

●チェーンハンガー

チェーンハンガー AHC-37…0.60kg
AHC-65…0.82kg

溶融亜鉛メッキ



※（　）内はAHC-65の寸法

自在チェーンハンガー

AHC-37L…1.6kg

溶融亜鉛メッキ

自在チェーンハンガー

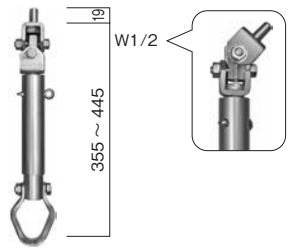
AHC-65L…1.7kg

溶融亜鉛メッキ

ボルト式自在チェーンハンガー

AHC-87BL…1.3kg

溶融亜鉛メッキ



ベスパ（パネル式吊り足場）(PAT)

詳しくはこちらを
ご覧下さい

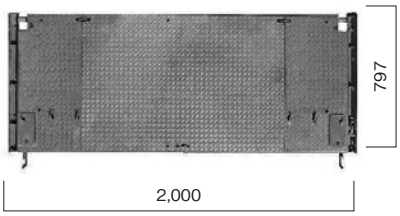
1）吊りクランプの取付けに、足場の外へ身を乗り出す必要がなく安全です。
2）パネルのジョイント時に足場の上からの、のぞき作業がなく安全です。
3）パネルに必要部品がすべて内蔵され、部品落下の心配がありません。
4）施工終了後にはパネル間に隙間がありません。
5）アルミ床材の下に防振ゴムを設置し、気になる夜間作業時の金属音を低減しました。
6）最少100mアールまで施工が可能です。
7）高強度材の使用により、高強度と軽量化を図っています。

※このシステムを採用する場合は当社までご連絡下さい。組立・取付方法の仕様書が別途用意してあります。

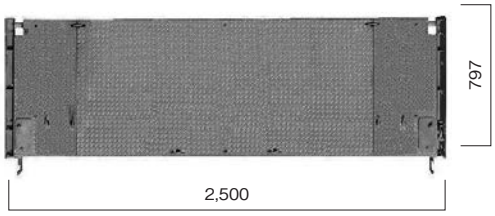
●許容荷重

1）等分布荷重…4.21kN/P（チェーンループ吊りの場合）
2）線中央集中荷重…3.23kN
3）点集中荷重…1.03kN（点面積150cm^{2}以上）

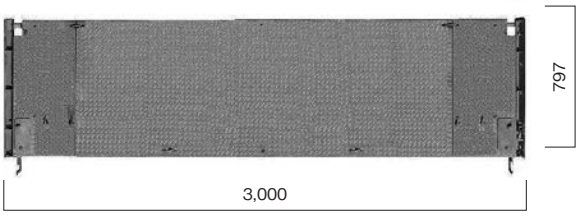
ベスパ BSP-2008…29.4 kg



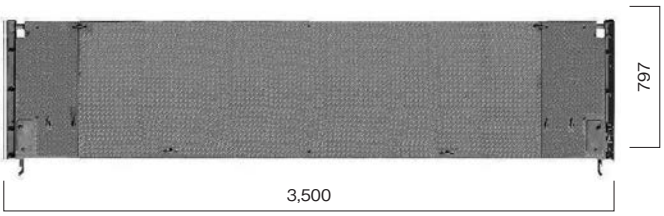
ベスパ BSP-2508…34.9 kg



ベスパ BSP-3008…40.5 kg



ベスパ BSP-3508…46.2 kg



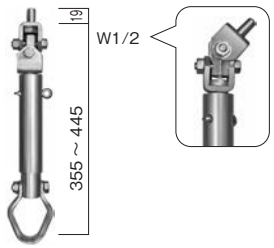
●関連部材

チェーンハンガー
AHC-37…0.60kg

チェーンハンガー
AHC-65…0.82kg

ボルト式チェーンハンガー
AHC-87B…0.48kg

ボルト式自在チェーンハンガー
AHC-87BL…1.3kg

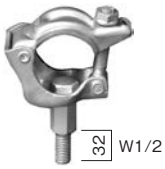


（PAT.P）

自在チェーンハンガー
AHC-37L…1.6kg

自在チェーンハンガー
AHC-65L…1.7kg

ボルト付単クランプ
BSP-C1…0.5kg

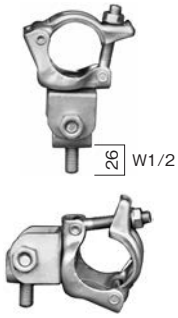


カラマンパレット
KR-P…76.0kg

取付吊具
BSP-TC…2.1kg

クリップ金具
BSP-UJ…0.53kg

ボルト付単自在クランプ
BSP-C1F…0.88kg



■標準数量表（カラマンパレット）

品　番	1パレット収納本数	1パレット総重量（チェーン+パレット）
KSC-2.0	400 本	596kg
KSC-3.0	280 本	608kg
KSC-4.0	200 本	596kg
KSC-5.0	160 本	604kg

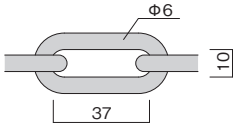
打込み式アンカー　販売品
H-ANKAA-4　（4分）

■吊りチェーン（カラマンチェーン）

0.65kg/m

品　番	長さ(m)	重量(kg)	リンク数	三角取手使用個数	1パレット収納本数	カラーブッシュ取付
KSC-2.0	2.0	1.3	51	10	400	青
KSC-3.0	3.0	1.9	79	7	280	黄
KSC-4.0	4.0	2.6	105	5	200	緑
KSC-5.0	5.0	3.3	133	4	160	赤

	チェーン
呼び径	6.0mm
内　長	37.0mm
内　巾	10.0mm
メッキ	溶融亜鉛メッキ
リンク	SWM-B
フック	SS400相当

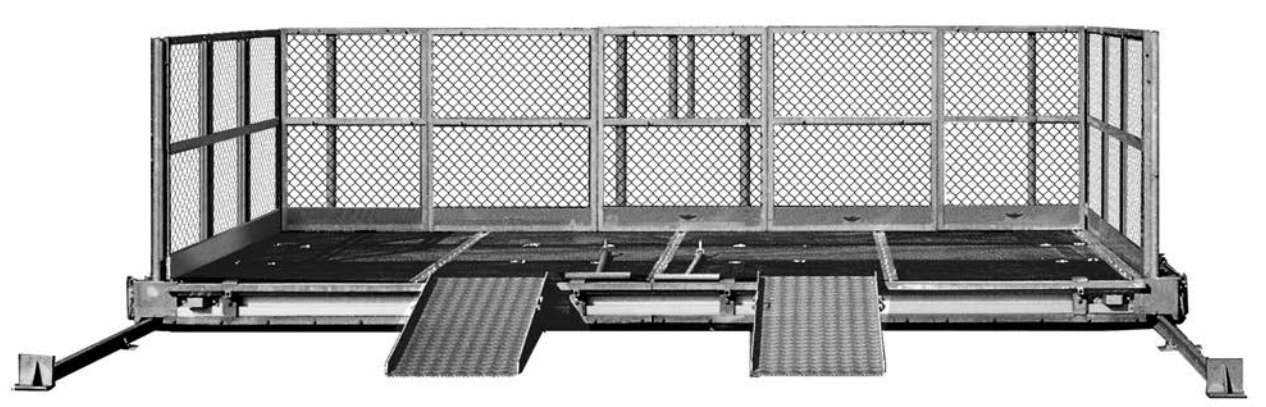


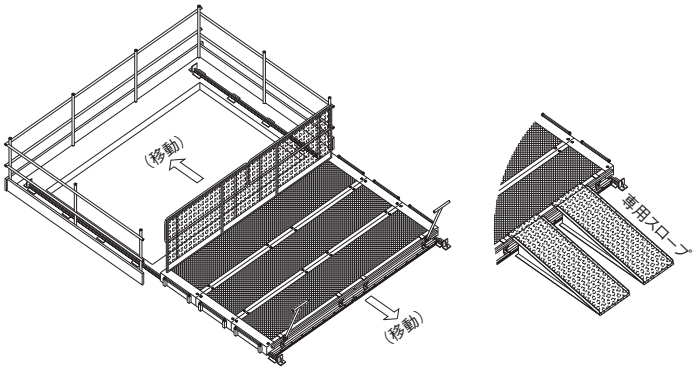
※吊チェーンは全数7.85kNの引張強度試験を行います。

ピット用移動ステージ（アルミ）(PAT.P)

詳しくはこちらを
ご覧下さい

スラブ開口部での荷受けステージ、開口部からの転落、落下防止の蓋、及び屋上開口部での屋根として使用できます。ユニットパネル化した台車ですので、現場加工の必要がなく、設置、撤去が簡単にできます。また、ユニットを連結（4ヶ所ピンを落し込む）することにより、奥行寸法を自在に変えられます。緊急時には「足踏み緊急ブレーキ」で作動、解除もレバーを上げるだけで操作は簡単です。



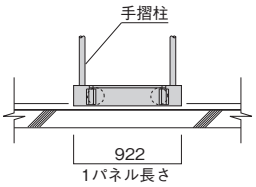


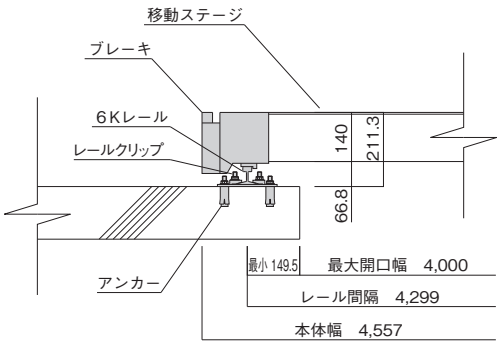
■規格・寸法・重量

品　名	品　番	寸　法	重量(kg)	1セット当り3枚の場合	備　考
移動ステージ	ND-9240	幅922×長さ4,557×高さ174	234.0	3 枚	積載荷重 :3.92kN/m^2, パネル 1 枚当り 15.7kN
引込ハンドル	ND-H		3.5	2 本	
レール（5.5m）	ND-6K-5.5	L ＝ 5,500	33.0	2 本	
レール（1.35m）	ND-6K-1.35	L ＝ 1,350	8.1	2 本	
レールストッパ	ND-6K-ST		3.2	4 個	1 セット 4 個使用
レールクリップ	ND-6-KU		0.8	16 個	1m 間隔，アンカーは現場にて用意下さい
継ぎボルト	ND-6-MOR		0.02	8 本	1 ヶ所当り 4 本
継ぎ板	ND-6-PEC		0.33	4 枚	1 ヶ所当り 2 枚
手摺枠（A）	ND-2070	L ＝ 2,070	14.0	2 枚	1 セット当り 2 枚
手摺枠（B）	ND-845	L ＝ 845	7.0	6 枚	ステージ 1 枚当り 2 枚
養生枠（A）	ND-753C	コーナー用	17.0	2 枚	
養生枠（B）	ND-872	妻側用	9.4	3 枚	
養生枠（C）	ND-925	サイド用	9.8	4 枚	
J ボルト	ND-01			44 本	
フロントスカート	ND-FSR	右用	9.8	1 台	1 セット当り 1 台
〃	ND-FSL	左用	9.8	1 台	1 セット当り 1 台
スロープ	ND-5015S	幅 500 ×長さ 1,500	18.0	2 台	1 セット当り 2 台

※ 1 セット 3 枚の場合の重量は、約 1.05t です。

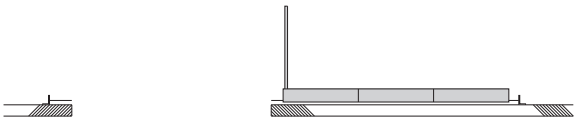
積載荷重：下図のパネル1枚当り 15.7kN（等分布）



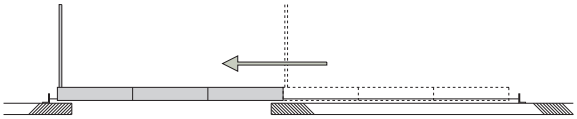


使用方法

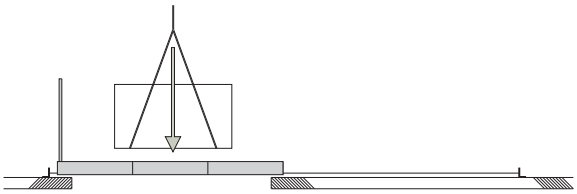
①通常位置



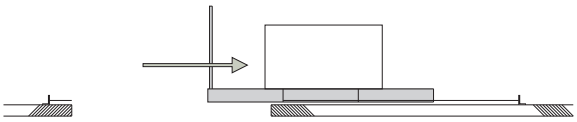
②開口部へ移動し、ブレーキをかける



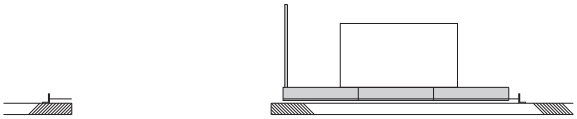
③荷物を吊り下ろす



④ブレーキを解除し、ステージを引き込む



⑤ブレーキをかけ、荷物を下ろす



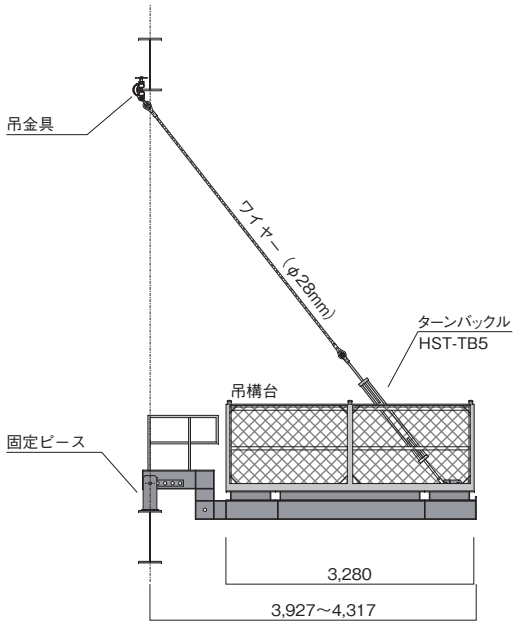
【注　意】
- ●停止時には必ずブレーキをかけて下さい
- ●移動時の押し、引きは、レールの外側で行って下さい
- ●レールは水平に設置して下さい
- ●レールは規定の間隔（4,299mm）を保持する様に、固定して下さい
- ●レールの間には物を置かないで下さい
- ●惰性をつけて移動する等の、危険な取り扱いは避けて下さい

吊構台

詳しくはこちらを
ご覧下さい

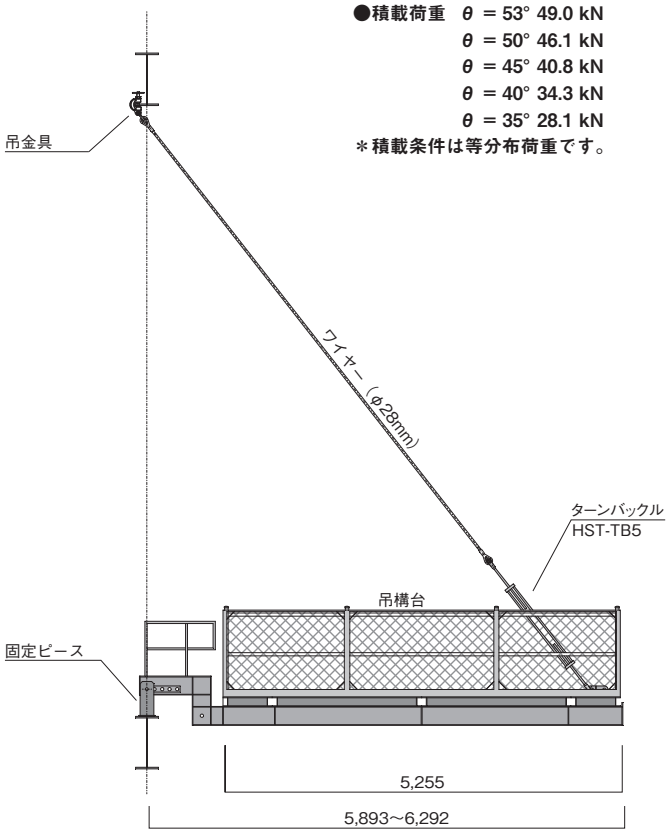
吊構台(小型)

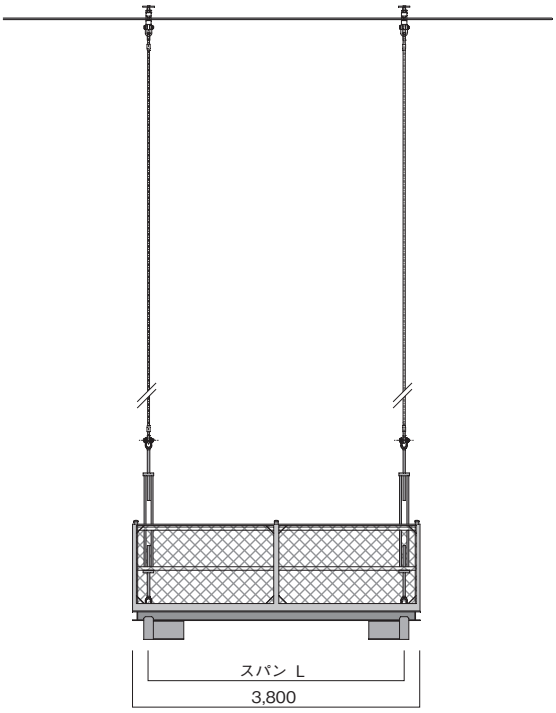
●自　　重　2,030kg
●積載荷重　θ ＝ 53° 49.0 kN
θ ＝ 50° 47.1 kN
θ ＝ 45° 42.0 kN
θ ＝ 40° 36.3 kN
θ ＝ 35° 30.5 kN
＊積載条件は等分布荷重です。



吊構台(大型)

●自　　重　2,750kg
●積載荷重　θ ＝ 53° 49.0 kN
θ ＝ 50° 46.1 kN
θ ＝ 45° 40.8 kN
θ ＝ 40° 34.3 kN
θ ＝ 35° 28.1 kN
＊積載条件は等分布荷重です。





●スパン L＝3,380
3,080
2,780
2,480
2,180

注意事項

1）積載荷重を厳守して下さい。
2）鉄骨本体への影響は事前にチェックして下さい。
3）各部のゆるみ、ワイヤー等、定期的に点検して下さい。
4）ワイヤーは『φ28mmロック止めシンブル付』を使用して下さい。
5）当社の認めない部材の使用はしないで下さい。
6）部材の改造、加工はしないで下さい。

■吊構台構成部材

部　材　名　称	品　番	大型	小型
吊構台用ビーム（右）	HST-5R	1	−
	HST-3R	−	1
吊構台用ビーム（左）	HST-5L	1	−
	HST-3L	−	1
吊構台用ステージ	HST-1938	2	1
吊構台用フロントステージ	HST-0638F	1	1
吊構台用リアステージ	HST-0638R	1	1
吊構台用ターンバックル	HST-TB5	2	2
吊構台用吊金具	HST-SB3N	2	2
	HST-SDC3S		
吊構台用シャックル	HST-SB24	2	2
吊構台用渡し板（スロープ）	HST-295S	2	2
	HST-505S	2	2
	HST-505SCR	1	1
	HST-505SCL	1	1
吊構台用手摺柱	HST-40P	7	5
	HST-40PC	4	4
吊構台用手摺	HST-05H	4	4
	HST-16H	8	8
	HST-18H	8	4
吊構台用養生枠	HST-05N	2	2
	HST-15N	−	2
	HST-16N	4	2
	HST-18N	4	2
吊構台用手摺枠	HST-09H	2	2
吊構台用塞ぎ板	HST-35C	4	4
	HST-35CH	2	2

● ワイヤー張力が 3ton を超える場合

吊構台用吊金具	HST-SDC6S	2	2
吊構台用シャックル	HST-SB32	2	2

■消耗品

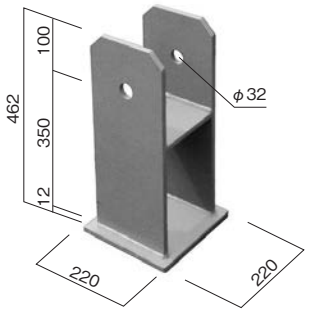
部　材　名　称		品　番	大型	小型
固定ピース			2	2
ワイヤー（φ28 mm）			2	2
ボルト	M30×215	HST-B1	2	2
	W5/8×165	HST-B2	12	8
	W5/8×50	HST-B3	16	16
	W1/2×45	HST-B4	8	8
	M10×75	HST-B5	30	26
	M10×40	HST-B6	48	48

＊固定ピースの数量は転用回数によってかわります。

吊金具

品　番	HST-SB3N	HST-SDC3S	HST-SDC6S
使用荷重(ton)	3.0	3.2	6.3
クランプ厚(mm)	35	40	50
重量（kg）	9.0	7.0	16.0
形　状			
シャックル	HST-SB24		HST-SB32

固定ピース

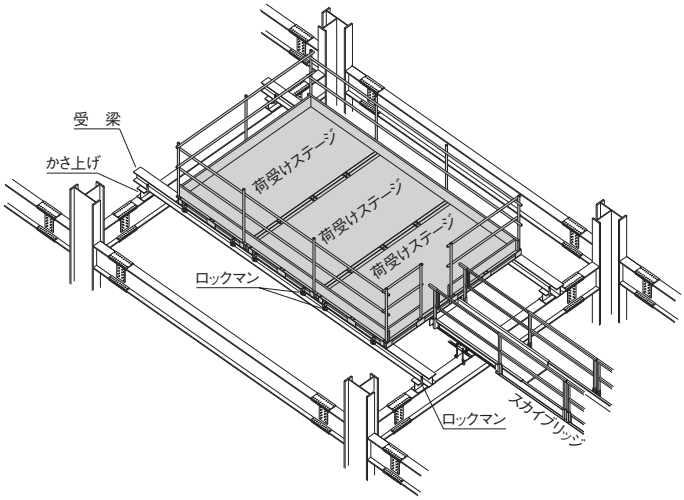


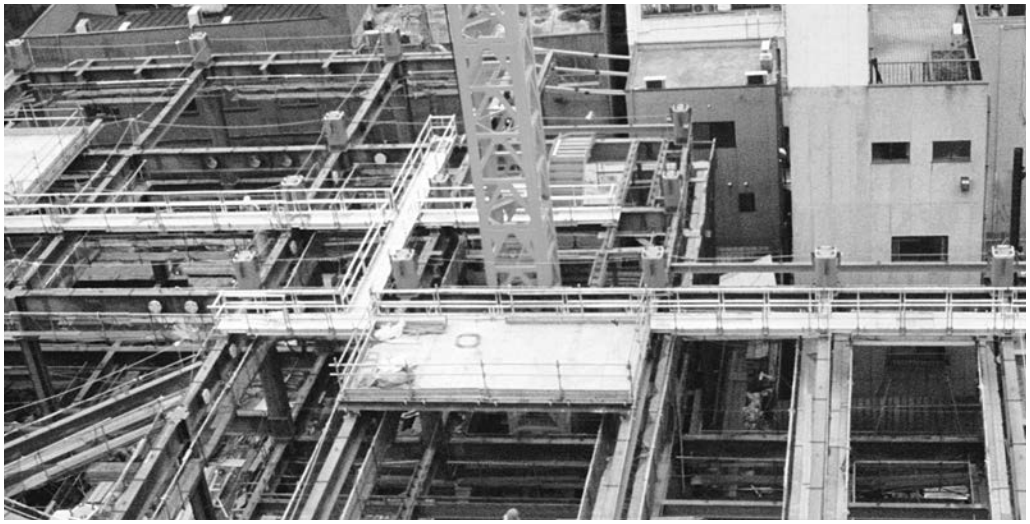
＊スラブ厚 150mm 用

荷受けステージ

詳しくはこちらを
ご覧下さい

鉄骨上に材料置場を設けるためのステージ材です。ユニット化され、「荷受けステージ」を配置するだけで、鉄骨上のステージを確実、迅速、安全に作れます。必要なだけ「荷受けステージ」を並べ面積を確保できます。転用も容易におこなえ、時間がかからず経済的です。骨組みはH鋼を使用しており強度面も安心です。当社のアルミスカイブリッジ（安全通路）、パイハンガー（吊枠）と併用していただきますと現場の安全作業に貢献いたします。



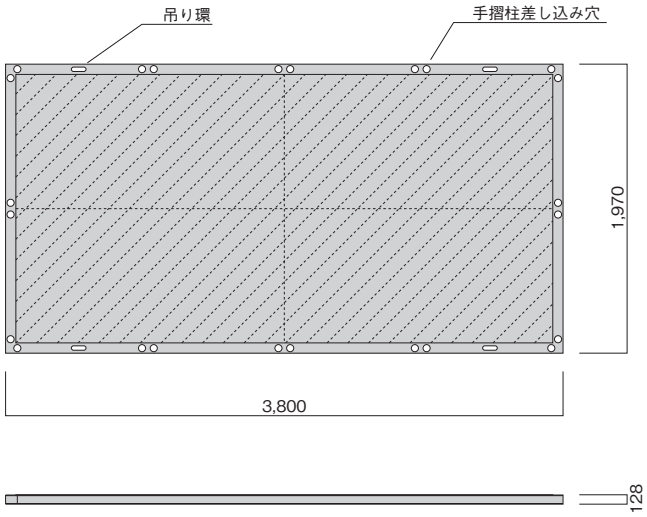


荷受ステージ LST-1938

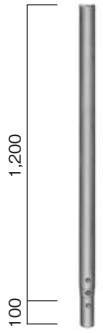
サイズ：1,970×3,800×128（mm）
自　重：750kg／台
積載荷重：4.90kN／m^2（等分布荷重）
（1台当り：約39.2kN）

■専用手摺柱

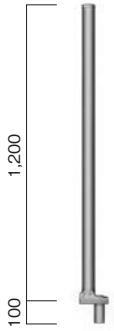
品　番	部　材　名　称	重量（kg）
LST-40P	手摺柱	4.2
LST-40L	コーナー用手摺柱	4.2
LST-40R	コーナー用手摺柱	4.2
AZ-3	巾木クランプ	0.8
H1	ロックマン	2.8



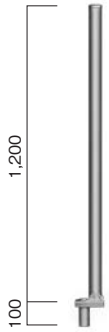
手摺柱 LST-40P…4.2kg



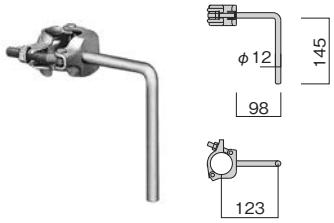
コーナー用(左) LST-40L…4.2kg



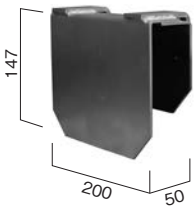
コーナー用(右) LST-40R…4.2kg



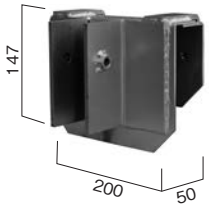
巾木クランプ AZ-3…0.8kg
(兼用)



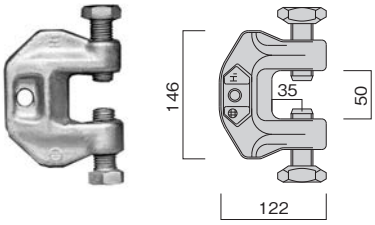
巾木ジョイント H-50J…1.82kg



巾木ジョイントコーナー用 H-50JC…2.50kg



ロックマン H1…2.8kg



*ロックマンを締め付けるには36mm径のスパナが必要です。
*転用、撤去の際にはロックマンの外し忘れに注意して下さい。
*ロックマンは形状の割に重量がありますので(2.8kg)落下に注意して下さい。

荷受けステージ接続金具 ASKB-ST1,ST2…1.8kg
ASKB-ST3,ST4…3.6kg

アルミスカイブリッジとの
接続に使用します

アルミスカイブリッジ

詳しくはこちらを
ご覧下さい

1）フレキシビリティー
長さ調節が可能な伸縮構造のため、任意の鉄骨梁の間隔（2,950～9,600mm）に合わせて設置することができます。調節は人の力で簡単に行なえ、架設時の微調整をクレーンで吊り上げたまま楽に行なえます。

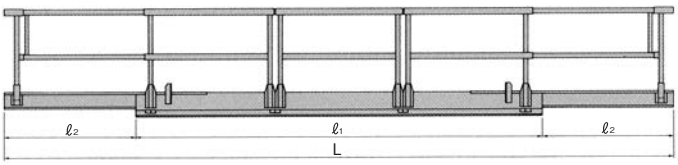
2）コンパクト
手摺を内側へと折畳んで収納できるコンパクトな設計です。運搬や収納が楽に行なえ、また一体型のため部品数が少なく、在庫管理も容易です。

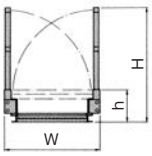
3）アルミ合金製
軽量で耐食性や強度にすぐれたアルミ合金製です。作業性にすぐれ、メンテナンスが簡単。許容積載荷重も2.94kN／スパン（安全率3以上）と、安心してご使用いただけます。

4）能率向上
架設・解体が容易であり、短時間で安全通路を設置できるため、高所作業の安全性を確保し、作業能率の向上を促進します。また、SRC造用固定金具を使用すると、スカイブリッジを架設したままで配筋、コンクリート打設が行なえます。

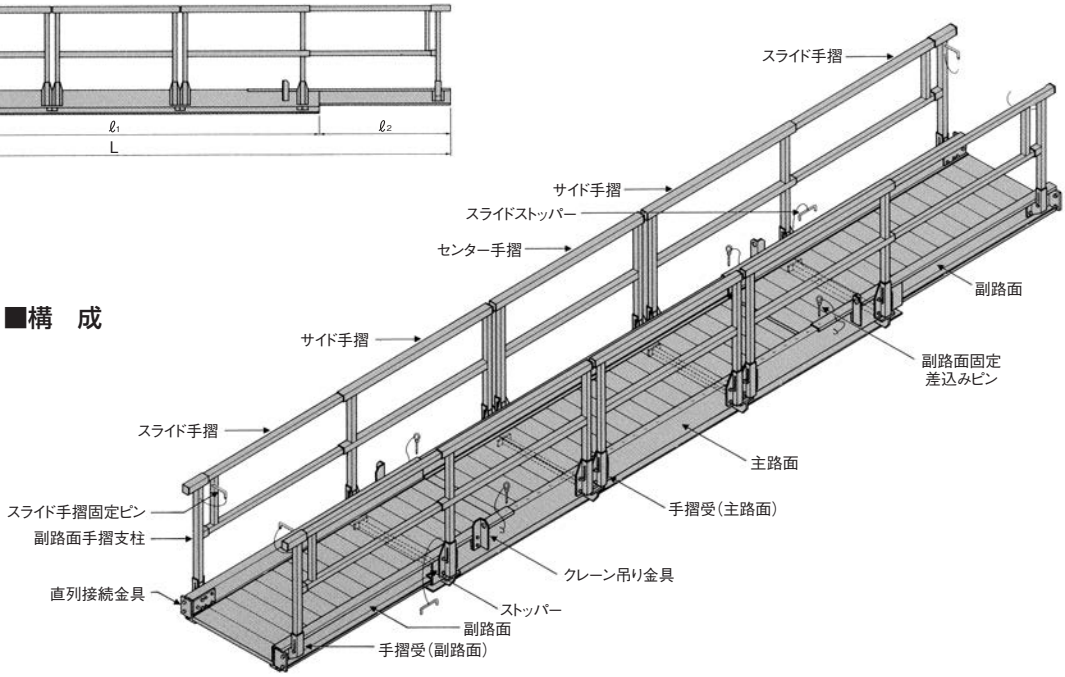
■型式と寸法

型　式		寸　法（mm）						重　量
		全長（L）	主路長（l_1）	副路長（l_2）	全幅（W）	全高（H）	収納時高さ（h）	（kg/台）
標準タイプ	ASKB44-07	2,950 ～ 4,350	2,600	875	912	995	310	148
	ASKB66-07	4,350 ～ 6,600	4,000	1,300	〃	〃	〃	165
	ASKB96-07	6,350 ～ 9,600	6,000	1,800	〃	〃	〃	220
幅広タイプ	ASKB66-11	4,350 ～ 6,600	4,000	1,300	1,312	〃	〃	258
	ASKB96-11	6,350 ～ 9,600	6,000	1,800	〃	〃	〃	336

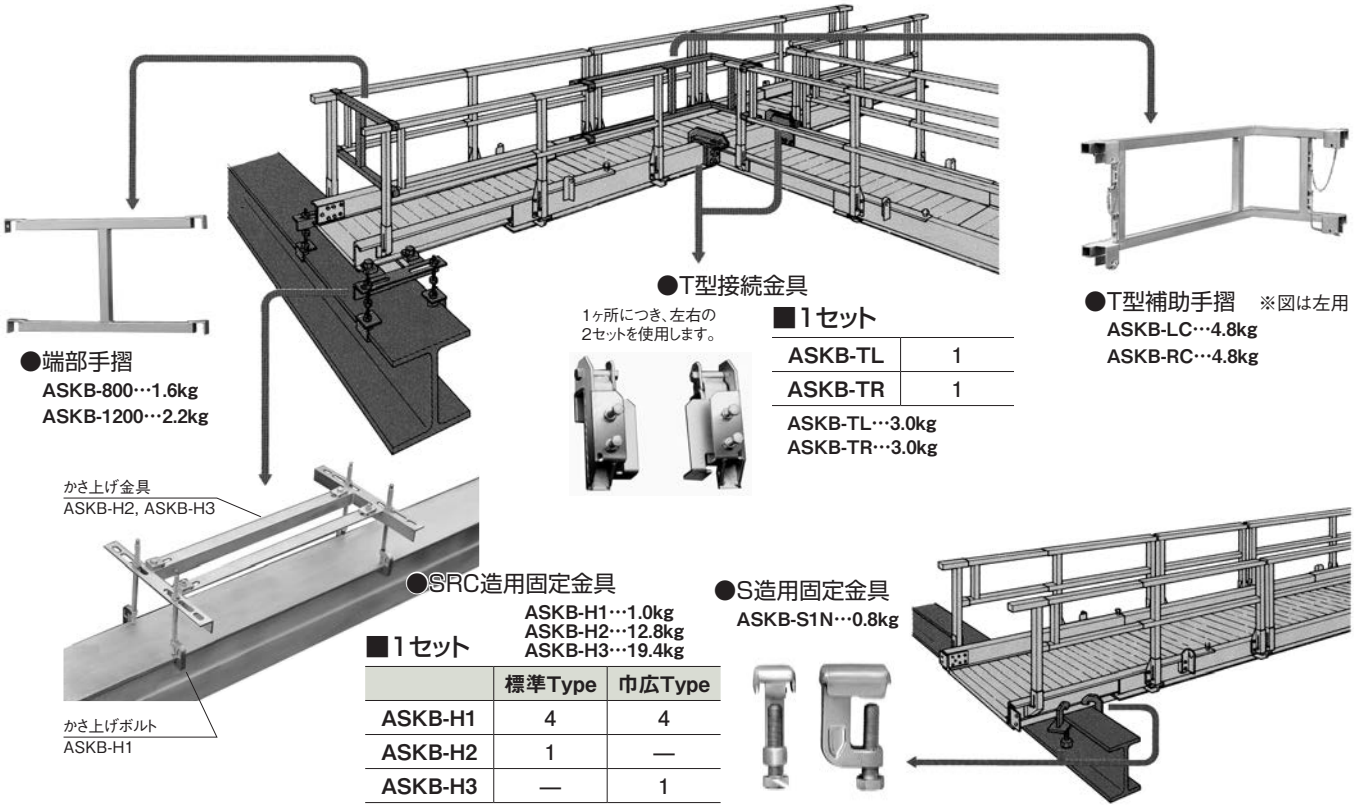




■構　成



●オプション部材

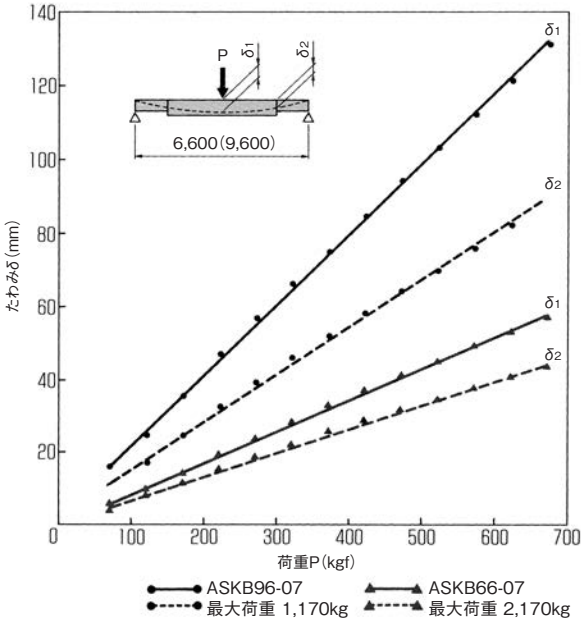


ASKB-TL	1	
ASKB-TR	1	

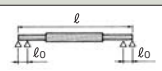
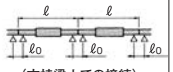
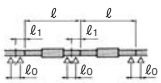
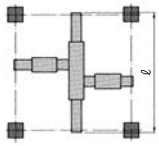
	標準Type	巾広Type
ASKB-H1	4	4
ASKB-H2	1	—
ASKB-H3	—	1

●単管用固定金具
ASKB-C1…0.5kg

■荷重によるたわみ量の変化



■架設条件と許容積載荷重

接続条件	架設条件				許容積載荷重	備考
	架設例	支持間隔(mm)				
		ASKB44-07	ASKB66-07	ASKB96-07		
単独使用		ℓ≦4,400 ℓ_1≦875 (ℓ_0=H鋼フランジ幅 ℓ_1=張出量)	ℓ≦6,600 ℓ_1≦1,300 (ℓ_0=H鋼フランジ幅 ℓ_1=張出量)	ℓ≦9,600 ℓ_1≦1,500 (ℓ_0=H鋼フランジ幅 ℓ_1=張出量)	300kg/スパン	端部は必ず4点固定して下さい
直列接続	 (支持梁上での接続)  (支持梁上以外での接続)					
直交接続	 (1ブロックでの架設例)	ℓ≦4,400	ℓ≦6,600	ℓ≦9,600	300kg/ブロック	

注)上表以外の架設状態では支持間隔の条件が変わるケースも有りますので、事前にご相談下さい。
巾広タイプ(ASKB66-11・ASKB96-11)は直交接続はできません。

(社) 仮設工業会における試験状況

親綱支柱

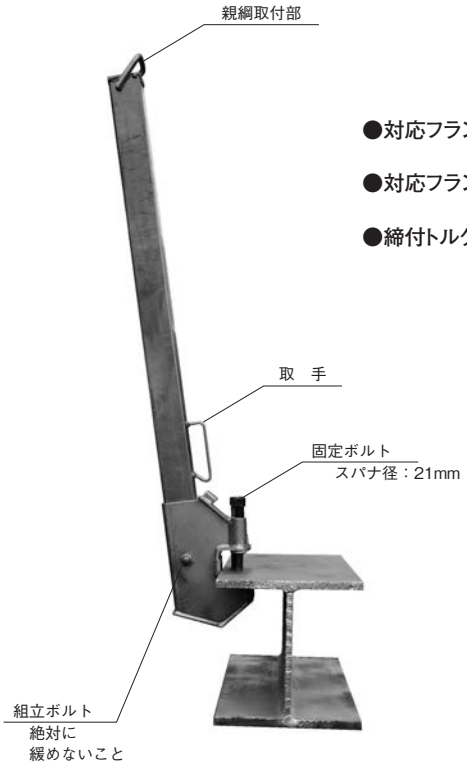
詳しくはこちらを
ご覧下さい

2019/12/12改正の最新規格での認定合格品です。
スチール製でも8.7kgと軽量です。
平行方向だけでなく直交方向でも使用できる兼用型です。
平行方向であれば、親綱の連続設置が可能です。
（単品承認取得）

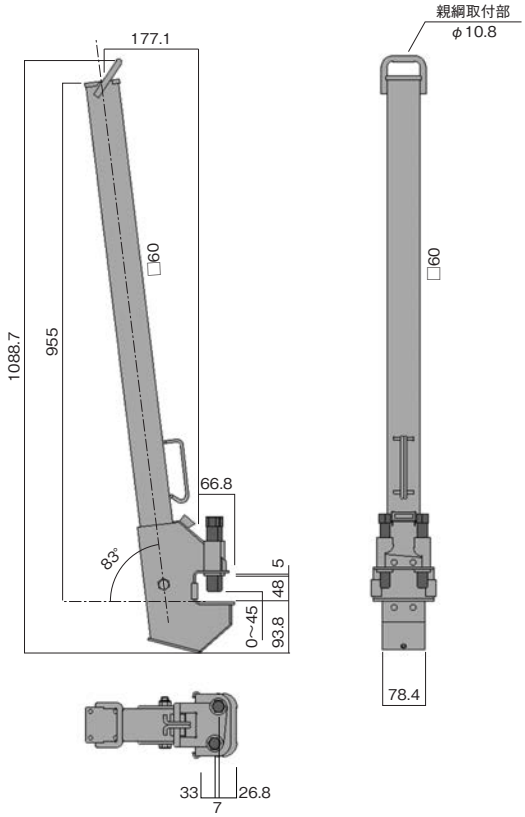
注意事項

吊具、荷揚げの支点としての使用は禁止。
手がかり、足がかりとしての使用は禁止。
親綱取付部以外の場所に親綱を取付けると危険です。
改造禁止。異常な衝撃を受けた物は使用禁止。
1スパンに立ち入りできるのは一人だけです。
固定ボルトは6～9kN で締め付けて下さい。

親綱支柱 SK-920F…8.7kg　仮設工業会認定品
単品承認取得

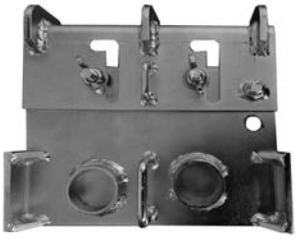


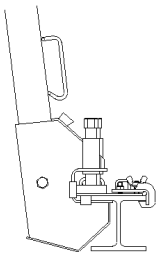
●対応フランジ厚：
10 ～ 40mm
●対応フランジ幅：
150mm 以上
●締付トルク：
6 ～ 9kN



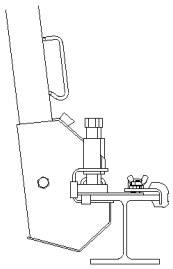
小幅H鋼用アタッチメント SK-10A…1.66kg

親綱支柱SK-920F はフランジ幅150mmからの使用です。
このアタッチメントによりフランジ幅100mm、125mmで
親綱支柱を使用できます。





100mm 幅



125mm 幅

親　綱

型式	長さ	重量(kg)	色
R16-6M	6 m	1.5	緑
R16-8M	8 m	1.8	赤
R16-10M	10 m	2.1	灰
R16-12M	12 m	2.4	青
R16-15M	15 m	2.8	黒
R16-20M	20 m	3.6	橙
R16-25M	25 m	4.3	茶

親綱緊張器

JK-M…1.1kg

JK-F…1.1kg

安全ブロック

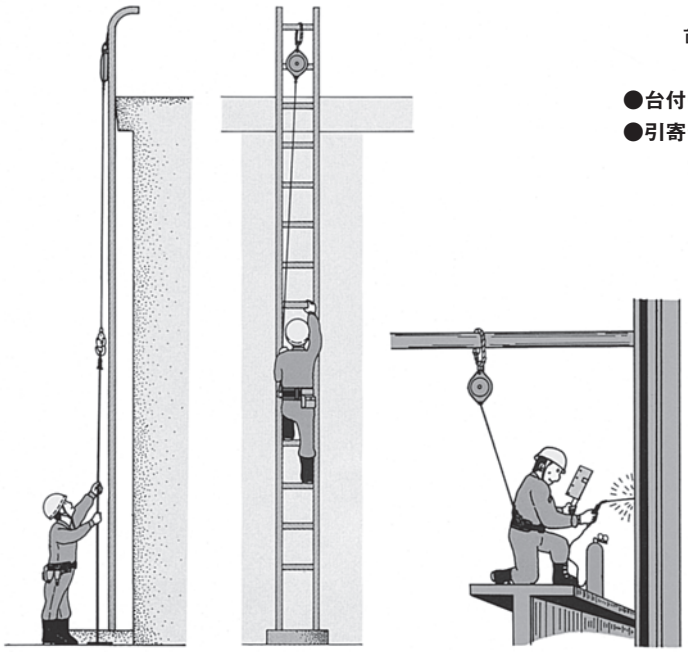
マンホール内・建設工事現場・送電線鉄塔・造船所・製鉄所など、
移動範囲の広い作業現場で使用する墜落防止装置です。

型　式			ベルト巻取式		ワイヤーロープ巻取式		
			BB-60	BB-150	JRG-12	JRG-15	JRG-25
ワイヤー（ベルト）長さ		m	5.8	15	12	15	25
ワイヤー（ベルト）径（巾）		mm	18	25	φ4		
最大使用荷重		kN	1.18				
落下衝撃荷重		kN	5.7	4.9	2.6		
重　量		kg	1.4	4.6	4.9	6.4	9.1
寸法	縦	mm	182	285	243	227	353
	横	mm	162	222	192	198	268
	厚さ	mm	67	85	95	120	114
							

台付けロープ

引寄せロープ

●台付けロープ＝ナイロンφ14mm×1m（FS-51LA フック付き）
●引寄せロープ＝ポリエチレンφ5mm×（ワイヤロープ長さ＋0.5m）



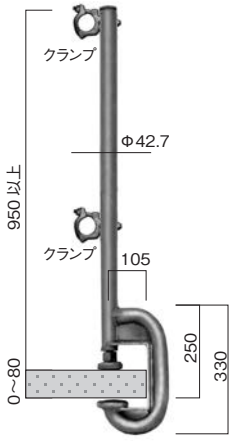
1）作業者が普通の速さで移動するとワイヤロープが自動的に繰出されたり巻込まれたりしますが、作業者がもし何かの事故で墜落してワイヤを急激に引張れば60cm以内（実験値平均25cm）で落下をとめます。
2）遠心力を利用したディスクブレーキ方式を採用し、落下停止距離も短いので、作業者に大きな衝撃荷重がかかりません。
3）移動中でも両手が使えて安全です。
4）小型・軽量ですので持ち運びに大変便利で、しかも高性能です。

スタンション／自在ステップ／キャッチベース

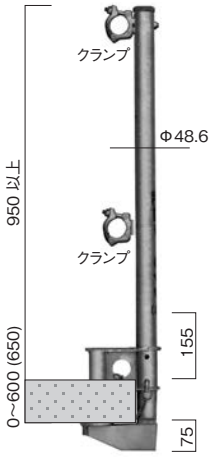
詳しくはこちらをご覧下さい

●スタンション

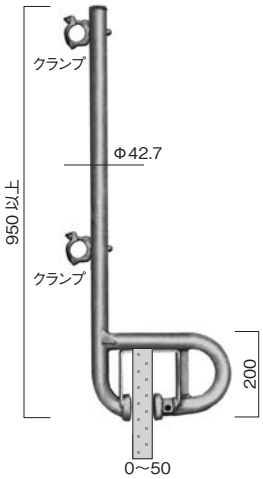
スタンション S-1J-C…7.1kg



スタンション NRE-C…8.9kg
NRE-A



スタンション H-50-C…7.1kg

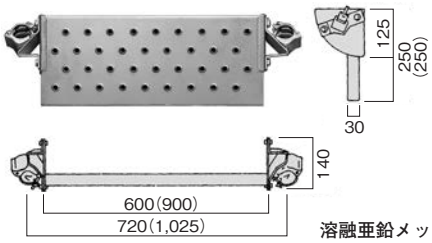


●自在ステップ

1）単管足場パイプに角度が45度、55度、65度の3段切替ができますので現場に合わせて使用できます。
2）面板はアンチスリップ板を使用してありますので滑りの心配は万全です。

3段（45度・55度・65度）

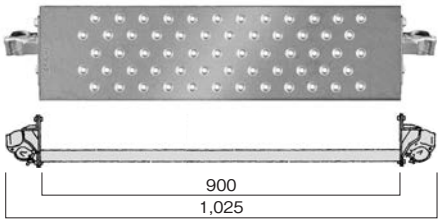
自在ステップ AT-600…6.5kg
（AT-900…9.5kg）

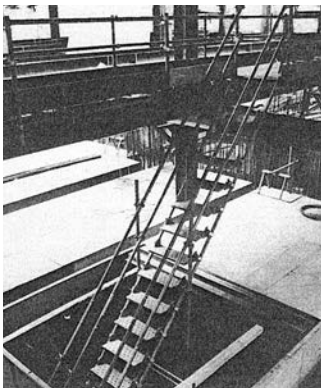


溶融亜鉛メッキ

4段（30度・39度・48度・57度）

自在ステップ AT-900N…11.0kg

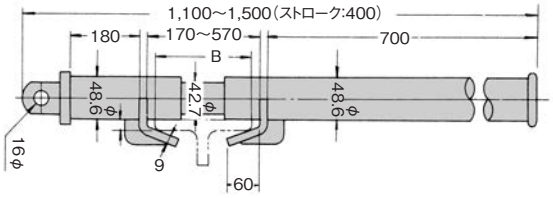


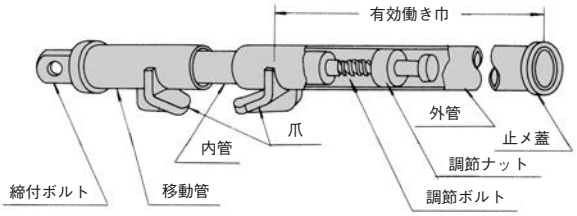


●キャッチベース

キャッチベースは、H型鋼用として開発されたもので、柱、梁いずれにも使用でき、安定性、強度にすぐれ、取付け取外しは極めて簡単です。

※締付状況は定期的に点検して緩みのないようにして下さい。





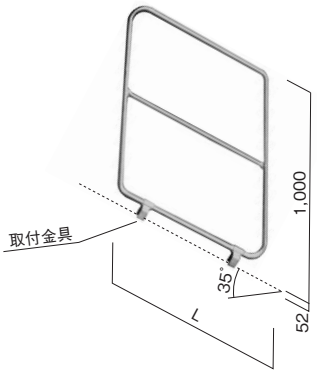
品　番	色	使用範囲		許容荷重（先端集中）	重　量
		フランジ巾Ⓑmm	フランジ厚ⓣmm		
CB-1	黄	150 ～ 400	20 以下	2.94kN	8.5kg
CB-2	緑	150 ～ 450	20 ～ 40	2.94kN	9.0kg

鉄骨階段手摺

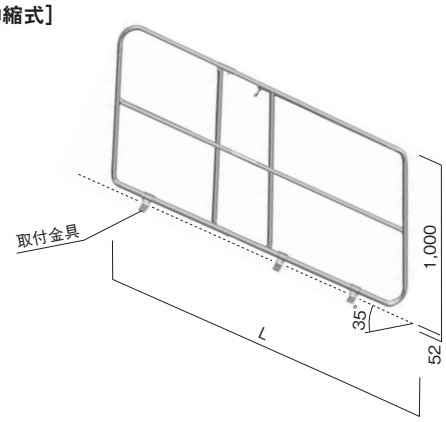
詳しくはこちらを
ご覧下さい

●階段部

［固定式］



［伸縮式］

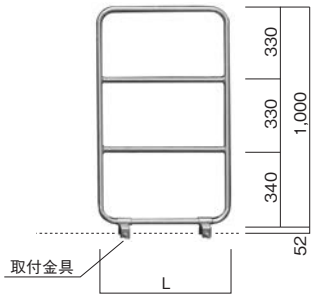


品　番	固定式		伸縮式
	TK-0.9S	TK-1.2S	TK-2028S
長さ(mm)	900	1,200	2,000 ～ 2,850
重量(kg)	6.0	7.0	19.6

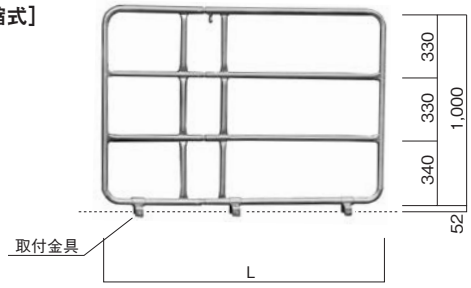
※取付金具の有効巾は 35mm

●踊場部

［固定式］



［伸縮式］



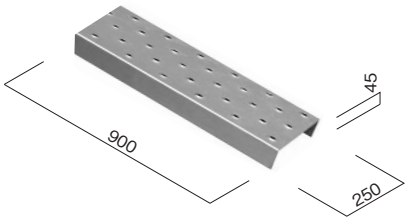
品　番	固定式			伸縮式
	TK-0.6L	TK-0.9L	TK-1.2L	TK-1420L
長さ(mm)	600	900	1,200	1,460 ～ 2,050
重量(kg)	6.5	7.8	9.0	18.8

※取付金具の有効巾は 35mm

●踏　板

踏　板 TK-900ST…3.5kg

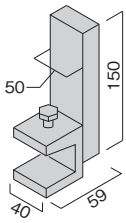
階段踏み台部分の凹みを埋め、昇り降りを安全に。



●C型取付金具

C型取付金具 TK-C1…1.2kg

C型鋼等のササラが水平の場合に使用します。



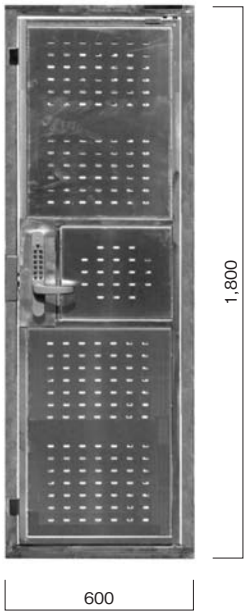
※金具の有効巾は35mm

セキュリティドア

侵入防止！
　現場内、足場内への関係者以外の立ち入りを防止します。
各種足場に使用可能です。
　くさび足場、次世代足場、枠組足場、単管足場に対応。
　フレームの長孔で4段階に上下調整可能です。
仮囲いのくぐり戸にも使用できます。
　通常は外開きですが、内開きの設定もできます。

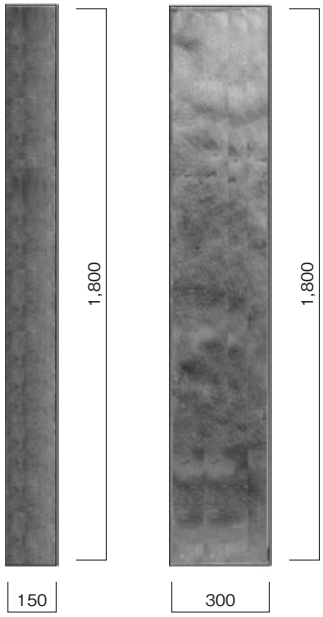
電源、カギ不要のオートロックです。
　4桁の暗証番号を任意で設定可能です。
　レバー式で開け閉め容易です。
　自動戻りの設定ができます。

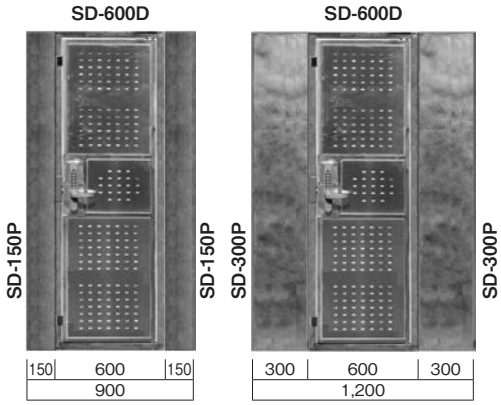
セキュリティドア　SD-600D…18.2kg



600、610 対応

サイドパネル　SD-150P…5.0kg　SD-300P…9.0kg





900、914 対応　　1,200、1,219 対応

＊サイドパネルは専用ボルト（M8）２本で取り付けます（片側あたり）
サイドパネルは取付けて納品いたします

セキュリティドア錠　SD-KL800…2.8kg

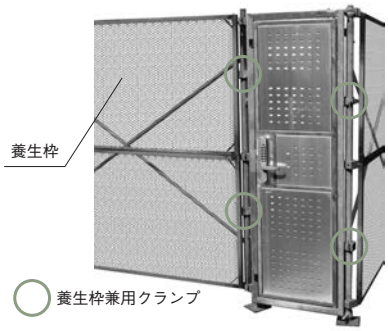
信頼性のある
キーレックス ＃ 800 使用

■解除方法

暗証番号「B0158」の場合
- レバーには触れず
- Ⓒ➡Ⓑ➡⓪➡①➡⑤➡⑧と押す
- レバーを回す

養生枠兼用クランプ　OS-48D…0.45kg

＊片側２個の養生枠兼用クランプで取り付けます



＊閉めると自動で施錠されますが、施錠されないような設定も可能です。お問合せ下さい。

設置幅	SD-600D	SD-KL800	SD-150P	SD-300P	OS-48D
600～610	1	1			4
900～914	1	1	2		4
1,200～1,219	1	1		2	4

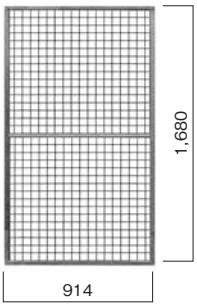
メッシュ扉 (PAT)

詳しくはこちらを
ご覧下さい

1）上下を反転すれば、反対開きにもできます。
2）ロック金物の位置は任意です。開け閉めしやすい高さに取付けて下さい。

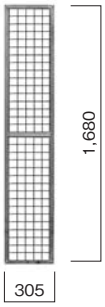
扉本体 DR-0916…13.6kg

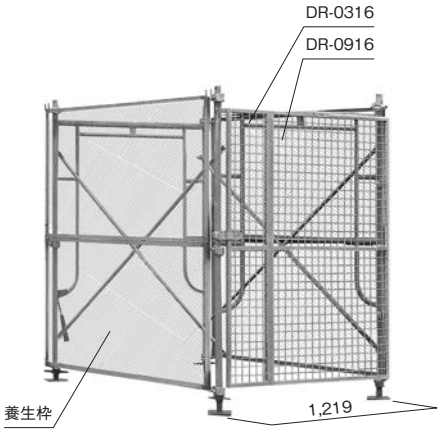
914 幅の建地間隔に設置できます



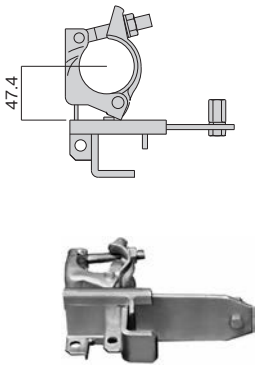
扉本体 DR-0316…7.2kg

DR-0916 と組合わせて 1,219 幅の
建地間隔に設置できます

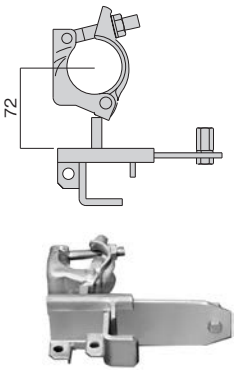




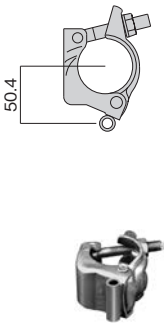
ロック DR-R4…1.2kg



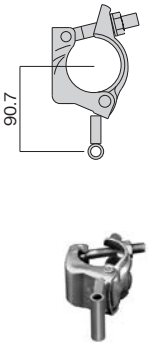
ロック DR-R6…1.3kg



ヒンジ DR-H4…0.5kg



ヒンジ DR-H6…0.6kg



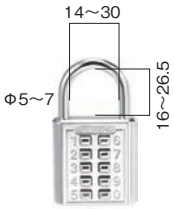
養生枠兼用クランプ

OS-48D…0.45kg

養生枠兼用コーナークランプ

OS-48CD…0.5kg

南京錠 ユーザー手配、又は販売品



ヒンジボルト DR-BT01

M8×120 Uナット付
2本／1セット

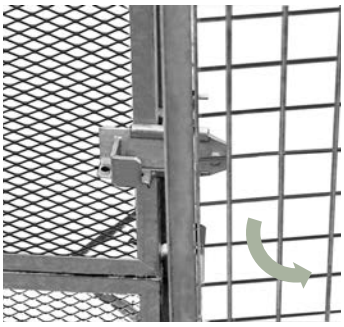
接続ボルト DR-BT02

DR-0916とDR-0316の接続に使用
M6×65 4本／1セット

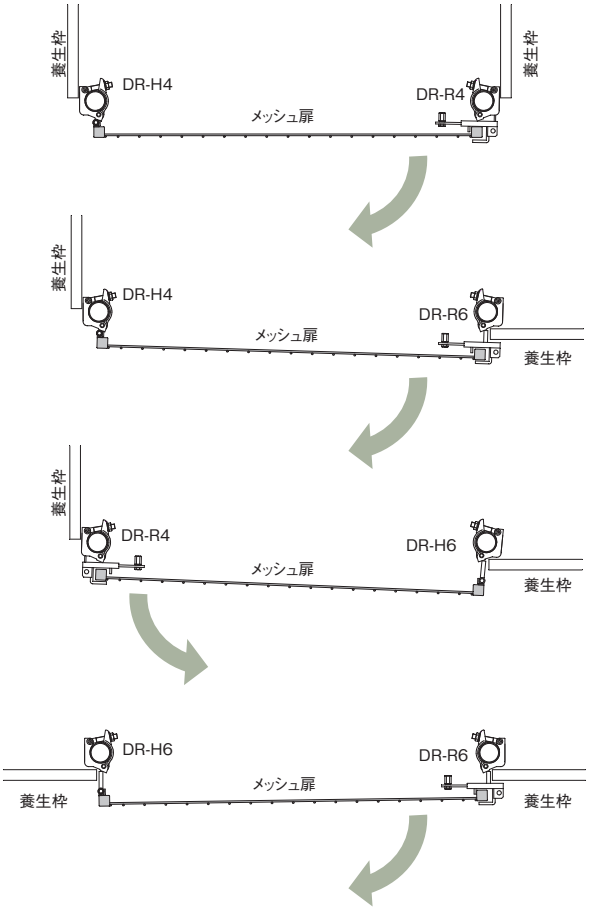
＊防音パネル用クランプは使用できません。

ロック金物　施錠時

ロック金物　解錠時



ロック金具、ヒンジ金具　使用方法

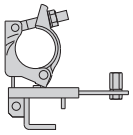


隙間をできる限り小さくするように金具を用意しております。

●コーナー部に使用する金具

ヒンジ金具DR-H4
2個/セット

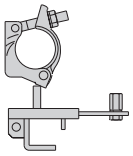
ロック金具DR-R4
1個/セット



●直線部に使用する金具

ヒンジ金具DR-H6
2個/セット

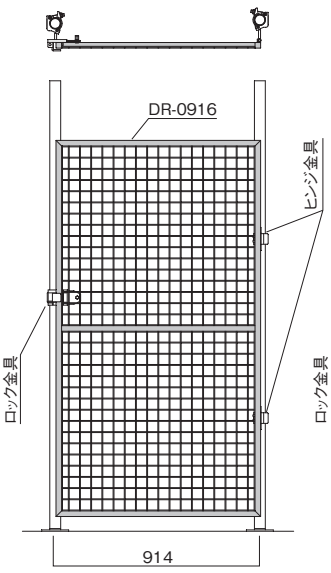
ロック金具DR-R6
1個/セット



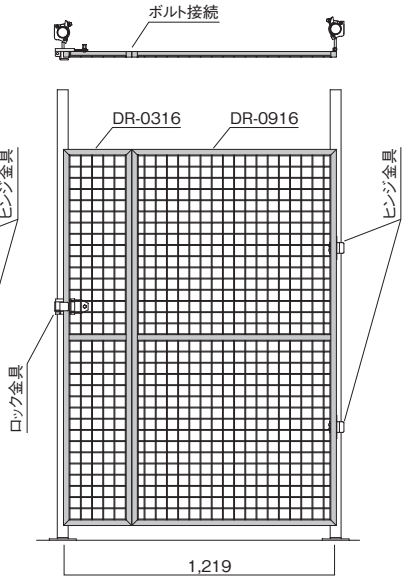
ヒンジ金具にはボルト M8 × 120（緩み止めナット付）が必要です。

組合せ

914幅

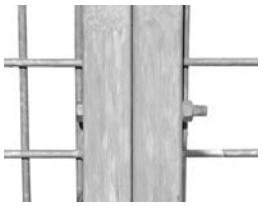


1,219幅

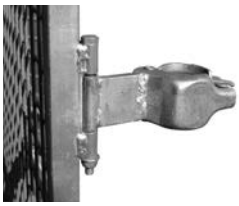


品　名	品　番	914幅	1219幅
メッシュ扉	DR-0916	1	1
	DR-0316	—	1
ロック金具	DR-R4	(1)	(1)
	DR-R6	1	1
ヒンジ金具	DR-H4	(2)	(2)
	DR-H6	2	2
ボルト	M8 × 120	2	2
	M6 × 65	—	4

1,219 幅で使用する場合
DR-0916 と DR-0316 をボルト M6 × 65 4本で接続します。



ボルト接続部



ヒンジ金具部

支保工

建方用PCサポート

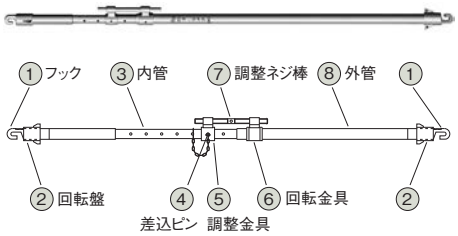
詳しくはこちらを
ご覧下さい

1）上下フック部の回転盤を締め込むことにより、安全確実に外れ止めができます。
2）調節ネジで微調整ができ、差込ピンには抜止め防止機能があり安全です。

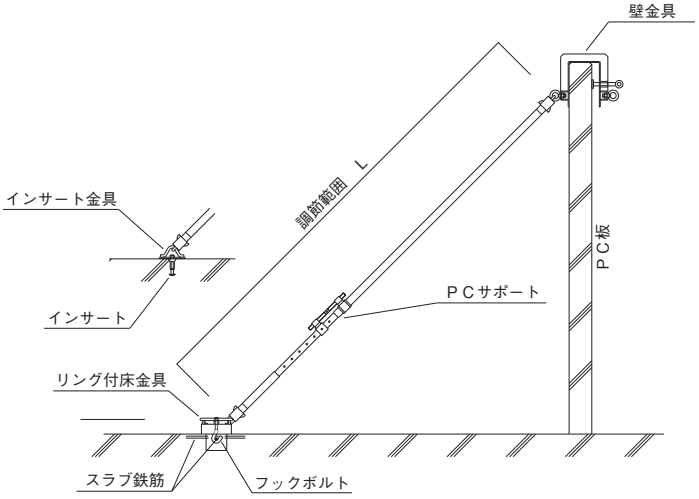
注意事項

建方用 PC サポートは、PC 板をクレーンにて吊り上げて建方をする場合に、PC 板の下部部分の金具を溶接で固定する間、補助的に受け止める役目と建方をした PC 板の角度（90°）を微調節するためのサポートであり、PC 板全体の転倒による総重量を受け止めるサポートではありません。PC 板の建方作業では、建方サポートとその取扱いについて、JASS10 と社団法人プレハブ建築協会（壁式プレキャスト鉄筋コンクリート工事施工技術指針）、中高層技術委員会作成マニュアルにより、建方作業時の安全確保及び各工程での作業手順と細い安全上の指針を確認し、施行上の安全を徹底実施して下さい。

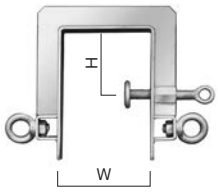
PC サポート



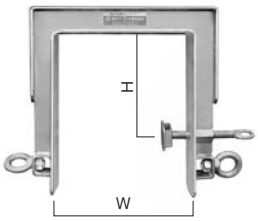
品　番	調節範囲 L（mm）	重量（kg）
A-3050	3,050～4,300	17.4
A-2720	2,550～3,800	16.0
A-2020	2,024～3,210	13.8
A-1670	1,650～2,500	11.0
A-1100	1,100～1,550	9.0



壁金具



PC-200, PC-220



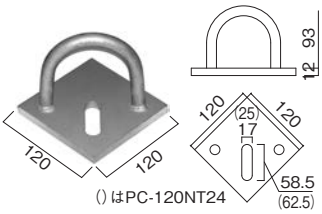
PC-300, PC-350

品　番	重　量	使用幅	H	W
PC-200	7.6kg	110～180	144	200
PC-220	8.5kg	130～200	144	220
PC-300	9.0kg	200～280	244	300
PC-350	9.5kg	250～330	294	350

※使用マニュアルをご参照下さい。

インサート金具 NT

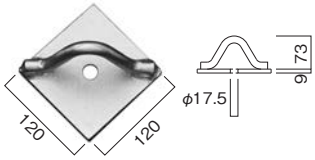
PC-120NT…1.65kg（M16 用）
PC-120NT24…1.65kg（M24 用）



※インサートボルトは現場にて手配をお願いします。

インサート金具

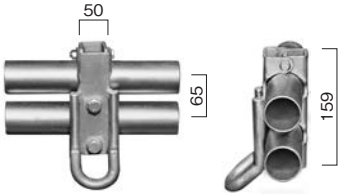
PC-120…1.5kg



※インサートボルトは現場にて手配をお願いします。

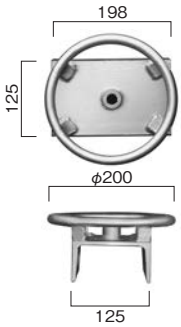
梁型枠金具

PC-158…1.4kg



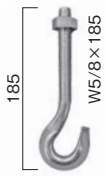
リング付床金具

PC-125…3.0kg



フックボルト

PC-FB…0.33kg



PC サポートパイプ金具

PC-48K…1.0kg

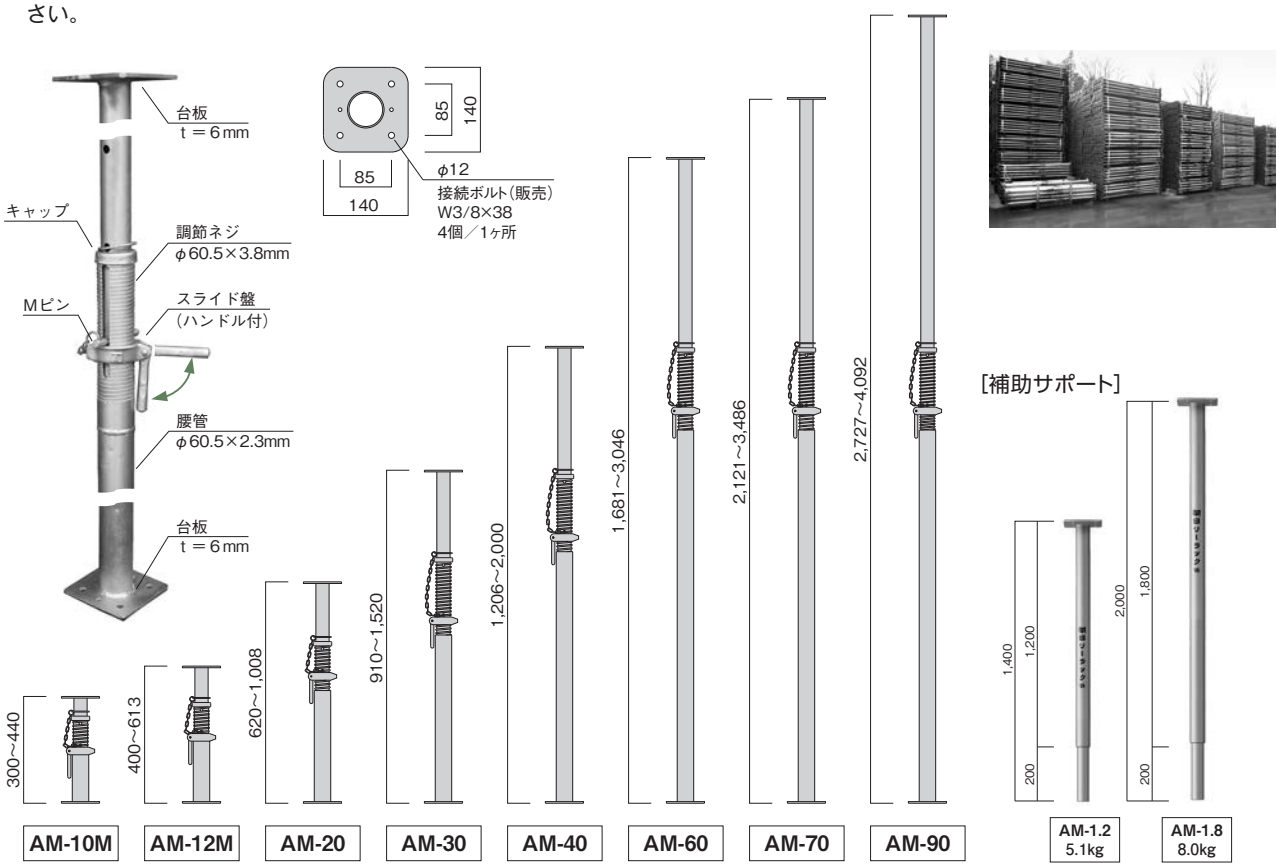
パイプサポート

詳しくはこちらを
ご覧下さい

1）仮設工業会の認定基準（構造規格）を上廻る安定した強度が得られます。
2）スライド盤はダクタイル（FCD-40）、支持ピンは特殊鋼（S-45-C）を使用していますので破損することはありません。

注意事項

1）パイプサポートを１本継いだとき、衝撃荷重、偏心荷重のかかる虞れのあるときは専用の金具で筋かいを設けて下さい。
2）受板には一様に荷重をかけ、偏心荷重がかからないようにして使用して下さい。
3）サポートのパイプ（特に差込管）に凹みを生じたものは使用しないで下さい。
4）修理を行うときはガス等で行いますと強度の低下をきたしますので、十分注意して下さい。
5）丸太等との併用は強度が一定しないので使用しないで下さい。



■パイプサポートの型式と調節範囲（使用長さ）及び重量

表面処理：溶融亜鉛メッキ

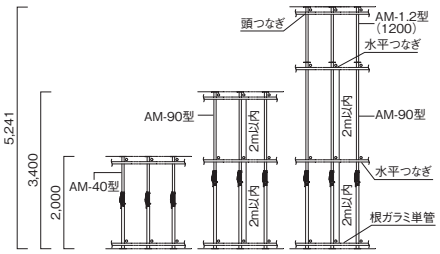
品　番	AM-10M	AM-12M	AM-20	AM-30	AM-40	AM-60	AM-70	AM-90	AM-1.2	AM-1.8
最少使用長（mm）	300	400	620	910	1,206	1,681	2,121	2,727		
最大使用長（mm）	440	613	1,008	1,520	2,000	3,046	3,486	4,092	1,200	1,800
重　量（kg）	4.0	6.5	7.0	8.6	9.6	12.6	14.2	15.7	5.1	8.0

●サポートクランプ

直交クランプ
KM-605D…0.86kg

自在クランプ
KF-605D…0.87kg

高さ 3.5m を超える場合には、高さ 2m 以内毎に水平つなぎを設ける。水平つなぎはクランプを使用し、X , Y 両方向に設ける。水平つなぎは端部を堅固な物に突き当てるか、大筋違を設ける。



強力サポート

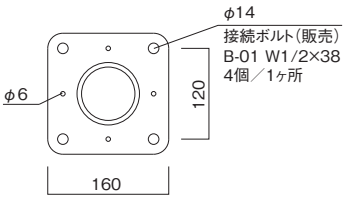
詳しくはこちらを
ご覧下さい

支柱には高張力鋼管を使用しております。従来のパイプサポートの７倍以上の強度があります。
よって、仮設材が林立することがなく、現場が煩雑にならず整理整頓されます。

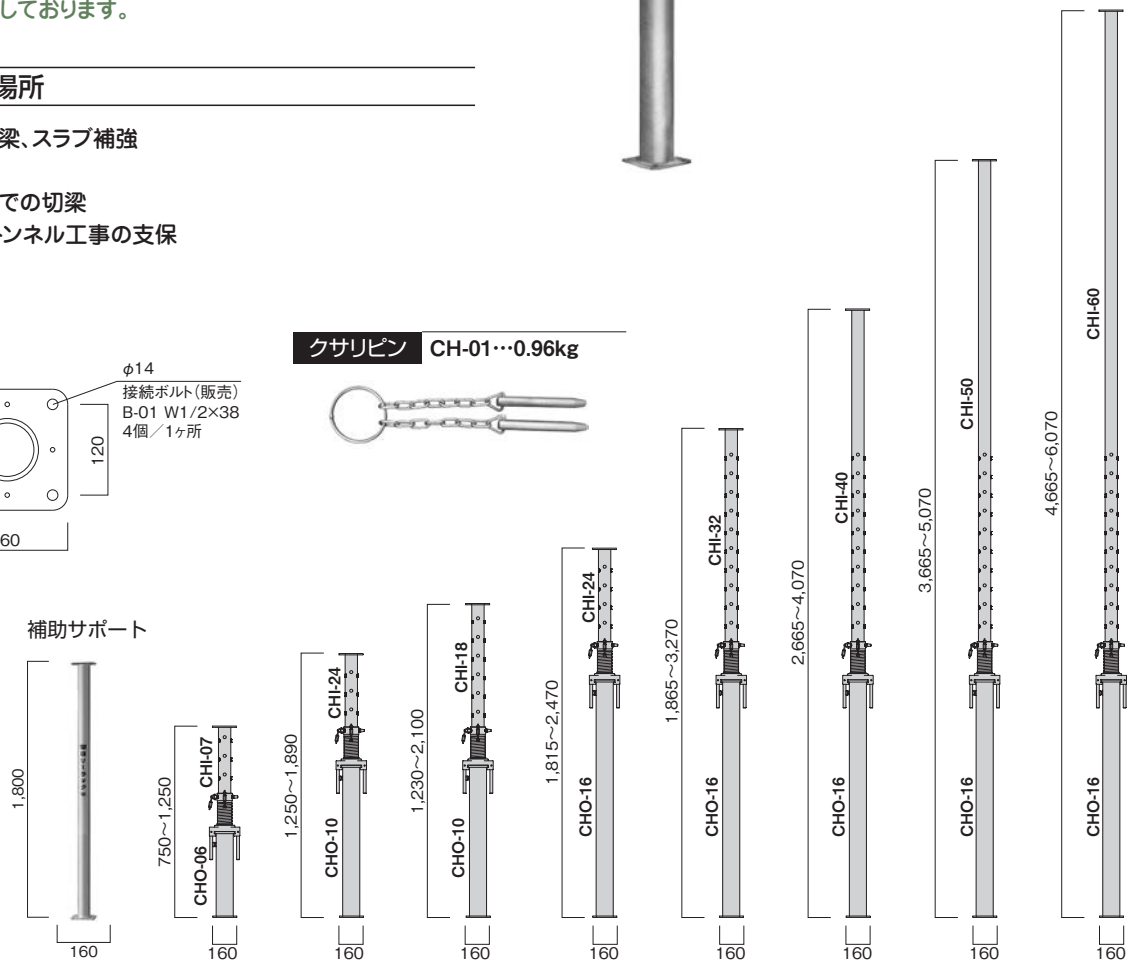
1）上柱は直交する2本のピンにより長さを調整しています。1本のピンと比べ安定性があり、荷重に方向性がありません。上柱の2のピン穴は位置をずらして強度を確保しております。柱の偏芯荷重を少くして、上柱の曲りを自動的に防ぎ得る有利な構造です。
2）ピンはS45Cを使用しておりますので高荷重での使用においても安心です。
調節用ネジ管も高張力鋼管を使用し、耐圧強度の高い角ネジを採用しております。

使用場所

- ●構造物の梁、スラブ補強
- ●解体工事
- ●開削工事での切梁
- ●地下鉄、トンネル工事の支保



クサリピン　CH-01…0.96kg



型　式	CHD-18型	CH-10型	CH-12型	CH-18型	CH-24型	CH-32型	CH-40型	CH-50型	CH-60型
重　　量（kg）	22.70	27.63	35.03	37.24	40.49	49.32	58.39	69.79	80.69
許容耐力（kN）		147	147	147	147	147	127	98	68

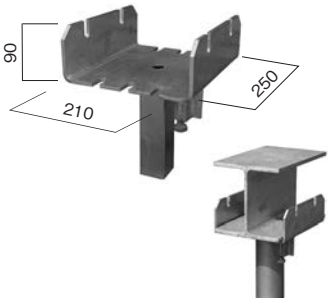
上柱クランプ

直交 CU-8248M…1.3kg
自在 CU-8248F…1.3kg

下柱クランプ

直交 CU-1148M…1.6kg
自在 CU-1148F…1.5kg

大引受け　CH-200H…5.31kg



軽量四角支柱　SSL-30…12.5kg

かさ上げ部材で使用できます
他の軽量四角支柱は不可

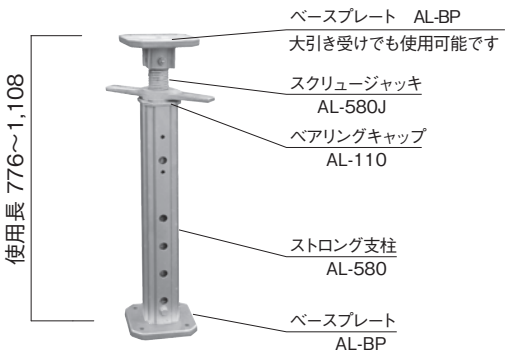
免震梁用サポート／ライトサポートシステム／アルマ　ストロングサポート

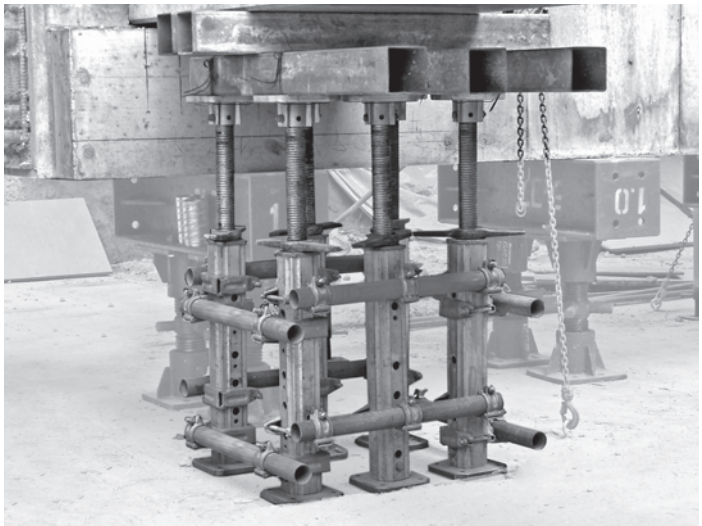
詳しくはこちらをご覧下さい

●免震梁用サポート

免震梁用サポート AL-776B…11.6kg（ベース付）
AL-776H…12.1kg（大引受け付）

許容荷重　63.7kN



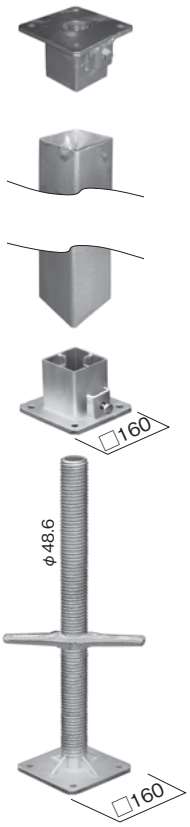


●ライトサポートシステム

〈ベースホルダー〉
SR-120

〈100角パイプ〉
STKR-400 100×100×3.2

〈ベースホルダー〉
SR-120



〈ライトジャッキ〉
SR-600
調節範囲
h=80～520mm

**アルマシステム
スクリュージャッキも
使用できます**

ベースホルダー SR-120…2.7kg

ライトジャッキ SR-600…6.5kg

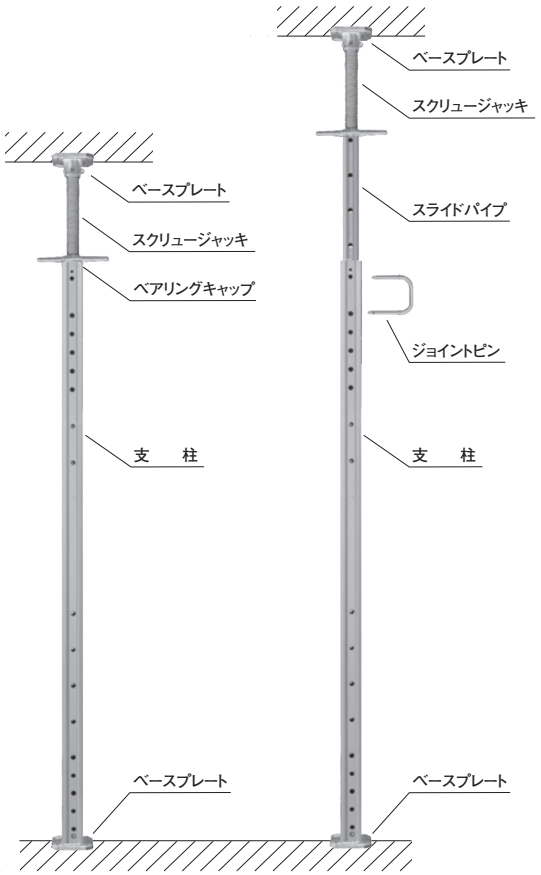
■使用荷重

100 角鋼管 3m 使用時：96.0kN

■調整高さ

100 角鋼管＋(98 ～ 538)

●アルマストロングサポート



A
許容荷重：54.0 kN

B
許容荷重：54.0 kN

■調整高さ

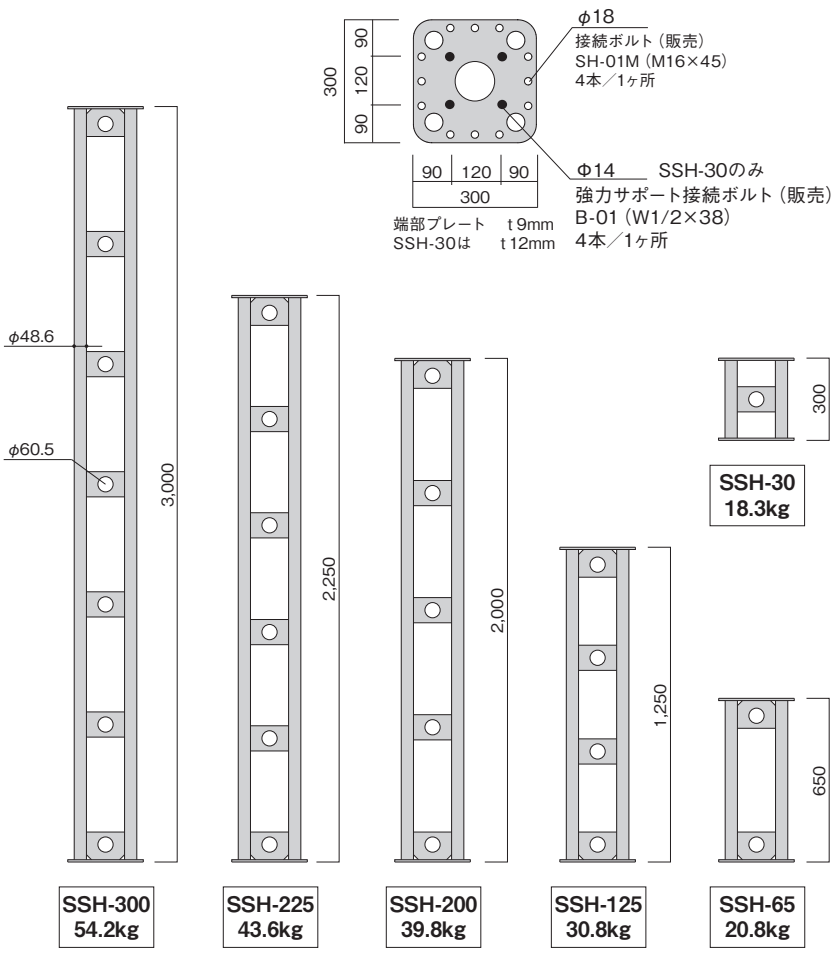
支　柱	A	B
AL-580	776～1,108	–
AL-900	1,096～1,446	–
AL-1200	1,396～1,746	–
AL-1500	1,696～2,046	1,971～2,771
AL-1800	1,996～2,346	2,271～3,071
AL-2100	2,296～2,646	2,571～3,371
AL-2400	2,596～2,946	2,871～3,671

四角支柱

詳しくはこちらを
ご覧下さい

四角支柱

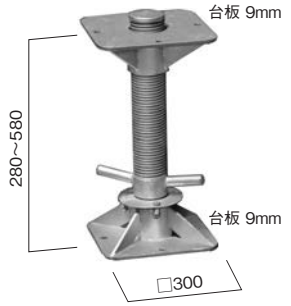
許容荷重　196.1kN



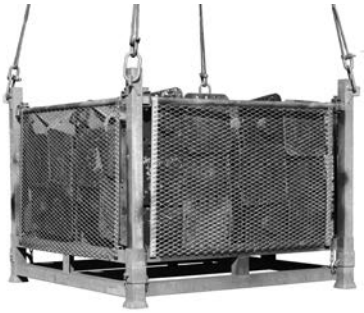
■断面性能表

断面積 A（cm^2）	断面二次半径 i（cm）	断面係数 Z（cm^3）	断面二次モーメント
13.932	10.13	141.21	1,430.5

ジャッキ　SSJ-58…32.7kg

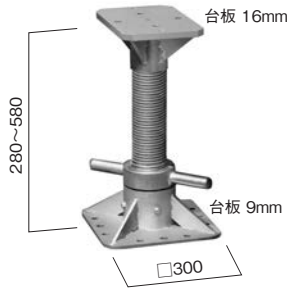


弊社ではジャッキの入・出庫には安全の為に専用パレットを使用します。
積載荷重　9.6kN

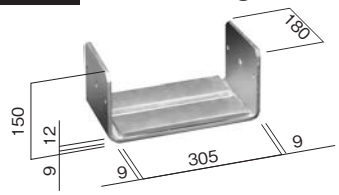


パレット本体	SSJ-P
パレット用柱	SSJ-P1
パレット用手摺	SSJ-P2
トグルピン	SSJ-P4

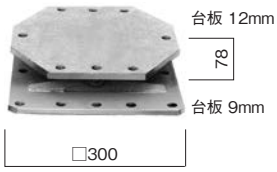
頭部専用ジャッキ　NSJ-30…34.0kg



梁受金具　SSU-31…11.2kg



自在ベース　SSF-75…15.0kg

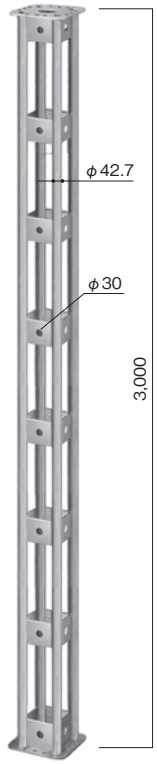


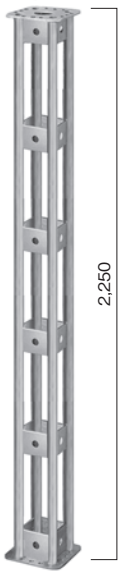
軽量四角支柱

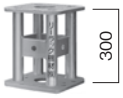
詳しくはこちらを
ご覧下さい

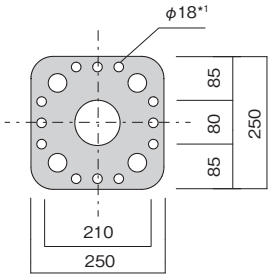
軽量四角支柱

許容荷重　196.1kN

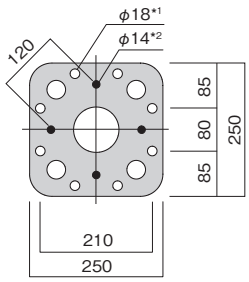








端部プレート　t 8mm



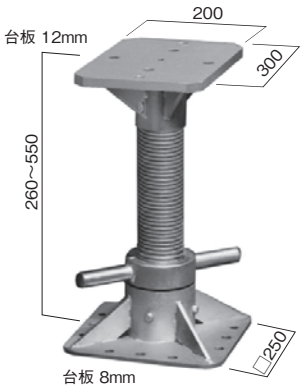
SSL-30　t 12mm

*1：軽量四角支柱関係との接続に使用します
　接続ボルト（販売）SH-01M M16×45
*2：強力サポートとの接続に使用します
　接続ボルト（販売）B-01 W1/2×38

SSL-300	SSL-225	SSL-200	SSL-125	SSL-65	SSL-30
41.8kg	33.5kg	31.1kg	22.1kg	14.1kg	12.5kg

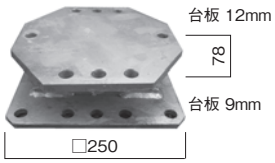
軽量四角支柱ジャッキ　SSJL-55…20.8kg

軽量頭部専用ジャッキ　NSJL-30…26.8kg

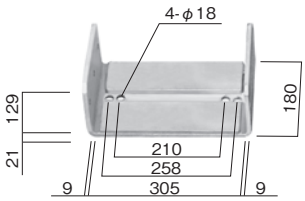


軽量四角支柱自在ベース

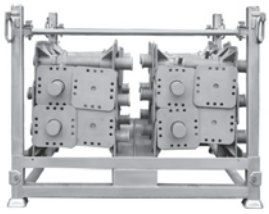
SSLF-75…11.7kg



梁受金具　SSLU-31…11.2kg



弊社ではジャッキの入出庫には安全の為に
専用パレットを使用します。
積載荷重　9.6kN



TSサポート

詳しくはこちらを
ご覧下さい

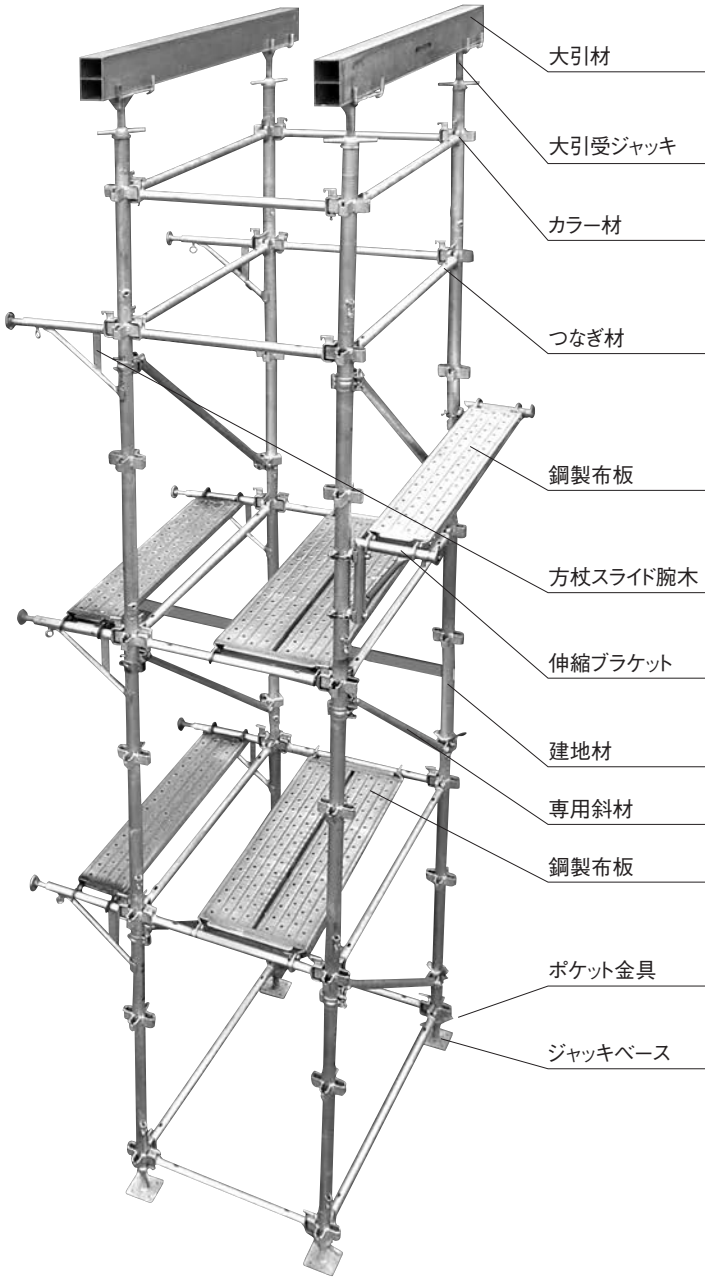
1）足場兼用の強力サポート（支保工）としての機能。
作業足場としての機能を果たしつつ、しかもそのまま強力支保工として使用できる強靭さと便利さを備えています。

2）組立・解体が極めて簡単。
TSサポートの主要部分となっている建地材とつなぎ材の着脱はクサビ金具の緊張・開放によって行います。極めて簡単で、しかも効率的です。

3）広い作業場と安全な通路の確保。
強力な建地材によって構成される支柱ステージは広々としていて、ゆとりのある作業空間が確保できます。

4）機能化された部材構成。
部材種類は、必要最低限に工夫されていて使いやすく、保管管理にも便利です。

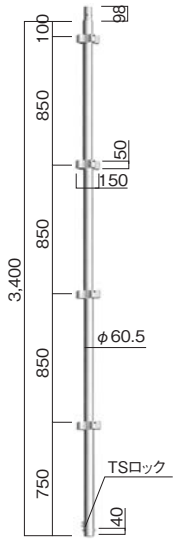
1柱当り最大許容荷重：63.7kN



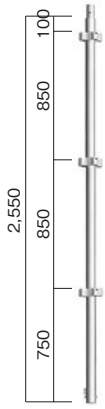
●建地材／調節材

使用鋼管：STK500-φ60.5×2.8

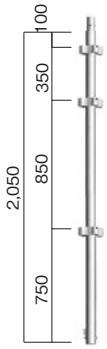
建地材 TS-P34 …21.1kg



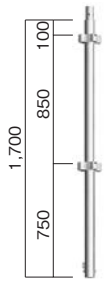
建地材 TS-P25 …16.1kg



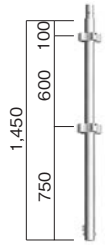
建地材 TS-P21 …14.1kg



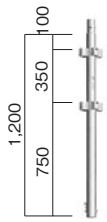
建地材 TS-P17 …11.6kg



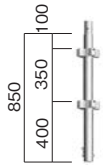
建地材 TS-P15 …10.5kg



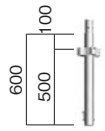
建地材 TS-P12 …9.4kg

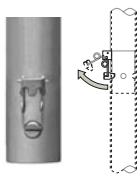


建地材 TS-P9 …7.3kg



建地材 TS-P6 …4.8kg



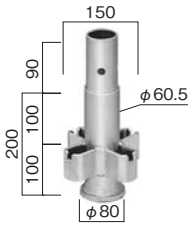


（TS ロック）

他に、手摺枠、階段枠、階段手摺枠、スライドつなぎ材があります。

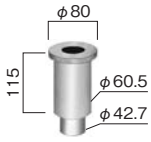
●ポケット金具

ポケット金具 TS-P2…3.4kg

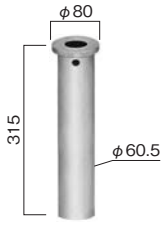


●カラー材

カラー材 TS-HCS2…1.2kg



ロングカラー材 TS-HCL…2.1kg



●ネガラミクランプ

溶融亜鉛メッキ

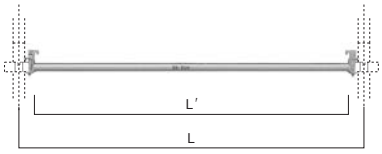
直交クランプ KM-605D …0.86kg

φ48.6・42.7

直交クランプ KF-605D …0.87kg

φ60.5　φ48.6・42.7

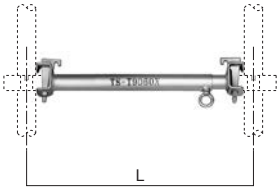
●つなぎ材



品番	L	L'	重量(kg)
TS-T18	1,800	1,638	5.9
TS-T15	1,500	1,338	5.2
TS-T12	1,200	1,038	4.4
TS-T9	900	738	3.6
TS-T6	600	438	2.8

使用鋼管：STK500- φ 42.7 × 2.5

●スライドつなぎ材



品番	L	重量(kg)
TS-T9060N	600～900	3.0
TS-T6040N	420～600	2.3
TS-T5035N	350～500	2.0

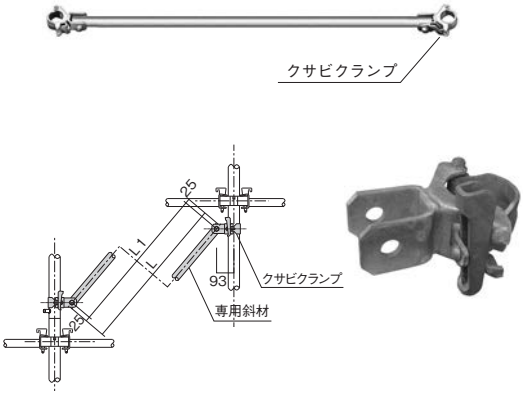
※注意）軸力の伝達材ではありませんので、
注意してご使用下さい。

●ポケット金具付クランプ

TS-TC 0.65kg

●斜　材

使用鋼管：STK500-φ42.7×2.5



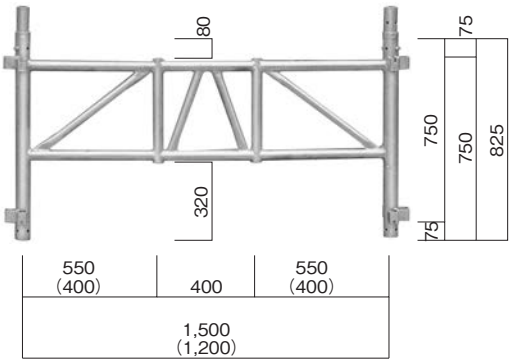
品番	L	L'	重量(kg)	色
TS-KB20	2,148	2,098	7.88	黄
TS-KB1948	1,998	1,948	7.51	青
TS-KB18	1,870	1,820	7.19	赤
TS-KB16	1,730	1,680	6.89	緑
TS-KB14	1,452	1,402	6.61	紫
TS-KB1489	1,539	1,489	6.16	橙
TS-KB1303	1,353	1,303	5.91	黒
TS-KB10	1,094	1,044	5.27	黄
TS-KB1102	1,152	1,102	5.41	青
TS-KB08	916	866	4.83	赤
TS-KB06	691	641	4.27	緑

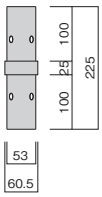
●梁下梁枠

梁下梁枠 TS-W15…25.1kg

梁下梁枠 TS-W12…23.3kg

連結ピン TS-WP

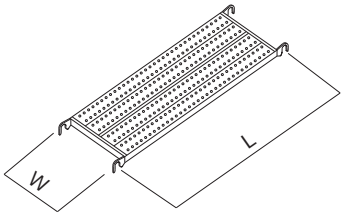




梁下梁枠の上に
建地をつなぐ時に
使用します。

（　）はTS-W12のサイズ

●鋼製布板

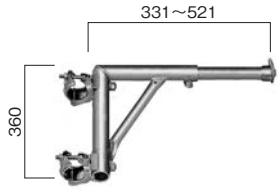


品 番	L	W	重 量
BKN-18	1,800	500	16.0
BKN-15	1,500	500	13.5
BKN-12	1,200	500	11.0
BKN-09	900	500	9.0
BKN-1824	1,800	240	8.5
BKN-1524	1,500	240	7.4
BKN-1224	1,200	240	6.0
BKN-0924	900	240	5.0

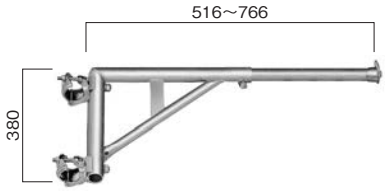
●伸縮ブラケット

φ 60.5 用クランプ付伸縮ブラケット
先端クランプ（AB-CD）取付可能

伸縮ブラケット TS-300C…3.9kg



伸縮ブラケット TS-500C…5.0kg
TS-500CK（建地プレートなし）

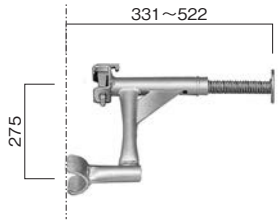


伸縮ブラケット TS-750C…6.2kg

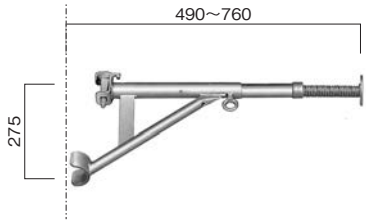
伸縮寸法は支柱外面より

●方杖付スライド腕木

方杖付スライド腕木 TS-500…3.94kg



方杖付スライド腕木 TS-750…4.61kg



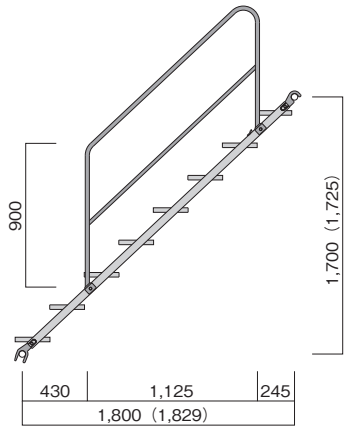
●アルミ角パイプ

18×10K-1.0～7.0

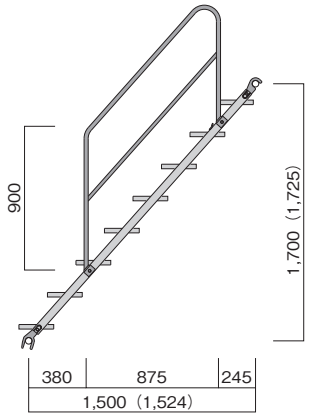
長さ(m)	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5
重量(kg)	6.59	9.89	13.18	16.48	19.77	23.07
長さ(m)	4.0	4.5	5.0	6.0	7.0	
重量(kg)	26.36	29.66	32.96	39.55	46.14	

●階段／階段手摺

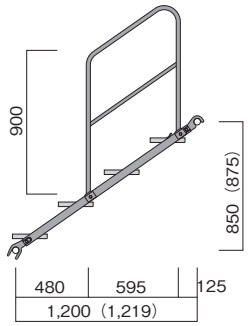
階　段 TS-1817K…14.2kg（アルミ）
手　摺 TS-1817T…6.7kg
手　摺 AT-2…5.7kg



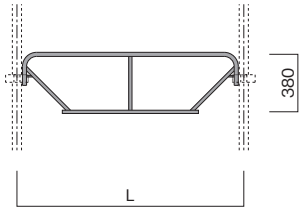
階　段 TS-1517K…22.9kg
階　段 K-1517SA…13.5kg（アルミ）
手　摺 TS-1517T…6.4kg



階　段 TS-1285K…13.9kg
階　段 TS-1285KA…8.3kg（アルミ）
手　摺 TS-1285T…5.2kg



●手摺枠

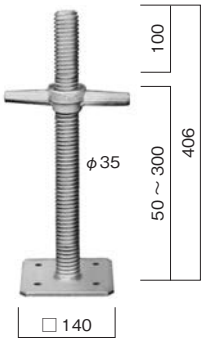


品番	L	重量(kg)
TS-G18N	1,800	4.75
TS-G15N	1,500	4.08
TS-G12N	1,200	3.42
TS-G9N	900	2.76
TS-G6N	600	2.10

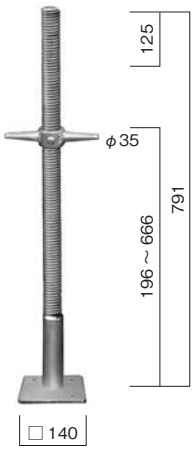
●開口部用手摺枠

TS-G18…15.6kg

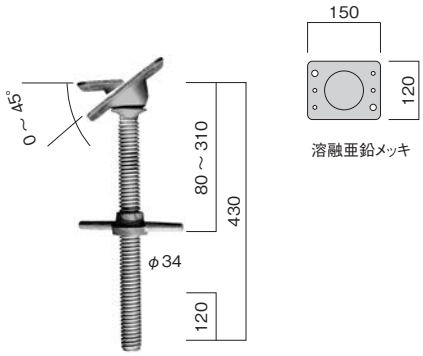
TS ジャッキ TS-752TD…4.0kg
溶融亜鉛メッキ



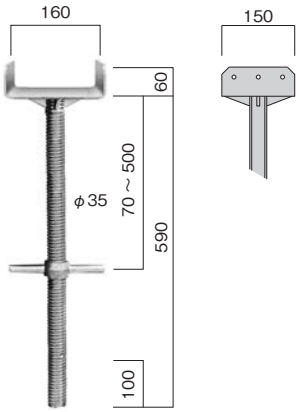
ロングジャッキベース RT-5S…6.3kg



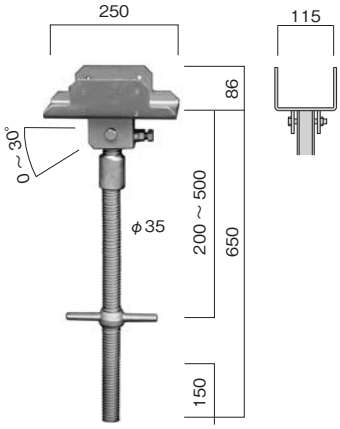
ピボットジャッキ A-14P…4.1kg



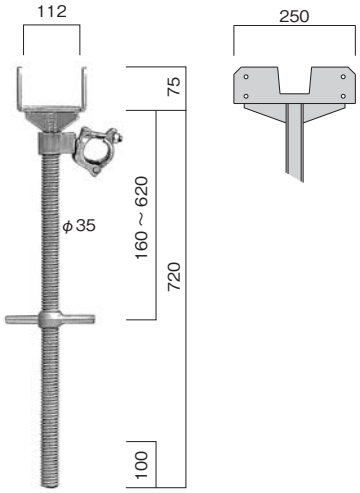
ロング大引受ジャッキ A-752HS…6.5kg



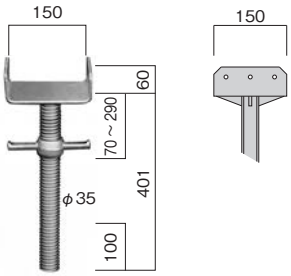
自在大引受ジャッキ P-752HS…8.5kg
溶融亜鉛メッキ



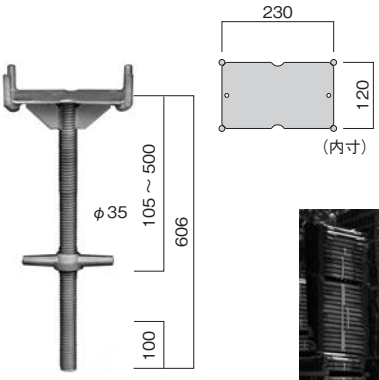
100 角用大引受ジャッキ A-753HS…9.2kg
溶融亜鉛メッキ



大引受ジャッキ A-752HTD…5.3kg
※ D ＝溶融亜鉛メッキ



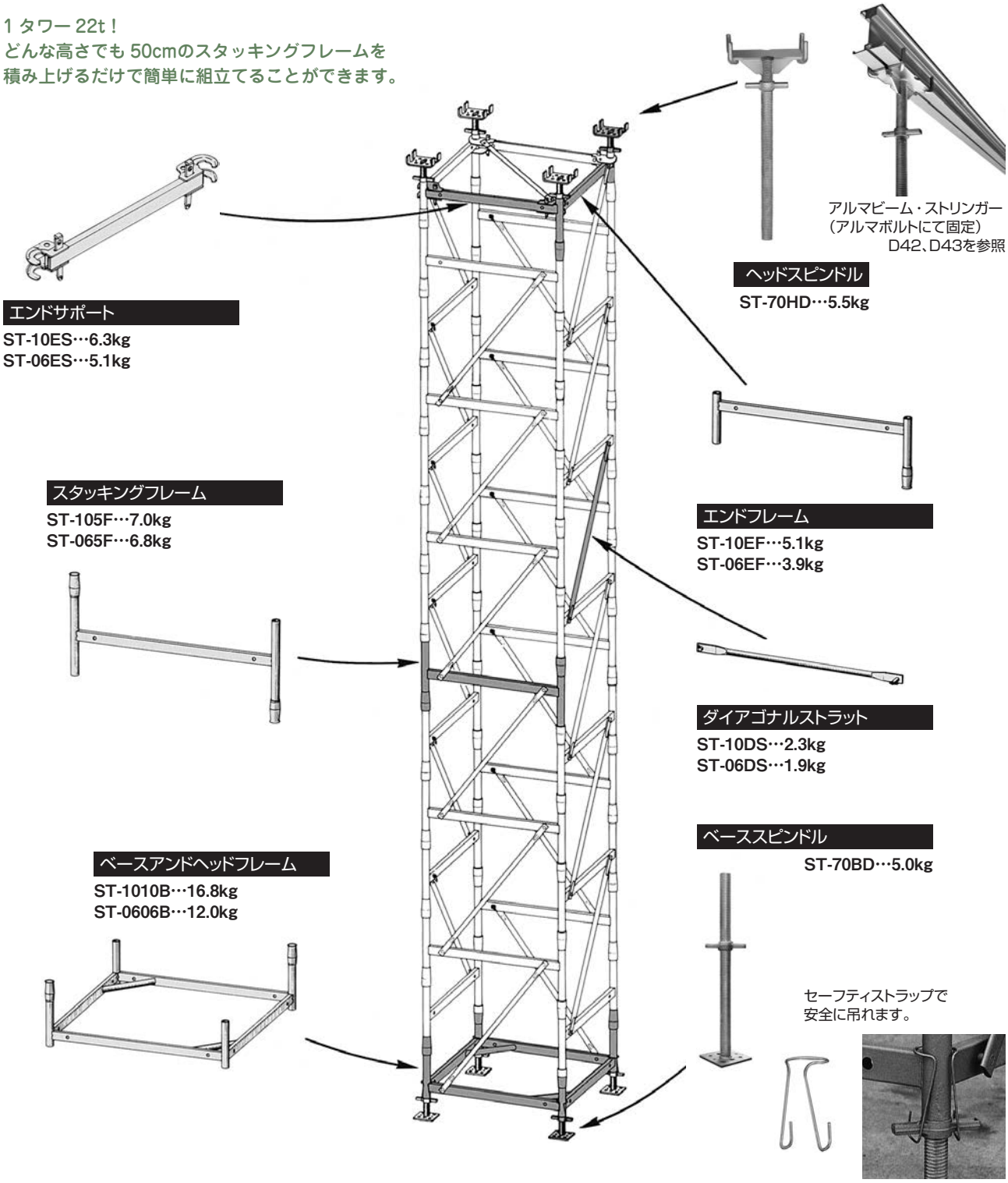
大引受ジャッキ TS-HJD…8.1kg
溶融亜鉛メッキ

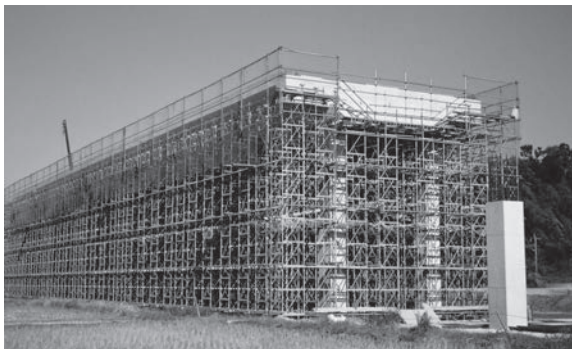


ショアリングタワー ST-100・ST-60

詳しくはこちらを
ご覧下さい

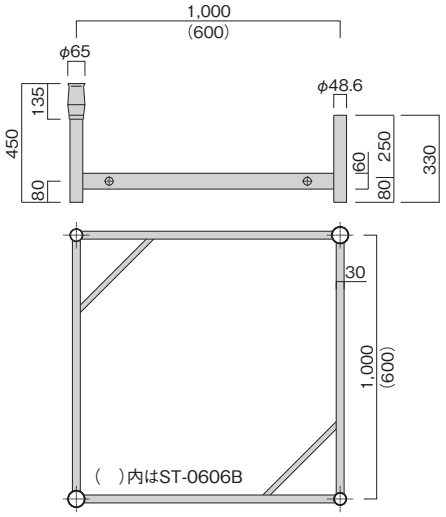
1 タワー 22t！
どんな高さでも 50cmのスタッキングフレームを
積み上げるだけで簡単に組立てることができます。





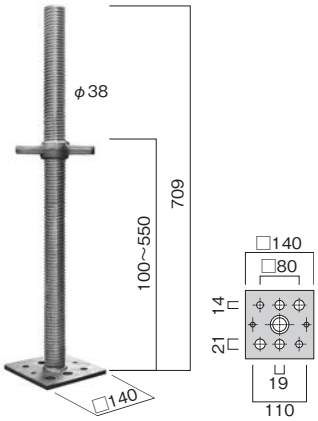
ベースアンドヘッドフレーム ST-1010B…16.8kg ST-0606B…12.0kg

使用鋼管＝ STK400- φ 48.6 × 3.2
STK400- φ 60.5 × 2.3



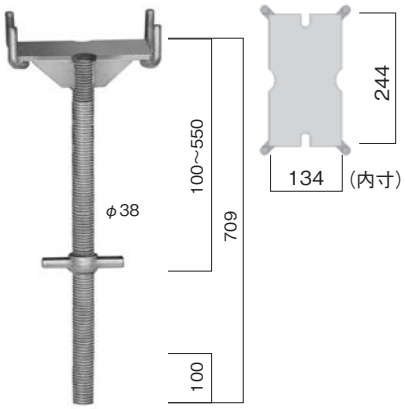
ベーススピンドル ST-70BD…5.0kg

溶融亜鉛メッキ



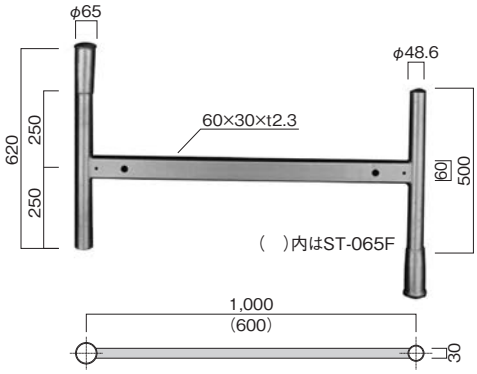
ヘッドスピンドル ST-70HD…5.5kg

溶融亜鉛メッキ

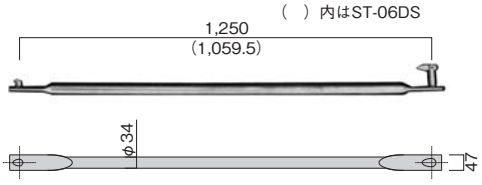


スタッキングフレーム ST-105F…7.0kg ST-065F…6.8kg

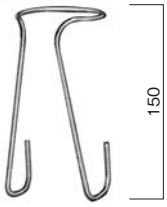
使用鋼管＝ STK400- φ 48.6 × 3.2
STK400- φ 60.5 × 2.3



ダイアゴナルストラット ST-10DS…2.3kg ST-06DS…1.9kg

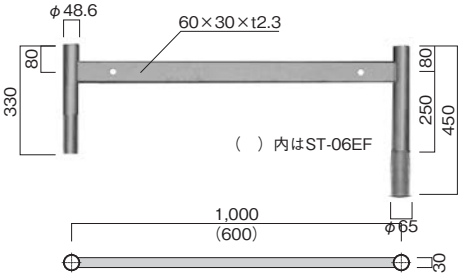


セーフティストラップ ST-SS…0.07kg



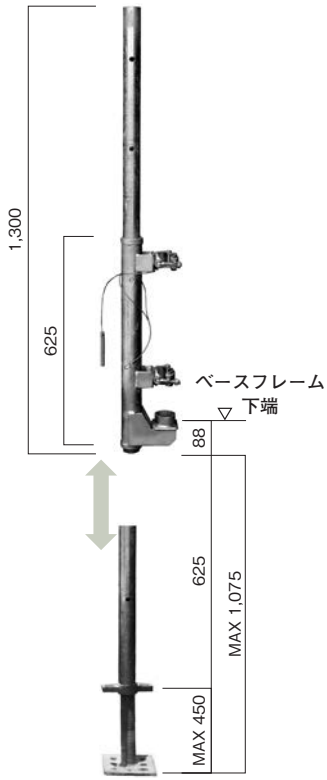
エンドフレーム ST-10EF…5.1kg ST-06EF…3.9kg

使用鋼管＝ STK400- φ 48.6 × 3.2
STK400- φ 60.5 × 2.3

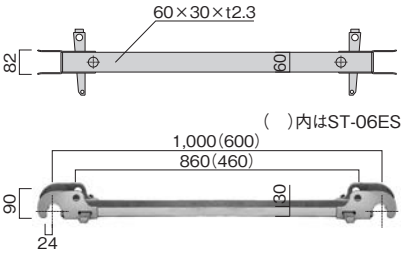


クイックサポート ST-QS…10.5kg

PAT.P



エンドサポート ST-10ES…6.3kg ST-06ES…5.1kg



アルマシステム

詳しくはこちらを
ご覧下さい

大規模化・高層化の進むコンクリート構造物の時代に、
工期短縮
省力化とコストダウン
安全性と品質管理
で建設現場の生産性を向上させるアルマシステムは、
日本国内ではリーラック機材㈱が提供いたします。

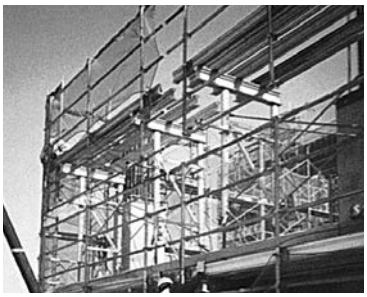
1）工期短縮
小工区・少人数・VH工法を導入することにより、合理的な工期短縮とサイクル施工が可能となります。
2）省力化とコストダウン
計画的なサイクル施工とシステムの省力化効果により工事のコストダウンが可能となります。
3）安全性と品質管理
作業の標準化が容易で転用時の危険度が少なく、安全管理が行いやすくなります。

ストロングサポート

アルマビーム・ストリンガビームを根太材・大引材に利用し、軽量・高耐力のアルミ製サポートを使用したスラブ用支保工。ハーフ PC 用支保工に最適。

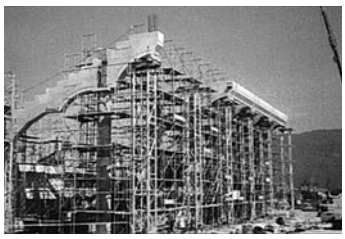
バルコニーショアー

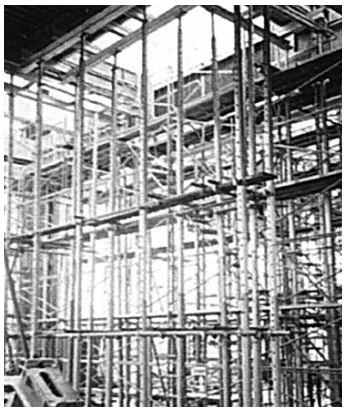
廊下・バルコニー用支保工。転用の際の組払しが不要。



フレームサポート

荷重能力の大きい支保工システム。支保工間隔が広く歩掛りの向上、安全通路の確保に貢献します。梁下、スラブ厚の厚い時、階高の高いときの支保工に最適です。



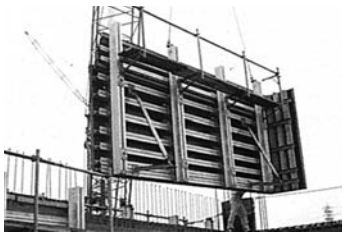


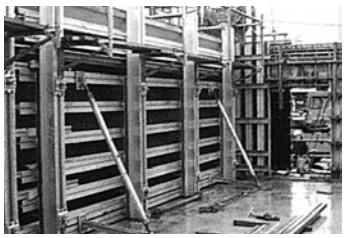
フライングショアー

合板・根太・大引・支保工を一体化した大型テーブルです。移動・転用性に優れています。倉庫・工場・ショッピングセンターなどに最適です。

ウォールフォーム

壁用の大型型枠。剛性の高い部材の組み合せでタイボルトの数量を削減できます。多様な壁面使用に対応でき、転用作業が容易で、生産性の向上、コスト削減に効果的です。



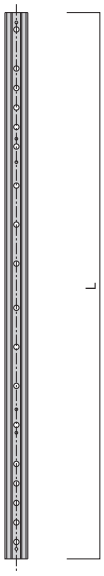


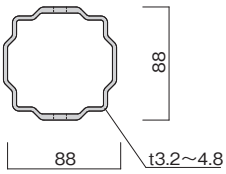
コラムフォーム

剛性の高い部材を簡便なクランプで結合し、部材の数量を著しく削減した、柱用の大型型枠です。

●アルマシステム使用部材

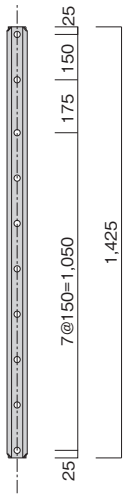
ストロング支柱 （アルミ）





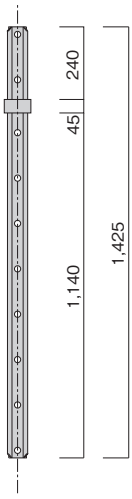
品番	L（mm）	重量（kg）
AL-3620	3,625	10.20
AL-2400	2,400	6.40
AL-2100	2,100	5.60
AL-1800	1,800	4.80
AL-1500	1,500	4.00
AL-1200	1,200	3.20
AL-900	900	2.40
AL-580	580	1.60

スライドパイプ （アルミ）



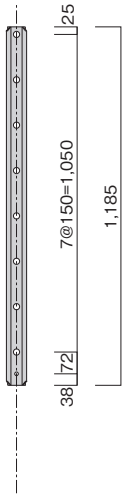
●リングなし

AL-1185
4.60kg



●リング付

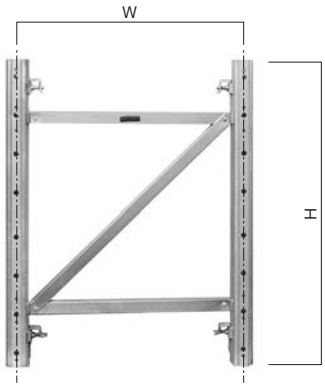
AL-1185R
4.60kg



●リングなし

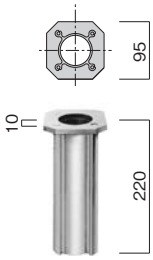
AL-945
4.00kg

フレーム （アルミ）

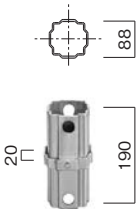


品番	W	H	重量（kg）
AL-F3X4	900	1,200	12.5
AL-F3X6	900	1,800	16.5
AL-F6X4	1,830	1,200	16.5
AL-F6X6	1,830	1,800	20.0

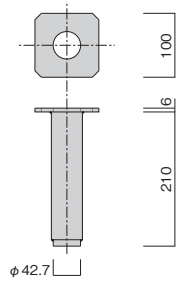
ベアリングキャップ AL-110…1.00kg （アルミ）



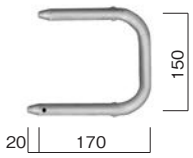
フレームジョイント AL-FJ…2.00kg （アルミ）



特殊ベアリングキャップ AL-H110…1.70kg



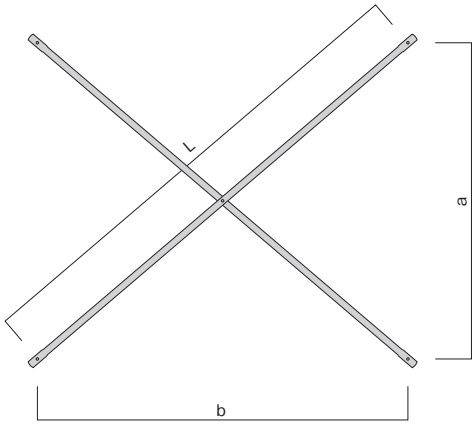
ジョイントピン AL-JPD…1.00kg



松葉ピン AL-03…0.01kg

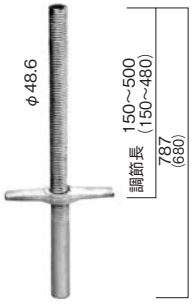
＊ジョイントピンの抜け止めに使用する

ブレース



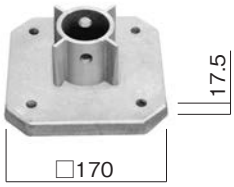
フレーム	品番	a	b	L	重量（kg）	色
AL-F3X6 AL-F6X6	AL-1812	1,270	1,200	1,747	4.7	青
	AL-1815	1,270	1,500	1,965	5.2	赤
	AL-1818	1,270	1,800	2,203	5.7	黄
	AL-1821	1,270	2,100	2,454	6.3	緑
AL-F3X4 AL-F6X4	AL-1212	970	1,200	1,543	4.2	黄
	AL-1215	970	1,500	1,786	4.8	緑
	AL-1218	970	1,800	2,045	5.4	オレンジ
	AL-1221	970	2,100	2,313	6.0	青

スクリュージャッキ AL-787JDF…6.70kg
AL-580JDF…6.0kg
（AL-580 用）

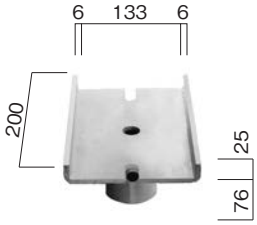


＊損傷を防ぐため、
専用パレットで配送

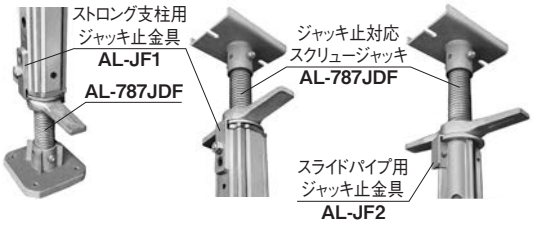
ベースプレート AL-BP…1.50kg（アルミ）



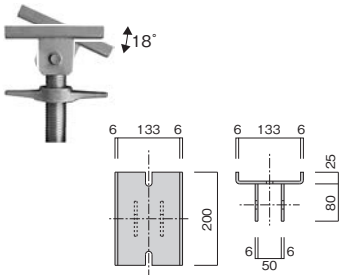
大引受 AL-HD…2.00kg



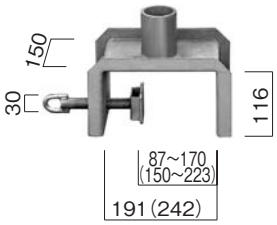
スクリュージャッキ止め金具 AL-JF1…0.25kg
AL-JF2…0.1kg



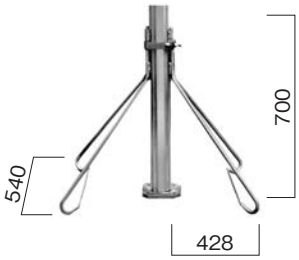
ピポット大引受 AL-HP…2.05kg



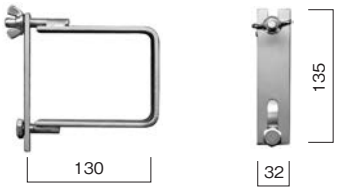
バルコニー HS クランプ
AL-19D…4.60kg
AL-24D…5.00kg
（　）内がAL-24D寸法



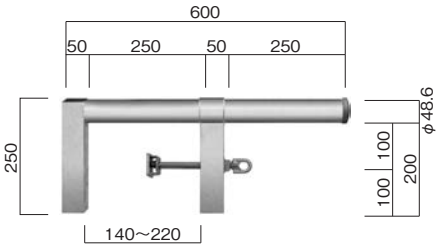
サポートスタンド AL-STD…1.75kg



スタンドバンド AL-STB…0.70kg



バルコニークランプ AL-60D…3.4kg



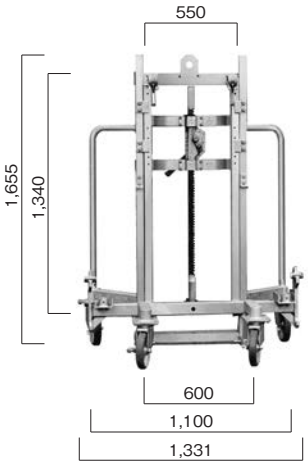
アルマクランプ（直交）
KM-88D…1.00kg
溶融亜鉛メッキ

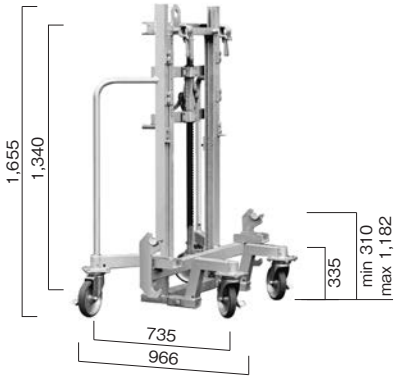
アルマクランプ（自在）
KF-88D…1.00kg
溶融亜鉛メッキ

スライドパイプクランプ
KM-67D…1.00kg（直交）
溶融亜鉛メッキ

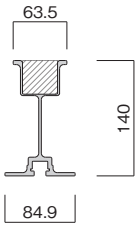
スライドパイプクランプ
KF-67D…1.00kg（自在）
溶融亜鉛メッキ

リフタードーリー LIFTER…156.0kg





●140ビーム（アルミ）

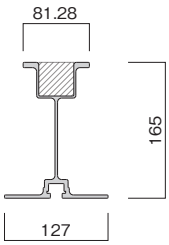


AL-14-○○

長さ(m)	1.5	1.8	2.4	2.7	2.75	3.0
重量(kg)	6.8	8.1	10.8	12.2	12.4	13.5

長さ(m)	3.2	3.6	4.2	4.8	5.4	6.0
重量(kg)	14.4	16.2	18.9	21.6	24.3	27.0

●アルマビーム（アルミ）



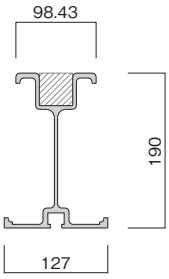
AL-AL○○

長さ(m)	1.0	1.2	1.5	1.8	2.0	2.1
重量(kg)	6.0	7.2	9.0	10.8	12.0	12.6

長さ(m)	2.4	2.75	3.0	3.2	3.6	3.9
重量(kg)	14.4	16.5	18.0	19.2	21.6	23.4

長さ(m)	4.2	4.5	4.8	5.4
重量(kg)	25.2	27.0	28.8	32.4

●ストリンガー（アルミ）



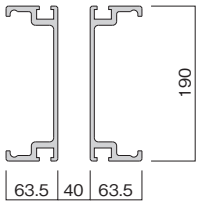
AL-ST○○

長さ(m)	1.0	1.2	1.5	1.8	2.1	2.4
重量(kg)	7.8	9.4	11.7	14.0	16.4	18.7

長さ(m)	2.75	3.0	3.2	3.66	3.9	4.27
重量(kg)	21.5	23.4	25.0	28.6	30.4	33.3

長さ(m)	4.88	5.49
重量(kg)	38.1	42.8

●ストロングバックチャンネル（アルミ）



AL-SB○○　※重量は1本の値

長さ(m)	1.0	1.2	1.5	1.8	2.0	2.09	2.35	2.4
重量(kg)	6.0	7.2	9.0	10.8	12.0	12.5	14.1	14.4

長さ(m)	2.59	2.75	3.0	3.6	3.81	4.88
重量(kg)	15.5	16.5	18.0	21.6	22.9	29.3

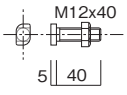
●断面性能

	140ビーム	アルマビーム	ストリンガー	ストロングバックチャンネル
断面積(mm^2)	1,100	1,721	2,500	4,348
単位重量(kg/m)	4.5	6.0	7.8	12
断面2次モーメント(cm^4)	283	707	1,417	2,348
断面係数(cm^3)	36	72	139	246
弾性係数(N/cm^2)	7×10^6	7×10^6	7×10^6	7×10^6
許容曲げモーメント(kNm)	4.31	9.8	18.6	34.0

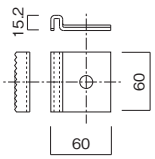
※断面性能は2本セットの値

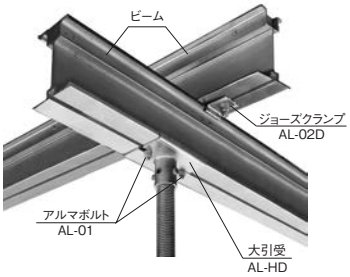
●ビーム固定部材

アルマボルト　AL-01…0.07kg



ジョーズクランプ　AL-02D…0.2kg





■許容荷重

①スライドパイプ無し

		単独支柱方式	ベタ支柱方式	枠組方式（フレーム）
	水平つなぎ	無	有	無
	許容荷重	（アルマビーム）36.3kN/支柱 （ストリンガー）54.0kN/支柱 （ベースプレート）54.0kN/支柱	63.8kN/支柱	63.8kN/支柱

②スライドパイプ使用

スライドパイプ位置	スライドパイプ長		単独支柱方式	ベタ支柱方式	枠組方式（フレーム）
上端に使用	585mm以下	水平つなぎ	無	有	有
		許容荷重	（アルマビーム）26.5kN/支柱 （ストリンガー）36.3kN/支柱 （ベースプレート）54.0kN/支柱	43.2kN/支柱	43.2kN/支柱
	1,035mm以下 （単独735mm以下）	水平つなぎ	無	有	有
		許容荷重	（アルマビーム）25.5kN/支柱 （ストリンガー）34.3kN/支柱 （ベースプレート）54.0kN/支柱	37.3kN/支柱	37.3kN/支柱
中間に使用	945mm以下	水平つなぎ	使用不可	有	有
		許容荷重		50.1kN/支柱	50.1kN/支柱
		水平つなぎ			無
		許容荷重			44.2kN/支柱
下端に使用	1,035mm以下 （単独735mm以下）	水平つなぎ	無	有	無
		許容荷重	上端使用と同じ	46.1kN/支柱	46.1kN/支柱

■仮設工業会承認における使用基準

		単独支柱方式	ベタ支柱方式	枠組方式（フレーム）
支柱間隔			3.5m以下	
支柱高さ		3.5m未満（支柱の継ぎ足し不可）	9.5m以下	短辺支柱間隔の22倍（max50m）
スクリュージャッキ		上下同時使用不可	上下同時使用可	上下同時使用可
スライドパイプ		（原則）使用せず 使用の場合は許容値を低減	1支柱当り1本使用可	1支柱当り1本使用可
	上部・下部	リング無　1,185mm以下	リング無　1,185mm以下	リング無　1,185mm以下
	中間部	不可	リング付　945mm以下	リング付　945mm以下
	重なり長	240mm以上	240mm以上	240mm以上
水平つなぎ （3.5m以上に必要）		不要	上下端、高さ2m以下ごと 及びスライドパイプの位置	スライドパイプ位置にX,Y方向 設けない場合は許容荷重を低減
	変位防止	・水平変位を拘束された物に支持する	・単管、クランプで斜材を設ける（2スパン毎、約45°） ・水平つなぎの端部を堅固な構造物に固定する	・ブレース、フレーム斜材・水平材で負担
転倒防止				支保工高さが、短辺支柱間隔の5倍を超える場合 ・5段以下毎にX,Y方向に水平つなぎを設ける ・水平つなぎ位置には水平ブレースまたは布枠を設ける
その他	支柱の接続	支柱ジョイント（フレームジョイント）とジョイントピンを使用し、松葉ピンで抜け止めをする		
	ベースプレート	支柱下部にスクリュージャッキを使用しない場合は、支柱にベースプレートを専用ボルトで取付る		
	スクリュージャッキ	支柱の上下端に使用し、レベル調整、荷重の除荷に使用。 ベースプレート、大引受けを専用ボルトで取付る		
	スライドパイプ	上下端には「リング無し」、中間には「リング付き」を使用する ジョイントピンで固定し、松葉ピンで抜け止めをする		
	ベアリングキャップ	支柱にスクリュージャッキを差し込む場合には使用する		
	ビームの固定	ビームと大引受、ビーム同士は、アルマボルト及びジョーズクランプ2個で固定する		
	HSクランプ	規定無し		
	スタンド	規定無し		

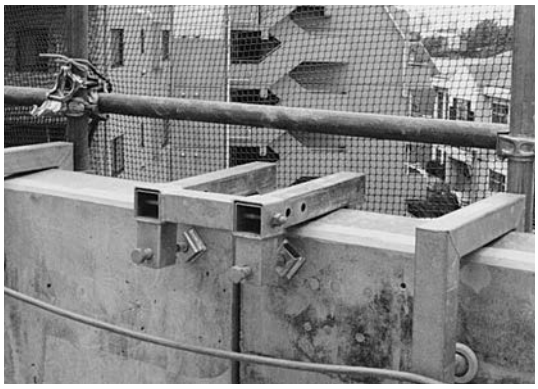
通りゃんせ／バルコニーハンガー（PAT）

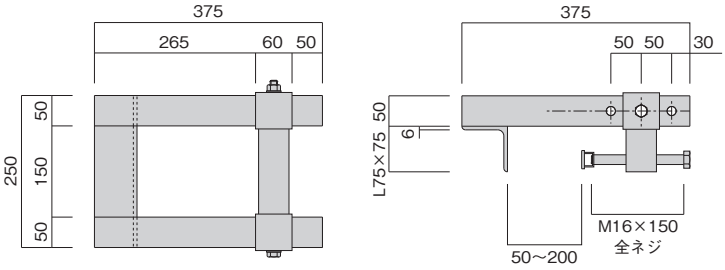
詳しくはこちらをご覧下さい

●通りゃんせ

隣り合う版を位置決め部材で整列させ、接合部を挟んで配列された横架部材と締付け部材により隣り合う版を押圧できるため、ずれたPC版を容易に整列させることができます。
PC版等の板厚が変わった場合にも、連結スライド部材を移動させ固定することにより容易に対応することができます。

通りゃんせ AL-PCW1021…7.00kg

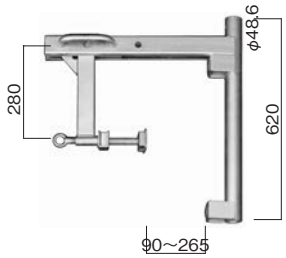




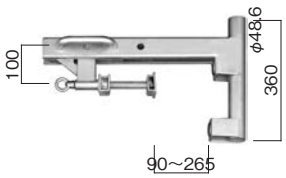
●バルコニーハンガー

許容荷重：鉛直 6.83kN, 水平 5.0kN

バルコニーハンガー BLH-280…8.8kg

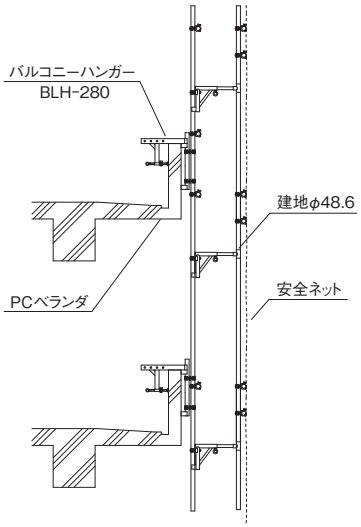


バルコニーハンガー BLH-100…7.8kg

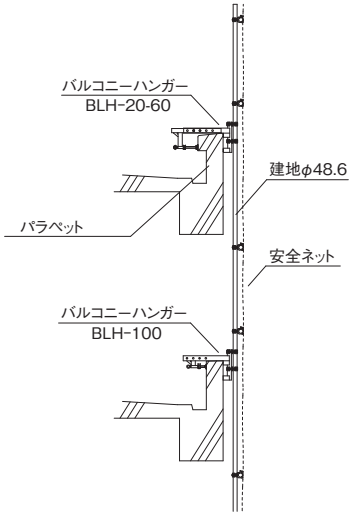


バルコニーハンガー BLH-20-60…9.6kg

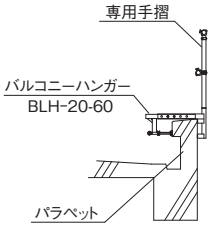
スーパークランプ 許容強度：6.86kN
KM-48S…1.10kg（直交）
KF-48S…1.09kg（自在）



ブラケット足場



飛来落下防止



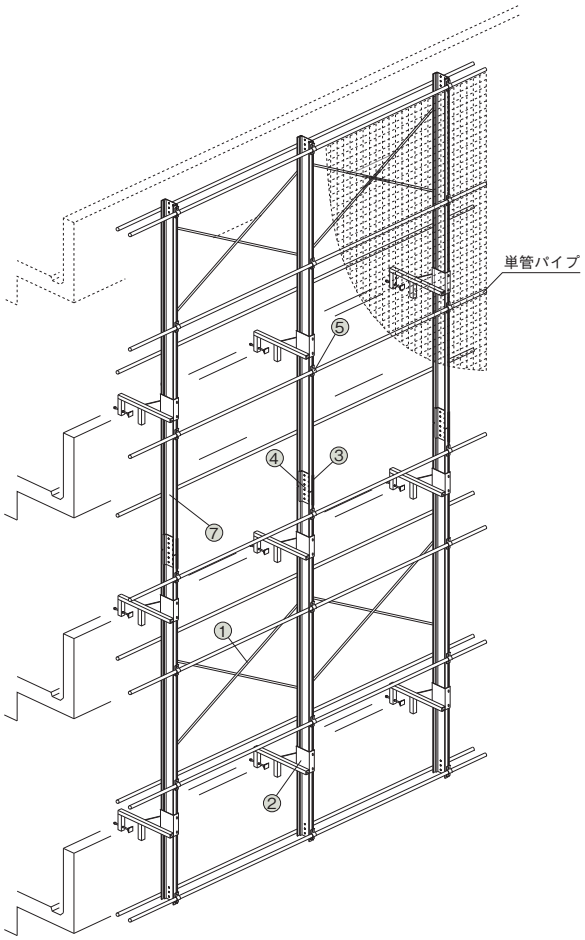
パラペット部

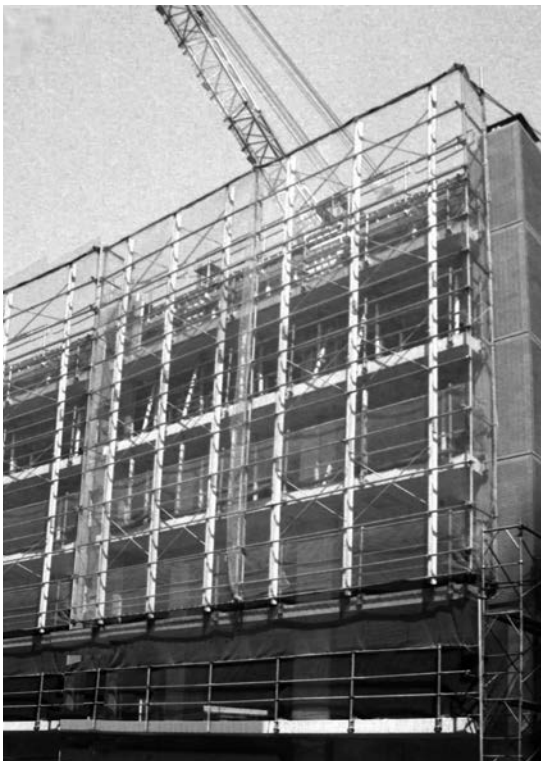
養生ネット

詳しくはこちらを
ご覧下さい

所定の大きさの養生枠をクレーンにより1階高分だけ上昇させるようにしたため、簡単で軽量の養生ネットで建物全体の外部養生を行うことができます。
従来のように建物全体を覆う足場の組立・解体が不要となり、また膨大な量の資材が不要となるため、大幅な人工の削減及びコストの削減を図ることができます。
養生ネット用ブラケットを上から引っ掛けるだけで容易に取付けることができ、養生枠の縦材に位置調整可能に固定されるため、種々の階高あるいは種々の高さの立ち上がり壁等に容易に対応することができます。

概念図





■1セット数量

品　番	名　称	単重(kg)	数量	備考
①AL-1821	ブレース	6.3	9	
②製作品	養生ネット用ブラケット	12.0	9	販売
③AL-SB-JP	ジョイントプレート	1.0	8	
④AL-SB-JC	ジョイントチャンネル	2.0	8	
⑤AL-48B	単管バンド	0.2	88	販売
⑥A-2720	建方用PCサポート	16.0	4	
⑦AL-SB3.0	ストロングバックチャンネル(3.0m)	18.0	8	
⑧AL-SB4.88	ストロングバックチャンネル(4.88m)	29.3	4	
⑨AL-01	アルマボルト	0.07	250	販売
⑩W3/4×45	接合ボルト	0.29	96	販売

(1セット参考値)

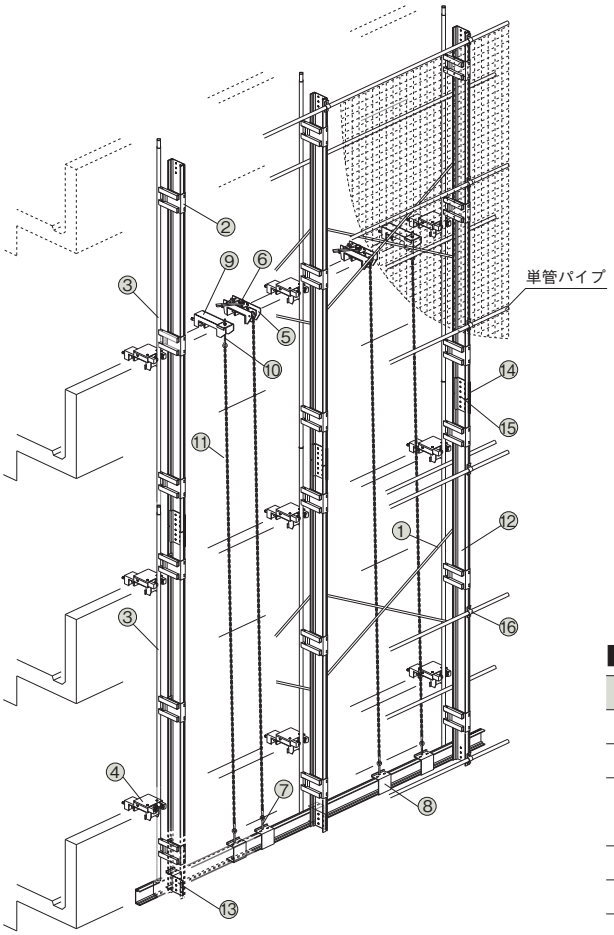
※このシステムを採用する場合は当社までご連絡ください。 組立・取付方法の仕様書が別途用意してあります。

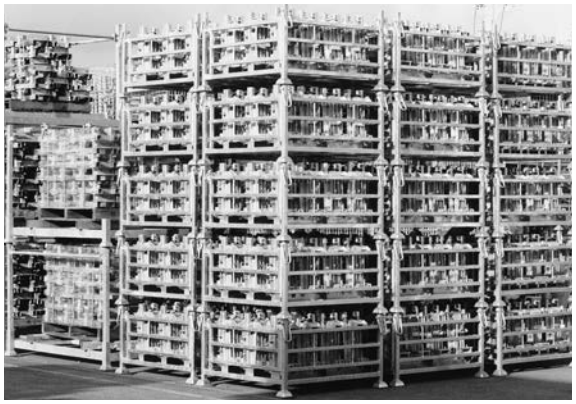
しゃくとり (PAT)

詳しくはこちらを
ご覧下さい

所定の大きさの養生枠を上下自由に移動可能なので、簡単で軽量のしゃくとりで建物全体の外部養生を行うことができます。
従来のように建物全体を覆う足場の組立・解体が不要となり、また膨大な量の資材が不要となるため、大幅な人工の削減及びコストの削減を図ることができます。
養生枠はその内面に配置したガイドレールが、各フロアの立ち上がり壁等に取付けたガイドクランプで案内支持されて円滑に上昇するため、クレーンを使用することなく、簡単な吊り上げ装置で容易に吊り上げることができます。

概念図





■1セット数量

品　番	名　称	単重(kg)	数量	備考
①AL-1821	ブレース	6.3	6	
②AL-Y215B	レールブラケット	4.4	18	
③AL-Y1.8R	ガイドレール(1.8m)	7.7	0	
AL-Y3.6R	ガイドレール(3.6m)	14.8	9	
④AL-Y230BG	ガイドクランプ	14.6	9	
⑤AL-Y220BL	吊り上げブラケット	15.0	2	
⑥AL-Y2.0T	レバーブロック	10.5	2	
⑦AL-Y350B	吊り上げボルト	0.9	4	販売
⑧AL-Y191L	吊り上げ金具	3.4	4	
⑨AL-Y191BL	落下防止ブラケット	8.5	2	
⑩AL-Y600B	落下防止ボルト	2.1	2	販売
⑪AL-Y7.5C	落下防止チェーン(ハイカップリング)	12.0	2	販売
⑫AL-SB3.0	ストロングバックチャンネル(3.0m)	18.0	3	
AL-SB4.88	ストロングバックチャンネル(4.88m)	29.3	7	
⑬AL-Y191C	落下防止金具	3.2	3	
⑭AL-SB-JP	ジョイントプレート	1.0	6	
⑮AL-SB-JC	ジョイントチャンネル	2.0	6	
⑯AL-48B	単管バンド	0.2	63	販売
⑰AL-01	アルマボルト	0.07	250	販売
⑱W3/4×45	接合ボルト	0.29	72	販売
⑲M12×80	接合ボルト	0.12	36	販売

(1セット参考値)

※このシステムを採用する場合は当社までご連絡ください。組立・取付方法の仕様書が別途用意してあります。

ペコビーム

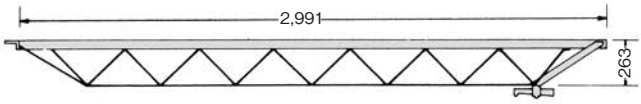
詳しくはこちらを
ご覧下さい

許容曲げモーメント：13.7kN・m
ビーム端部の許容せん断力：24.5kN

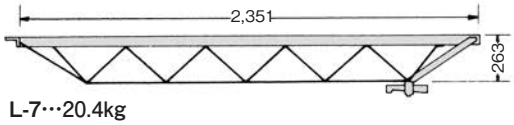
■断面性能

種　類	断　面　積	断面2次モーメント	断面係数（cm³）	
	A（cm²）	I×（cm⁴）	Z×圧	Z×引
外ビーム	8.17	1,126	105	72
内ビーム	13.83	1,026	89	85

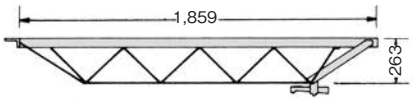
外ビーム



L-9…25.6kg

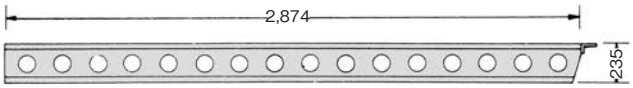


L-7…20.4kg

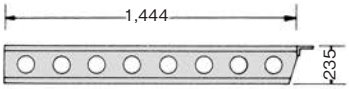


L-5…16.7kg

内ビーム



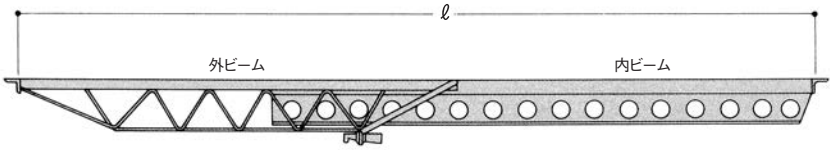
P-9…28.0kg



P-5…14.4kg

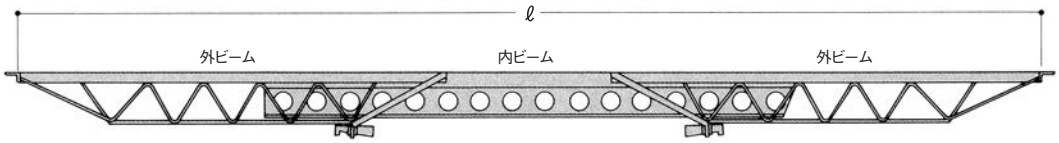
組合せ長

● 2 本つなぎ



外ビーム	内ビーム	ℓ 調節長 mm	重量 kg
L-5	P-5	1,870～2,830	31.1
	P-9	2,885～4,260	44.7
L-7	P-5	2,360～3,245	34.8
	P-9	2,885～4,675	48.4
L-9	P-5	3,005～3,865	40.0
	P-9	3,005～5,315	53.6

● 3 本つなぎ



内ビーム	外ビーム	ℓ 調節長 mm	重量 kg
P-5	L-5　L-5	3,720～4,160	47.8
	L-5　L-7	4,210～4,575	51.5
	L-5　L-9	4,850～5,215	56.7
	L-7　L-7	4,705～4,985	55.2
	L-7　L-9	5,345～5,625	60.4
	L-9　L-9	5,985～6,270	65.6

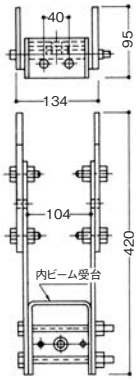
内ビーム	外ビーム	ℓ 調節長 mm	重量 kg
P-9	L-5　L-5	3,720～5,585	61.4
	L-5　L-7	4,210～6,005	65.1
	L-5　L-9	4,850～6,645	70.3
	L-7　L-7	4,705～6,415	68.8
	L-7　L-9	5,345～7,055	74.0
	L-9　L-9	5,985～7,700	79.2

●ペコビームハンガー

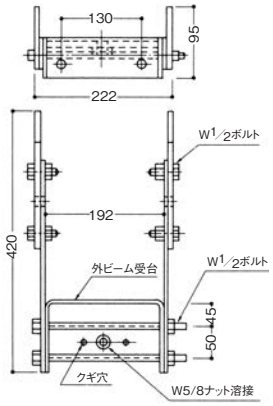
外ビームハンガー
PL-02…5.3kg

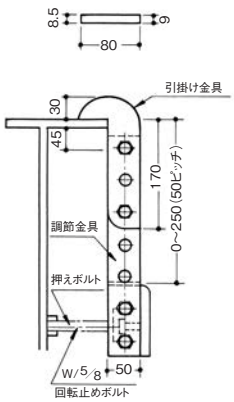
内ビームハンガー
PL-01…4.6kg

内ビーム用 PL-01



外ビーム用 PL-02



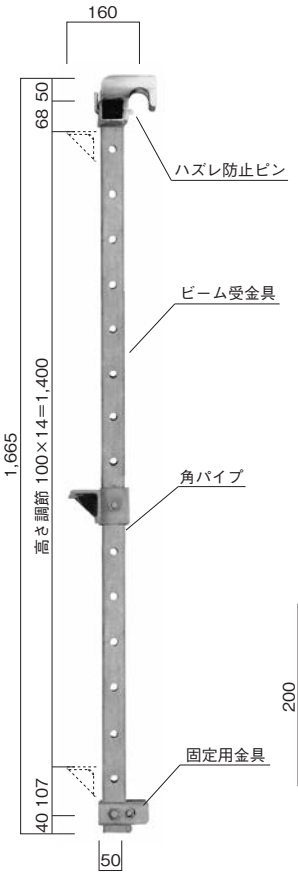


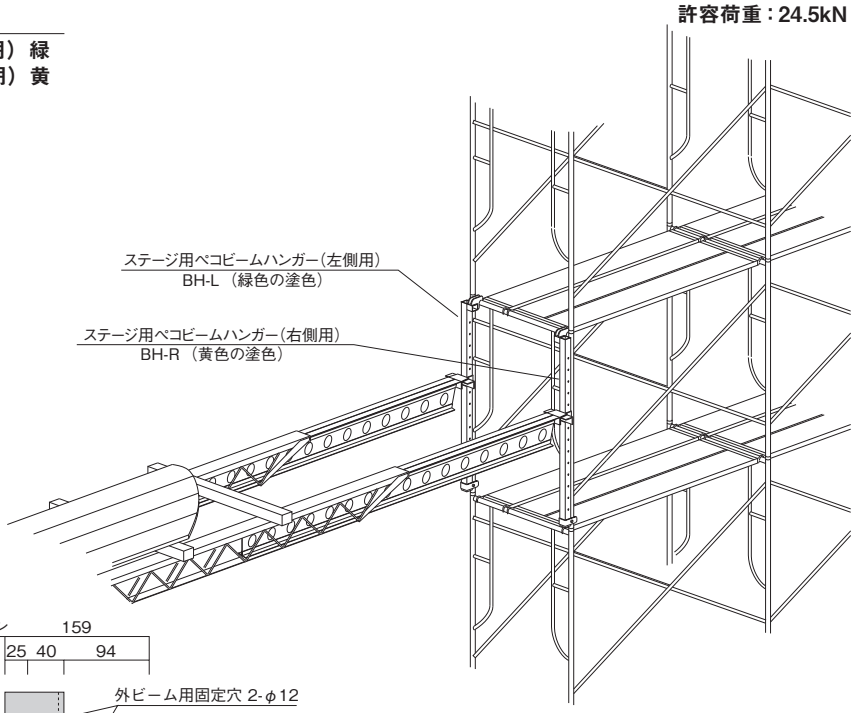
許容荷重:2.5t
※回転ボルトはご使用条件が異なるため、貴社にてご用意お願い致します。

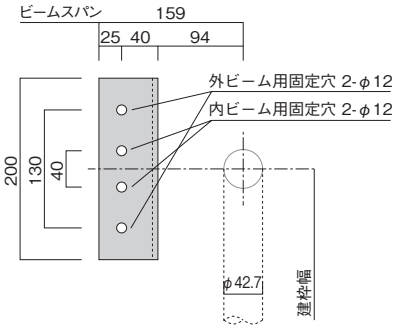
●ステージ用ペコビームハンガー

許容荷重：24.5kN

ペコビームハンガー **BH-L…5.0kg（左側用）緑**
BH-R…5.0kg（右側用）黄





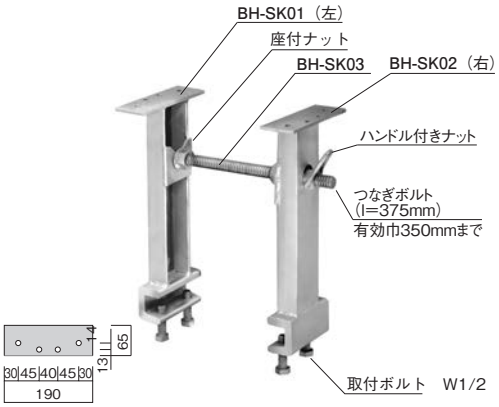


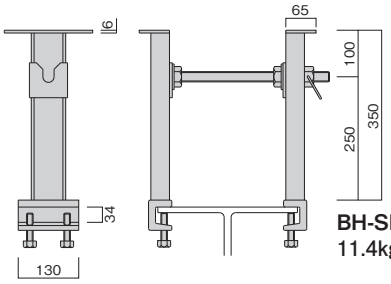
ペコビームとビーム受部はボルト（W3/8 × 38）で確実に固定して下さい。
高さ調節後ビーム受金具はボルト（W5/8）を確実に締付けて下さい。
固定用金具は建地にセットして下さい。

●ステージクランプ

許容鉛直荷重：9.8kN/1セット以下

ステージクランプ **（本体1）BH-SK01…5.00kg**
（本体2）BH-SK02…5.00kg
（ボルト）BH-SK03…1.40kg

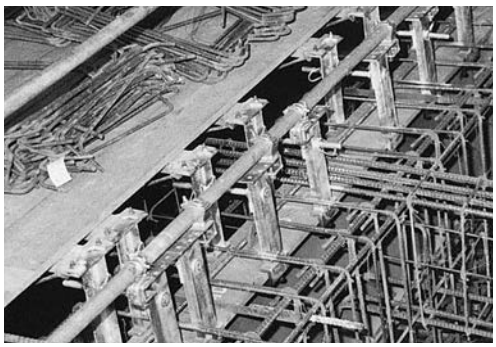


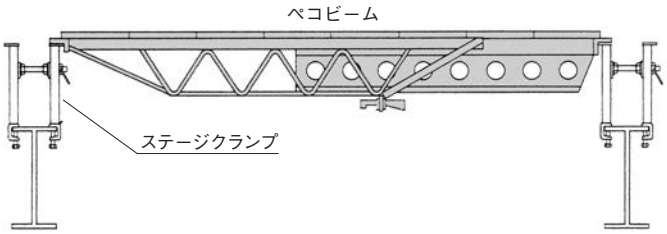


BH-SK
11.4kg／1セット

■仕様

適合フランジ巾	L=150～350mm
適合フランジ厚	32mm以下
つなぎボルト長	375mm





AXビーム

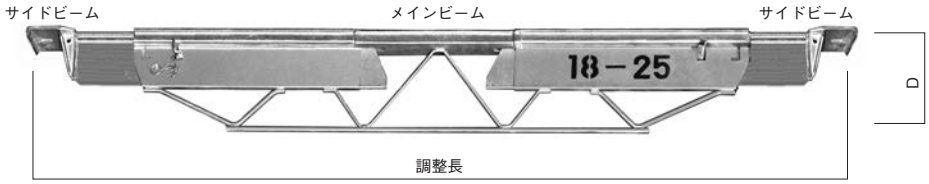
詳しくはこちらを
ご覧下さい

ビーム端部には受金具機能が備わっており作業性が向上します。
ビームの上側には桟木を組込めますので、合板の釘打ちが可能です。
スパン調整はクサビ式で微調整ができます。解体作業もクサビを抜くだけで簡単です。

■片側サイドタイプ

調整長	メインビーム	サイドビーム	D	重量(kg)
1,120～1,460	AX11-14	AX11-18S	163	11.3
1,460～1,825	AX14-18	AX11-18S	163	12.5

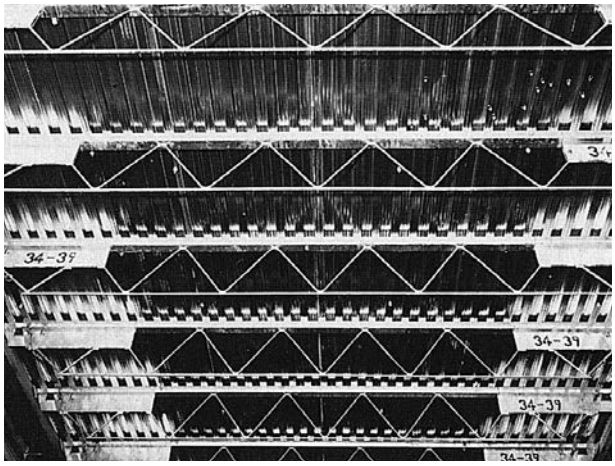
■両側サイドタイプ



調整長	メインビーム	サイドビーム	D	重量(kg)
1,825～2,525	AX18-25	AX18-46S	272	19.5
2,525～3,225	AX25-32	AX18-46S	322	23.0
3,225～3,925	AX32-39	AX18-46S	322	28.0
3,925～4,625	AX39-46	AX18-46S	323	35.0

回転サイドビーム AX-R…6.5kg

約 20° の調整が可能です。



注意事項

1）梁型枠下の支保工用サポートは、必ずダブルにして下さい。
2）セパレーターは側型枠の座屈を防ぐため、垂直方向 400mm、水平方向 700mm 以内の間隔にして下さい。
3）コンクリートは局部的に堆積させないように打設して下さい。
4）ビームに集中荷重がかからぬようご注意ください。
5）ビームをかける型枠はスラブ荷重を支えます。傷んだ合板や古い合板の使用をさけて下さい。

■許容曲げモーメントと断面性能

品番	断面積 A (cm²)	断面係数 Z (cm³)	断面二次モーメント I (cm⁴)	弾性係数 E (N/cm²)	許容曲げ応力度 fb (N/cm²)	許容曲げモーメント M (kN・m)
AX11-14	4.45	14.58	160.95	2.06×10^7	13.7	1.96
AX14-18	4.45	14.58	160.95	2.06×10^7	13.7	1.96
AX18-25	4.65	31.16	575.86	2.06×10^7	13.7	4.21
AX25-32	4.65	37.86	837.94	2.06×10^7	13.7	5.19
AX32-39	4.86	43.76	931.06	2.06×10^7	13.7	5.98
AX39-46	5.33	59.71	1,109.15	2.06×10^7	13.7	6.37

許容端部反力：R=7.06kN

■ビームのピッチ

許容曲げモーメントから決まるピッチ　(ピッチ) ＝ $\dfrac{8 \times M}{W\ell^2}$

許容端部反力から決まるピッチ　(ピッチ) ＝ $\dfrac{2 \times 7.06}{W\ell}$

いずれか小さい方

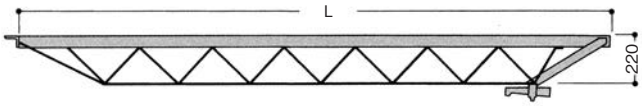
W：総荷重（kN/m²）
ℓ：架設スパン（m）
M：許容曲げモーメント（kNm）

ビティビーム

詳しくはこちらを
ご覧下さい

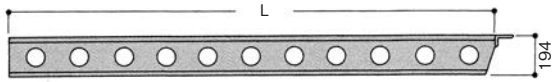
床版構築工事等の支保工として最適です。
工事費の節減、安全性の向上、工期の短縮などがはかれます。
軽量ですので取り扱いやすく便利です。

外ビーム



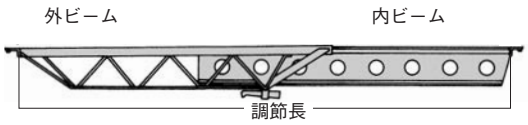
品番	L	重量(kg)
L-9B	2,700	18.3
L-5B	1,600	11.4
L-3B	990	7.4

内ビーム



品番	L	重量(kg)
P-7B	2,200	17.6
P-5B	1,600	13.6
P-3B	990	8.7

■組み合わせ

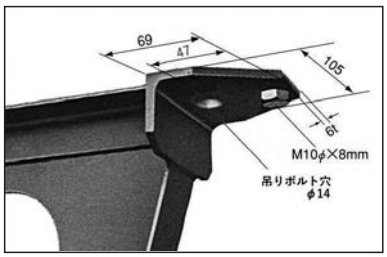


組み合わせ	タイプ別	組合せ		調節範囲(mm)	重量(kg)
		外ビーム	内ビーム		
	Aタイプ	L-9B	P-7B	2,710～4,500	35.9
	Bタイプ	L-9B	P-5B	2,710～3,900	31.9
	Cタイプ	L-5B	P-7B	2,210～3,400	29.0
	Dタイプ	L-5B	P-5B	1,610～2,800	25.0
	Eタイプ	L-3B	P-3B	1,000～1,610	16.1
	Fタイプ	L-3B	P-5B	1,620～2,200	21.0
	Gタイプ	L-3B	P-7B	2,220～2,820	25.0
	Hタイプ	L-5B	P-3B	1,620～2,200	20.1
	Ｉタイプ	L-9B	P-3B	2,720～3,290	27.0

■断面性能

断面 / ビーム別	断面積	断面二次モーメントcm^4		断面係数cm^3	
	Σ Acm^2	Ix	Iy	Zx圧	Zx引
外ビーム	6.4	598	41.8	68	45
内ビーム	8.7	612	8.7	67	59

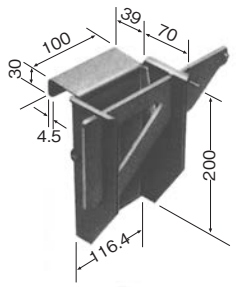
爪部詳細



■ビティビーム各使用に対する許容荷重

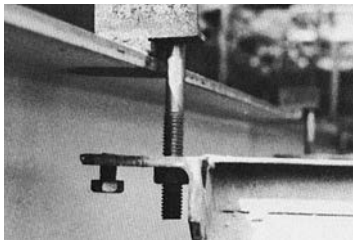
項　目	許容荷重	備　考
ビーム本体	6.86kN-m	又は端部反力12.3kN以下
ハンガー	5.88kN	
ハンガー使用時のビーム	6.86kN-m	又は端部反力5.88kN以下
吊ボルト	9.80kN	又はビーム6.86kN-m以下
型枠	5.88kN	

合板直引工法　B-PL…3.2kg



根太使用工法　B-PLL…3.45kg

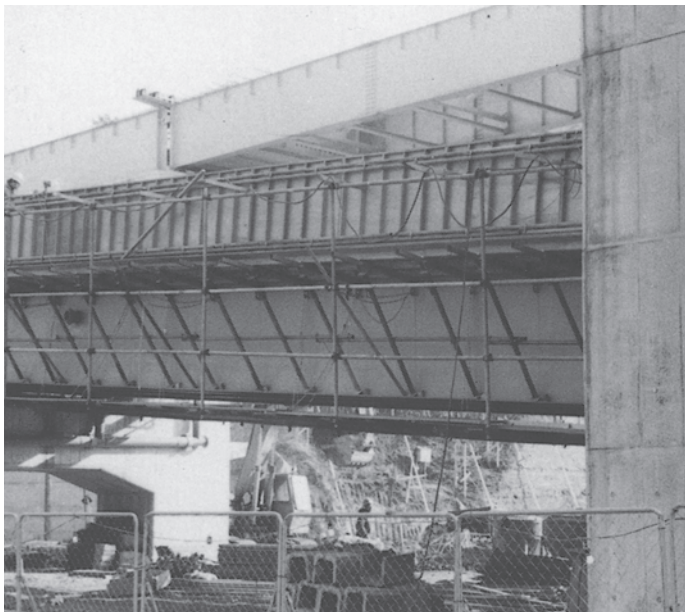
吊りボルト工法



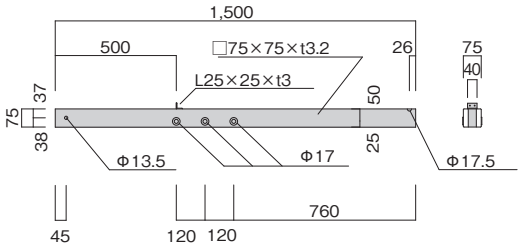
床版ブラケット

詳しくはこちらを
ご覧下さい

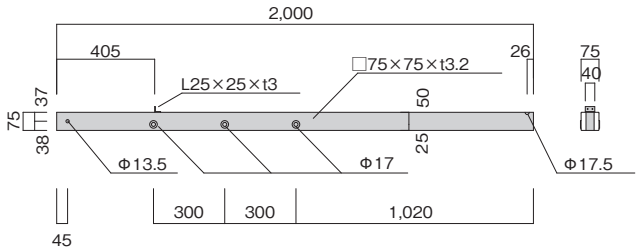
高架橋、橋梁の張出床版部分の支保工です。
水平材には 75 角の構造用鋼管を使用しております。
斜材はお手持ちのパイプサポートが使用できます。

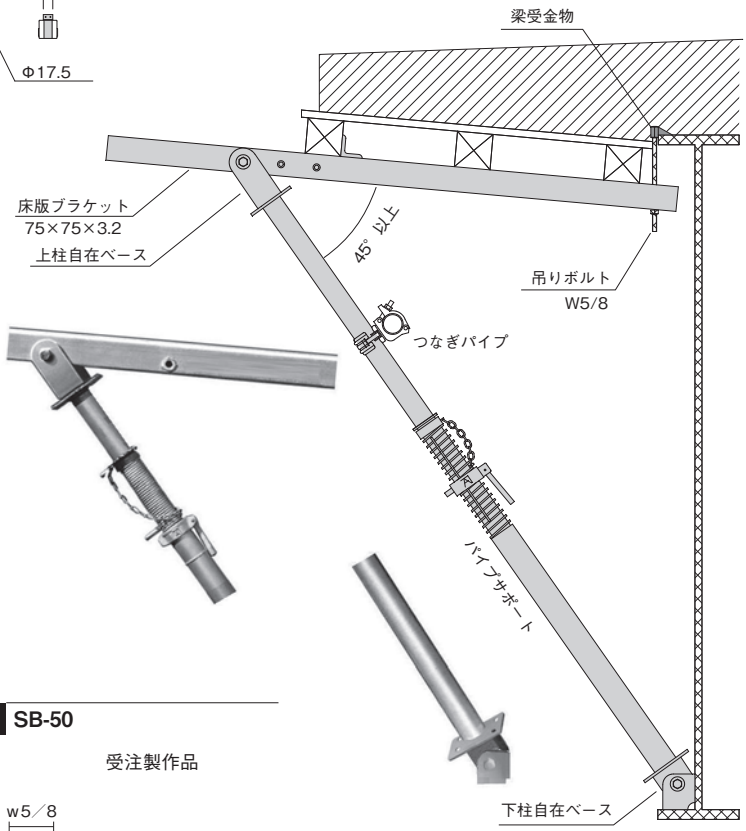


床版ブラケット SB-1500…10.7kg

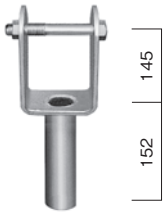


床版ブラケット SB-2000…14.2kg

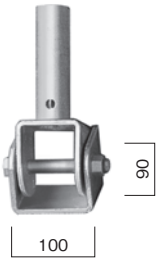




上柱自在ベース SB-10…1.8kg

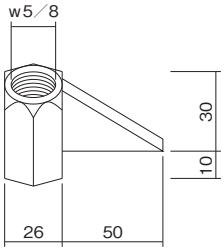


下柱自在ベース SB-20…2.1kg



梁受金具 SB-50

受注製作品

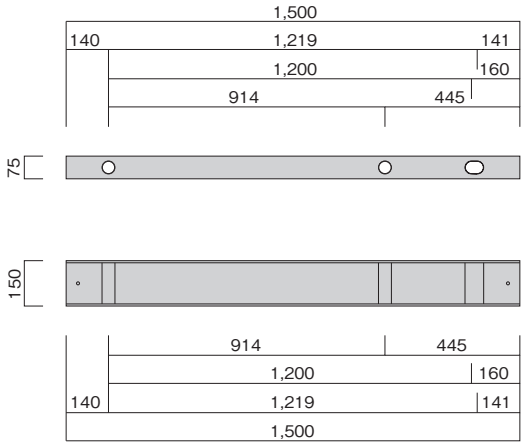


荷重受梁

1）荷重受梁はH型鋼を使用していますので安定して均一な支持力が得られます。
2）支持点はH型鋼の3箇所に鋼管を使用し枠幅914、1200、1219使用できます。
3）建枠のピンを所定の位置に合わせ荷重受梁を落し込むだけでセットができます。

荷重受梁 **RS-1500…21.5kg**

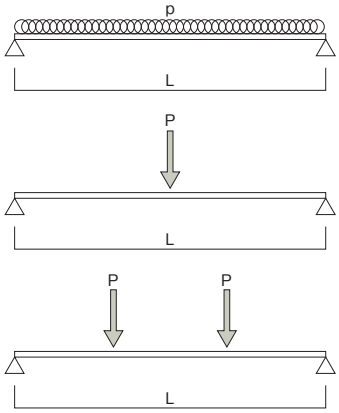
形　状



■荷重受梁　H150×75×5×7(SS330)

断面積	A＝17.85cm^2
断面係数	Zx＝88.8cm^3
断面２次モーメント	Ix＝666cm^4
単位重量	γ＝137N/m
許容曲応力度	fb＝13.7kN/cm^2
許容せん断応力度	fs＝7.84kN/cm^2

許容積載荷重

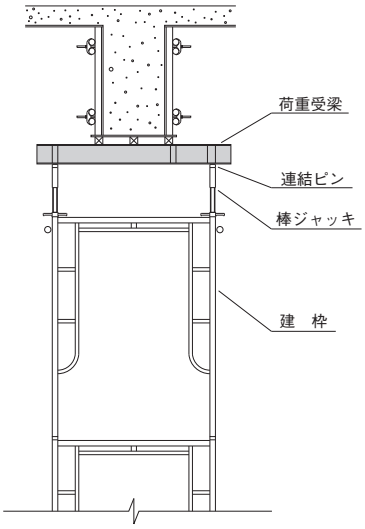


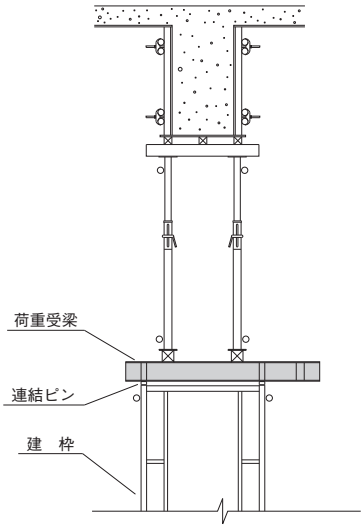
Pmax＝655N/cm

Pmax＝40kN

Pmax＝30kN

使用例

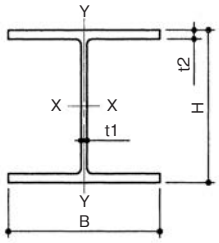




関連資料

鋼材／型枠材断面性能

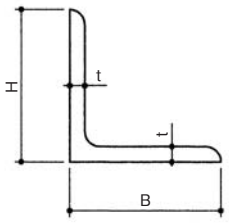
●H型鋼



材　　質:SS400
弾性係数:E=2.06×10^{7}N/cm^2
基準強度:F=23.5kN/cm^2
許容値(長期)
曲　　げ:fb=15.6kN/cm^2
せ ん 断:fs=　8.8kN/cm^2

寸法(mm) H×B×t1×t2	単位重量 (kg/m)	断面積 (cm^2)	断面二次モーメント(cm^4)		断面二次半径(cm)		断面係数(cm^3)	
			Ix	Iy	ix	iy	Zx	Zy
100×100×6×8	16.9	21.59	378	134	4.18	2.49	75.6	26.7
125×125×6.5×9	23.6	30.00	839	293	5.29	3.13	134.0	46.9
150×150×7×10	31.1	39.65	1,620	563	6.40	3.77	216.0	75.1
175×175×7.5×11	40.4	51.43	2,900	984	7.50	4.37	331.0	112.0
200×200×8×12	49.9	63.53	4,720	1,600	8.62	5.02	472.0	160.0
250×250×9×14	71.8	91.43	10,700	3,650	10.80	6.32	860.0	292.0
300×300×10×15	93.0	118.50	20,200	6,750	13.10	7.55	1,350.0	450.0
350×350×12×19	135.0	171.90	39,800	13,600	15.20	8.89	2,280.0	776.0
400×400×13×21	172.0	218.70	66,600	22,400	17.50	10.10	3,330.0	1,120.0

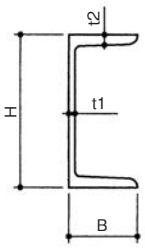
●等辺山型鋼



材　　質:SS400
弾性係数:E=2.06×10^{7}N/cm^2
基準強度:F=23.5kN/cm^2
許容値(長期)
曲　　げ:fb=15.6kN/cm^2
せ ん 断:fs=　8.8kN/cm^2

寸法(mm) H×B×t	単位重量 (kg/m)	断面積 (cm^2)	断面2次モーメント(cm^4)		断面2次半径(cm)		断面係数(cm^3)
			Ix=Iy	最小	ix=iy	最小	Zx=Zy
25×25×3	1.12	1.427	0.08	0.33	0.75	0.48	0.45
30×30×3	1.36	1.727	1.42	0.59	0.91	0.58	0.66
30×30×5	2.16	2.746	2.14	0.91	0.88	0.57	1.03
40×40×3	1.83	2.336	3.53	1.45	1.23	0.79	1.21
40×40×5	2.95	3.755	5.42	2.25	1.20	0.77	1.91
45×45×4	2.74	3.492	6.50	2.69	1.36	0.88	2.00
50×50×4	3.06	3.892	9.06	3.74	1.53	0.98	2.49
50×50×6	4.43	5.644	12.60	5.24	1.50	0.96	3.55
60×60×5	4.55	5.802	19.60	8.06	1.84	1.18	4.52
65×65×6	5.91	7.527	29.40	12.10	1.98	1.27	6.27
75×75×6	6.85	8.727	46.10	19.00	2.30	1.47	8.47
75×75×9	9.96	12.690	64.40	26.70	2.25	1.45	12.10
75×75×12	13.00	16.560	81.90	34.50	2.22	1.44	15.70
90×90×7	9.59	12.220	93.00	38.30	2.76	1.77	14.20
90×90×10	13.20	17.000	125.00	51.60	2.71	1.74	19.50
100×100×7	10.70	13.620	129.00	53.10	3.08	1.97	17.70
100×100×10	14.90	19.000	175.00	71.90	3.03	1.95	24.40
100×100×13	19.10	24.310	220.00	91.00	3.00	1.93	31.10

●溝型鋼



材　　質:SS400
弾性係数:E=2.06×10^{7}N/cm^2
基準強度:F=23.5kN/cm^2
許容値(長期)
曲　　げ:fb=15.6kN/cm^2
せ ん 断:fs=　8.8kN/cm^2

寸法(mm) H×B×t1×t2	単位重量 (kg/m)	断面積 (cm^2)	断面二次モーメント(cm^4)		断面二次半径(cm)		断面係数(cm^3)	
			Ix	Iy	ix	iy	Zx	Zy
75×40×5×7	6.92	8.818	75.3	12.2	2.92	1.17	20.1	4.47
100×50×5×7.5	9.36	11.920	118.0	26.0	3.97	1.48	37.6	7.52
125×65×6×8	13.40	17.110	424.0	61.8	4.98	1.90	67.8	13.40
150×75×6.5×10	18.60	23.710	861.0	117.0	6.03	2.22	115.0	22.40
150×75×9×12.5	24.00	30.590	1,050.0	147.0	5.86	2.19	140.0	28.30
180×75×7×10.5	21.40	27.200	1,380.0	131.0	7.12	2.19	153.0	24.30
200×80×7.5×11	24.60	31.330	1,950.0	168.0	7.88	2.32	195.0	29.10
200×90×8×13.5	30.30	38.650	2,490.0	277.0	8.02	2.68	249.0	44.20
250×90×9×13	34.60	44.070	4,180.0	294.0	9.74	2.58	334.0	44.50
250×90×11×14.5	40.20	51.170	4,680.0	329.0	9.56	2.54	374.0	49.90

●型枠用合板

(許容値:中期)

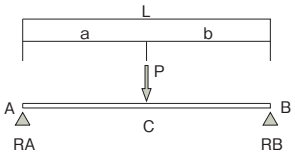
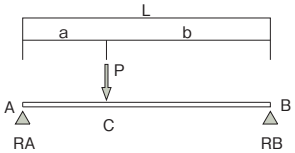
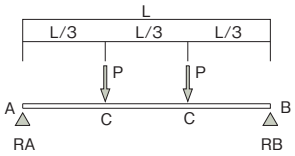
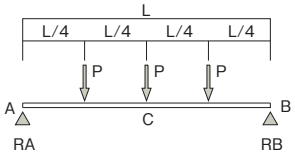
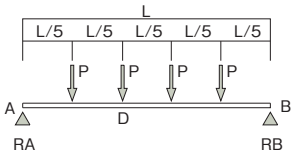
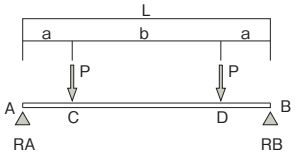
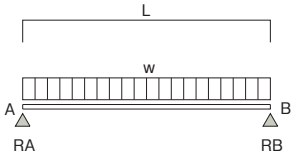
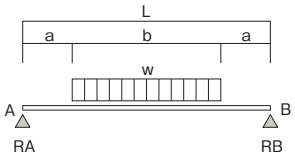
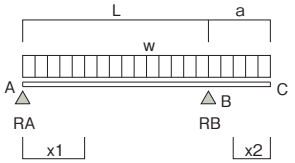
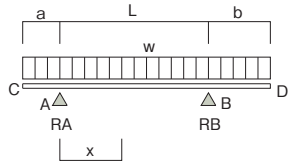
寸法(mm) t×B	単位重量 (kg/m)	断面積 (cm^2)	断面2次モーメント (cm^4)	断面2次半径 (cm)	断面係数 (cm^3)	弾性係数 (N/cm^2)	許容値(N/cm^2)		
							圧縮	曲げ	せん断
12×1,000(繊維方向)	7.716	120.00	14.400	0.346	24.0	7×10^5	1,294	2,401	
(直角方向)						3.3×10^5	1,137	1,597	
15×1,000(繊維方向)	9.645	150.00	28.125	0.433	37.5	7×10^5	1,294	2,401	
(直角方向)						3.3×10^5	1,137	1,597	
18×1,000(繊維方向)	11.574	180.00	48.600	0.520	54.0	7×10^5	1,294	2,401	
(直角方向)						3.3×10^5	1,137	1,597	

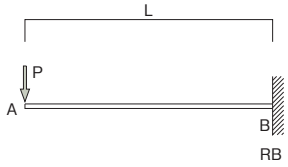
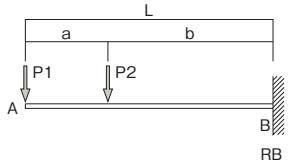
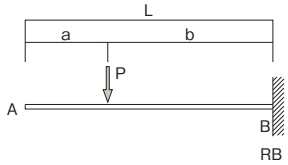
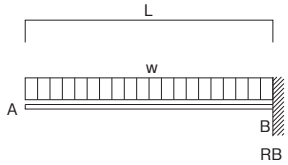
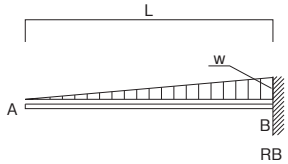
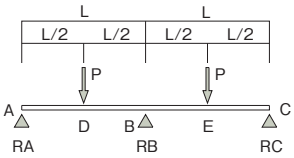
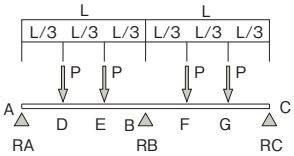
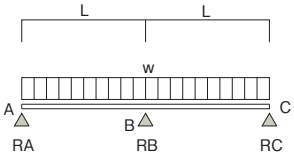
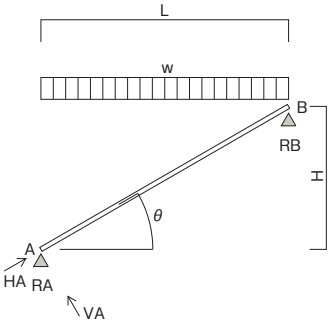
●桟木・端太角

(材質:松・栂　許容値:中期)

寸法(mm) H×B	単位重量 (kg/m)	断面積 (cm^2)	断面2次モーメント (cm^4)	断面2次半径 (cm)	断面係数 (cm^3)	弾性係数 (N/cm^2)	許容値(N/cm^2)		
							圧縮	曲げ	せん断
48×24(X−X)	0.992	11.52	22.118	1.386	9.216	7×10^5			
(Y−Y)			5.530	0.693	4.608	7×10^5			
50×25(X−X)	1.000	12.50	26.042	1.443	10.417	7×10^5			
(Y−Y)			6.510	0.722	5.208				
60×30(X−X)	1.440	18.00	54.000	1.732	18.000	7×10^5	1,176	1,323	103
(Y−Y)			13.500	0.866	9.000				
90×90	6.480	81.00	546.750	2.598	121.500	7×10^5			
100×100	8.000	100.00	833.333	2.887	166.667	7×10^5			
105×105	8.820	110.25	1,012.922	3.031	192.938	7×10^5			

梁の公式

荷重･形状　条件	反力 R･せん断力 Q･全荷重 W	曲げモーメント M	たわみ　δ
	$RA=RB=\frac{P}{2}$ $QA=-QB=\frac{P}{2}$ $W=P$	$MC=\frac{PL}{4}$	$\delta C=\frac{PL^3}{48EI}$
	$RA=QA=\frac{Pb}{L}$ $RB=-QB=\frac{Pa}{L}$ $W=P$	$MC=\frac{Pab}{L}$	$\delta C=\frac{Pa^2b^2}{3EIL}$
	$RA=RB=P$ $QA=-QB=P$ $W=2P$	$MC=\frac{PL}{3}=Mmax$	$\delta max=\frac{23PL^3}{648EI}$ (はりの中央部) $\delta C=\frac{5PL^3}{162EI}$
	$RA=RB=\frac{3P}{2}$ $QA=-QB=\frac{3P}{2}$ $W=3P$	$MC=\frac{PL}{2}$	$\delta C=\frac{19PL^3}{384EI}$
	$RA=RB=2P$ $QA=-QB=2P$ $W=4P$	$MD=\frac{3PL}{5}=Mmax$	$\delta max=\frac{63PL^3}{1000EI}$ (はりの中央部)
	$RA=RB=P$ $QA=-QB=P$ $W=2P$	$Mmax=Pa$	$\delta max=\frac{Pa}{24EI}(3L^2-4a^2)$ (はりの中央部) $\delta C=\frac{Pa^2}{6EI}(3L-4a)$
	$RA=RB=\frac{wL}{2}$ $QA=-QB=\frac{wL}{2}$ $W=wL$	$Mmax=\frac{wL^2}{8}$　(はりの中央部)	$\delta max=\frac{5wL^4}{384EI}$ (はりの中央部)
	$RA=RB=\frac{w(L-2a)}{2}$ $QA=-QB=\frac{w(L-2a)}{2}$ $W=w(L-2a)$	$Mmax=\frac{w(L^2-4a^2)}{8}$ (はりの中央部)	$m=1-\frac{2a}{L}$ とし $\delta max=\frac{wL^4}{384EI}(8m-4m^2+m^4)$ (はりの中央部)
	$RA=\frac{w(L^2-a^2)}{2L}$ $RB=\frac{w(a+L)^2}{2L}$ $Qx1=RA-w\cdot x1$　$Qx2=w\cdot x2$	$MB=-\frac{wa^2}{2}$ $Mmax=RA\cdot xo-\frac{w\cdot xo^2}{2}$ 但し $xo=\frac{L^2-a^2}{2L}$	$\delta C=\frac{wa^4}{8EI}+\frac{wLa}{24EI}(4a^2-L^2)$ $\delta O=\frac{5wL^4}{384EI}-\frac{MBL^2}{16EI}$ (AB間中央部)
	$RA=\frac{w(a+L)^2-wb^2}{2L}$ $RB=\frac{w(b+L)^2-wa^2}{2L}$ $QA=RA-wa$　$QB=wb-RB$ (AB材)	$MA=-\frac{wa^2}{2}$ $MB=-\frac{wb^2}{2}$ $Mx=RA\cdot x-\frac{w}{2}(a+x)^2$	$\delta O=\frac{5wL^4}{384EI}-\frac{(MA+MB)L^2}{16EI}$ $\delta C=\frac{wa^4}{8EI}-\theta A\cdot a$ 但し $\theta A=\frac{wL}{24EI}(L^2-4a^2-2b^2)$

荷重･形状　条件	反力 R･せん断力 Q･全荷重 W	曲げモーメント M	たわみ　δ
	RB=P QB=−P W=P	MB=−PL	$\delta A=\frac{PL^3}{3EI}$
	RB=P1+P2 QB=−(P1+P2) W=P1+P2	MB=−(P1L+P2b)	$\delta A=\frac{P1L^3}{3EI}+\frac{P2b^2}{6EI}(3L-b)$
	RB=P QB=−P W=P	MB=−Pb	$\delta A=\frac{Pb^3}{3EI}(1+\frac{3a}{2b})$
	RB=wL QB=−wL W=wL	$MB=-\frac{wL^2}{2}$	$\delta A=\frac{wL^4}{8EI}$
	$RB=\frac{wL}{2}$ $QB=\frac{wL}{2}$ $W=\frac{wL}{2}$	$MB=-\frac{wL^2}{6}$	$\delta A=\frac{wL^4}{30EI}$
	$RA=QA=\frac{5}{16}P$ $RB=\frac{11}{8}P$ $QBD=-QBE=-\frac{11}{16}P$	$MB=-\frac{3}{16}PL$ $MD=ME=\frac{5}{32}PL$	$\delta max=\frac{PL^3}{48\sqrt{5}\,EI}$ $\delta D=\delta E=\frac{7PL^3}{768EI}$
	$RA=QA=\frac{2}{3}P$ $RB=\frac{8}{3}P$ $QBD=-QBE=-\frac{4}{3}P$	$MB=\frac{1}{3}PL$ $MD=MG=\frac{2}{9}PL$ $ME=MF=\frac{1}{9}PL$	$\delta D=\delta G=\frac{7PL^3}{486EI}$
	$RA=QA=\frac{3}{8}wL$ $RB=\frac{5}{4}wL$ $QBD=-QBE=\frac{5}{8}wL$	$MB=-\frac{1}{8}wL^2$ $MD=ME=\frac{9}{128}wL^2$ (x=3/8 L にて)	$\delta max=\frac{wL^4}{185EI}$ (x=3/8 L にて)
	W=wL $RA=RB=\frac{W}{2}$ $HA=\frac{W}{2}\sin\theta$ $QA=QB=\frac{W}{2}\cos\theta=VA$	$MB=-\frac{1}{8}wL^2$	$\delta max=\frac{5wL^4}{384EI(\cos\theta)^2}$

枠組足場の計画と設計

1. 枠組足場の概要

枠組足場は、米国で開発された足場であるが、米国における有力メーカーの一つであるBEATTY SAFWAY SCAFFOLD inc.の技術が昭和27年に紹介され、昭和30年からわが国で、ビティ式枠組足場が本格的に製造販売を開始された。
しかし、当時の足場は、丸太足場から単管足場に切り替りつつある時期であり、単管足場より割高だったため、造船所のドック内の船首、船尾の作業足場や、短時間で組立、解体を要求される銀行等の内部足場、ローリング足場として、枠組足場が利用されたにすぎなかった。
一方、土木工事においては、枠組足場の特性である脚管荷重に対する抵抗性が高く、しかも、組立、解体の迅速容易なこと、安全性が高い等から高性能が導入と同時に認められ、外足場にさきがけ地下鉄工事、高速道路の床版工事、階高の高い建築の床版工事の支保工として利用された。
このように、建築工事、土木工事にと徐々に普及することにより我が国における建築様式、日本人の体格にあった仕様寸法を採用する等、種々の改良が加えられ、高さ1,700mm、幅914mm、762mm、610mmの外足場専用建て枠が開発された。
その他、現場のニーズによって、布枠、鋼製布板、アサガオ、養生枠、等わが国独自の製品を開発し、建設作業に完全にマッチし、システム化した足場が完成された。
昭和32年には、JIS8951鋼管足場が制定され、続いて昭和38年には、労働安全衛生規則の中に枠組足場による支保工、足場の項が入り、枠組足場はもう建設工事に欠くことの出来ない機材となった。
枠組足場の主たる構成は、建枠、筋かい、布枠、連結ピン、アームロック、ジャッキーベースからなっている。建枠の寸法は、幅610mm、762mm、914mm、1,219mm、1,524mmで高さは914mm、1,219mm、1,524mm、1,700mm、1,930mm、筋かいスパンは、1,829mmが多く使用されている。

2. 枠組足場の材料

2-1. 鋼管

枠組足場に使用する鋼管の材料は、JISG-3444（一船構造用炭素鋼鋼管）の2種および3種に規程するものとし、その種類（記号）、寸法、重量などは下記のとおりである。

表-1.　枠組足場に使用する鋼管材

種類	寸法(mm) 外径	寸法(mm) 厚さ	重量(kg/m)	断面積(cm^2)	断面係数(cm^2)	断面二次モーメント(cm)	回転半径(cm)
3種 STK-500	48.6	2.4	2.74	3.48	3.84	9.32	1.64
3種 STK-500	42.7	2.5	2.49	3.15	3.00	6.40	1.42
3種 STK-500 2種 STK-400	34.0	2.2	1.73	2.20	1.64	2.79	1.13
〃	27.2	1.9	1.19	1.51	0.89	1.22	0.90
〃	21.7	1.9	0.93	1.18	0.54	0.59	0.70

（注）外径48.6φ、42.7φは、枠の柱材に使用し、その他は枠の補鋼材、筋かいに使用している。

表-2.　化学成分

種類	記号	化学成分(%) C	Si	Mn	P	S
3種	STK-500	0.30 以下	0.35 以下	0.25 ～0.60	0.040 以下	0.040 以下
2種	STK-400	—	—	—	0.050 以下	0.060 以下

表-3.　機械的性質および許容応力度

種類	記号	引張試験 引張強さ kg/mm	引張試験 降伏点 kg/mm	許容応力度 引張 kg/mm	許容応力度 圧縮 kg/mm	許容応力度 曲げ kg/mm	許容応力度 切断 kg/mm	許容応力度 支圧 kg/mm
3種	STK-500	51 以上	36 以上	22	22	22	18	42
2種	STK-400	41 以上	24 以上	16	16	16	13	30

（注）許容応力度については労働安全衛生規則より。

2-2. 鋼管以外の鋼材の機械的性質および許容応力度

労働安全衛生規則第24条の許容応力の値の取りかたが規定され、同規定に準じて求めたものである。なお、鋼材の許容座屈応力の値は、次の式より計算した値以上とすること。

$$\frac{l}{i} \leqq 100 \text{ の場合} \quad \sigma c = \sigma - (\sigma - 1000)\left(\frac{1}{100i}\right)$$

$$\frac{l}{i} > 100 \text{ の場合} \quad \sigma c = \frac{1000}{\left(\frac{l}{100i}\right)}$$

これらの式において、l、i、σおよびσcはそれぞれ次の値を表わすものとする。

l 支柱の長さ(支柱が水平方向の変位を拘束されているときは、拘束点間の長さのうち最大の長さ(単位:センチメートル)

i 支柱の最少断面二次半径(単位:センチメートル)

σ 許容圧縮応力の値
(単位:一平方センチメートルにつきキログラム)

σc 許容座屈応力の値
(単位:一平方センチメートルにつきキログラム)

表-4. 鋼材の機械的性質と許容応力度

種類		記号	引張強さ kg/cm²	降伏点 kg/cm²	許容応力度(kg/cm²)				
					引張り	圧縮	曲げ	切断	支圧
一般構造用圧延鋼材	1種	SS300	34～44	18～21	13	13	13	10	24
	2種	SS400	41～52	22～25	16	16	16	13	30
	3種	SS500	50～62	26～29	20	20	20	16	38
溶接構造用圧延鋼材	1種	SM400A SM400B SM400C	41～52	22～25	16	16	16	13	30
	2種	SM500A SM500B SM500C	50～62	〃	22	22	22	18	42
建築構造用冷間成形軽量形鋼	—	SSC400	41～55	25	16	16	16	13	30

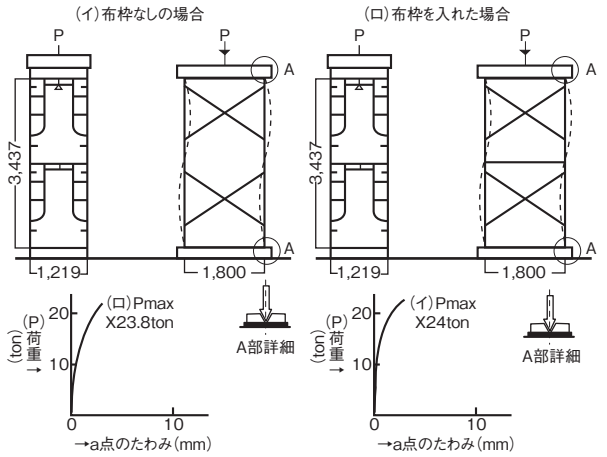
2-1. 木材の許容応力度

表-5. 木材の許容応力度

	繊維方向					直角方向	
	引張り	圧縮	曲げ	切断	支圧	切断	支圧
おかまつ、くろまつ、からまつ、ひば、ひのき、つか、べいひ、べいまつ	120	140	140	10.5	120	20	25
すぎ、もみ、えぞまつ、とどまつ、べいすぎ、べいつが	105	90	105	7.5	90	15	18
かし	195	135	195	21	140	30	45
くり、なら、ぶな、けやき	150	105	150	15	110	24	36

3. 枠組足場の強度と許容荷重

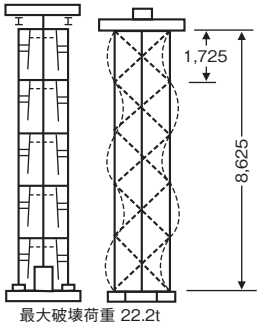
図-1. 2層垂直荷重試験



枠組足場の強度については、計算で求めることもできるが、不安定な要表が多いため、正確な値を算出することはできないので現状では実験をもとにして、枠の許容耐力を決めているのが実状である。

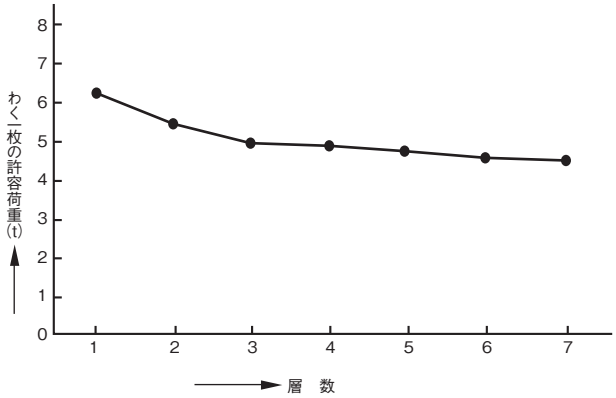
3-1. 強度試験

図-2. 5 層垂直荷重試験



一般的には、3～5層のときの強度を基準強度として、1層のときは25%増、2層のときは10%の強度が割り増しされるといわれているが、これは上下端の状況により大きく左右される要素をもつ値であり、安全を確保する意味から、1～2層用のときでも基本強度（1枠5t）以内で使用するべきである。

図-3. 枠の層数と強度許容荷重



3-2. 計算方法

計算式は、「型枠支持用の枠組支保工の強度について」労働省産業安全研究所発行を参考にした。

KA-4055B型脚管荷重における座屈計算式は

○枠の断面2次モーメント

$$I = 2I_0 + nI_1 \frac{h_1}{h_0} \quad \cdots\cdots\cdots (1)$$

I_0　脚柱材の断面2次モーメント……6.19cm^4

I_1　補強材の断面2次モーメント……1.22cm^4

n　補強材の本数 ……2 本

h_0　一層当りの層高（連結ピンを含む）……172.5cm

h_1　補強材の脚柱材の肘影長 ……117.0cm

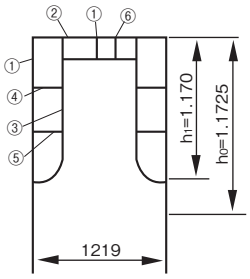
(1) 式より

$$I = 6.19 + 2 \times 1.22 \times \frac{117.0}{172.5} = 14.03\,(\mathrm{cm}^4)$$

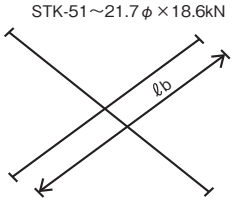
○枠の基本強度

$$P_0 = \frac{\pi^2 E}{h_0^2} \cdot I$$

$$\therefore P_0 = \frac{3.14^2 \times 2.1 \times 10^6}{172.5^2} \times 14.03 = 95.7\,(\mathrm{kN})$$



記号	寸法	材質
1	42.7φ×2.4t	STK-51
2	42.7φ×2.4t	〃
3	27.2φ×1.9t	〃
4	27.2φ×1.9t	〃
5	42.7φ×2.4t	〃
6	27.2φ×1.9t	〃
7	FB6^1×50	SS-41



○筋かい必要剛度

$$\frac{I_b}{I} \cdot \frac{h_0}{l_b} > 0.03 \quad \cdots\cdots (2)$$

筋かいの材料を21.7φ×18.6kNとして計算

I_b　筋かいの断面2次モーメント ……0.58cm^4

I　枠の断面2次モーメント ……14.03cm^4

h_0　一層当りの層高……172.5cm

l_b　筋かいの座屈長……219.8cm

(2) 式より

$$\frac{0.58}{14.03} \times \frac{172.5}{219.8} = 0.0324 > 0.03$$

故に筋かいは座屈しない。

以上のように、計算値と実験値とは10%内外の違いはあるが、計画の一つの目安として、この計算式を利用すると非常に便利であり広く利用されている。

○枠の層数の関係

これまでの実験の結果、3～5層の座屈強度と2～1層との強度は、同じ枠の場合でも異なっている。

図4. 枠の荷重のかける位置による強度の低下

荷重点は100×100のバタ材使用

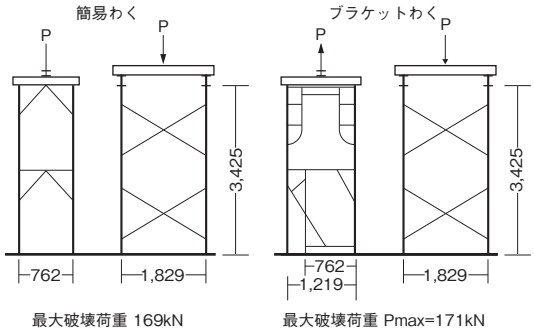
荷重点	P/2 P/2	P/2 P/2	P/2 P/2	P/2 P/2	P	P
枠1枚の最大荷重Pmax	98.0(kN)	89.2	73.5	49.0	29.4	22.1
許容荷重	49.0(kN)	34.3	29.4	19.6	11.8	9.8

4. 特殊枠と強度の許容荷重

特殊わくとは敷地、道路占用許可の関係で足場の幅を900mmとし、下より3層目にブラケット枠を使用して、それより一般枠を使用する場合に用いる枠で、鳥居型タイプより強度は低下する。

4-1. 試験結果

図5. 特殊枠の強度の試験結果



※ブラケット枠の試験は、試験方法によっていちじるしくかわる。

4-2. 特殊枠の許容荷重

一般的には表-6.の許容荷重内で使用すること。

表-6. 特殊枠の許容荷重

枠名	幅(mm)	高さ(mm)	最大破壊荷重kN(2段)	許容荷重kN(1枚)
簡易枠	620、762	1,700	169	34.3
ブラケット枠	762、1,219	1,700	171	34.3

5. 付属金具の強度および許容荷重

足場の付属金具としてクランプ、ジャッキベースがあるが、その強度および耐力は次のとおりである。

表-7. 付属金具の強度および許容荷重

名称	成能				許容荷重(kN)
	すべり試験の最大荷重(kN)	回転角10°に達したときの荷重(kN)	最大荷重(kN)	垂直荷重に対する最大荷重(kN)	
直行型クランプ	5.88以上	9.80以上	14.7以上	——	2.94
自在型クランプ	5.88以上	7.35以上	9.80以上	——	2.94
ジャッキベース	——	——	——	9.80以上	49.0

6. 枠組足場の積載荷重の制限

枠組足場の布枠および布板については、1スパンにつき等分布荷重で3.92kN/1.8m以下とし、中央集中荷重のときは1.96kNを限定とする。

つぎに枠組足場の同時積載層数であるが、下より全部の枠が高さ1.7mの枠で組立てられたとき、枠の自重、アサガオ、シート、養生金網などの自重および風荷重等から安全を考え表-8.の数値以下に使用することが望ましい。また枠組足場の下部にブラケット枠を使用しているときは、さらに表の0.7倍に低下して使用することが望ましい。

1 層の部材自重

型式	名称	重量(kg)
A-4055B	建わく	15.6
A-20	ピン2本	1.1
A-127A	アームロック2本	0.9
A-14	筋違2本	8.4
BKN-6	布板2枚	31.8
		計 57.8
		約 58(kg)

最上部部材自重

A-126	アームロック	0.6
A-25	手摺柱	2.3
A-31S	手摺2本	33.4
		計 36.3
		約 37(kg)

表-8. わく組足場の積載荷重

足場層数	足場高さ(mm)	部材重量(kg)	全重量(部材重量+作業重量)(kg) 作業床重量			
			4層同時作業 4000kg×4=1600kg	3層同時作業 400kg×3=1200kg	2層同時作業 400kg×2=800kg	1層作業 400kg
1	1,725	65	—	—	—	465
5	8,625	297	1,897	1,497	1,097	697
10	17,250	587	2,187	1,787	1,387	987
11	18,975	645	2,245	1,845	1,445	1,045
12	20,700	703	2,303	1,903	1,503	1,103
13	22,245	761	2,361	1,961	1,561	1,161
14	24,150	819	2,419	2,019	1,619	1,219
15	25,875	877	2,477	2,077	1,677	1,277
16	27,600	935	2,535	2,135	1,735	1,335
17	29,325	993		2,193	1,793	1,393
18	31,050	1,051		2,251	1,851	1,451
19	32,775	1,109		2,309	1,909	1,509
20	34,500	1,169		2,369	1,969	1,567
21	36,225	1,225		2,425	2,025	1,625
22	37,950	1,283		2,483	2,083	1,683
23	39,675	1,341			2,141	1,741
24	41,400	1,399			2,199	1,799
25	43,125	1,457			2,257	1,857
26	44,850	1,515			2,315	1,915
27	46,575	1,573			2,373	1,973
28	48,300	1,631			2,431	2,031
29	50,025	1,689				2,089
30	51,750	1,747				2,147
31	53,475	1,805				2,205
32	55,200	1,863				2,263
33	56,925	1,921				2,321
34	58,650	1,979				2,379
35	60,375	2,037				2,437

7 枠組足場の組立て上の注意事項

7-1. 基礎

1段目の組立てで全足場が支配されるので、1段目の組立てには細心の注意を払うこと。
建枠の下端には、ジャッキベースを取り付け、各建枠を常に水平垂直に保たなければならない。
ジャッキベースの下には、適当な接地面積を有する敷板を設け、そのうえクギでベース板を固定すること。

7-2. 布枠

最上層および5層以内ごとの箇所に布枠を設けるよう安全規則で規定しているが、この規定は壁つなぎのある層の布枠を設け、足場の水平剛度をもたせる主旨であるので、壁つなぎと布枠をばらばらに取り付けた場合は、足場全体の剛度は半減する。布枠のかわりに板付布枠を使用する場合には、板付布枠を2枚敷きならべ、すきまのないよう配慮する。
なお、布枠、布板のつかみ金具は完全にロックさせ、下面からの吹上げに対しても外れないように十分確認する必要がある。サビついて落下錠が作動しないときもあるので、かならず落下錠の確認すること。

7-3. 交さ筋かい

各建枠間に交さ筋かいを設ける前踏み側の筋かいも、作業上必要であるので、一部を取り外しても作業後ただちに原型に復しておくこと。
作業上やむをえず前踏み側の筋かいを取り去るときはその部分の上下には、かならず布枠を入れること。
長期にわたり前踏み側の筋かいを取り外すときは、かならず各段に枠幅の布枠か布板を入れることはもちろんのこと、前踏み側に堕落事故のないよう手摺、ネット等の処置をすべきである。
前踏み側の筋かいのない場合の枠組足場の強度は、両側筋かいを入れたときよりも30～40%（枠1枚の許容耐力約3.5t）に低下することが実験でも確認されている。

7-4. 建枠の連結

建枠の連結は、アームロックにする方式の他に、回転式のもの、ピン式のものなどあるが、回転式、ピン式のものは忘れがちであるので、ロックされているかどうかかならず確認する必要がある。

7-5. 壁つなぎ

労働安全衛生規則には、下記のように壁つなぎを取ることを規定しているが、この間隔は、足場にシートを張っていないときの最低取り付け基準である。
都会地での建設現場では落下物による危害防止の規定などにより、足場には養生金網、シート、アサガオを取り付けて作業する現場が多いので、風荷重、偏心荷重等を考慮して、壁つなぎ間隔を小さくすることが必要かと思われる。

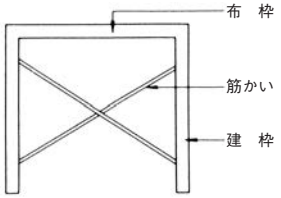
表-9. 壁つなぎの取り付け間隔

	垂直	水平	面積
枠組足場	9m	8m	72m²

（労安規　第109条2の5）

（イ）風力係数の検討

0.05×1.8＝0.09
0.0217×2×2.198＝0.095
0.0427×2×1.725＝0.147
計　0.332



建設用リフト構造規格等第3節第11条4項より風の方向に対し、第2面のうち第1面と重なっている部分の60%の面積を受圧面積として加算するとあり

$\therefore A=0.332\times1.6=0.5312m^2$

枠高さ1m当りの受圧面積は

$$A_1=A\times\frac{1}{1.725}=0.5312\times\frac{1}{1.725}=0.308m^2/m$$

$$充実率は\ \tau=\frac{0.297}{1.829\times1}=0.163$$

表-10.

風を受ける面の種類	充実率	風力係数
平面ラチスまたは平面トラスより構成される面	0.1未満	2.0
〃	0.1～0.3未満	1.8
〃	0.3～0.9未満	1.6
〃	0.9以上	2.0
平面により構成される面	——	1.2

故に、枠組足場の場合は、風力係数C＝1.8とする。

（ロ）シートの張っていないときの風荷重

条件として、
3層、4スパンごとに耐力500kgの壁つなぎを使用。
面積A＝3×4×0.5312＝6.37m²
W＝q.C.A.に代入すると
500＝q.　1.8×6.37
∴q＝43.6（kg/m²）

$$\therefore q=\frac{v^2}{30}\cdot\sqrt{h}$$

h＝30とすると　v＝23.6（m/sec）

表-11. 速度圧

q(kg/m²)

風速＼高さ m	20	30	40	50
16	17.4	19.6	21.2	22.5
35	8	93.2	10	106.5

（ハ）シートの張ってある場合の風荷重

条件として
2層、2スパンごとに耐力300kgの壁つなぎを使用。
面積A＝1.829×2×1.725×2≒12.7m²
W＝q.C.A

500 ＝q.　1.2×12.7

∴q＝19.7（kg/m²）

$$q = \frac{v^2}{30} \cdot {}^2h$$

h＝30とすると、v＝20.5（m/sec）

以上の計算より、壁つなぎの1本の耐力を500kgとすると、シートのない場合は、3層、4スパン（38cm²）ごとにシートを張る場合は、2層、2スパン（12.7m²）ごとに養生枠取付の場合は3層、3スパン（2Zm²）ごとに壁つなぎを設ける必要があると思われる。

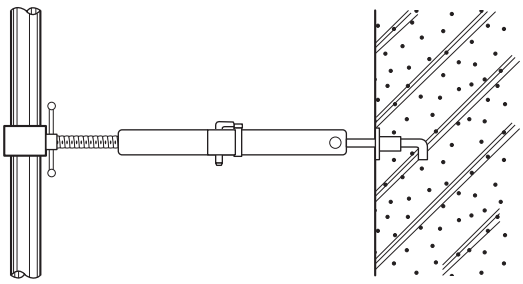
（ニ）壁つなぎの耐力

壁つなぎは、足場の倒壊を防止する部材として、非常に重要なもので必ず仮設工業会の認定合格品を使用すること。どうしても、特殊構造のため、認定合格品を使用出来ない場合は、認定基準に示す圧縮、引張最大試験強度1,000kg値以上に耐える構造であることを確認の上使用すること。
また壁つなぎの壁側取付部も、これと同等の耐力がなければならない。

（ホ）建枠への取付部

壁つなぎの建枠への取付けは、できるだけ建枠のジョイント部に取り付けること。
建築物の関係でやむを得ず、建枠の建地中央部に壁つなぎを取り付けなければならないときは、簡易枠に限って壁つなぎにかかる荷重に耐えるように、建地の補強を行なうこと。

図-6. 壁つなぎ金具



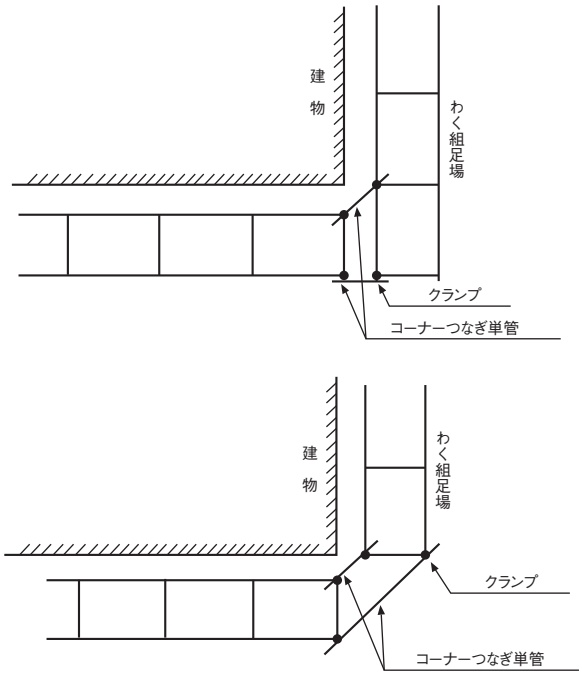
7-6. 足場の高さ

旧JISA8951鋼管足場の中に、足場の高さは原則として、45mを越えてはならないとあるが、壁つなぎを計画どおりにしっかり取り付け、積載荷重も同時作業を400kg 2層以内で48m、積載荷重を400kg 1層だけにした場合は60mまで安全である。シート、養生金網、アサガオの有無で、この高さはさらに延ばすことができるので、これ以上の高さの足場が必要な場合には、専門技術者と十分検討すること。
なお、労働安全衛生規則第109条には、高さ20mを越えて場合、および重作業を行なう場合は、耐力上重要な建枠の高さ2m以下とし、かつその建枠の間隔を1.85m以内とする規定があるので、十分注意すること。

7-7. コーナーのつなぎ

枠組足場のコーナーには、単管とクランプにつなぎ材を設けて双方の建枠を緊結する。

図-7. コーナーのつなぎ（例）



7-8. 登桟橋

（1）登桟橋の幅は、できるだけ広くとり、こう配は30度以下とする。踊り場は、高さ7m（枠4層）以内ごとに設ける。
（2）こう配度15以上の登桟橋の踏み板には、断面1.5cm×3cm程度のすべり止めを30cm内外の間隔に設ける。
（3）桟橋にそって高さ90cm以上のところに単管とクランプにて手摺を設けること。

7-9. 簡易枠とブラケット枠併用の時の注意

(1) 簡易枠とブラケット枠との接合箇所（図8中A点）には、各枠列ごとにかならず圧縮に強い壁つなぎを取付けること。

(2) ブラケット枠と鳥居型枠との接合箇所の各列とも壁つなぎを設けること。この層を基準にして、4層4列、2層2列に壁つなぎを設けること。

(3) ブラケット枠の水平構
ブラケット枠上部の水平変位防止のためブラケット上部列に布枠、布板を設けること。

7-10. アサガオ取付け上の注意

アサガオを取付けることによって、足場の片側に荷重がかかり偏荷重となるため、その部分には、壁つなぎを密に設ける必要がある。

国土交通省の定める建設工事公衆災害防止対策要綱によれば、次の各号に掲げる落下物による危害防止のための防護柵等を設置しなければならない。

(1) 建築工事等を行う部分が、地盤面からの高さが10メートル以上の場合にあっては1段以上、20メートル以上の場合にあっては2段以上設けること。

(2) 最下段の防護棚は、建築工事等を行う部分の下10メートル以内の位置に設けること。

(3) 防護棚は、すき間がないもので、落下の可能性のある資材等に対し十分な強度及び耐力を有する適正な構造であること。

(4) 各防護棚は水平距離で2メートル以上突出させ、水平面となす角度を20度以上とし、風圧、振動、衝撃、雪荷重等で脱落しないよう骨組に堅固に取り付けること。

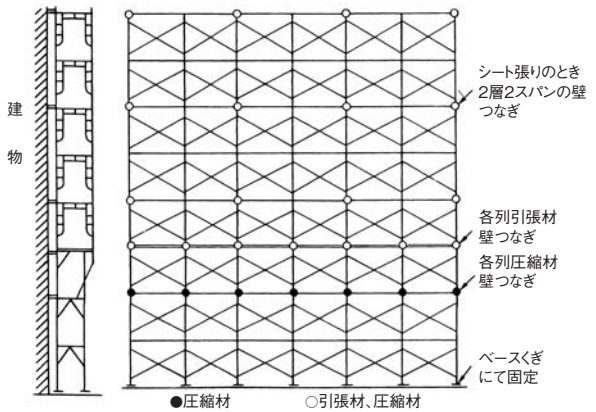
7-11. その他の施工についての注意

(1) 足場組立図面はかならず作成し、工場担当者は、この図面をもとに正確に足場を組立てる。

(2) 前踏みは、後踏みよりいくらか低くめになるよう組立てる。

(3) ひさしの上に足場を設けるときは、ひさしが上部からの荷重に耐えるかどうかチェックし、耐力不足の場合は、ひさしの下に有効な支柱を設けること。なお、参考に足場の高さに対する荷重早見表（KA-4055BC）を表-12.に示す。

図-8. ブラケット枠、簡易枠使用のときの壁つなぎ



拡幅わく使用のときの壁つなぎ

図-9. アサガオを取付けた場合の壁つなぎの取り方

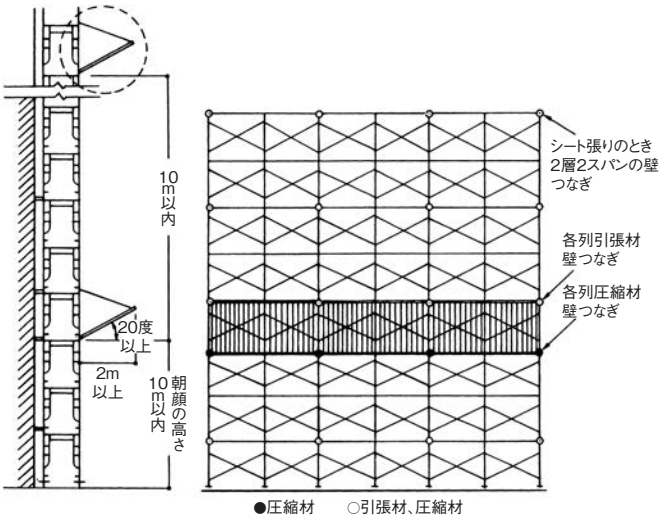


表-12

A. 自重及び一層分の部材自重

				(N)
①	A-4055BC	建枠		152.88
②	A-20	ピン	2本	10.78
③	A-127A	アームロック	2枚	8.82
④	A-14	筋違	2本	82.32
⑤	BKN-6	布板	2枚	309.68
			計	564.48（N）
			約	0.57（kN）

B. その他荷重

a	作業荷重	3920N×2＝7840N
b	手摺柱	22.54
c	手摺	2 本 33.32
d	アームロック	5.88
	計	≒ 7901.74（N）
	約	7.90（kN）

層数	高さ(mm)	Ⓐ 部材重量(kN)	Ⓑ その他荷重(kN)	(Ⓐ+Ⓑ) 全荷重(kN)
1	1,725	0.57	4.00	4.57
2	3,450	1.14	7.90	9.04
3	5,175	1.71	〃	9.61
4	6,900	2.28	〃	10.18
5	8,625	2.85	〃	10.75
6	10,350	3.42	〃	11.32
7	12,075	3.99	〃	11.89
8	13,800	4.56	〃	12.46
9	15,525	5.13	〃	13.03
10	17,250	5.70	〃	13.60
11	18,975	6.27	〃	14.17
12	20,700	6.84	〃	14.74
13	22,425	7.41	〃	15.31
14	24,150	7.98	〃	15.88
15	25,875	8.55	〃	16.45
16	27,600	9.12	〃	17.02
17	29,325	9.69	〃	17.59
18	31,050	10.26	〃	18.16
19	32,775	10.83	〃	18.73
20	34,500	11.40	〃	19.30
21	36,225	11.97	〃	19.87
22	37,950	12.54	〃	20.44
23	39,675	13.11	〃	21.01
24	41,400	13.68	〃	21.58
25	43,125	14.25	〃	22.15
26	44,850	14.82	〃	22.72
27	46,575	15.39	〃	23.29
28	48,300	15.96	〃	23.86
29	50,025	16.53	〃	24.43
30	51,750	17.10	〃	25.00
31	53,475	17.67	〃	25.57
32	55,200	18.24	〃	26.14
33	56,925	18.81	〃	26.71
34	58,650	19.38	〃	27.28
35	60,375	19.95	〃	27.85
36	62,100	20.52	〃	28.42

層数	高さ(mm)	Ⓐ 部材重量(kN)	Ⓑ その他荷重(kN)	(Ⓐ+Ⓑ) 全荷重(kN)
37	63,825	21.09	7.90	28.99
38	65,550	21.66	〃	29.56
39	67,275	22.23	〃	30.13
40	69,000	22.80	〃	30.70
41	70,725	23.37	〃	31.27
42	72,450	23.94	〃	31.84
43	74,175	24.51	〃	32.41
44	75,900	25.08	〃	32.98
45	77,625	25.65	〃	33.55
46	79,350	26.22	〃	34.12
47	81,075	26.79	〃	34.69
48	82,800	27.36	〃	35.26
49	84,525	27.93	〃	35.83
50	86,250	28.50	〃	36.40
51	87,975	29.07	〃	36.97
52	89,700	29.64	〃	37.54
53	91,425	30.21	〃	38.11
54	93,150	30.78	〃	38.68
55	94,875	31.35	〃	39.25
56	96,600	31.92	〃	39.82
57	98,325	32.49	〃	40.39
58	100,050	33.06	〃	40.96
59	101,775	33.63	〃	41.53
60	103,500	34.20	〃	42.10
61	105,225	34.77	〃	42.67
62	106,950	35.34	〃	43.24
63	108,675	35.91	〃	43.81
64	110,400	36.48	〃	44.38
65	112,125	37.05	〃	44.95
66	113,850	37.62	〃	45.52
67	115,575	38.19	〃	46.09
68	117,300	38.76	〃	46.66
69	119,025	39.33	〃	47.23
70	120,750	39.90	〃	47.80
71	122,475	40.47	〃	48.37
72	124,200	41.04	〃	48.94

各種枠別荷重表（但し両面筋違使用の場合）

部材名＼型式		A-4017SC	A-6155AC	A-2655AC	A-3055AC
枠		103.88	110.74	113.68	133.28
A-20A		10.78	10.78	10.78	10.78
A-127A		8.82	8.82	8.82	8.82
A-14		82.32	82.32	82.32	82.32
BKN-6		—	154.84	154.84	154.84
BKN-64		—	—	—	89.18
BKN-8		147	—	—	—
小計(A)		0.35kN	0.37kN	0.37kN	0.48kN
作業荷重		7,840	7,840	7,840	7,840
A-25		22.54	22.54	22.54	22.54
A-31		33.32	33.32	33.32	33.32
A-126		5.88	5.88	5.88	5.88
小計(B)		7.9kN	7.9kN	7.9kN	7.9kN
層数	高さ(m)				
10	17.25	11.4	11.6	11.6	12.7
20	34.5	14.9	15.3	15.3	17.5
30	51.75	18.4	19	19	22.3
40	69	21.9	22.7	22.7	27.1
50	86.25	25.4	26.4	26.4	31.9
60	103.5	28.9	30.1	30.1	36.7
70	120.75	32.4	33.8	33.8	41.5
許容荷重		34.3kN	34.3kN	34.3kN	49kN

施工上の注意

1) 壁つなぎは、A-4017(3層～3スパン)、A-3055A、A-2655A(5層、3スパン)、A-633A(5層、4スパン)以内とする。
2) 片面筋違及び、防音パネル、養生枠、朝顔等を使用の場合は、充分強度チェックを行なって下さい。

製品カタログの記載内容及び技術面の疑問な点等がございましたら、弊社までお問い合わせ下さい。

労働安全衛生規則（抜粋）

第1編　通　則

第9章　監督等

（計画の届出をすべき機械等）

第85条　法第88条第1項の厚生労働省令で定める機械等は、法に基づく他の省令に定めるもののほか、別表第7の上欄に掲げる機械等とする。ただし、別表第七の上欄に掲げる機械等で次の各号のいずれかに該当するものを除く。

1　機械集材装置、運材索道（架線、搬器、支柱及びこれらに附属する物により構成され、原木又は薪炭材を一定の区間空中において運搬する設備をいう。以下同じ。）、架設通路及び足場以外の機械等（法第37条第1項の特定機械等及び令第6条第14号の型枠支保工（以下「型枠支保工」という。）を除く。）で、6月未満の期間で廃止するもの

2　機械集材装置、運材索道、架設通路又は足場で、組立てから解体までの期間が60日未満のもの

（計画の届出等）※第2項、第3項省略

第86条　事業者は、別表第7の上欄に掲げる機械等を設置し、若しくは移転し、又はこれらの主要構造部分を変更しようとするときは、法第88条第一項の規定により、様式第20号による届書に、当該機械等の種類に応じて同表の中欄に掲げる事項を記載した書面及び同表の下欄に掲げる図面等を添えて、所轄労働基準監督署長に提出しなければならない。

別表第7（第85条、第86条関係）※1~9,13~25省略

機械等の種類	事　　項	図　面
10　型枠支保工 （支柱の高さが3.5m以上のものに限る）	1.打設しようとするコンクリート構造物の概要 2.構造、材質及び主要寸法 3.設置期間	組立図 及び 配置図
11　架設通路 （高さ及び長さがそれぞれ10m以上のものに限る）	1.設置箇所 2.構造、材質及び主要寸法 3.設置期間	平面図、 側面図及び 断面図
12　足場 （吊足場、張出足場以外の足場にあっては高さが10m以上のものに限る）	1.設置箇所 2.種類及び用途 3.構造、材質及び主要寸法	組立図 及び 配置図

（建設業に係る計画の届出）

第91条　建設業に属する事業の仕事について法第88条第2項の規定による届出をしようとする者は、様式第21号による届書に次の書類及び圧気工法による作業を行う仕事に係る場合にあつては圧気工法作業摘要書（様式第21号の2）を添えて厚生労働大臣に提出しなければならない。ただし、圧気工法作業摘要書を提出する場合においては、次の書類の記載事項のうち圧気工法作業摘要書の記載事項と重複する部分の記入は、要しないものとする。

1　仕事を行う場所の周囲の状況及び四隣との関係を示す図面
2　建設等をしようとする建設物等の概要を示す図面
3　工事用の機械、設備、建設物等の配置を示す図面
4　工法の概要を示す書面又は図面
5　労働災害を防止するための方法及び設備の概要を示す書面又は図面
6　工程表

2 前項の規定は、法第88条第3項の規定による届出について準用する。この場合において、同項中「厚生労働大臣」とあるのは、「所轄労働基準監督署長」と読み替えるものとする。

第2編　安全基準

第3章　型わく支保工

第1節　材料等

（材料）

第237条　事業者は、型わく支保工の材料については、著しい損傷、変形又は腐食のあるものを使用してはならない。

（主要な部分の鋼材）

第238条　事業者は、型わく支保工に使用する支柱、はり又ははりの支持物の主要な部分の鋼材については、日本工業規格G3101（一般構造用圧延鋼材）、日本工業規格G3106（溶接構造用圧延鋼材）、日本工業規格G3444（一般構造用炭素鋼鋼管）若しくは、日本工業規格G3350（建築構造用冷間成形軽量形鋼）に定める規格に適合するもの又は日本工業規格Z2241（金属材料引張試験方法）に定める方法による試験において、引張強さの値が330ニュートン毎平方ミリメートル以上で、かつ伸びが次の表の上欄に掲げる鋼材の種類及び同表の中欄に掲げる引張強さに応じ、それぞれ同表の右欄に掲げる値となるものでなければ、使用してはならない。

鋼材の種類	引張強さ（単位ニュートン毎平方ミリメートル）	伸び（単位パーセント）
鋼管	330以上400未満	25以上
	400以上490未満	20以上
	490以上	10以上
鋼板、形鋼、平鋼又は軽量形鋼	330以上400未満	21以上
	400以上490未満	16以上
	490以上590未満	12以上
	590以上	8以上
棒鋼	330以上400未満	25以上
	400以上490未満	20以上
	490以上	18以上

【解釈例規】第238条

はりの支持物とは、はりを支持するため、あらかじめ壁、橋脚等に埋め込んだI型鋼等の部材をいう趣旨であること。なお、はりの支持物には古レールを使用しないように指導すること。（昭38.6.3基発635）

主要な部分には差込み継手、金具、パイプサポートの調節ねじ等は含まれない趣旨であること。（昭38.6.3基発635）

（型わく支保工の構造）

第239条　事業者は、型わく支保工については、型わくの形状、コンクリートの打設の方法等に応じた堅固な構造のものでなければ、使用してはならない。

第2節　組立て等の場合の措置

（組立図）

第240条　事業者は、型わく支保工を組み立てるときは、組立図を作成し、かつ、当該組立図により組み立てなければならない。

2 前項の組立図は、支柱、はり、つなぎ、筋かい等の部材の配置、接合の方法及び寸法が示されているものでなければならない。

3 前1項の組立図に係る型枠支保工の設計は、次に定めるところによらなければならない。

1 支柱、はり又ははりの支持物（以下この条において「支柱等」という。）が組み合わされた構造のものでないときは、設計荷重（型枠支保工が支える物の重量に相当する荷重に、型枠1平方メートルにつき150キログラム以上の荷重を加えた荷重をいう。以下この条において同じ。）により当該支柱等に生ずる応力の値が当該支柱等の材料の許容応力の値を超えないこと。

2 支柱等が組み合わされた構造のものであるときは、設計荷重が当該支柱等を製造した者の指定する最大荷重を超えないこと。

3 鋼管枠を支柱として用いるものであるときは、当該型枠支保工の上端に、設計荷重の100分の2.5に相当する水平方向の荷重が作用しても安全な構造のものとすること。

4 鋼管枠以外のものを支柱として用いるものであるときは、当該型枠支保工の上端に、設計荷重の100分の5に相当する水平方向の荷重が作用しても安全な構造のものとすること。

【解釈例規】第240条

第2項の「接合の方法」には、ボルト締め、溶接、緊結金具等があり、ボルト締めにあってはその本数、溶接にあってはのど厚及び溶接長さ、緊結金具にあってはその種類及び個数が示されたものであること。

第3項第3号及び第4号の趣旨は、型枠支保工の上端に設計荷重の2.5/100または5/100に相当する水平方向の荷重が作用することを想定した場合において、つなぎ、筋かいに生ずる応力の値が材料の許容応力の値を超えないよう設計を行うことであること。なお、鋼管枠を支柱として用いる型枠支保工にあっては、第242条第8号の措置が講ぜられるよう組立図に示されているものについては、第3項第3号に基づき設計が行なわれているものとして取り扱って差し支えないこと。（平4・8・24基発第480号）

第1項の「組立図」は、たとえばビル建築工事において、1の階全部について、型わく支保工の構造および使用材料を同一または近似のものとする場合にも、当該階の一部についての組立図をもって当該全部についての組立図とみなして差しつかえないこと。同様に、B階の型わく支保工の構造および使用材料をA階のものと同一または近似のものとする場合にも、A階についての組立図をもってB階についての組立図とみなして差しつかえないこと。（昭38.6.3基発635）

第3項第1号の「組み合わされた構造のものでないとき」とは、たとえば、鋼管、形鋼、丸太等の柱につなぎ、筋かい等を設け、その交さ部を鋼線、緊結した構造のものである場合をいうこと。従って、たとえばパイプサポートのような構造のものにより、または鋼管わく、ラチスばり等のように鋼材を溶接若しくは鋳接により門けい形状、梯子形状、トラスト状等の形状に製作したものにより構成されている場合は、同項第2号の「組み合わされた構造のものであるとき」に該当すること。（昭38.6.3基発635）

第3項第1号の「型わく支保工がささえる物」とは、コンクリート、鉄筋、型わく、大引き、支保工の自重をいう趣旨であること。（昭38.6.3基発635）劫

第3項第1号における「150キログラム」は、コンクリートの打設の作業を行なう場合のカート足場、猫車、作業者等の重量を考慮したものであるが、この数値はあくまで最低基準としての数値であるから、それぞれの現場においてはコンクリートの打設の方法、型わく支保工の形状等に適応する数値を用いるように指導すること。（昭38.6.3基発635）

第3項第1号の「支柱等に生じる応力」のうち、はりに生じる曲げ応力の値は、当該はりが単純ばりでない場合おいても、単純ばりとして算出して差しつかえないこと。（昭38.6.3基発635）

第3項2号の「製造した者の指定する最大使用荷重」が不明である場合には、原則として支柱、はり等として使用しないように指導すること。ただし、実際の使用状態に近い条件のもとで支持力試験を行ない、その結果に基づいて安全率を2以上として使用する場合には差しつかえない

ものとする。（昭38.6.3基発635）

（許容応力の値）

第241条　前条第3項第1号の材料の許容応力の値は、次に定めるところによる。

1　鋼材の許容曲げ応力及び許容圧縮応力の値は、当該鋼材の降伏強さの値又は引張強さの値の4分の3の値のうちいずれか小さい値の3分の2の値以下とすること。

2　鋼材の許容さん断応力の値は、当該鋼材の降伏強さの値又は引張強さの値の4分の3の値のうちいずれか小さい値100分の38の値以下とすること。

3　鋼材の許容座屈応力の値は、次の式により計算を行って得た値以下とする。

$\frac{\ell}{i} \leqq \Lambda$ の場合　$\sigma c = \dfrac{1-0.4(\frac{\ell}{i}/\Lambda)^2}{\nu} F$

$\frac{\ell}{i} > \Lambda$ の場合　$\sigma c = \dfrac{0.29}{(\frac{\ell}{i}/\Lambda)^2} F$

これらの式において、ℓ、i、Λ、σc、ν、及びFは、それぞれ次の値を表わすものとする。

ℓ　支柱の長さ（支柱が水平方向の変位を拘束されてΛいるときは、拘束点間の長さのうちの最大の長さ）（単位センチメートル）

i　支柱の最少断面二次半径（単位センチメートル）

Λ　限界細長比$=\sqrt{\pi^2 E/0.6F}$

ただし、π円周率

E　当該鋼材のヤング係数（単位ニュートン毎平方センチメートル）

σc　許容座屈応力の値（単位ニュートン毎平方センチメートル）

ν　安全率 $=1.5+0.57(\frac{\ell}{i}/\Lambda)^2$

F　当該鋼材の降伏強さの値又は引張強さの値の4分の3の値のうちいずれか小さい値（単位ニュートン毎平方センチメートル）

4　木材の繊維方向の許容曲げ応力、許容圧縮応力及び許容せん断応力の値は、次の表の上欄に掲げる木材の種類に応じ、それぞれ同表の下欄に掲げる値以下とすること。（表）

木材の種類	許容応力の値（単位ニュートン毎平方センチメートル）		
	曲げ	圧縮	剪断
あかまつ、くろまつ、からまつ、ひば、ひのき、つが、べいまつ又はべいつが	1,320	1,180	103
すぎ、もみ、えぞまつ、とどまつ、べいすぎ又はべいつが	1,030	880	74
かし	1,910	1.320	210
くり、なら、ぶな又はけやき	1,470	1,030	150

5　木材の繊維方向の許容座屈応力の値は、次の式により計算を行って得た値以下とすること。

$\frac{l_k}{i} \leqq 100$ の場合　$f_k = f_c(1-0.007\frac{l_k}{i})$

$\frac{l_k}{i} > 100$ の場合　$f_k = (\dfrac{0.3f_c}{\frac{l_k}{100i}})$

これらの式において、l_k・i・f_c及びf_kはそれぞれ次の値を表わすものとする。

l_k　支柱の長さ（支柱が水平方向の変位を拘束されているときは、拘束点間の長さのうちの最大の長さ）（単位センチメートル）

i　支柱の最少断面二次半径（単位センチメートル）

f_c　許容圧縮応力の値（単位ニュートン毎平方センチメートル）

f_k　許容座屈応力の値（単位ニュートン毎平方センチメートル）

【解釈例規】第241条

第3号および第5号の「支柱が水平方向の変位を拘束されているとき」とは、通常、つなぎを設けてその両端を壁、橋脚等に固定している場合、つなぎを設けてさらに筋かいを入れている場合等をいうこと。なお、これらの場合当該つなぎは、支柱、筋かい等に緊結されていなければならないことはいうまでもないこと。（昭38.6.3基発635）

第3号および第5号の「拘束点」とは、支柱が水平方向の変位を拘束されている場合における支柱とつなぎとの交さ部をいうこと。なお、大引きが水平変位を生じない構造のものである場合には、当該大引きと支柱との取付部も本号の拘束点とみなして差しつかえないこと。（昭38.6.3基発635）

（型わく支保工についての措置等）

第242条　事業者は、型わく支保工については、次に定めるところによらなければならない。

1　敷角の使用、コンクリートの打設、くいの打込み等支柱の沈下を防止するための措置を講ずること。

2　支柱の胸部の固定、根がらみの取付け等支柱の脚部の滑動を防止するための措置を講ずること。

3　支柱の継手は突合せ継手または差込み継手とすること。

4　鋼材と鋼材との接合部及び交さ部は、ボルト・クランプ等の金具を用いて緊結すること。

5　型わくが曲面のものであるときんは、控えの取付け等当該型わくの浮きあがりを防止するための措置を講ずること。

5の2　H型鋼又はI型鋼（以下この号において「H型鋼等」という。）を大引き、敷角等の水平材として用いる場合であって、当該H型鋼等と支柱、ジャッキ等とが接続する箇所に集中荷重が作用することにより、当該H型鋼等の断面が変形するおそれがあるときには、当該接続する箇所に補強材を設けるこ。

6　鋼管（パイプサポートを除く。以下この条において同じ）を支柱として用いるものにあっては、当該鋼管の部分について次に定めるところによること。

イ　高さ2メートル以内ごとに水平つなぎを二方向に設け、かつ水平つなぎの変位を防止すること。

ロ　はり又は大引きを上端にのせるときは、当該上端に鋼製の端板を取り付け、これをはり又は大引きに固定すること。

7　パイプサポートを支柱として用いるものにあっては、当該パイプサポートの部分について次に定めるところによること。

イ　パイプサポートを3以上継いで用いないこと。

ロ　パイプサポートを継いで用いるときは、4以上のボルトは専用の金具を用いて継ぐこと。

ハ　高さが3.5メートルをこえるときは、前号イに定める措置を講ずること。

8　鋼管わくを支柱として用いるものにあっては、当該鋼管わくの部分について次に定めるところによること。

イ　鋼管わくと鋼管わくとの間に交さ筋かいを設けること。

ロ　最上層及び5層以内ごとの箇所において、型わく支保工の側面並びにわく面の方向及び交さ筋かいの方向における5わく以内ごとの箇所に、水平つなぎを設け、かつ水平つなぎの変位を防止すること。

ハ　最上層及び5層以内ごとの箇所において、型わく支保工のわく面の方向における両端及び5わく以内ごとの箇所に、交さ筋かい方向に布わくを設けること。

ニ　第6号ロに定める措置を講ずること。

9　組立て鋼柱を支柱として用いるものにあっては、当該組立て鋼柱の部分について次に定めるところによること。

イ　第6号ロに定める措置を講ずること。

ロ　高さが4メートルを越えるときは、高さ4メートル以内ごとに水平つなぎを二方向に設け、かつ、水平つなぎの変位を防止すること。

9の2　H型鋼を支柱として用いるものにあっては、当該H型鋼の部分について第6号ロに定める措置を講ずること。

10　木材を支柱として用いるものにあっては、当該木材の部分について次に定めるところによること。

イ　第6号イに定める措置を講ずること。

ロ　木材を継いで用いるときは、二個以上の添之物を用いて継ぐこと。

ハ　はり又は大引きを上端にのせるときは、添之物を用いて、当該上端をはり又は大引きに固定すること。

11　はりで構成するものにあっては、次に定めるところによること。

イ　はりの両端を支持物に固定することにより、はりの滑動及び脱落を防止すること。

ロ　はりとはりの間につなぎを設けることにより、はりの横倒れを防止すること。

【解釈例規】第242条

第1号の「コンクリートの打設」とはコンクリートにより仮基礎を設けることをいうこと。（昭38.6.3基発635）

第1号の「くいの打込み等」の「等」には、ローラによる地盤の転圧、栗石を敷き込んでつき固めること等が含まれること。（昭38.6.3基発635）

第3号は、重ね合わせ継手を禁止する趣旨であること。（昭38.6.3基発635）

第4号は、鋼線、繊維ロープ等による緊結を禁止する趣旨であること。なお、「接続部」が差込み継手による場合には、本号（接続部に限る。）は適用しないこと。（昭38.6.3基発635）

第5号の「型わくが曲面のものである場合」とは、たとえばアーチ状、ドーム状等の屋根のコンクリートの打設に用いる型わくが平面をなしていない場合をいうこと。（昭38.6.3基発635）

第6号の「当該鋼管の部分について」とは、支柱として鋼管、鋼管わく、木材等の異種の材料を混用している場合に、そのうち鋼管についてという意味であること。なお、第7号の「当該パイプサポートの部分について」、第8号の「当該鋼管わくの部分について」、第9号の「当該組立て鋼柱の部分について」および第10号の「当該木材の部分について」についても、同様に解すること。（昭38.6.3基発635）

第6号イの「水平つなぎの変位を防止すること」とは、第107条の5〔現行241条〕第3号および第5号〔現行=241条〕にいう「支柱が水平方向の変位を拘束されているとき」の措置（第107条の5〔現行241条〕参照）と同様の措置を講ずることをいうこと。（昭38.6.3基発635）

第6号ロについては、はりまたは大引きが型わく支保工の組立て作業中またはコンクリートの打設の作業中に滑動し、または脱落するおそれがない場合には、端板を当該はりまたは大引きに固定しなくとも差しつかえないものとして取り扱うこと。（昭38.6.3基発635）

第7号の「専用の金具」には、差込み継手金具が含まれること。（昭38.6.3基発635）

第8号の「鋼管わく」とは、鋼材を主材として、あらかじめ溶接により門形状、梯子形状等一定の形状に製作されたわくをいうこと。（昭38.6.3基発635）

第8号の「交さ筋かい」とは、向き合った鋼管わく相互を連結するため、鋼管、形鋼等を鋼管わく内にX字形に取り付けたものをいうこと。（昭38.6.3基発635）

第8号の「型わく支保工の側面」とは、次図（第4図）に点線で示すように、交さ筋かい方向およびわく面方向のそれぞれの端面をいうこと。（昭38.6.3基発635）

第8号ハの「布わく」とは、鋼管、形鋼等を主材としてあらかじめ溶接により一定の形状に製作されたわくであって、型わく支保工の安定性を高めるため、交さ筋かい方向に鋼管わく間に水平にかけ渡して用いるものをいうこと。なお、ロに定める交さ筋かい方向の水平つなぎは、布わくを設けた層については設ける必要がないものとして取り扱うこと。なおまた、この規定は最低基準のものであるから、布わくは、荷重、地盤等の諸条件を考慮の上できるだけ密に設け、鋼管わくの層の数が10をこえる場合には、五層以内の層ごとに当該層の全面にわたり設けるように指導すること。（昭38.6.3基発635）

第9号の「組立て鋼柱」とは、鋼管、形鋼等を主材として、あらかじめ一定の形に製作され、現場で次図（第5図および第8図）のように継ぎ足して支柱として用いるものをいうこと。

第10号ロの「添え物」とは、継手部を補強し、かつ、継ぎやすくするために、継手部の側面にあてる丸太、木の板、鋼板等をいうこと。（昭38.6.3基発635）刧

第11号の「はりで構成するもの」とは、次図（第6図）のように大引きまたは根太の下方に1形鋼、トラス等橋けた状に並べてかけ渡し、中間に支柱を、全く設けないかまたはわずかしか設けない型式のものいうこと。（第6図）

第11号ロの「つなぎ」とは、次図（第7図）に点線で示す部材のように、向き合ったはり相互間を連結する部材をいうこと。なお、はりのたけが低く、かつ、上部の大引きまたは根太がつなぎの代わりをするものと認められる場合には、つなぎは必ずしも設ける必要はないものとして取り扱うこと。（第7図）（昭38.6.3基発635）

問　第8号のハの「……に布わくを設けること。」とあるが、布わくを使用することが困難な場合には、布わくのかわりに水平つなぎを使用することは認められるか。

答　水平の斜めつなぎを入れる場合には差し支えない。（昭43.9.16基収3523）

問　第11号のイの規定は、はりの滑動および脱落のおそれがない場合でも、はりの両端を支持物に固定しなければならない趣旨か。

答　滑動および脱落のおそれがない限り、必ずしも固定する必要ない。（昭43.9.16基収3523）

（段状の型わく支保工）

第243条　事業者は、敷板、敷角等をはさんで段状に組み立てる型わく支保工については、前条各号の定めるところによるほか、次に定めるところによらなければならない。

1　型わくの形状によりやむを得ない場合を除き、敷板、敷角等を二段以上はさまないこと。

2　敷板、敷角等を継いで用いるときは、当該敷板、敷角等を緊結す

ること。

3　支柱は、敷板、敷角等に固定すること。

【解釈例規】第243条

第1号の「型わくの形状によりやむを得ない場合」とは、たとえば型わくがアーチ状、ドーム状等をなしており、敷板、敷角等が一段では型わくの支持が困難であるような場合をいうこと。（昭38.6.3基発635）

第2号の「敷板、敷角等を緊結すること」とは、敷板、敷角等をその長手方向に確実に連結することをいうこと。（昭38.6.3基発635）

第3号については、敷板、敷角等をはさんだ上下の支柱の軸線をなるべく一致させて固定するように指導すること。（昭38.6.3基発635）

（コンクリートの打設の作業）

第244条　事業者は、コンクリートの打設の作業を行うときは、次に定めるところによらなければならない。

1　その日の作業を開始する前に、当該作業に係る型わく支保工について点検し、異状を認めたときは、補修すること。

2　作業中に型わく支保工に異状を認めた際における作業中止のための措置をあらかじめ講じておくこと。

【解釈例規】第244条

第1号の「当該作業に係る型わく支保工」とは、当該作業を行なうことにより荷重が加わる型わく支保工をいうこと。（昭38.6.3基発635）

第2号の「異状が認められた際における作業中止のための措置」とは、異状を発見した者がコンクリートの打設の作業を行なっている者に対して、直ちに作業中止のための連絡をすることができるような措置をいうこと。（昭38.6.3基発635）

（型わく支保工の組立て等の作業）

第245条　事業者は、型わく支保工の組立て又は解体の作業を行うときは、次の措置を講じなければならない。

1　当該作業を行う区域には、関係労働者以外の労働者の立ち入りを禁止すること。

2　強風、大雨、大雪等の悪天候のため、作業の実施について危険が予想されるときは、当該作業に労働者を従事させないこと。

3　材料、器具または工具を上げ、又おろすときは、つり鋼つり袋を労働者に使用させること。

（型わく支保工の組立て等作業主任の選任）

第246条　事業者は、令第6条第14号の作業については、型わく支保工の組立て等の作業主任者技能講習を修了した者のうちから、型わく支保工の組立て等作業主任者を選任しなければならない。

（型わく支保工の組立て等作業主任者の職務）

第247条　事業者は、型わく支保工の組立て等作業主任者に次の事項を行わせなければならない。

1　作業の方法に決定し、作業を直接指揮すること。

2　材料の欠点の有無並びに器具及び工具を点検し、不良品を取り除くこと。

3　作業中、要求性能墜落制止用器具等及び保護帽の使用状況を監視すること。

第9章　墜落、飛来崩壊等による危険の防止

第1節　墜落等による危険の防止

（作業床の設置等）

第518条　事業者は、高さが2メートル以上の箇所（作業床の端、開口部等を除く）で作業を行う場合において墜落により労働者に危険を及ぼすおそれのあるときは、足場を組立てる等の方法により作業床を設けなければならない。

2 事業者は、前項の規定により作業床を設けることが困難なときは、防網を張り、労働者に要求性能墜落制止用器具を使用させる等墜落による労働者の危険を防止するための措置を講じなければならない。

（開口部等の囲い等）

第519条　事業者は、高さが2メートル以上の作業床の端、開口部等で墜落により労働者に危険を及ぼすおそれのある箇所には、囲い、手すり、覆い等（以下この条において「囲い等」という。）を設けなければならない。

2 事業者は、前項の規定により、囲い等を設けることが著しく困難なとき又は作業の必要上臨時に囲い等を取りはずすときは、防網を張り、労働者に要求性能墜落制止用器具を使用させる等墜落による労働者の危険を防止するための措置を講じなければならない。

（要求性能墜落制止用器具の使用）

第520条　労働者は、第518条第2項及び前条第2項の場合において要求性能墜落制止用器具等の使用を命じられらたときは、これを使用しなければならない。

（要求性能墜落制止用器具の取付け設置等）

第521条　事業者は、高さが2メートル以上の箇所で作業を行う場合において、労働者に要求性能墜落制止用器具等を使用させるときは、要求性能墜落制止用器具等を安全に取り付けるための設備等を設けなければならない。

2 事業者は、労働者に要求性能墜落制止用器具等を使用させるときは、要求性能墜落制止用器具等及びその取付け設備等の衣装の有無について、随時点検しなければならない。

（悪天候時の作業禁止）

第522条　事業者は、高さが2メートル以上の箇所で作業を行う場合において、強風、大雨、大雪等の悪天候のため、当該作業の実施について危険が予想されるときは、当該作業を労働者に従事させてはならない。

【解釈例規】第522条

「強風」とは、10分間の平均風速が毎秒10メートル以上の風をいうものであること。（昭24.2.18基発101）

「大雨」とは、一回の降雨量が50ミリメートル以上の降雨をいうものであること。（昭 24.2.18基発101）

「大雪」とは、一回の降雪量が25センチメートル以上の降雪をいうものであること。（昭24.2.18基発101）

（照度の保持）

第523条　事業者は、高さが2メートル以上の箇所で作業を行うときは、当該作業を安全に行うために必要な照度を保持しなければならない。

（昇降するための設備の設置等）

第526条　事業者は、高さ又は深さが1.5メートルをこえる箇所で作業を行うときは、当該作業に従事する労働者が安全に昇降するための設備等を設けなければならない。ただし、安全に昇降するための設備等を設けることが作業の性質上著しく困難なときは、この限りではない。

2 前項の作業に従事する労働者は、同項本文の規定により安全に昇降するための設備等を設けられたときは、当該設備等を使用しなければならない。

【解釈例規】第526条

「安全に昇降するための設備等」の「等」には、エレベーター、階段等がすでに設けられており労働者が容易にこれらの設備を利用し得る場合が含まれること。（昭43.6.14安発100）

「作業の性質上著しく困難な場合」には、立木等を昇降する場合があること。なお、この場合、労働者に当該立木等を安全に昇降するための用具を使用させなければならないことは、いうまでもないこと。（昭43.6.14安発100）

（移動はしご）

第527条　事業者は、移動はしごについては、次に定めるところに適合したものでなければ使用してはならない。

1　丈夫な構造にすること。
2　材料は著しい損傷、腐食等がないものとすること。
3　幅は、30センチメートル以上とすること。
4　すべり止め装置の取付けその他転位を防止するために必要な措置を講ずること。

【解釈例規】第527条

「転位を防止するために必要な措置」には、はしごの上方を建築物等に取り付けること。他の労働者がはしごの下方を支えること等の措置が含まれること。（昭43.6.14安発100）

移動はしごは、原則として継いで用いることを禁止し、やむを得ず継いで用いる場合には、次によるよう指導すること。

イ　全体の長さは9メートル以下とすること。
ロ　継手が重合せ継手のときは、接続部において1.5メートル以上を重ね合せて2箇所以上において堅固に固定すること。
ハ　継手が突合せ継手のときは1.5メートル以上の添木を用いて4箇所以上において堅固に固定すること。（昭43.6.14安発100）

移動はしごの踏み桟は、25センチメートル以上35センチメートル以下の間隔で、かつ、等間隔に設けられていることが望ましいこと。（昭43.6.14安発100）

（脚立）

第528条　事業者は、脚立については、次に定めるところに適合したものでなければ使用してはならない。

1　丈夫な構造にすること。
2　材料は著しい損傷、腐食等がないものとすること。
3　脚と水平面との角度を75度以上とし、かつ折りたたみ式のものにあっては脚立と水平面との角度を確実に保つための金具等を備えること。
4　踏み面は、作業を安全に行うため必要な面積を有すること。

（建築物等の組立て、解体又は変更の作業）

第529条　事業者は、建築物、橋梁、足場等の組立て、解体又は変更の作業（作業主任者を選任しなければならない作業を除く。）を行う場合において墜落により労働者に危険を及ぼすおそれのあるときは、次の措置を講じなければならない。

1　作業を指揮するものを指名して、その者に直接作業を指揮させること。
2　あらかじめ、作業の方法及び順序を当該作業に従事する労働者に周知させること。

（立入禁止）

第530条　事業者は墜落により労働者に危険を及ぼすおそれのある箇所に関係労働者以外の労働者を立ち入らせてはならない。

第10章　通路、足場等

第1節　通路等

（通路）

第540条　事業者は作業場に通ずる場所及び作業場内には、労働者が使用するための安全な通路を設け、かつ、これを常時有効に保持しなければならない。

2 前項の通路で主要なものには、これを保持するため、通路であることを示す表示をしなければならない。

【解釈例規】第540条

通路とは、当該場所において作業をなす労働者以外の労働者も通行する場所をいうこと。（昭23.5.11基発736）

（労働安全衛生法（労働安全衛生規則）に基づく階段に関する疑義について）

問　標記については、改正前の労働基準法に基づく旧労働安全衛生規則第91条、第96条等に規定していたところでありますが、労働安全衛生法に基づく新労働安全衛生規則（以下新安衛則という。）では、これらの条文が削除されております。ついては、（1）事業場における階段で通常通路として使用されているものは、新安衛則の「通路」に含まれること、また、（2）新安衛則第540条の「安全な通路」としての階段の具体的要件については、建築基準法によるものと解してよろしいか、何分のご教示を賜りたく伺いたします。

答　（1）及び（2）ともに貴見のとおり。（昭49.5.11基収305）

（通路の照明）

第541条　事業者は通路には、正常の通行を妨げない程度に採光又は照明の方法を講じなければならない。ただし、坑道、常時通行の用に供しない地下室等で通行する労働者に、適当な照明具を所持させるときは、この限りではない。

（屋内における通路）

第542条　事業者は屋内に設ける通路については、次に定めるところによらなければならない。

1　用途に応じた幅を有すること。
2　通路面は、つまづき、すべり、踏抜等の危険のない状態に保持すること。
3　通路面から高さ1.8メートル以内に障害物をおかないこと。

（架設通路）

第552条　事業者は架設通路については、次に定めるところに適合したものでなければ使用してはならない。

1　丈夫な構造とすること。
2　こう配は30度以下とすること。ただし階段を設けたもの又は高さが2メートル未満で丈夫な手掛を設けたものはこの限りではない。
3　こう配が15度をこえるものには踏さんその他の滑止めを設けること。
4　墜落の危険のある箇所には、次に掲げる設備（丈夫な構造の設備であつて、たわみが生ずるおそれがなく、かつ、著しい損傷、変形又は腐食がないものに限る。）を設けること。
　イ　高さ85センチメートル以上の手すり又はこれと同等以上の機能を有する設備（以下「手すり等」という。）
　ロ　高さ35センチメートル以上50センチメートル以下の桟又はこれと同等以上の機能を有する設備（以下「中桟等」という。）
5　たて坑内の架設通路でその長さが15メートル以上あるものは、10メートル以内ごとに踊場を設けること。
6　建設工事に使用する高さ8メートル以上の登りさん橋には、7メートル以内ごとに踊場を設けること。

2 前項第4号の規定は、作業の必要上臨時に手すり等又は中桟等を取り外す場合において、次の措置を講じたときは、適用しない。
1　要求性能墜落制止用器具を安全に取り付けるための設備等を設け、かつ、労働者に要求性能墜落制止用器具を使用させる措置又はこれと同等以上の効果を有する措置を講ずること。
2　前号の措置を講ずる箇所には、関係労働者以外の労働者を立ち入らせないこと。

3 事業者は、前項の規定により作業の必要上臨時に手すり等又は中桟等を取り外したときは、その必要がなくなつた後、直ちにこれらの設備を原状に復さなければならない。

4 労働者は、第2項の場合において、要求性能墜落制止用器具の使用を命じられたときは、これを使用しなければならない。

【解釈例規】第552条

第4号の「丈夫な構造の設備であって、たわみが生ずるおそれがなく、かつ、著しい損傷、変形又は腐食がないものに限る」とは、繊維ロープ等可撓性の材料で構成されるものについては認めない趣旨であること。

第4号イ及びロの「高さ」とは、架設通路面から手すり又はさんの上縁までの距離をいうものであること。

第4号ロの「桟」とは、労働者の墜落防止のために、架設通路面と手すりの中間部に手すりと平行に設置される棒状の丈夫な部材をいうものであること。

第4号ロの「これと同等以上の機能を有する設備」には、次に掲げるものがあること。
　ア　高さ35センチメートル以上の幅木
　イ　高さ35センチメートル以上の防音パネル（パネル状）
　ウ　高さ35センチメートル以上のネットフレーム（金網状）
　エ　高さ35センチメートル以上の金網
　オ　架設通路面と手すりの間において、労働者の墜落防止のために有効となるようにX字型に配置された2本の斜材（平21・3・11 基発第0311001号、平27・3・31 基発0331第9号）

第1項第4号イの「これと同等以上の機能を有する設備」には次に掲げるものがあること。
　ア　高さ85センチメートル以上の防音パネル（パネル状）
　イ　高さ85センチメートル以上のネットフレーム（金網状）
　ウ　高さ85センチメートル以上の金網

第2項第1号の「要求性能墜落制止用器具を安全に取り付けるための設備等」の「等」には取り外されていない手すり等を、要求性能墜落制止用器具を安全に取り付けるための設備として利用することができる場合が含まれること。

第2項第1号の「要求性能墜落制止用器具」は、令第13号第3項第28号の要求性能墜落制止用器具に限る趣旨であり、要求性能墜落制止用器具の規格（平成14年厚生労働省告示第38号）に適合しない命綱を含まないこと。

第2項第1号により、事業者が労働者に要求性能墜落制止用器具を使用させるときは、安衛則 第521条第2項に基づき、要求性能墜落制止用器具及びその取付け設備等の異常の有無について、随時点検しなければならないこと。

第2項第2号の「関係労働者」には、手すり等又は中桟等を取り外す箇所において作業を行う者及び作業を指揮する者が含まれること。（平27・3・31 基発0331第9号）

（はしご道）

第556条　事業者ははしご道については、次に定めるところに適合したものでなければ使用してはならない。
1　丈夫な構造とすること。
2　踏さんを等間隔に設けること。
3　踏さんと壁の間に適当な間隔を保たせること。
4　はしごの転位防止のための措置を講ずること。
5　はしごの上端を床から60センチメートル以上突出させること。
6　坑内はしご道でその長さが10メートル以上のものは、5メートル以内ごとに踏だなを設けること。
7　坑内はしご道のこう配は、80度以内とすること。

2 前項第5号から第7号までの規定は、潜函内等のはしご道については、適用しない。

第2節　足　場

第1款　材料等

（材料等）

第559条　事業者は足場の材料については、著しい損傷、変形又は腐食のあるものを使用してはならない。

2 事業者は足場に使用する材料については、強度上の著しい欠点となる割れ、虫食い、節、繊維の傾斜等がなく、かつ、木皮を取り除いたものでなければ使用してはならない。

【解釈例規】第559条

「足場」とは、いわゆる本足場、一側足場、つり足場、張出し足場、脚立足場等のごとく建設物、船舶等の高所部に対する塗装、鋲打、部材の取りつけまたは取りはずし等の作業において、労働者を作業箇所に接近させて作業させるために設ける仮設の作業床およびこれを支持する仮設物をいい、資材等の運搬又は集積を主目的として設けるさん橋またはステージング、コンクリート打設のためのサポート等は該当しない趣旨であること。（昭34.2.18基発101）

第2項の「繊維の傾斜」とは、いわゆる木目又は木理の傾斜をいうものであること。（昭34.2.18基発101）

第2項において、木皮を取り除くこととしたのは、木材の割れ、虫食等の欠点を容易に発見することを目的としたものであって、丸太の末口部、角材の丸身部等に木皮が残っているものがあっても、耐力上影響のない部分であれば差しつかえない趣旨であること。（昭34.2.18基発101）

（鋼管足場に使用する鋼管等）

第560条　事業者は、鋼管足場に使用する鋼管のうち、令別表第8第1号

から第3号までに掲げる部材に係るもの以外のものについては、日本産業規格A8951（鋼管足場）に定める単管足場用鋼管の規格（以下「単管足場用鋼管規格」という。）又は次に定めるところに適合するものでなければ、使用してはならない。

1　材質は、引張強さの値が370ニュートン毎平方ミリメートル以上であり、かつ、伸びが、次の表の上欄に掲げる引張強さの値に応じ、それぞれ同表の下欄に掲げる値となるものであること。（表）

引っ張り強さ（単位：ニュートン毎平方ミリメートル）	伸び（単位：パーセント）
370以上390未満	25以上
390以上500未満	20以上
500以上	10以上

2　肉厚は、外径の31分の1以上であること。

2 事業者は、鋼管足場に使用する附属金具のうち、令別表第8第2号から第7号までに掲げる附属金具以外のものについては、その材質（衝撃を受けるおそれのない部分に使用する部品の材質を除く。）が、圧延鋼材、鍛鋼品又は鋳鋼品であるものでなければ、使用してはならない。

【解釈例規】第560条

令別表第8に掲げる鋼管足場用の部材及び附属金具については、従前より、安衛則第27条に基づき、鋼管足場用の部材及び附属金具の規格（昭和56年労働省告示第103号）（以下「大臣規格」という。）に適合するものでなければ使用してはならないこととされていることから、第1項及び第2項の要件に適合する必要がないことを明確化したものであること。また、令別表第8第5号（継手金具）及び第6号（緊結金具）以外の鋼管足場用の継手金具及び緊結金具は存在しないことから、旧安衛則第560条第2項第2号及び第3号を削除したものであること。

第1項の「単管足場用鋼管の規格」に適合するものとは、「日本工業規格A8951（鋼管足場）」中「単管足場用鋼管」に規定されている事項に適合する鋼管をいうものであること。

第1項第2号の肉厚及び外径の寸法は、実測によるものであること。（平27.3.31基発0331第9号）

（構造）

第561条　事業者は足場については、丈夫な構造のものでなければ使用してはならない。

（最大積載荷重）

第562条　事業者は足場の構造及び材料に応じて、作業床の最大積載荷重を定め、かつ、これをこえて積載してはならない。

2 前項の作業床の最大積載荷重は、つり足場（ゴンドラのつり足場を除く。以下この節において同じ。）にあっては、つとりワイヤーロープ及びつり鋼線の安全係数が5以上並びに、つり鋼帯並びにつり足場の下部の支点の安全係数が鋼材にあっては2.5以上、木材にあっては5以上となるように定めなければならない。

3 事業者は、第1項の最大積載荷重を労働者に周知させなければならない。

【解釈例規】第562条

第1項の「作業床の最大積載荷重」とは、たとえば本足場における4本の建地で囲まれた一作業床に積載し得る最大荷重をいうものであること。最大積載量は、一作業床に載せ得る作業者数又は材料等の数量で定めてもよい趣旨であること。（昭34.2.18基発101）

（作業床）

第563条　事業者は足場（一側足場を除く。第3号において同じ。）における高さ2メートル以上の作業場所には、次に定めるところにより、作業床を設けなければならない。

1　床材は、支点間隔及び作業時の荷重に応じて計算した曲げ応力の値が、次の表の欄に掲げる木材の種類に応じ、それぞれ同表の下欄に掲げる許容曲げ応力の値を超えないこと。

木　材　の　種　類	許容曲げ応力（単位ニュートン毎平方センチメートル）
あかまつ、くろまつ、からまつ、ひば、ひのき、つが、べいまつ又はべいひ	1,320
すぎ、もみ、えぞまつ、とどまつ、べいすぎ又はべいつが	1,030
か　し	1,910
くり、なら、ぶな又はけやき	1,470
アヒトン又はカホールをフェノール樹脂により接着した合板	1,620

2　つり足場の場合を除き、幅、床材間の隙間及び床材と建地との隙間は、次に定めるところによること。

イ　幅は、40センチメートル以上とすること。

ロ　床材間の隙間は、3センチメートル以下とすること。

ハ　床材と建地との隙間は、12センチメートル未満とすること。

3　墜落により労働者に危険を及ぼすおそれのある箇所には、次に掲げる足場の種類に応じて、それぞれ次に掲げる設備（丈夫な構造の設備であつて、たわみが生ずるおそれがなく、かつ、著しい損傷、変形又は腐食がないものに限る。以下「足場用墜落防止設備」という。）を設けること。

イ　わく組足場（妻面に係る部分を除く。ロにおいて同じ。）次のいずれかの設備

(1)　交さ筋かい及び高さ15センチメートル以上40センチメートル以下の桟若しくは高さ15センチメートル以上の幅木又はこれらと同等以上の機能を有する設備

(2)　手すりわく

ロ　わく組足場以外の足場　手すり等及び中桟等

4　腕木、布、はり、脚立その他作業床の支持物は、これにかかる荷重によって破壊するおそれのないものを使用すること。

5　つり足場の場合を除き、床材は、転位し又は脱落しないように2以上の支持物に取り付けること。

6　作業のため物体が落下することにより、労働者に危険を及ぼすおそれのあるときは、高さ10センチメートル以上の幅木、メッシュシート若しくは防網又はこれらと同等以上の機能を有する設備（以下「幅木等」という。）を設けること。ただし、第3号の規定に基づき設けた設備が幅木等と同等以上の機能を有する場合又は作業の性質上幅木等を設けることが著しく困難な場合若しくは作業の必要上臨時に幅木等を取り外す場合において、立入区域を設定したときは、この限りでない。

2 前項第2号ハの規定は、次の各号のいずれかに該当する場合であつて、床材と建地との隙間が12センチメートル以上の箇所に防網を張る等墜落による労働者の危険を防止するための措置を講じたときは、適用しない。

1　はり間方向における建地と床材の両端との隙間の和が24センチメートル未満の場合

2　はり間方向における建地と床材の両端との隙間の和を24センチ

メートル未満とすることが作業の性質上困難な場合

3 第1項第3号の規定は、作業の性質上足場用墜落防止設備を設けることが著しく困難な場合又は作業の必要上臨時に足場用墜落防止設備を取り外す場合において、次の措置を講じたときは、適用しない。

1 要求性能墜落制止用器具を安全に取り付けるための設備等を設け、かつ、労働者に要求性能墜落制止用器具を使用させる措置又はこれと同等以上の効果を有する措置を講ずること。

2 前号の措置を講ずる箇所には、関係労働者以外の労働者を立ち入らせないこと。

4 第1項第5号の規定は、次の各号のいずれかに該当するときは、適用しない。

1 幅が20センチメートル以上、厚さが3.5センチメートル以上、長さが3.6メートル以上の板を床材として用い、これを作業に応じて移動させる場合で、次の措置を講ずるとき。

イ 足場板は、3以上の支持物に掛け渡すこと。

ロ 足場板の支点からの突出部の長さは、10センチメートル以上とし、かつ、労働者が当該突出部に足を掛けるおそれのない場合を除き、足場板の長さの18分の1以下とすること。

ハ 足場板を長手方向に重ねるときは、支点の上で重ね、その重ねた部分の長さは、20センチメートル以上とすること。

2 幅が30センチメートル以上、厚さが6センチメートル以上、長さが4メートル以上の板を床材として用い、かつ、前号ロ及びハに定める措置を講ずるとき。

5 事業者は、第3項の規定により作業の必要上臨時に足場用墜落防止設備を取り外したときは、その必要がなくなつた後、直ちに当該設備を原状に復さなければならない。

6 労働者は、第3項の場合において、要求性能墜落制止用器具の使用を命じられたときは、これを使用しなければならない。

【解釈例規】第563条

第1項第2号及び第2項関係

ア 第1項第2号ハは、大臣規格において、床付き布わくの床材の幅は24センチメートル以上とされていることから、はり間方向における建地と床材の両端との隙間の和が24センチメートル以上であれば、さらに床材を敷き、床材と建地との隙間を塞ぐことが可能であることを踏まえ、可能な限り床材と建地との隙間を塞ぐことを目的に、それ以上追加的に床材を敷くことができなくなるまで床材を敷くようにするための要件を定めたものであること。

イ 第1項第2号ハの「床材と建地との隙間」とは、建地の内法から床材の側面までの長さをいい、足場の躯体側及び外側の床材と建地との隙間がそれぞれ12センチメートル未満である必要があること。なお、床材が片側に寄ることで12センチメートル以上の隙間が生じる場合には、床材と建地との隙間の要件を満たさないこととなるため、床材の組み合わせを工夫する、小幅の板材を敷く、床材がずれないように固定する、床付き幅木を設置する等により常に当該要件を満たすようにすること。

ウ 第1項第2号ハの規定は、床材と建地との隙間に、垂直又は傾けて設置した幅木は、作業床としての機能を果たせないため、当該幅木の有無を考慮せずに、床材と建地との隙間を12センチメートル未満とする必要があること。なお、床付き幅木は、当該幅木の床面側の部材は床材であること。

エ 第2項は、はり間方向における建地と床材の両端との隙間の和が24センチメートル未満の場合（第1号）には、床材を一方の建地に寄せて設置し、建地と床材との隙間が12センチメートル以上になる場合であっても、大臣規格に適合する床付き布わくを追加して設置できないこと、曲線的な構造物に近接して足場を設置する場合等、はり間方向における建地と床材の両端との隙間の和を24センチメートル未満とすることが作業の性質上困難な場合（第2号）があることから、これらのいずれかの場合であって、建地と床材との隙間が12センチメートル以上の箇所を防網等床材以外のもので塞ぐ等の墜落防止措置を講じたときには、第1項第2号ハの規定は適用しないこととしたものであること。

オ 第2項の「防網を張る等」の「等」には、十分な高さがある幅木を傾けて設置する場合及び構造物に近接している場合等防網を設置しなくても、人が墜落する隙間がない場合を含むものであること

第1項第3号関係

本号は、旧安衛則第563条第1項第3号の構成を変更しているが、ただし書を削除したことを除き、趣旨に変更はないこと。

第3項関係

ア 第1号の「要求性能墜落制止用器具を安全に取り付けるための設備等」の「等」には、建わく、建地、取り外されていない手すり等を、要求性能墜落制止用器具を安全に取り付けるための設備として利用することができる場合が含まれること。

イ 第1号の「要求性能墜落制止用器具」は、令第13条第3項第28号の要求性能墜落制止用器具に限る趣旨であり、要求性能墜落制止用器具の規格（平成14年厚生労働省告示第38号）に適合しない命綱を含まないこと。

ウ 第1号により、事業者が労働者に要求性能墜落制止用器具を使用させるときは、安衛則第521条第2項に基づき、要求性能墜落制止用器具及びその取付け設備等の異常の有無について、随時点検しなければならないこと。

エ 第1号の「これと同等以上の効果を有する措置」には、墜落するおそれのある箇所に防網を張ることが含まれること。

オ 第2号の「関係労働者」には、足場用墜落防止設備を設けることが著しく困難な箇所又は作業の必要上臨時に取り外す箇所において作業を行う者及び作業を指揮する者が含まれること。

第6項関係

旧安衛則第563条第3項の「要求性能墜落制止用器具等」を「要求性能墜落制止用器具」としたものであり、令第13条第3項第28号の要求性能墜落制止用器具に限る趣旨であること。

第2款　足場の組立て等における危険の防止

（足場の組立て等の作業）

第564条　事業者は、つり足場、張出し足場又は高さが2メートル以上の構造の足場の組立て、解体又は変更の作業を行うときは、次の措置を講じなければならない。

1 組立て、解体又は変更の時期、範囲及び順序を当該作業に従事する労働者に周知させること。

2 組立て、解体又は変更の作業を行う区域内には、関係労働者以外の労働者の立入りを禁止すること。

3 強風、大雨、大雪等の悪天候のため、作業の実施について危険が予想されるときは、作業を中止すること。

4 足場材の緊結、取り外し、受渡し等の作業にあつては、墜落による労働者の危険を防止するため、次の措置を講ずること。

イ 幅40センチメートル以上の作業床を設けること。ただし、当該作業床を設けることが困難なときは、この限りでない。

ロ 要求性能墜落制止用器具を安全に取り付けるための設備等を設け、かつ、労働者に要求性能墜落制止用器具を使用させる

措置を講ずること。ただし、当該措置と同等以上の効果を有する措置を講じたときは、この限りでない。

5　材料、器具、工具等を上げ、又は下ろすときは、つり綱、つり袋等を労働者に使用させること。ただし、これらの物の落下により労働者に危険を及ぼすおそれがないときは、この限りでない。

2 労働者は、前項第4号に規定する作業を行う場合において要求性能墜落制止用器具の使用を命ぜられたときは、これを使用しなければならない。

【解釈例規】第564条

第2号〔現行＝第1号〕の労働者に周知させる時期、範囲及び順序は概要で差しつかえない趣旨であること。（昭34.2.18基発101）

第4号〔現行＝第3号〕の「強風、大雨、大雪等の悪天候のため」には、当該作業地域が実際にこれらの悪天候となった場合のほか、当該地域に強風、大雨、大雪等の気象警報が発せられ、悪天候となることが予想される場合を含む趣旨であること。（昭34.2.18基発101）

第5号〔現行＝第4号〕は、労働者が建地又は布をつたわって、昇降又は移動する場合には適用しない趣旨であること。（昭34.2.18基発101）

第6号〔現行＝第5号〕の「つり網」及び「つり袋」は、特につり上げ及びつり下ろしのためにつくられた特定のものに限る趣旨ではないこと。（昭34.2.18基発101）

第1項の「高さが2メートル以上の構造の足場」でいう足場の構造の高さは、

①　作業床が足場の最上層に設置されている場合には、基底部から最上層の作業床までの高さ

②　作業床が足場の最上層に設置されていない場合には、基底部から、

ア　わく組足場では、最上部の建わくの上端までの高さ

イ　単管足場等支柱式の足場では、最上部の水平材（布材等の主要部材）までの高さをいうこと。（平27.3.31基発0331第9号）

第1項第4号イの「当該作業床を設けることが困難なとき」には、狭小な場所や昇降設備を設ける箇所に幅40センチメートル未満の作業床を設けるとき、つり足場の組立て等の作業において幅20センチメートル以上の足場板2枚を交互に移動させながら作業を行うときが含まれること。（平27.3.31基発0331第9号）

第4号ロの「要求性能墜落制止用器具を安全に取り付けるための設備」とは、要求性能墜落制止用器具を適切に着用した労働者が墜落しても、要求性能墜落制止用器具を取り付けた設備が脱落することがなく、衝突面等に達することを防ぎ、かつ、使用する要求性能墜落制止用器具の性能に応じて適当な位置に要求性能墜落制止用器具を取り付けることができるものであること。また、第4号ロの「要求性能墜落制止用器具を安全に取り付けるための設備」には、このような要件を満たすように設計され、当該要件を満たすように設置した手すり、手すりわく及び親綱が含まれること。なお、要求性能墜落制止用器具を安全に取り付けるための設備を設ける場合には、足場の一方の側面のみであっても、手すりを設ける等労働者が墜落する危険を低減させるための措置を優先的に講ずるよう指導すること。（平27.3.31基発0331第9号）

第4号ロの「要求性能墜落制止用器具を安全に取り付けるための設備等」の「等」には、建わく、建地、手すり等を、要求性能墜落制止用器具を安全に取り付けるための設備として利用することができる場合が含まれること。（平27.3.31基発0331第9号）

第4号ロの「同等以上の効果を有する措置」には、つり足場を設置する際に、予め、墜落による危険を防止するためのネットの構造等の安全基準に関する技術上の指針（昭和51年技術上の指針公示第8号）により設置した防網を設置することを含むこと。（平27.3.31基発0331第9号）

第5号ただし書は、本条の適用を高さが2メートル以上の構造の足場の組立て、解体又は変更の作業に係る業務まで拡大したことに伴い、地上から材料等を手渡しするとき等物の落下により労働者に危険を及ぼすおそれのないときは、つり網等を労働者に使用させることを要しないこととしたこと。（平27.3.31基発0331第9号）

第2項の「要求性能墜落制止用器具」は、旧安衛則第564条第2項の「要求性能墜落制止用器具等」を「要求性能墜落制止用器具」としたものであり、令第13条第3項第28号の要求性能墜落制止用器具に限る趣旨であること。（平27.3.31基発0331第9号）

（足場の組立て等作業主任者の選任）

第565条　事業者は、令第6条第15号の作業については、足場の組立て等作業主任者技能講習を修了した者のうちから足場の組立て等作業主任者を選任しなければならない。

（足場の組立て等作業主任者の職務）

第566条　事業者は、足場の組立て等作業主任者に次の事項を行わせなければならない。ただし解体の作業の時は、第1号の規定は適用しない。

1　材料の欠点の有無を点検し、不良品を取り除くこと。

2　器具、工具、要求性能墜落制止用器具等及び保護帽の機能を点検し、不良品を取り除くこと。

3　作業の方法及び労働者の配置を決定し、作業の進行状況を監視すること。

4　要求性能墜落制止用器具等及び保護帽の使用状況を監視すること。

【解釈例規】第566条

第2号及び第4号の「要求性能墜落制止用器具」は、旧安衛則第566条第2号及び第4号の「要求性能墜落制止用器具等」を「要求性能墜落制止用器具」としたものであり、令第13条第3項第28号の要求性能墜落制止用器具に限る趣旨であること。

第2号の「要求性能墜落制止用器具」の機能の点検とは、ランヤードの損傷の有無、径及び長さの適否、ランヤードとベルトとの取付部の状態及び取付金具類の損傷の有無等についての点検をいうことであること。

第2号の「保護帽」の機能の点検とは、緩衝網の調節の適否、帽体の損傷の有無、あごひもの有無等についての点検をいうものであること。（平27.3.31基発0331第9号）

（点検）

第567条　事業者は、足場（つり足場を除く。）における作業を行うときは、その日の作業を開始する前に、作業を行う箇所に設けた足場用墜落防止設備の取り外し及び脱落の有無について点検し、異常を認めたときは、直ちに補修しなければならない。

2 事業者は、強風、大雨、大雪等の悪天候若しくは中震以上の地震又は足場の組立て、一部解体若しくは変更の後において、足場における作業を行うときは、作業を開始する前に、次の事項について、点検し、異常を認めたときは、直ちに補修しなければならない。

1　床材の損傷、取付け及び掛渡しの状態

2　建地、布、腕木等の緊結部、接続部及び取付部の緩みの状態

3　緊結材及び緊結金具の損傷及び腐食の状態

4　足場用墜落防止設備の取り外し及び脱落の有無

5　幅木等の取付状態及び取り外しの有無

6　脚部の沈下及び滑動の状態

7　筋かい、控え、壁つなぎ等の補強材の取付状態及び取り外しの有無
8　建地、布及び腕木の損傷の有無
9　突りようとつり索との取付部の状態及びつり装置の歯止めの機能

3 事業者は、前項の点検を行つたときは、次の事項を記録し、足場を使用する作業を行う仕事が終了するまでの間、これを保存しなければならない。
1　当該点検の結果
2　前号の結果に基づいて補修等の措置を講じた場合にあつては、当該措置の内容

【解釈例規】第567条

第3項の「足場を使用する作業を行う仕事が終了するまでの間」とは、それぞれの事業者が請け負った仕事を終了するまでの間であって、元方事業者にあっては、当該事業場におけるすべての工事が終了するまでの間をいうものであること。（平21.3.11基発0311001号）

（つり足場の点検）

第568条　事業者は、つり足場における作業を行なうときは、その日の作業を開始する前に、前条第2項第1号から5号まで、第7号及び8号に掲げる事項について点検し、異常を認めたときは、直ちに補修しなければならない。

第3款　丸太足場

（丸太足場）

第569条　事業者は、丸太足場については、次に定めるところに適合したものでなければ使用してはならない。
1　建地の間隔は2.5メートル以下とし、地上第一の布は3メートル以下の位置に設けること。
2　建地の脚部には、その滑動又は沈下を防止するため、建地の根本を埋め込み、根がらみを設け、皿板を使用する等の措置を講ずること。
3　建地の継手が重合せ継手の場合には、接続部において1メートル以上重ねて2箇所以上において縛り、建地の継手が突合せ継手の場合には、2本組の建地とし、又は1.8メートル以上の添木を用いて4箇所以上において縛ること。
4　建地、布、腕木等の接続部及び交さ部は、鉄線その他の丈夫な材料で堅固に縛ること。
5　筋かいで補強すること。
6　一側足場、本足場又は張出し足場であるものにあっては次に定めるところにより、壁つなぎ又は控えを設けること。
イ　間隔は垂直方向にあっては5.5メートル以下、水平方向にあっては7.5メートル以下とすること。
ロ　鋼管、丸太等の材料を用いて堅固なものにすること。
ハ　引張材と圧縮材とで構成されているものであるときは引張材と圧縮材との間隔は、1メートル以内とすること。

2 前項第1項の規定は、作業の必要上同号の規定により難い部分がある場合において、なべつり、二本組等により当該部分を補強したときは適用しない。

3 第1項第6号の規定は、窓わくの取付け、壁面の仕上げ等の作業のため壁つなぎ又は控えを取りはずす場合その他作業の必要上やむを得ない場合において、当該壁つなぎ又は控えに代えて建地又は布に斜材を設ける等当該足場の倒壊を防止するための措置を講ずるときは適用しない。

第4款　鋼管足場

（鋼管足場）

第570条　事業者は、鋼管足場については次に定めるところに適合したものでなければ使用してはならない。
1　足場（脚輪を取り付けた移動式足場を除く）の脚部には足場の滑動又は沈下を防止するため、ベース金具を用い、かつ、敷板、敷角等を用い、根がらみを設ける等の措置を講ずること。
2　脚輪を取り付けた移動式足場にあっては、不意に移動することを防止するため、ブレーキ、歯止め等で脚輪を確実に固定させ、足場の一部を堅固な建設物に固定させる等の措置を講ずること。
3　鋼管の接続部又は交さ部は、これに適合した付属金具を用いて、確実に接続し、又は緊結すること。
4　筋かいで補強すること。
5　一側足場、本足場又は張出し足場であるものにあっては次に定めるところにより、壁つなぎ又は控えを設けること。
イ　間隔は、次の表に掲げる鋼管足場の種類に応じ、それぞれ同表の下欄に掲げる値以下とすること。

鋼管足場の種類	間隔（単位：メートル）	
	垂直方向	水平方向
単管足場	5	5.5
わく組足場（高さが5メートル未満のものを除く。）	9	8

ロ　鋼管、丸太等の材料を用いて、堅固なものとすること。
ハ　引張材と圧縮材とで構成されているものであるときは引張材と圧縮材との間隔は、1メートル以内とすること。
6　架空電路に近接して足場を設けるときは、架空電路を移設し、架空電路に絶縁用防具を装着する等架空電路との接触を防止する措置を講ずること。

2 前条第3項の規定は、前項第5号の規定の適用について、準用する。この場合において前条第3項中「第1項第6号」とあるのは、「第570条第1項第5号」と読み替えるものとする。

【解釈例規】第570条

第1号の「敷板、敷角等」とは、数本の建地又はわく組の脚部にわたり、ベース金具と地盤等との間に敷く長い板、角材等をいい、根がらみと皿板との効果を兼ねたものをいうものであること。（昭34.2.18基発101）

第2号の「脚輪を取り付けた移動式足場」とは、単管足場又はわく組足場の脚部に車を取り付けたもので、工事の終了後は解体するものであること。（昭34.2.18基発101）

第3号の「適合した附属金具」とは、第108条第4項〔現行＝第560条第2項〕に定める性能を有するもので、使用箇所に応じて、これに適合した形式及び寸法の金具をいうものであること。（昭34.2.18基発101）

第6号は、足場と電路とが接触して、足場に電流が通じることを防止することとしたものであって、足場上の労働者が架空電路に接触することによる感電防止の措置については、第124条〔現行＝第329条〕の規定によるものであること。（昭34.2.18基発101）

第6号の「架空電路」とは、送電線、配電線等空中に架設された電線のみでなく、これらに接続している変圧器、しゃ断器等の電気機器類の露出充電部を含めたものをいうものであること。（昭34.2.18基発101）

第6号の「架空電路に近接する」とは、電路と足場との距離が上下左右いずれの方向においても、電路の電圧に対して、それぞれ次表の離隔距離以内にある場合をいうものであること。従って、同号の「電路を移設」とは、この離隔距離以上に離すことをいうものであること。（昭

34.2.18基発101）

電路の電圧	隔離距離
特別高圧（7,000ボルト以上）	2メートル。ただし、60,000ボルト以上は10,000ボルト又はその端数を増すごとに20センチメートル増し。
高圧（300ボルト以上7,000ボルト未満）	1.2メートル
低圧（300ボルト未満）	1メートル

送電を中止している架空電路、絶縁の完全な電線若しくは電気機器又は電圧の低い電路は、接触通電のおそれの少ないものであるが、万一の場合を考慮して接触防止の措置を講ずるよう指導すること。（昭34.2.18基発101）

第1項第6号の「絶縁用防護具」とは、第127条の8第3号〔現行＝第348条第1項第3号〕に規定するものと同じものであること。（昭44.2.5基発59）

「第1項第6号の装着する等」の「等」には、架空電路と鋼管との接触を防止するための囲いを設けることのほか、足場側に防護壁を設けることが含まれるものであること。（昭44.2.5基発59）

問　第1項第5号の壁つなぎについては、どの程度の強度を考えればよいか、ご教示願いたい。

答　一箇所あたりおおむね500kg以上の強度を有することが望ましい。（昭43.9.16基収3523）

（令別表第8第1号に掲げる部材等を用いる鋼管足場）

第571条　事業者は、令別表第8第1号に掲げる部材又は単管足場用鋼管規格に適合する鋼管を用いて構成される鋼管足場については、前条第1項に定めるところによるほか、単管足場にあつては第1号から第4号まで、わく組足場にあつては第5号から第7号までに定めるところに適合したものでなければ使用してはならない。

1　建地の間隔は、けた行方向を1.85メートル以下、はり間方向は1.5メートル以下とすること。

2　地上第一の布は2メートル以下の位置に設けること。

3　建地の最高部から測って31メートルを超える部分の建地は、鋼管二本組とすること。

4　建地間の積載荷重は400kgを限度とすること。

5　最上層及び五層以内ごとに水平材を設けること。

6　はりわく及び持送りわくは、水平筋かいその他によって横振れを防止する措置を講ずること。

7　高さ20メートルを超えるとき及び重量物の積載を伴う作業を行なうときは、使用する主わくは高さ2メートル以下のものとし、かつ、主わく間の間隔は1.85メートル以下とすること。

2　前項第1号又は第4号の規定は、作業の必要上これらの規定により難い場合において、各支点間を単純ばりとして計算した最大曲げモーメントの値に関し、事業者が次条に定める措置を講じたときは適用しない。

3　第1項第2号の規定は、作業の必要上同号の規定により難い部分がある場合において、二本組等により当該部分を補強したときは適用しない。

【解釈例規】第571条

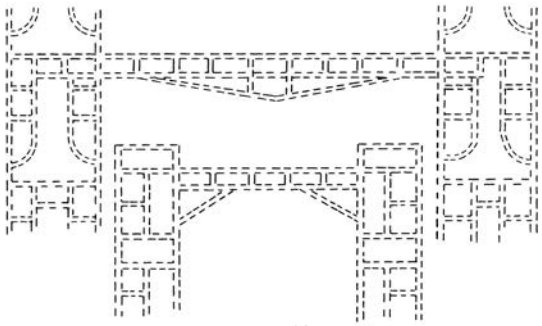
単管足場とは、現場で鋼管を継手金具及び緊結金具を使用して丸太足場と類似の構造に組む足場をいうものであること。（昭34.2.18基発101）

わく組足場とは、あらかじめ鋼管を主材として一定の形に製作したわくを現場において特殊な附属金具や附属品を使用して組立てる足場をいうものであること。（昭34.2.18基発101）

第1号の「けた方向」とは、足場の布を取り付けた方向をいい、同号の「はり間方向」とは、腕木を取り付けた方向をいうものであること。（昭34.2.18基発101）

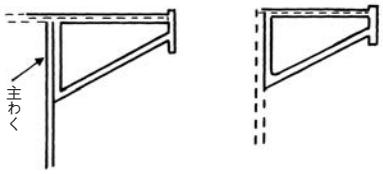
第4号の「建地間の積載荷重」とは、相隣れる4本の建地で囲まれた一作業床に積載し得る荷重をいうものであること。（昭34.2.18基発101）

第5号の「五層以内」とは、作業床の有無に関係なく、垂直方向に継いだわく1段を一層とし、5段以内をいうものであること。（昭34.2.18基発101）



はりわくの例

第6号の「はりわく」とは、第14図のごとく別個に組み上げたわく組間に、はりとして使用する部品をいうものであること。（昭34.2.18基発101）



特送りわくの例

第6号の「持送りわく」とは、上図のごとくわく組の側方に張り出した作業床を支持するために使用する部品をいうものであること。（昭34.2.18基発101）

第7号の「重量物の積載を伴う作業」とは、石材、コンクリートブロック等の取りつけ、組積等の作業のごとく、一時的に、比重の大きな材料を足場上の作業箇所の近くに積載する作業をいうものであること。（昭34.2.18基発101）

問　第1項第4号の規定については、多層の場合でも、各層ごとに400kgの荷重を積載できるものとして解してよいか。

答　本条第1項第4号は、鋼管規格に適合する鋼管を使用して構成される足場について、その布、腕木等の水平材の破壊を防止するため、建地間の一層の1スパンに載荷し得る最大の荷重について規定したものである。しかして、作業床の最大積載荷重は第108条の2〔現行＝第切562条〕の規定により足場の構造及び材料に応じて定められるべきものであり、通常の足場には、建地鋼管1本あたりの荷重は、700kgを限度とすることが望ましいので、足場の自重等を勘案すれば、作業床の三層以上にわたってそれぞれ400kgの荷重を積載することは適当でない。（昭43.9.16基収3523）

問　第1項第5号については、布枠を水平材とみなしてよいか。

答　貴見のとおり。（昭43.9.16基収3523）

問1　本号にいう「水平材を設けること」の趣旨は、昭和43年9月16日付基収第3523号通ちょうにより、水平材を設けることのかわりに、布わくを設けてもよいこととされていますが、今日では、布わくを使用するかわりに板つき布わく（「鋼板布わく」とい

う。）を使用する場合が多くなっており、本会におきましても昭和46年5月より「鋼板布わく」についての認定基準を定め、これに則って製品の認定を実施しているところであります。つきましては、同通ちょうにいう「布わく」のなかに「鋼板布わく」を含め解してよろしいか。

2　本号の解釈にあたり、前記1によることができるとした場合、「布わく」と「鋼板布わく」とを比較すると構造上若干の相違（別表参照）がありますので、次のいずれによるべきか重ねてお伺いします。

(1)　わく組足場の最上層及び五層以内ごとに水平材を設けるとの趣旨支柱、わく組足場が、水平方向の荷重に対し、十分耐えるものでなければならないと考えられます。したがって、「布わく」又は「鋼板布わく」のいずれであっても十分な強度を有し、かつ、つかみ金具のロック部が4カ所で確実に固定されるものでないと水平材とみなすことができないと解してよろしいか。

(2)　従来の「布わく」については、つかみ金具のロック部が二カ所（対角線上）と4カ所（4隅部）の2種類ありますが、2カ所のものにあっても、本号にいう水平材とみなしてもよろしいか。

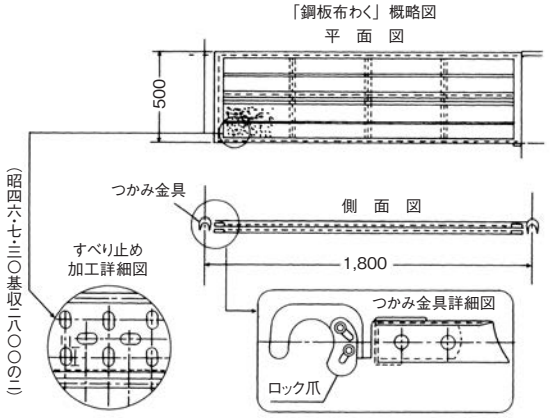
別表（布枠と鋼板布枠との比較）

構造及び性能 ＼ 種類	構造			性能 kg／cm^2		
	主な材料	つかみ金具のロック数	形状	曲げ強度	ロックの強度	つかみ金具のロック数
布枠	パイプ	2～4	はしごタイプ	平均値500以上	平均値330以上	平均値2,000以上
鋼板布枠	鋼板又はC型鋼	4	鋼板タイプ	平均値500以上	平均値330以上	平均値2,000以上

答1　設問1については、昭和43年9月16日付基収第3523号通達にいう「布わく」には「鋼板布わく」を含むものと解すること。

2　設問2については、「布わく」は、水平力を十分に伝達できるように、4カ所以上で、ロックつきのつかみ金具等を用いて確実に主わく等に固定されているものに限るものであること。

「鋼板布わく」概略図



第1項柱書は、令別表第8第1号に掲げる鋼管足場用の部材を用いて構成される鋼管足場についても安衛則第571条に定める要件を満たす必要があることを明確化したものであること。（平27.3.31基発0331第9号）

第1項第3号の「足場の重量に相当する荷重」には、足場に設けられる朝顔、メッシュシート等の重量に相当する荷重を含むこと。（平27.3.31基発0331第9号）

第1項第3号の「建地の破壊に至る荷重」には、実際の使用状態に近い条件の下で支持力試験を行い、その結果に基づいて得られた荷重を用いることは差し支えないこと。また、鋼管にフランジ、フック等の緊結部を溶接することにより、緊結金具を使用せずに組み立てることができる単管足場では、当該足場を組み立てた状態での支持力試験を実施した結果から、建地の破壊に至る荷重の2分の1以下の荷重を許容支持力として示されており、これを最大使用荷重として用いて差し支えないこと。この場合、布材、補剛材等の使用条件に応じて支持力試験の結果が異なることから、当該布材、補剛材等の使用条件に応じた最大使用荷重を用いること。（平27.3.31基発0331第9号）

（令別表第八第一号から第三号までに掲げる部材以外の部材等を用いる鋼管足場）

第572条　事業者は、令別表第8第1号から第3号までに掲げる部材以外の部材又は単管足場用鋼管規格に適合する鋼管以外の鋼管を用いて構成される鋼管足場については、第570条第1項に定めるところによるほか、各支点間を単純ばりとして計算した最大曲げモーメントの値を、鋼管の断面係数に、鋼管の材料の降伏強さの値（降伏強さの値が明らかでないものについては、引張強さの値の2分の1の値）の1.5分の1及び次の表に掲げる鋼管の肉厚と外径との比に応じ、それぞれ同表の下欄に掲げる係数を乗じて得た値（継手のある場合には、この値の4分の3）以下としなければならない。

鋼管の肉厚と外径との比	係　数
肉厚が外径の14分の1以上	1
肉厚が外径の20分の1以上の14分の1未満	0.9
肉厚が外径の31分の1以上の20分の1未満	0.8

【解釈例規】第572条

「各支点間を単純ばりとして計算する」とは、足場を実際に組んだ場合に、腕木、布等の水平材について、それぞれの支点間を独立したはりと考え、支点の固定条件及び支点外の部分の影響を無視して、単に二つの支点上に材を載せたものとして計算することをいうものであること。（昭34.2.18基発101）

（鋼管の強度の識別）

第573条　事業者は、外径及び肉厚が同一であり、又近似している鋼管で、強度が異なるものを同一事業場で使用する時は、鋼管の混用による労働者の危険を防止するため鋼管に色又は記号を付する等の方法により、鋼管の強度を識別することができる措置を講いなければならない。

2 前項の措置は、色を付する方法のみによるものであつてはならない。

【解釈例規】第573条

外径及び肉厚が近似している鋼管とは、それぞれの鋼管の寸法差が見較べたのみでは容易に識別できないものをいうのであること。（昭34.2.18基発101）

強度が異なるものとは、これを使用して足場を構成した場合に、その構成条件に相違を生ずるごとき強度の異なる鋼管をいい、たとえば、「日本工業規格G3440（構造用炭素鋼鋼管）」の第4種甲と5種乙（現行＝「JIS G3444（一般構造用炭素鋼鋼管）」の2種3種）との別のごときものをい

うものであること。（昭34.2.18基発101）

鋼管の混用による危害とは、強度の弱いものが強いものと同一に使用され、強度の不十分な足場が構成されることによる危害をいうものであること。（昭34.2.18基発101）

「鋼管の強度の識別する」とは、鋼管の強度が異なるものであることを識別することであって、個々の鋼管の強度の数値を識別することまでをいう趣旨ではないこと。（昭34.2.18基発101）

第5款　つり足場

（つり足場）

第574条　事業者は、つり足場については、次に定めるところに適合したものでなければ使用してはならない。

1　つりワイヤロープは、次のいずれかに該当するものを使用しないこと。
　イ　ワイヤロープ一より間において素線（フイラ線を除く。以下この号において同じ。）の数の10%以上の素線が切断しているもの
　ロ　直径の減少が公称径の7% を越えるもの
　ハ　キンクしたもの
　ニ　著しく形くずれ又は腐食があるもの
2　つり鎖は次のいずれかに該当するものを使用しないこと。
　イ　伸びが、当該つり鎖が製造された時の長さ5% を越えるもの
　ロ　リンクの断面の直径の減少が当該つり鎖が製造された時の当該リンクの断面の直径の10% をこえるもの
　ハ　き裂があるもの
3　つり鋼線及びつり鋼帯は、著しい損傷、変形又は腐食のあるものは使用しないこと。
4　つり繊維索は、次のいずれかに該当するものを使用しないこと。
　イ　ストランドが切断しているもの
　ロ　著しい損傷又は腐食があるもの
5　つりワイヤーロープ、つり鎖、つり鋼線、つり鋼帯又はつり繊維索は、その一端を足場けた、スターラップ等に、他端は突りょう、アンカーボルト、建築物のはり等にそれぞれ確実に取り付けること。
6　作業床は、幅を40センチメートル以上とし、かつ、すき間がないようにすること。
7　床材は転位し、又は脱落しないように、足場けた、スターラップ等に取り付けること。
8　足場けた、スターラップ、作業床等に控えを設ける等、動揺又は転位を防止するための措置を講ずること。
9　たな足場であるものにあっては、けたの接続部及び交さ部は、鉄線継手金具又は緊結金具を用いて確実に接続し、又は緊結すること。

2 前項第6号の規定は、作業床の下方又は側方に網又はシートを設ける等、墜落又は物体の落下による労働者の危険を防止するための措置を講ずるときは適用しない。

（作業禁止）

第575条　事業者は、つり足場の上で脚立、はしご等を用いて労働者に作業させてはならない。

第11章　作業構台

（材料等）

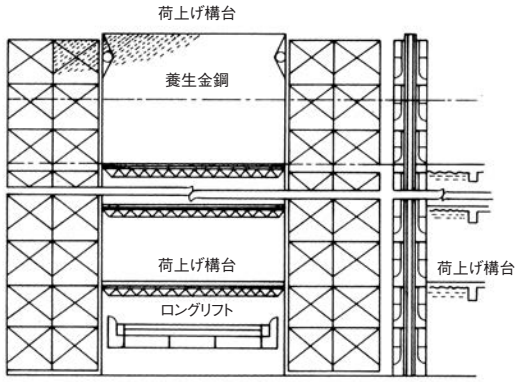
第575条の2　事業者は、仮設の支柱及び作業床等により構成され、材料若しくは仮設機材の集積又は建設機械等の設置若しくは移動を目的とする高さが2メートル以上の設備で、建設工事に使用するの（以下「作業構台」という）の材料については、著しい損傷、変形又は腐食のあるものを使用してはならない。

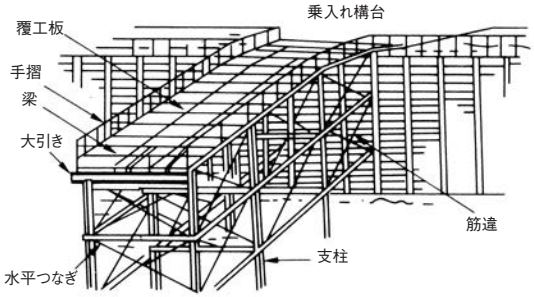
2 事業者は、作業構台に使用する木材については、強度上の著しい欠点となる割れ、虫食い、節、繊維の傾斜等のないものでなければ、使用してはならない。

3 事業者は、作業構台に使用する支柱、作業床、はり、大引き等の主要な部分の鋼材については、日本工業規格G3101（一般構造用圧延鋼材）日本工業規格G3106（溶接構造用延鋼材）日本工業規格G3191（熱間圧延棒鋼）日本工業規格G3192（熱間圧延形鋼）日本工業規格G3444（一般構造用炭素鋼管）若しくは日本工業規格G3466（一般構造用角形鋼管）に定める規格に適合するもの又はこれと同等以上の引張強さ及びこれに応じた伸びを有するものでなければ使用してはならない。

【解釈例規】第575条の2

本条の作業構台とは、ビル建築工事等において、建築資材等を上部に一時的に集積し、建築物の内部等に取り込むことを目的として設ける荷上げ構台（ステージング）、地下工事期間中に行われる根切り工事等のため、掘削機械、残土搬出用トラック及びコンクリート工事用生コン車等の設置又は移動を目的として設ける乗入れ構台等があり、次図に示すようなものであること。





第1項の「建設機械等」の「等」には、移動式クレーン、変圧器等の機械、設備が含まれるものであること。

第1項の「高さ」とは、地盤面等から最上の床面までの高さをいうものであること。

第3項の「大引き等」の「等」には、水平つなぎ及び筋違が含まれるものであること。（昭55.11.25基発第648号）

（構造）

第575条の3　事業者は、作業構台については、著しいねじれ、たわみ等が生ずるおそれのない丈夫な構造のものでなければ、使用してはならない。

【解釈例規】第575条の3

「たわみ等」の「等」には、部材の緊結部の滑動及び支柱の沈下が含まれるものであること。（昭55.11.25基発第648号）

（最大積載荷重）

第575条の4　事業者は、作業構台の構造及び材料に応じて作業床の最大積載荷重を定め、かつ、これを超えて積載してはならない。

2 事業者は、前項の最大積載荷重を労働者に周知させなければならない。

（組立図）

第575条の5　事業者は、作業構台を組みたてるときは、組立図を作成し、かつ当該組立図により組み立てなければならない。

2 前項の組立図は、支柱、作業床、はり、大引き等の部材の配置及び寸法が示されているものでなければならない。

【解釈例規】第575条の5

第2項の「大引き等」の「等」の範囲は、第575条の2第3項の「大引き等」の「等」の範囲と同様であること。（昭55.11.25基発第648号）

（作業構台についての措置）

第575条の6　事業者は、作業構台については次に定めるところによらなければならない。

1　作業構台の支柱は、その滑動又は沈下を防止するため、当該作業構台を設置する場所の地質等の状態に応じた根入れを行い、当該支柱の脚部に根がらみを設け、敷板、敷角等を使用する等の措置を講ずること。

2　支柱、はり、筋かい等の緊結部、接続部又は取付部は、変位、脱落等が生じないよう緊結金具等まで堅固に固定すること。

3　高さ2メートル以上の作業床の床材間のすき間は3センチメートル以下とする。

4　高さ2メートル以上の作業床の端で、墜落により労働者に危険を及ぼすおそれのある箇所には、手すり等及び中桟等（それぞれ丈夫な構造の設備であつて、たわみが生ずるおそれがなく、かつ、著しい損傷、変形又は腐食がないものに限る。）を設けること。

2 前項第4号の規定は、作業の性質上手すり等及び中桟等を設けることが著しく困難な場合又は作業の必要上臨時に手すり等又は中桟等を取り外す場合において、次の措置を講じたときは、適用しない。

1　要求性能墜落制止用器具を安全に取り付けるための設備等を設け、かつ、労働者に要求性能墜落制止用器具を使用させる措置又はこれと同等以上の効果を有する措置を講ずること。

2　前号の措置を講ずる箇所には、関係労働者以外の労働者を立ち入らせないこと。

3 事業者は、前項の規定により作業の必要上臨時に手すり等又は中桟等を取り外したときは、その必要がなくなつた後、直ちにこれらの設備を原状に復さなければならない。

4 労働者は、第2項の場合において、要求性能墜落制止用器具の使用を命じられたときは、これを使用しなければならない。

【解釈例規】第575条の6

第1号の「地質等」の「等」には、地層が含まれるものであること。

第1号の「敷角等」の「等」には、鋼板及び石材（栗石）が含まれるものであること。

第1号の「使用する等」の「等」には、コンクリートの打設、坑の打込み及び脚部の固定の措置が含まれるものであること。

第2号の「筋違等」の「等」には、作業床、大引き及び水平つなぎが含まれるものであること。

第2号の「緊結金具等」の「緊結金具」とは、直交クランプ、自在クランプ等のクランプをいい、「等」には、ボルトが含まれるものであること。

第4号の「作業の必要上手摺等を設けることが著しく困難な場合」には、作業構台を設置する場所又は作業構台の構造から手摺等を設けることが著しく困難な場合及び取り扱う材料が常態として長尺物あるいは大きいものであるため、手摺等を設けることにより作業が著しく困難となる場合があること。なお、第4号に規定する措置は、立入禁止等の措置を講じたために労働者が作業床の端に立入ることがない場合には、講ずる必要がないことは当然であること。（昭55.11.25基発第648号）

第4号の「丈夫な構造の設備であつて、たわみが生ずるおそれがなく、かつ、著しい損傷、変形又は腐食がないものに限る」とは、繊維ロープ等可撓性の材料で構成されるものについては認めない趣旨であること。（平21.3.11基発第0311001号）

第2項第1号の「要求性能墜落制止用器具を安全に取り付けるための設備等」の「等」には、取り外されていない手すり等を、要求性能墜落制止用器具を安全に取り付けるための設備として利用することができる場合が含まれること。

第2項第1号及び第4項の「要求性能墜落制止用器具」は、令第13条第3項第28号の要求性能墜落制止用器具に限る趣旨であり、要求性能墜落制止用器具の規格（平成14年厚生労働省告示第38号）に適合しない命綱を含まないこと。

第2項第1号により、事業者が労働者に要求性能墜落制止用器具を使用させるときは、安衛則第521条第2項に基づき、要求性能墜落制止用器具及びその取付け設備等の異常の有無について、随時点検しなければならないこと。

第2項第1号の「これと同等以上の効果を有する措置」には、墜落するおそれのある箇所に防網を張ることが含まれること。

第2項第2号の「関係労働者」には、手すり等又は中さん等を設けることが著しく困難な箇所又は作業の必要上臨時に取り外す箇所において作業を行う者及び作業を指揮する者が含まれること。（平27.3.31基発0331第9号）

（作業構台の組立て等の作業）

第575条の7　事業者は、作業構台の組立て、解体又は変更の作業を行う時は次の措置を講じなければならない。

1　組立て、解体又は変更の時期、範囲及び順序を当該作業に従事する労働者に周知させること。

2　組立て、解体又は変更の作業を行う区域内には、関係労働者以外の労働者の立ち入りを禁止すること。

3　強風、大雨、大雪等の悪天候のため、作業の実施について危険が予想される時は、当該作業を中止すること。

4　材料、器具、工具等を上げ又は下ろす時は、つり網、つり袋等を労働者に使用させること。

【解釈例規】第575の7

第3号の「強風、大雨、大雪等のため」並びに第4号の「吊り網」及び

「吊り袋」の意義は、第517条の3第2号の「強風、大雨、大雪等の悪天候のため」並びに同条第4号の「吊り網」及び「吊り袋」の意義と同様であること。（昭55.11.25基発第648号）

（点検）

第575条の8　事業者は、作業構台における作業を行うときは、その日の作業を開始する前に、作業を行う箇所に設けた手すり等及び中桟等の取り外し及び脱落の有無について点検し、異常を認めたときは、直ちに補修しなければならない。

2 事業者は、強風、大雨、大雪等の悪天候若しくは中震以上の地震又は作業構台の組立て、一部解体若しくは変更の後において、作業構台における作業を行うときは、作業を開始する前に、次の事項について、点検し、異常を認めたときは、直ちに補修しなければならない。

1　支柱の滑動及び沈下の状態
2　支柱、はり等の損傷の有無
3　床材の損傷、取付け及び掛渡しの状態
4　支柱、はり、筋かい等の緊結部、接続部及び取付部の緩みの状態
5　緊結材及び緊結金具の損傷及び腐食の状態
6　水平つなぎ、筋かい等の補強材の取付状態及び取り外しの有無
7　手すり等及び中桟等の取り外し及び脱落の有無

3 事業者は、前項の点検を行つたときは、次の事項を記録し、作業構台を使用する作業を行う仕事が終了するまでの間、これを保存しなければならない。

1　当該点検の結果
2　前号の結果に基づいて補修等の措置を講じた場合にあつては、当該措置の内容

【解釈例規】第575の8

「強風、大雨、大雪」及び「中震以上の地震」の意義は、第567条の「強風、大雨、大雪」及び「中震以上の地震」の意義と同様であること。（昭55.11.25基発第648号）

別表第8　鋼管足場用の部材及び附属金具（第13条関係）

1　わく組足場用の部材
　1　建わく（簡易わくを含む。）
　2　交さ筋かい
　3　布わく
　4　床付き布わく
　5　持送りわく
2　布板一側足場用の布板及びその支持金具
3　移動式足場用の建わく（第一号の１に該当するものを除く。）及び脚輪
4　壁つなぎ用金具
5　継手金具
　1　わく組足場用の建わくの脚柱ジョイント
　2　わく組足場用の建わくのアームロック
　3　単管足場用の単管ジョイント
6　緊結金具
　1　直交型クランプ
　2　自在型クランプ
7　ベース金具
　1　固定型ベース金具
　2　ジヤツキ型ベース金具

■参考資料

建築基準法

令第76条第2項に基づく、現場打コンクリートの型わく及び支柱の取りはずしに関する基準

（昭和46年建設省告示第110号）
最終改正　平成28年3月17日国土交通省告示第503号

建築基準法施行令（昭和25年政令第338号）第76条第2項に基づき、現場打コンクリートの型わく及び支柱の取りはずしに関する基準を次のように定める。

第1　せき板及び支柱の存置期間は、建築物の部分、セメントの種類及び荷重の状態並びに気温又は養生温度に応じて、次の各号に定めるところによらなければならない。ただし、特別な調査又は研究の結果に基づき、せき板及び支柱の存置期間を定めることができる場合は、当該存置期間によることができる。

1　せき板は、別表（ろ）欄に掲げる存置日数以上経過するまで又は次のイ若しくはロに掲げる方法により求めたコンクリートの強度が同表（は）欄に掲げるコンクリートの圧縮強度以上になるまで取り外さないこと。

イ　日本工業規格A1108（コンクリートの圧縮強度試験方法）—2012によること（コンクリートの圧縮強度試験に用いる供試体が現場水中養生、現場封かん養生又はこれらに類する養生を行つたものである場合に限る。）。

ロ　次の式によつて計算すること。

$$fc_{te} = exp\left\{s\left[1-\left(\frac{28}{(te-0.5)/t_0}\right)^{1/2}\right]\right\}\cdot fc_{28}$$

この式において、fc_{te}、s、te、t_0及びfc_{28}はそれぞれ次の数値を表すものとする。

fc_{te}　コンクリートの圧縮強度（単位　1平方ミリメートルにつきニュートン）

s　セメントの種類に応じて次の表に掲げる数値

セメントの種類	数値
普通ポルトランドセメント	0.31
早強ポルトランドセメント	0.21
中庸熱ポルトランドセメント	0.60
低熱ポルトランドセメント	1.06
高炉セメントB種及び高炉セメントC種	0.54
フライアッシュセメントB種及びフライアッシュセメントC種	0.58

te　次の式によつて計算したコンクリートの有効材齢（単位　日）

$$te = \frac{1}{24}\Sigma\,\Delta ti\cdot exp\left[13.65-\frac{4000}{273+t_i/t_0}\right]$$

この式において、Δti、T_i及びT_0はそれぞれ次の数値を表すものとする。

Δti　（i－1）回目のコンクリートの温度の測定（以下単に「測定」という。）からi回目の測定までの期間（単位　時間）

T_i　i回目の測定により得られたコンクリートの温度（単位　摂氏度）

T_0　1（単位　摂氏度））

t_0　1（単位　日）

fc_{28}　日本工業規格A5308（レディーミクストコンクリート）—2014に規定する呼び強度の強度値（建築基準法（昭和25年法

律第201号）第37条第2号の国土交通大臣の認定を受けたコンクリートにあつては、設計基準強度に当該認定において指定された構造体強度補正値を加えた値）（単位　1平方ミリメートルにつきニュートン）

2　支柱は、別表（ろ）欄に掲げる存置日数以上経過するまで取り外さないこと。ただし、次のイ又はロに掲げる方法により求めたコンクリートの強度が、同表（は）欄に掲げるコンクリートの圧縮強度以上又は一平方ミリメートルにつき12ニュートン（軽量骨材を使用する場合においては、9ニュートン）以上であり、かつ、施工中の荷重及び外力によつて著しい変形又は亀裂が生じないことが構造計算により確かめられた場合においては、この限りでない。

イ　前号イに掲げる方法によること（コンクリートの圧縮強度試験に用いる供試体が現場水中養生、現場封かん養生又はこれらに類する養生を行つたものである場合に限る。）。

ロ　日本工業規格A1107（コンクリートからのコアの採取方法及び圧縮強度試験方法）―2012の圧縮強度試験によること（コンクリートの圧縮強度試験に用いる供試体が、コンクリートから切り取つたコア供試体又はこれに類する強度に関する特性を有する供試体である場合に限る。）。

第2　支柱の盛りかえは、次の各号に定めるところによらなければならない。

1　大ばりの支柱の盛りかえは行なわないこと。

2　直上階に著しく大きい積載荷重がある場合においては、支柱（大ばりの支柱を除く。以下同じ。）の盛りかえは、行なわないこと。

3　支柱の盛りかえは、養生中のコンクリートに有害な影響をもたらすおそれのある振動又は衝撃を与えないように行なうこと。

4　支柱の盛りかえは、逐次行なうものとし、同時に多数の支柱について行なわないこと。

5　盛りかえ後の支柱の頂部には、十分な厚さ及び大きさを有する受板、角材その他これらに類するものを配置すること。

附　則

この告示は、公布の日から施行する。

附　則（昭和63年7月26日建設省告示第1655号）

この告示は、公布の日から施行する。

附　則（平成28年3月17日国土交通省告示第503号）

この告示は、公布の日から施行する。

別表

(い)			(ろ)			(は)
せき板又は支柱の区分	建築物の部分	セメントの種類	存置日数 存置期間中の平均気温 摂氏15度以上	摂氏15度未満摂氏5度以上	摂氏5度未満	コンクリートの圧縮強度
せき板	基礎、はり側、柱及び壁	早強ポルトランドセメント	2	3	5	1平方ミリメートルにつき5ニュートン
		普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、フライアッシュセメントA種及びシリカセメントA種	3	5	8	
		高炉セメントB種、フライアッシュセメントB種及びシリカセメントB種	5	7	10	
		中庸熱ポルトランドセメント、低熱ポルトランドセメント、高炉セメントC種、フライアッシュセメントC種及びシリカセメントC種	6	8	12	
	版下及びはり下	早強ポルトランドセメント	4	6	10	コンクリートの設計基準強度の50パーセント
		普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、フライアッシュセメントA種及びシリカセメントA種	6	10	16	
		中庸熱ポルトランドセメント、高炉セメントB種、高炉セメントC種、フライアッシュセメントB種、フライアッシュセメントC種、シリカセメントB種及びシリカセメントC種	8	12	18	
		低熱ポルトランドセメント	10	15	21	
支柱	版下	早強ポルトランドセメント	8	12	15	コンクリートの設計基準強度の85パーセント
		普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、フライアッシュセメントA種及びシリカセメントA種	17	25	28	
		中庸熱ポルトランドセメント、低熱ポルトランドセメント、高炉セメントB種、高炉セメントC種、フライアッシュセメントB種、フライアッシュセメントC種、シリカセメントB種及びシリカセメントC種	28			
	はり下	普通ポルトランドセメント、早強ポルトランドセメント、中庸熱ポルトランドセメント、低熱ポルトランドセメント、高炉セメント、フライアッシュセメント及びシリカセメント	28			コンクリートの設計基準強度の100パーセント

建築基準法施工令（抜萃）

第7章の6　工事現場の危害の防止

（仮囲い）

第136条の2の20　木造の建築物で高さが13メートル若しくは軒の高さが9メートルを超えるもの又は木造以外の建築物で2以上の階数を有するものについて、建築、修繕、模様替又は除却のための工事（以下この章において「建築工事等」という。）を行う場合においては、工事期間中工事現場の周囲にその地盤面（その地盤面が工事現場の周辺の地盤面より低い場合においては、工事現場の周辺の地盤面）から高さが1.8メートル以上の板塀その他これに類する仮囲いを設けなければならない。ただし、これらと同等以上の効力を有する他の囲いがある場合又は工事現場の周辺若しくは工事の状況により危害防止上支障がない場合においては、この限りでない。

（落下物に対する防護）

第136条の5

2 建築工事等を行なう場合において、建築のための工事をする部分が工事現場の境界線から水平距離が5メートル以内で、かつ、地盤面から高さが7メートル以上あるとき、その他はつり、除却、外壁の修繕等に伴う落下物によって工事現場の周辺に危害を生ずるおそれがあるときは、国土交通大臣の定める基準に従って、工事現場の周囲その他危害防止上必要な部分を鉄網又は帆布でおおう等落下物による危害を防止するための措置を講じなければならない。

建設省告示（昭和46年第110号、昭和63年7月26日第1655号）

返却時のお願い

荷姿は納入時とできるだけ同じにし、番線などで結束して下さい。

種類、長さの違うものを一緒に梱包しないで下さい。

アルミ製機材の上に物を載せないで下さい。

荷締めでの破損に注意して下さい。必ず当て物をして下さい。締め過ぎに注意して下さい。

必ず送り状を付けて下さい。数量トラブルはお互いに良い気分ではありません!

●ピン、クランプ、等小物部品類

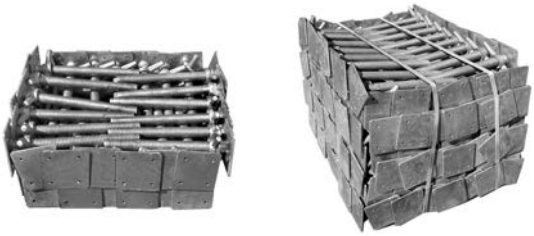
同種類の物を定数で袋詰する。あるいはキャリエースに詰める。

＊ キャリエース(メッシュパレット)には1種類の物を入れて下さい!

●フレコンバック（トン袋）使用不可！

●ジャッキ・大引受ジャッキ

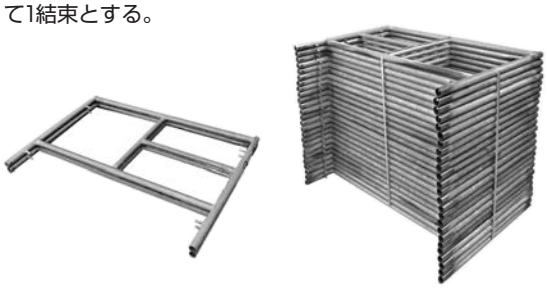
6列7段プレートを外側に向け積み上げ番線にて結束する。又はパレット等台の上に同様に積む。



●フレコンバック（トン袋）使用不可！

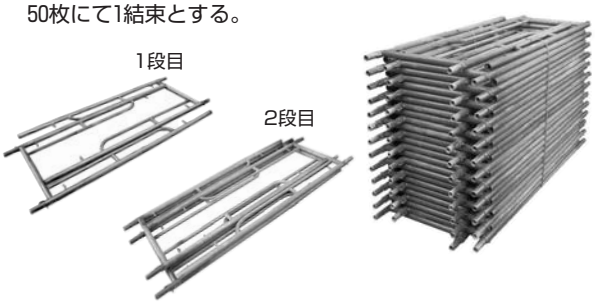
●梯子型建枠

同じ物を同じ形で積み上げ25段25枚にて1結束とする。



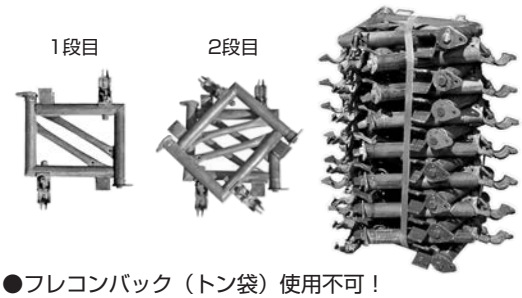
●鳥居型建枠

同じ物を少しずらし交互に25段積とし、50枚にて1結束とする。



●伸縮ブラケット

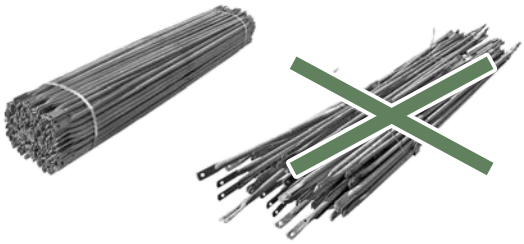
同じ物を図のように15段積とし30台を1結束とする



●フレコンバック（トン袋）使用不可！

●筋違、手すり、手すり柱、パイプ、アサガオなど

長さ別、種類別に50本又は100本で結束する。少数のものはあるだけで結束する。

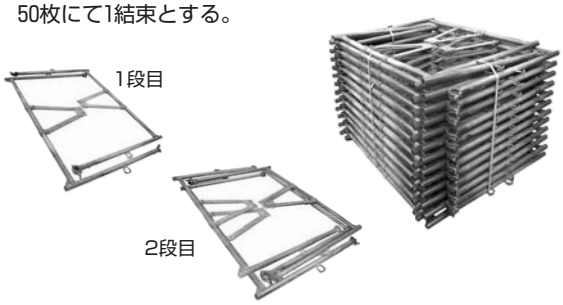


●鋼製布板・長尺足場板

同じ物を40枚で1結束とする。一番下は裏返しにする。アルミ製には当て物を！

●吊り足場

同じ物を少しずらし交互に25段積とし、50枚にて1結束とする。



●パイプサポート

同じ物を10列5段とし、50本にて1結束とする。

1段毎に桟木を入れて頂くとしっかりと結束できます。

●四角支柱

種類ごとに4列4段とし、16本にて1結束とする。

●アルマストロング支柱

左右互い違いに同じ物を10列5段とし、50本にて1結束とする。

●アルマビーム、ストリーンガービーム

上下互い違いに同じ物を10列3段とし、30本にて1結束とする。

●角パイプ

同じ長さの物を5列4段とし、20本にて1結束とする。

●ペコビーム・ビティビーム・AXビーム

ペコビーム・ビティビームは30本を１結束、AXビームは10本を1結束とする

●ラックガード・システム

本体は専用パレットに収納する。
※専用パレットあり

手摺は同じ物を交互に重ね、10本にて1結束とする。又は専用パレットへ

●スカイハンガー

1台毎に向きを変え15台にて1結束とする。
横積みとするが上に物を載せないこと。

●フレコンバック（トン袋）使用不可！

●アルミスカイブリッジ
ASKB96-07、ASKB96-11は10ton車でなければ積めません。4ton、6ton車ではあおりを切ることになります。

●四角支柱ジャッキ、軽量四角支柱ジャッキ
専用パレットを使用して下さい。

送り状作成のお願い

●送り状のお願い

送り状は返却数量チェックの原点です。
弊社の検収数量と送り状の記載数量に相違のある場合は即時連絡致します。貴社手配の車輌の場合、相違を運転手さんにも確認いただけます。
運送中に落ちた機材を見かけることもあります。送り状を作成し運転手さんにも確認してもらうことで、このような事故を防げます。
請求時あるいは現場終了時に数が合わない事はお互いに不幸なことです。このトラブルを防止するために送り状は重要なものです。
送り状を作成し運転手さんに持たせるようにお願い致します。
送り状は弊社ホームページよりダウンロードできます。
＊弊社では送り状の無い返却は受け付けません。

●梱包方法のお願い

運送中の荷崩れ防止、運送の効率化のために「返却時のお願い」にあるような梱包方法での返却をお願い致します。
同機種で梱包することにより、送り状の作成も楽になります。弊社でも数量検収を迅速に行うことができ運転手さんを待たせません。

●使用上の注意

機材は破損、紛失の無いようにお取り扱いください。
紛失した場合には滅失代金が発生します。破損した場合、可能なものは修理費用を頂き極力修理するように努めております。
次の物は不能となります。滅失代金が発生します。

◎穴あき、切断、溶接、曲り、ツブレ、錆（海水、化学物質による）
　アルミ製品は軽量で使い易いですが、取り扱いには注意が必要です。
　投げない！叩かないようにお願い致します。
◎ケレン不可能な付着物（エポキシ樹脂等）
◎修理不可能なもの。等々

次の物には特別ケレン費用が必要になります。

◎著しいコンクリート、泥等の付着。
◎シール、テープ等の付着。
◎塗料等化学物質の付着。等々

次の物には解体費用が必要になります。

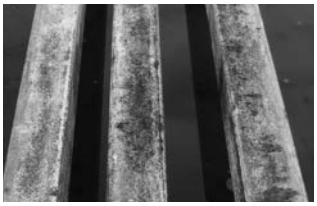
◎接続された四角支柱。
◎接続されたＡ型足場ブラケット。
◎組み合わされたままのペコビーム。等々


曲り


ヘコミ・ツブレ


コンクリート詰り


亀裂


サビ


切断


コンクリート付着

送り状

No.

リーラック機材 行

年月日

会社名		担当者	
現場名		TEL/FAX	

車輌情報

運送会社	車種	車番	運転手名	到着予定日

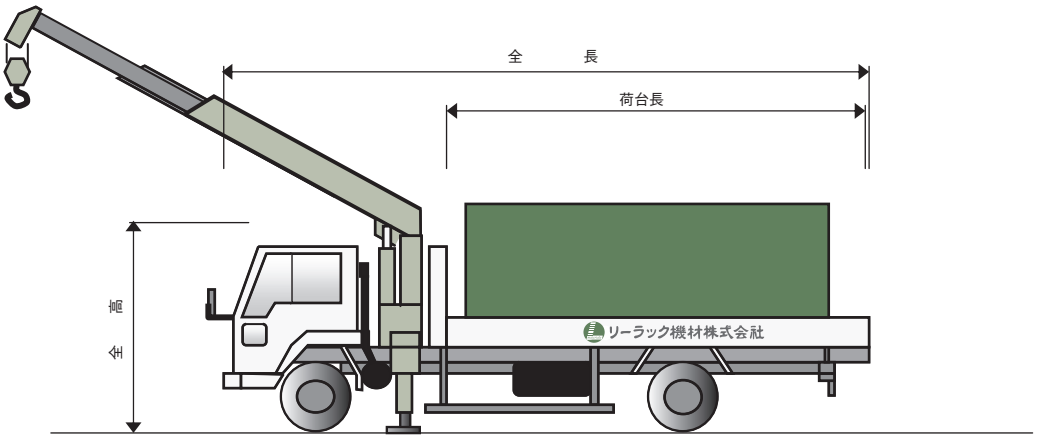
返却明細

機種	数量	機種	数量

リーラック機材検収員	運転手確認サイン	現場積込時	
		荷卸し時	

送り状は車輌1台に1枚を起票して下さい。控えは必ず保管して下さい。
梱包は員数検収ができるように同一寸法の一機種で結束して下さい。
積込時に運転手に員数を確認させて下さい。リーラック機材では運転手の立会いの下に員数を確認します。
員数に違いがあった場合、運転手に確認してもらい現場へ連絡します。
梱包を解かないと員数確認できない場合には後日検収とし、リーラック機材の員数を正とします。

運送車両データ



車　　種		4t ユニック車	7t ユニック車	10t ユニック車	15t ユニック車
最大積載量	kg	2,300	6,500	8,000	12,500
全　長	m	8.2	9.3	10.9	11.9
全　幅	m	2.2	2.3	2.5	2.5
全　高	m	3.0	3.0	3.4	3.4
荷台長	m	5.0	5.5	7.7	8.8
荷台幅	m	2.0	2.2	2.3	2.3
車両総重量	kg	7,965	14,020	21,980	24,980

＊上表は標準的な数値です。車輌により差がありますので詳しくはお問合せ下さい。

当社の運送は必ず営業車輌です。「白ナンバー」の車輌は使いません。

当社の使用する車輌は全て排ガス規制をクリアしております。

当社の使用する車輌には全て「格納忘れ防止装置」が装着されております。

当社では過積載は行いません。現場様におきましても積載重量にはご注意願います。

現場様におきましては迅速な積み降ろしをお願い致します。1.5時間を超えますと超過料金が発生します。

日曜、祭日及び夜間は割り増し料金となります。

キャンセルにはキャンセル料が発生します。

運送ご依頼の場合は住所、電話番号、ご担当者、日付、時間をご連絡下さい。

当社では重量が少ない場合、4ton 車が走っても「4ton 合積み」とし単価を下げております。

車輌の大きさで進入できなく2ton 車が必要な場合は、その旨をお伝え下さい。

賃貸契約条件

①賃貸料

●1日あたりの賃貸料単価に賃貸借期間を掛けたものでご請求いたします。
●賃貸借期間は弊社機材センターにおいて、出庫した日より入庫された日までといたします。
●ご使用期間が30日未満の場合、30日間を保証期間とし、その期間中の賃貸料を申し受けます。

②基本整備料

●入･出庫検収及び基本整備を含んだものとし、ご使用の有無･期間の長短にかかわらず、全部材に対しご請求いたします。
●基本料は原則として、賃貸料の初回請求時に併せて申し受けます。
●少量出庫の場合には、入出庫手数料を申し受けます。
●指定の梱包をご要望の際は、指定梱包料を申し受けます。

③修理料

●損傷の程度により修理可能な場合は修理料をご請求いたします。
●化学塗料及び外装吹付け剤（エポキシ系樹脂）等が付着している場合は基本料以外に別途ケレン整備料を申し受けます。

④破損･滅失料

●滅失または損傷が著しく、修理不可能と判断した部材に対して破損滅失料を申し受けます。
●部材に溶接等の火入れをしたものは全て破損品といたします。

⑤受渡し場所

●弊社指定機材センター渡しといたします。
●弊社にて運搬した場合は実費を申し受け、その際は車上渡しといたします。

⑥検収

●弊社機材センターへの返納･検収に際しては弊社機材センター内で行います。
●他社製品の受入れはお断り申しあげます。

※上記以外のことは賃貸契約書及び御見積書に基づきます。

当社機材センター（経年仮設機材管理基準適用工場）

営業時間
月～金　8：30～16：00
土　8：30～14：00
＊土曜営業日はお問い合わせ下さい

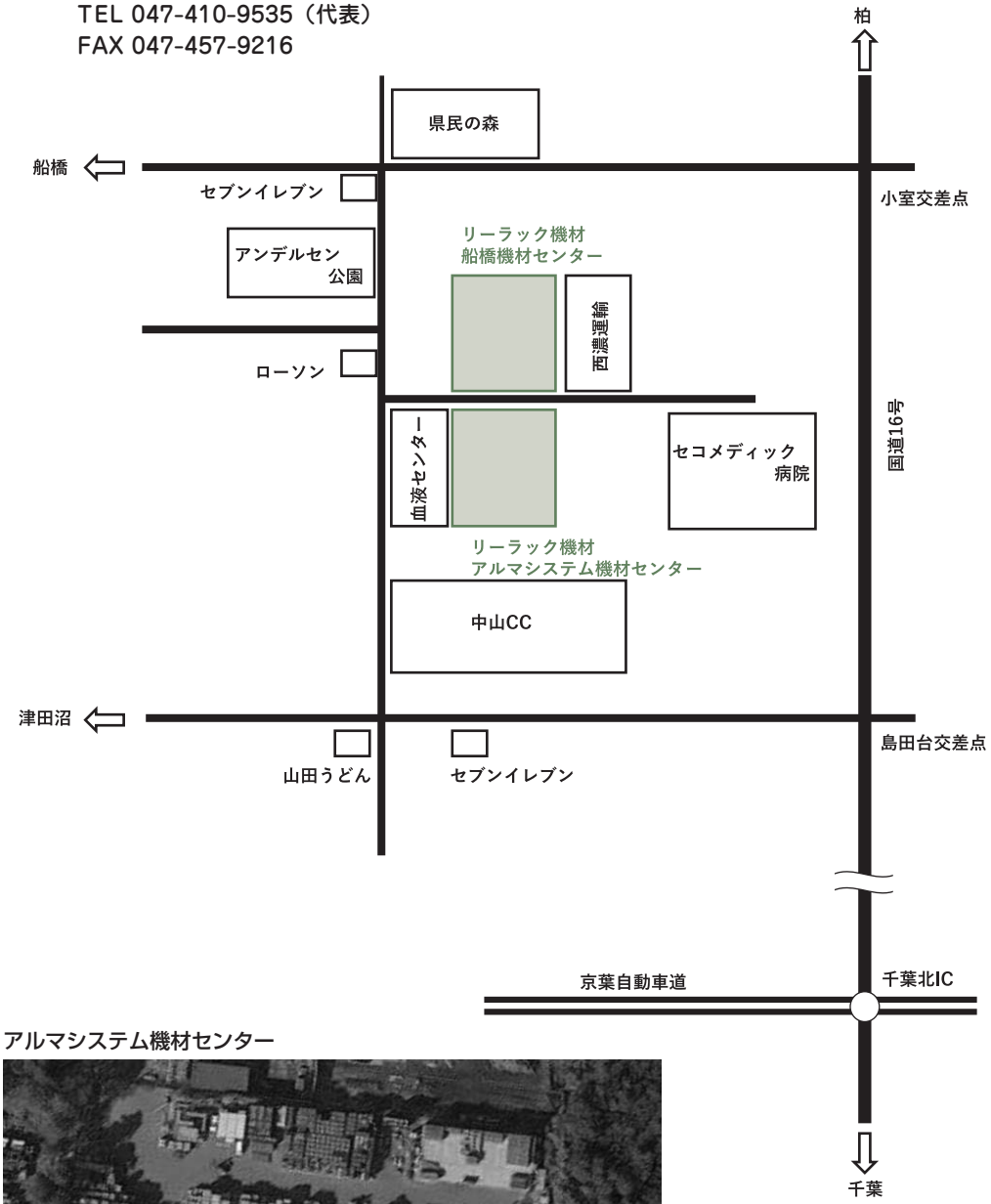
余裕をもってご注文下さい。
台木、荷締め機を準備お願いします。
ダンプカーでのお引取り、ご返却はお断り致します。
ご返却の際には送り状をご持参下さい。

船橋機材センター

●船橋機材センター・アルマシステム機材センター

船橋機材センター
〒274-0053　千葉県船橋市豊富町690
TEL 047-457-7301（代表）
FAX 047-457-7101

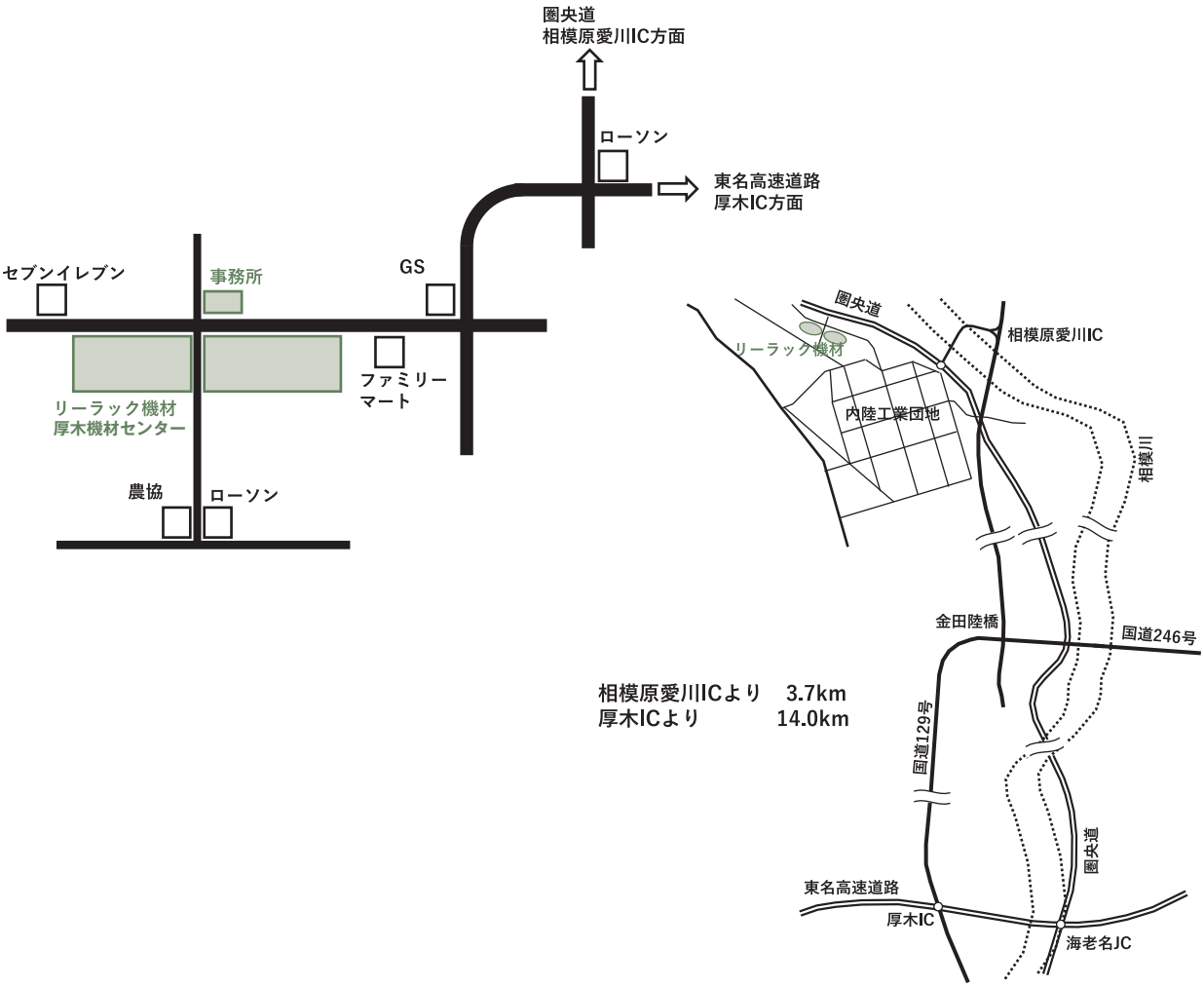
アルマシステム機材センター
〒274-0053　千葉県船橋市豊富町703
TEL 047-410-9535（代表）
FAX 047-457-9216



アルマシステム機材センター

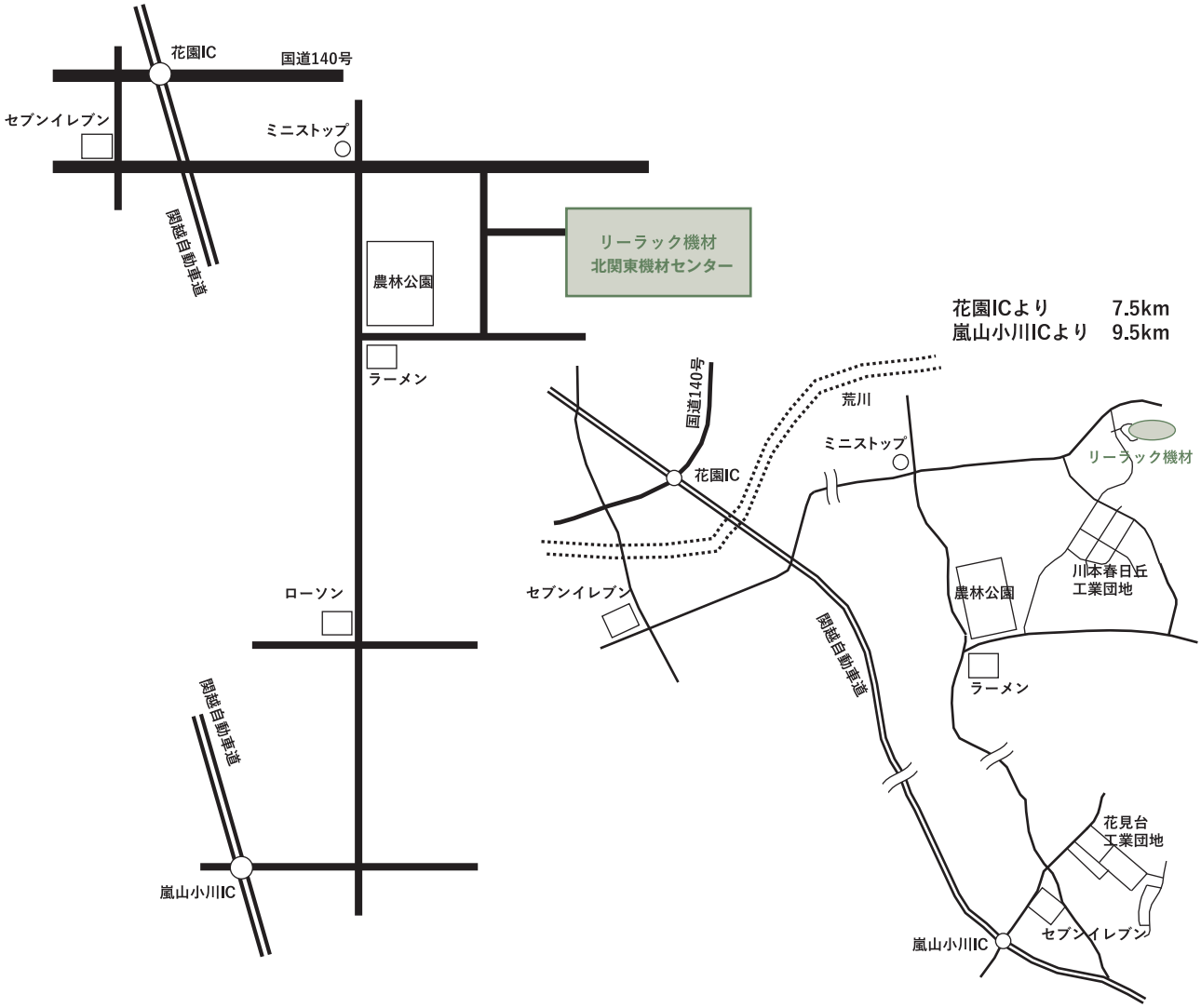
●厚木機材センター

〒 243-0303　神奈川県愛甲郡愛川町中津 1665
TEL 046-286-1658（代表）
FAX 046-286-1191



●北関東機材センター

〒369-1105　埼玉県深谷市本田980-1
TEL 048-583-5981（代表）
FAX 048-583-5671



INDEX

INDEX（品名別）

0～9・A～Z

ア

カ

サ

タ

ナ

ハ

マ

ヤ

ラ

ワ

INDEX（製品番号別）

0～9

A

B